

松本市の公民館

(令和4年度)

令和4年11月
松本市教育委員会

松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は国定公園美ヶ原高原につづく地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた「和名類聚抄（わみょうるいじょうしょう）」には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進めてきましたが、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積

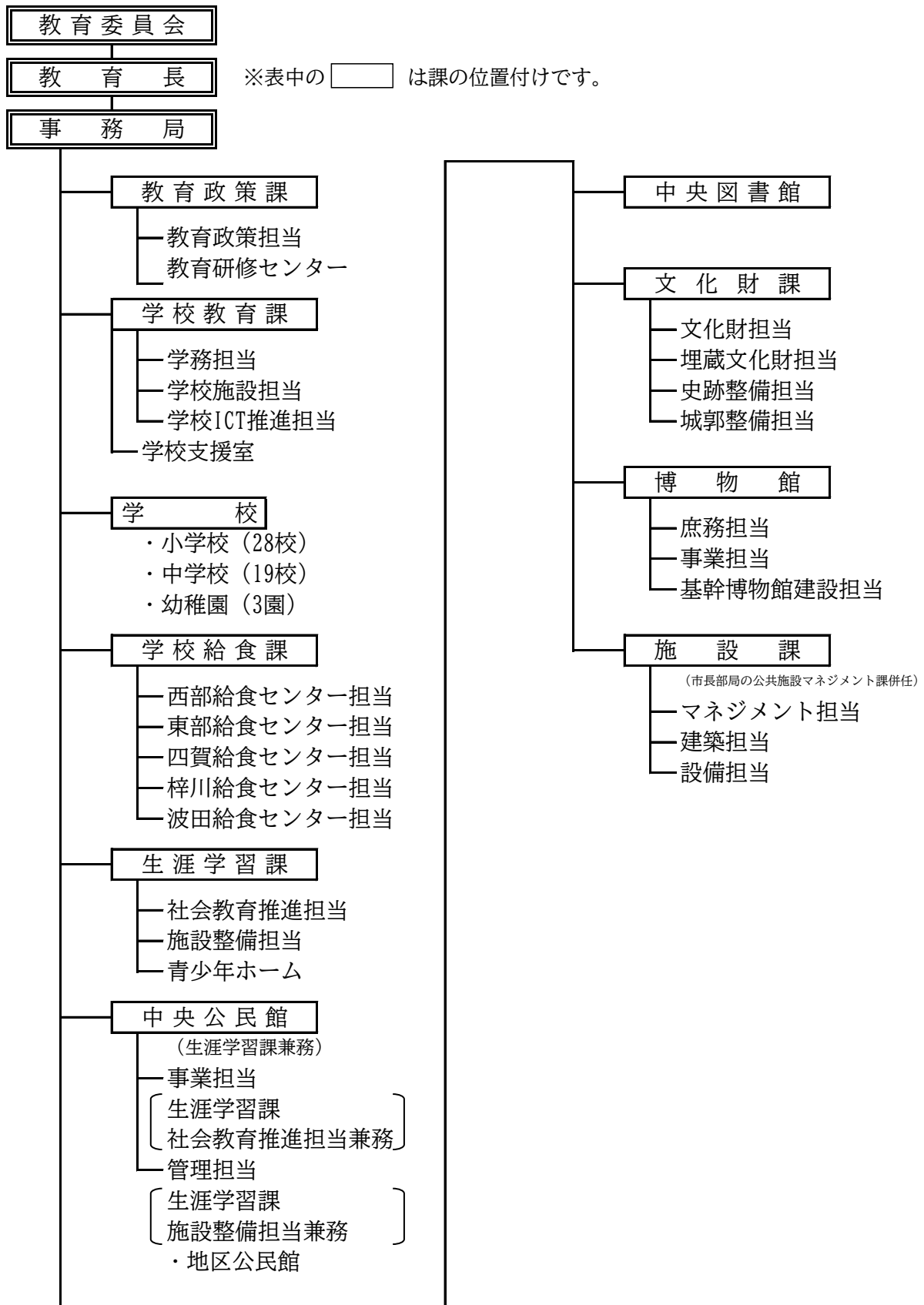
位 置	東経 137° 58' 19"	北緯 36° 14' 17"
面 積	978.47 km ²	
広 さ	東西 52.2 km	南北 41.3 km
標 高	592.21m	

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口(人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成16年	265.87	83,154	208,520	102,525	105,995	784	
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	平成17年4月四賀村・安曇村・奈川
平成20年	919.35	92,319	228,220	112,015	116,205	248	村・梓川村との合併による
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	平成22年3月波田町との合併による
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	中核市に移行する
令和4年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	243	

資料：DX推進本部

教育委員会組織図 (R4.4.1)



（附属施設等一覧）

教育政策課	
教育文化センター	視聴覚センター 科学博物館
学校教育課	
美ヶ原少年自然の家 教員住宅	
学校給食課	
西部学校給食センター 東部学校給食センター 四賀学校給食センター 梓川学校給食センター 波田学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館 同和教育集会所 池上百竹亭 ふれあいパーク乗鞍 奈川文化センター夢の森 青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
博物館
博物館分館
国宝旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

教育委員会職員数（R4. 5. 1現在）（ ）内は市長部局との併任

区分	教育長 部長	課長	課長 補佐	係長	主査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合計	備考	
教育長	1									1		
教育次長	1 (1)									1 (1)	()内 総務部長	
教育監	1									1		
事務局	教育政策課		2		3	4		2	6	17		
	学校教育課		2	3	1			11	1	4	22	
	学校支援室			1		5			49	55	課長補佐1名は主任指導主事、主査は指導主事	
	学校給食課		1	4	4	6	14	3	32	118	182	職名栄養士、調理員、栄養教諭は技術系
	生涯学習課		1	4	1	2	1	6	12	27	課長は中央公民館長兼務	
	文化財課		3	3	2	3		12	17	40	会計年度任用職員3名は研究専門員	
	施設課		(1)	(3)	(1)	(2)		(3)	(10)	(2)	(22)	()内 公共施設マネジメント課
	小計	3 (1)	9 (1)	15 (3)	11 (1)	20 (2)	15 0	34 (3)	33 (10)	206 (2)	346 (23)	
教育機関	小学校						1	9	64	74	職名栄養士、調理員は技術系	
	中学校					1	2	3	35	41	小中統合校は全て小学校に含む	
	幼稚園			1		4	2	4	3	12	26	幼稚園教諭は事務系に含む
	中央公民館				2			33	37	72	会計年度任用職員35名は地区公民館長	
	中央図書館		1	1	2	4		8	46	62	会計年度任用職員10名は分館長	
	博物館		2	2	3	2		13	19	41	会計年度任用職員8名は分館長 係長1名は生涯学習課係長兼務	
	小計		3	4	7	11	5	58	15	213	316	
合計	3 (1)	12 (1)	19 (3)	18 (1)	31 (2)	20 0	92 (3)	48 (10)	419 (2)	662 (23)		

派遣等職員数

派遣先	課長	課長 補佐	係長	主査	主査補	事務系	技術系	合計	備考
松本市・山形村・朝日村中学校組合			1			1		2	
合計			1			1		2	

生涯学習の推進（社会教育）

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市生涯学習基本構想の精神（「学びの森づくり」）を踏まえ、松本市教育振興基本計画に掲げる、「学都松本」としてめざすまちの姿の実現に向け、学習の場である施設の整備を進めるとともに、コミュニティ活動施設と関係機関の連携による地域ごとの学習システムの確立や、住民の豊かな個性を伸ばす自発的な学習活動等への支援を通じて、地域住民が主体となって自治能力を高める学習活動の推進と生涯学習による地域づくりをめざします。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「Ⅱ 公民館」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実・松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

ア 生涯学習基本構想

平成 6 年 3 月 松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定

平成 17 年 3 月 第 2 次松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定

平成 24 年 3 月 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」へ継承

イ 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど 130 講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和3年度実績 277回 13,462人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

ウ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、町内回覧、公共施設での配布及び市公式ホームページにより情報提供を行っています。

(ア) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(イ) 主な掲載内容

a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報

b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

エ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

[登録数]（令和3年度末現在）

指導者 159名、グループ 390団体

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持・ユニバーサルデザインの導入・エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和3年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会教育施設	里山辺公民館整備事業	老朽化し、狭あいな里山辺公民館を隣接地へ移転新築し、あわせて出張所・福祉ひろばを集約しました。	450,186
	Mウイング整備事業	個別施設計画に基づき、中間補修（改修）の実施設計を行いました。	13,257
	奈川文化センター夢の森（奈川公民館）中間改修工事		6,366

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1/2から2/3へ引き上げ、解体補助(補助率1/2、限度額200万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和4年度）

区 分		補 助 率	限 度 額	
建 物	新 築	未設置町会等	2/3	1,000万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1/2	1,000万円（福祉関連含む）
	改 築	1/2	1,000万円（福祉関連含む）	
	増 築	1/2	600万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400万円	
	改 修	2/3	一般改修（500万円）	
		2/3	福祉関連・耐震補強（500万円）	
	既設置建物取得	1/2	800万円	
未設置建物取得	2/3	1,000万円		
土 地	敷 地 取 得	2/3	1,000万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1回のみ	
			借 地 ・ 借 家	1/2
解 体 除 却		1/2	200万円	

※ ただし、2館目以降の限度額は、上記の金額の8割とする

(イ) 補助金交付件数

年 度	新築	改築	増築	改修	解体	取 得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
						建物	敷地						
元	1	2	0	86	-	0	3	21	1	36	3	153	109,308
2	0	1	1	79	-	0	1	11	0	38	3	134	84,167
3	0	2	0	76	3	0	1	7	1	36	3	129	97,053

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(ア) 事業概要

平成22年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を進めています。

平成26年度～平成27年度に耐震基礎診断を実施。平成28年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成29年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実設計を行いました。平成30年度から講堂、本館の順に6年間の計画で耐震補強工事を進めています。

(イ) 今後の取組み

令和2年度に本館I期工事に着手し、令和5年度まで工区毎部分休館で耐震補強工事を行います。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施

イ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」の実施

ウ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所として「若者カフェ」の実施

エ 若者が主体となり、若者が住んでみたいまちの魅力をつくりだす「松本若者会議」の実施

オ ヤングスクール、キャリアアップセミナーの実施

カ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

キ ヤングキャリアメンターによる、若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業

ク 新成人で構成する実行委員会で成人式の企画、運営の実施

ケ 成人年齢の引き下げに伴う成人式のあり方を、高校生、新成人等の若者からの意見を取り入れながら、検討

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
				計	ホーム	体育館
元	342	27.3	294	5,895	2,740	3,155
2	198	27.5	297	4,304	1,565	2,739
3	178	27.9	296	3,570	1,564	2,006

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

第一期地名校の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎。 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	<p>あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧制松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された旧松本高等学校校舎は、昭和25年から信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の遺構が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものといわれており、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。</p> <p>現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)</p>		
沿 革	<p>大正7年 松本市に高等学校設置決定 大正8年4月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正9年8月 県町(現在地)に校舎(本館)が落成、2年後に講堂が建てられ全校舎落成 昭和24年 松高校舎を信州大学文理学部校舎として使用。後に、学部再編後は人文学部校舎となる 昭和48年4月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和52年3月 松本市は建物及び敷地の一部を約7億円で国から買い取り、文化財として保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和54年10月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和56年2月 本館、講堂とも長野県宝に指定される 平成19年6月 本館及び講堂は重要文化財に指定される</p>		
文化財の種別	重要文化財	重要文化財指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11㎡	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日(月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館)		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (㎡)	備 考
ホ ー ル	1	350	353	
大会議室	4	80~100	460	
中会議室	10	30~50	691	
小会議室	5	25	188	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 人	利用総件数 件	減免団体利用件数 (減免団体数) 件	使 用 料 円
元	64,520	3,105	2,600 (266)	2,860,270
2	24,867	2,366	1,936 (244)	1,876,640
3	26,951	3,093	2,626 (228)	2,287,590

※ 耐震補強工事のため令和元年度は講堂全室を貸館停止、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月中旬～6月下旬まで貸館停止、耐震補強工事の影響で4月の講堂貸館を停止

※ 令和3年度は本館南棟について耐震補強工事の影響で部分的に貸館を制限した期間があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館利用を自粛した期間あり(9月上旬～下旬、1月中旬～2月下旬)

(2) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内10番31号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前9時～午後9時	敷地面積	1,038.74㎡
施設面積 (建物)	居 宅 122.60㎡ 茶 室 16.52㎡	施設面積 (庭園)	茶 庭 約95.75㎡ 日本庭園 約216.00㎡
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12月29日～翌1月3日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成19年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成23～28年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成29年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	円	円	円	円	円	円
上座敷	310	410	520	620	830	1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1台1回410円					

イ 利用実績

年度	開館 日数	利用 日数	利 用 内 訳				使用料 円
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総 数	
	日	日	件	件	件	件	
元	309	170	22	113	50	185	173,100
2	307	104	1	71	40	112	66,450
3	311	145	0	57	83	140	178,620

(3) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した施設となっている「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇4855番地100	電 話	93-1122
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成15年3月31日	開 館	平成15年4月1日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度から指定管理者制度を導入 ・指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会 		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額
施設	多目的ホール	1日1回	円 1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
元	23	184	207	533	3,456	3,989	46,200
2	6	102	108	58	1,131	1,189	15,640
3	11	135	146	100	1,707	1,807	27,080

(4) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2304
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土、文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456 m ²
施設面積	2,448.61 m ²	建設費	1,199,300 千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

区分	9:00～17:00 (1時間につき)	17:00～21:00 (1時間につき)	全日
	円	円	円
コンベンションホール	3,300	3,840	33,000
1階ホール	220	320	2,200
2階ホール	220	320	2,200
更衣室	320	440	3,300
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の100分の130に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
元	8	172	180	36	5,185	5,221	5,400
2	1	209	210	10	3,562	3,572	440
3	8	432	440	77	3,635	3,712	3,300

公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は、松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和4年度中央公民館主要事業計画

	項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
全 市 対 象 事 業	第37回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)		2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
		町内公民館館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(2つのブロックに分けて開催、7月) ・ブロック別研修会(8月～11月) ・ほか女性館長研修、理事研修など(随時)
	公民館報編集委員研修会		12月	公民館報編集委員の役割と意義について研修
	地 域 交 流 ・ ま ち づ くり 事 業	戦後を問う会・まつもと		通年
聴覚障がい者と学ぶ成人学校			10月～2月	障がい者とともに暮らす地域づくり事業
	手話教室		6月～3月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、高校生向け手話教室を開催

	項目	主な事業名	実施時期	事業内容	
全市 対象 事業	地域交流・まちづくり事業	第12回こいこい松本 松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会、Zoomを活用したオンライン開催	
		工芸の五月ワークショップ	5月	身近な生活道具の製作を通じて、「工芸」に親しむワークショップ	
		日本老民考学習会	通年	地域福祉、時事ネタ（原発・憲法）等について学ぶ事業	
		日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
		木曜午前ボランティア日本語教室		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
		松本市ヤングにほんご教室		通年	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援
		松本みんなのにほんご教室		4月～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援
		松本版コミュニティースクール事業		通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35地区で実施）
		市民教育講座		3月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会
		松本市出前講座		通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
		第22回松本手まり時計まつり		5月	Mウイング公益施設及び利用団体と伊勢町商店街がタイアップして実施
		文化活動	芸術文化祭	4月～1月	第63回松本市芸術文化祭
			公民館活動発表会	5月	第44回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
			お城盆踊り	8月	第74回お城盆踊り
		広報活動	公民館報の発行	年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
			資料集等の作成	通年	公民館活動資料
			人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
	町内公民館活動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助	

(2) 令和3年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
体育活動	4～3月	体育活動を通し、健康の保持、体育の向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民体育大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中央公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内へ移転新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館(事務室のみ)として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館(あがたの森公民館)として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東部公民館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城北公民館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大手公民館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城東公民館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田川公民館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10年度		平成 10年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
					Mウイング内
福祉ひろば	RC 2F	平成 9年度		平成 9年度	
トライ・あい松本 福祉ひろば	S 2F	平成 19年度		平成 19年度	トライ・あい松 本に増築
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2F	平成 8年度		平成 8年度	
福祉ひろば	RC 2F	平成 11年度		平成 23年度	
同上	RC 2F	平成 14年度		平成 14年度	
同上	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3F	平成 10年度		平成 10年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2F	昭和 56年度	平成 26年度	平成 26年度	
	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17年度		平成 17年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2F	昭和 59年度	平成 26年度	平成 26年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3F	平成 元年度		平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島内公民館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1,115.22
中山公民館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島立公民館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新村公民館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和田公民館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神林公民館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹賀公民館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿公民館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿台公民館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481.05
岡田公民館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717.10
入山辺公民館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里山辺公民館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 同上 昭和 34 年 4 月 同上 令和 04 年 4 月 教育文化センター内から移転	1,107.37
今井公民館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1,121.72
内田公民館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504.98
本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1,083.73
四賀公民館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安曇公民館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈川公民館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)	同上	906.68
梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波田公民館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載 参考 一公民館設置基準面積一
1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)

5,000世帯以上 900㎡(床面積) ※出張所管内は出張所面積分50㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1F	平成 9年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 13年度		平成 13年度	
出張所 体育館	RC 2F	昭和 63年度		平成 21年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 8年度		平成 25年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 62年度	平成 30年度	平成 30年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2F	昭和 57年度	平成 24年度	平成 24年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 29年度	平成 20年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	RC 2F	平成 4年度		平成 18年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 62年度		平成 22年度	
図書館	RC 2F	平成 2年度		平成 24年度	
福祉ひろば	S 1F	平成 21年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	平成 元年度		平成 17年度	
出張所	RC 2F	昭和 54年度	平成 16年度	平成 16年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	令和 4年度		令和 4年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 59年度	平成 27年度	平成 19年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 28年度	平成 28年度	
支所 図書館	RC 2F	平成 5年度		平成 16年度	
保健福祉センター	RC 3F	平成 14年度		平成 14年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2F	昭和 53年度	平成 20年度	平成 20年度	基幹集落セン ター
	RC 2F	昭和 52年度			
	RC 2F	昭和 50年度	平成 22年度	平成 22年度	
	SRC 2F	昭和 50年度		平成 9年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		Mウイング文化センター	
	利用件数	利用人数	利用件数		利用件数	利用人数
元	件 5,795	人 84,980	件 5,190	人 77,183	件 605	人 7,797
2	3,153	35,993	2,721	33,486	432	2,507
3	3,628	77,003	3,274	71,272	354	5,731

(2) 中央公民館の活動状況

年 度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
元	事業 3 人 240	0	1 220	9 4,882	4 526	0	2 160	28,119
2	事業 2 人 180	0	0	7 2,908	2 78	0	1 79	6,480
3	事業 2 人 54	0	-	7 1,456	3 196	0	3 5,220	- 5,094

(3) 地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数				利用人数			
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数(貸館分)				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②件	①=A+B	A	B	②件	C	D	E
元	52,368	45,768	704	45,064	6,600	15,655	2,862	3,362
2	35,702	31,504	373	31,131	4,198	10,645	1,908	2,095
3	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
820	1,502	97 9,384	1 413	44 748	0 0	47,014
0	0	80 1,598	1 108*	25 268	0 0	11,699
200	200	78 1,932	1 300	27 208	0 0	14,860

利用人数								
公民館活動利用人数							公民館 活動以外 の利用人数 (貸館分)	利用 総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活 動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C~K人	④	③+④
3,598	11,495	5,274	17,795	34,963	38,107	133,111	452,073	585,184
1,561	5,871	2,663	5,598	14,615	15,616	60,572	275,325	335,897
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568

(4) 令和3年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数					利用人数		
	利 用 総件数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活 動の利用 件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
	①+②件	①=A+B 件	A 件	B 件	② 件	成 人	女 性	高 齢 者
					C 人	D 人	E 人	
第一地区公民館	71	0	0	0	71	379	0	100
第二地区公民館	1,250	1,131	32	1,099	119	669	45	300
第三地区公民館	1,361	1,240	23	1,217	121	15	0	179
東 部 公 民 館	1,237	1,195	6	1,189	42	1,014	0	0
城 北 公 民 館	1,455	1,279	8	1,271	176	0	78	0
大 手 公 民 館	1,541	1,258	0	1,258	283	672	10	0
安原地区公民館	1,463	1,264	26	1,238	199	1,009	13	0
城 東 公 民 館	2,669	2,629	1	2,628	40	240	0	24
白板地区公民館	832	810	1	809	22	259	0	0
田 川 公 民 館	1,266	1,018	6	1,012	248	568	0	0
庄内地区公民館	2,381	2,289	1	2,288	92	40	0	0
鎌田地区公民館	2,604	2,540	41	2,499	64	410	0	0
松南地区公民館	3,416	3,206	84	3,122	210	674	0	71
島 内 公 民 館	1,551	1,440	0	1,440	111	379	0	15
中 山 公 民 館	492	433	1	432	59	175	514	679
島 立 公 民 館	905	845	9	836	60	17	0	0
新 村 公 民 館	339	57	5	52	282	965	662	0
和 田 公 民 館	430	373	4	369	57	88	19	35
神 林 公 民 館	655	602	0	602	53	384	0	0
笹 賀 公 民 館	901	888	1	887	13	0	0	0
芳 川 公 民 館	1,449	1,214	51	1,163	235	0	0	225
寿 公 民 館	591	591	8	583	0	0	0	0
寿 台 公 民 館	1,102	1,044	1	1,043	58	86	47	0
松原地区公民館	1,527	1,422	0	1,422	105	238	0	0
岡 田 公 民 館	764	715	2	713	49	172	0	0
入 山 辺 公 民 館	610	577	6	571	33	212	0	0
里 山 辺 公 民 館	547	505	0	505	42	101	0	0
今 井 公 民 館	782	690	3	687	92	116	21	0
内 田 公 民 館	380	328	1	327	52	77	0	0
本 郷 公 民 館	2,041	1,953	15	1,938	88	216		
四 賀 公 民 館	35	0	0	0	35	235	15	0
安 曇 公 民 館	94	32	0	32	62	482	0	0
奈 川 公 民 館	440	171	8	163	269	352	50	0
梓 川 公 民 館	1,994	1,932	26	1,906	62	244	60	143
波 田 公 民 館	2,275	707	24	683	1,568	747	0	127
合 計	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898

利 用 人 数								
公民館活動利用人数						公民館活 動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数	
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等					
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他	公民館活 動の利用 人数		
F 人	G 人	H 人	I 人	J 人	K 人	③C~K人	④ 人	③+④人
84	0	0	39	0	205	807	0	807
0	0	0	81	61	252	1,408	8,252	9,660
10	53	186	43	25	807	1,318	10,573	11,891
0	33	0	0	396	0	1,443	7,121	8,564
0	8	702	29	10	1,230	2,057	11,122	13,179
10	15	221	0	179	902	2,009	10,135	12,144
0	66	0	54	172	686	2,000	10,756	12,756
0	0	0	6	32	107	409	28,816	29,225
0	0	0	0	29	2	290	6,758	7,048
0	93	0	1,149	313	700	2,823	8,658	11,481
178	188	0	0	236	209	851	17,668	18,519
0	548	182	266	0	367	1,773	19,507	21,280
20	161	90	31	17	2,225	3,289	26,777	30,066
890	153	43	112	6,500	431	8,523	12,564	21,087
0	275	0	22	42	632	2,339	2,616	4,955
49	56	0	194	405	403	1,124	7,106	8,230
0	131	0	113	158	673	2,702	685	3,387
	47		117	511		817	4,006	4,823
0	32	0	59	124	24	623	6,994	7,617
0	0	0	0	103	0	103	8,596	8,699
341	0	17	146	162	1,678	2,569	10,744	13,313
0	0	2,431	0	0	0	2,431	4,823	7,254
0	54	0	113	90	157	547	7,115	7,662
0	227	33	91	163	97	849	10,097	10,946
10	100	0	39	145	656	1,122	5,272	6,394
0	0	0	126	13	228	579	7,404	7,983
0	281	0	53	130	22	587	5,885	6,472
0	6	3	40	264	554	1,004	6,366	7,370
0	67	0	89	432	305	970	3,190	4,160
51	259	198	112	1,800	546	3,182	16,110	19,292
0	220	0	430	550	3,422	4,872	0	4,872
0	0	0	6	18	92	598	258	856
0	1,777	0	13	5	22	2,219	1,493	3,712
	50	30	40	55	123	745	8,234	8,979
0	444	0	4,565	3,548	2,060	11,491	13,394	24,885
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
S21		1 社会教育課新設 1 寺中作雄「公民館の振興と公民館の発想」☆ 7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」(寺中構想)☆ 9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」* 11 「日本国憲法」公布☆ 11 松筑公民館設置
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称 8 第1回お城盆踊り開催	3 教育基本法公布☆ 9 市立図書館にアメリカ民間読書室(CIE)設置
23	2 CIE読書室が図書館から松本市公民館へ移る 10 松本市公民館を第1公民館と呼称、第2公民館を大名町に開館(30年12月焼失)	6 社会教育法制定☆ 11 社会教育課
24	1 松本市ナトコ運営協議会設置 11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定 12 松本市公民館運営審議会発足	
25	7 第1回成人学校を開設(この地方では初めて、全国では川崎市に次いで2番目)	3 長野県公民館運営協議会結成*
26		6 再び社会教育課設置
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足 6 松本市第1公民館を松本市公民館と改称 11 芳川村公民館で第1回婦人学級開催 11 松本市において第1回長野県公民館大会開催	6 中央教育審議会設置☆ 7 社会教育主事講習職員1名派遣 11 教育委員会発足 11 社会教育課に公民館係設置
28		8 青年学級振興法制定☆
29	4~8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	4 島内・中山・島立が松本市と合併 8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成 8 中央公民館に専任の館長おかれる	
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される 一 町内公民館の建設費助成を開始	
34	3 松本市公民館報創刊 4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足	4 社会教育法一部改正☆ 5 松本市役所庁舎完成
35	4 松本市公民館条例施行規則制定 3 公民館報(全市版)発刊 4 松本市公民館関係者研修会開催(町内公民館活動について話し合わせる) 4 各町内公民館に平均5,000円を配布 4 内田公民館発足 11 市民芸術祭として第1回芸術文化祭開催 一 第1回松本市公民館大会開催(38年まで) 一 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定	12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆ 4 内田が松本市と合併 一 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊
36	3 神林公民館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載 4 中央公民館(事業機関)、社会教育課(条件整備)の範囲明確	9 長野県公民館研究集会開催*
37	9 第1回「松本市婦人のつどい」開催	
38	4 松本市公民館長会規約を定める	
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定 4 公民館委員が制度化される(任意設置) 9 社会教育課で第1回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる 一 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定 一 家庭教育学級が各公民館ではじまる	3 新産業都市構想 4 出張所縮小と職員の引き上げ 一 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆
40		4 松本市で社会教育委員制度発足 一 ユネスコで学習宣言、ポールラングランが「生涯教育」を提 一 市青連芸術文化祭はじまる
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を開	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日的指標」☆
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定(2000円・58館) 11 寿地区一周駅伝大会はじまる	
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和対策事業特別措置法公布☆
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」 6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆ 12 同和对策審議会答申「松本市における同和対策はいかにあるべきか」
46	4 主事研修会が月2回の定例化 5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊 一 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり」諮問	4 松本市第一次基本計画策定(市内を8つの行政ブロックに分け各1館のコミュニティセンターを設置する構想)
47	8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情 1 同和教育市民テキスト第1集刊行 4 公民館主事が専任化される 4 同和教育学級講座(県費補助)始まる 8 公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」 11 中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる	7 ユネスコ第3回世界成人教育会議が東京で開催☆

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
47	— 今井公民館報で地域課題特集はじまる	
48	4 新任主事研修会はじまる 12 公民館主事会で「松本市公民館実態白書」刊行 — 芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン 12 松本市生活簡素化実行委員会結成
49	6 松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各3名、主事会4名、社会教育課5名） 8 主事会新聞発刊 12 制度研究委員会第1年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆ 4 社会教育課に同和教育係設置 5 本郷村が松本市と合併
50	2 主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求 7 社会教育主事講習受講機会拡大（2名） 8 『松本の住民運動と住民の学習』発刊 11 公民館主事をつくった学習資料「市民のくらしーその実態」発刊	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」 — 国連婦人10年（～60年）☆
51	3 制度研究委員会第2年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動） 3 「町内公民館活動のてびき」発刊 5 教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ 9 寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討） 4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第1号に指定 9 部落解放都市宣言
52	3 制度研究委員会第3年次報告「公民館充実をめざして」（施設、町内公民館） 3 松本市婦人国内研修はじまる 10 公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」 11 公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」	
53	4 町内公民館振興業務委託料、1町会10,000円となる 4 公民館主事に調整給支給される 12 主事宿泊研修が県外研修となる	5 文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」を発表☆
54	2 公民館報全市版100号記念（この号のみ8ページ） 3 第1回公民館学級終了生作品展開催 4 町内公民館振興業務委託料傾斜配分（平均15,000円、最高30,000円） 7 松本市町内公民館館長会発足（9第1回研修会） 10 あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館	6 中教審答申「地域社会と文化について」☆
55	3 「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行 4 館報ことばき縮刷版刊行 5 入山辺公民館改築（社会教育課による地区公民館の整備事業開始） 7 和田出張所内に公民館図書室開設	4 神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての公民館が開館☆
56	2 あがたの森（旧制高等学校校舎）が県宝に指定 5 芝沢公民館開館（新村・和田の両公民館が分館となる） 11 松本市公民館大会が開催直前で中止 11 山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	3 第三次基本計画（コミュニティセンター構想を廃止、現施設の拡充と市街地東西南北に公民館設置となる＝22館構想） 6 中教審答申「生涯教育について」☆
57	3 島内公民館改築 4 公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設 4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり30,000円の一律配分 6 北部公民館開館	— 松本にカルチャーセンター（松本中日文化センター）オープン
58	2 公民館委員が条例施行規則上必置となる 4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり27,000円 5 神林公民館改築 11 里山辺公民館が教育文化センター内に併設される	1 本郷村誌刊行 11 教育文化センター開館
59	3 館報よしかわ縮刷版刊行 4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり26,000円 6 西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置 — 新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし（前編・続編）」が	5 松本女性史の会『買春許すまじ』発刊 8 臨時教育審議会設置☆ 11 今井農村改善センター開館
60	1 公民館制度見直し委員会発足 3 館報しまだち縮刷版刊行 3 『松本市の公民館制度充実をめざして』（制度研究委員会報告）発刊 4 厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化 4 今井公民館・出張所移転 6 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり25,000円	3 ユネスコ「学習権宣言」☆ 4 新村多目的研修センター開館 6 臨教審「教育改革に関する第1次答申」☆
61	3 第1回松本市公民館研究集会開催 4 笹賀公民館新設開館 4 中山公民館改築 4 モデル町内公民館指定事業始まる 4 松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」	10 「松本市青年団運動史」発刊 10 音楽文化ホール開館 3 松本市婦人国内計画策定 4 松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実） 4 臨教審答申「教育改革に関する第2次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
61	4 松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」 7 中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が2階へ移転 8 岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる 4 内田公民館改築 4 南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置） 10 松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	
62	1 笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発刊 1 公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」 4 寿公民館改築	3 「長野県公民館活動史」発刊* 3 「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆ 8 臨教審「教育改革に関する最終答申」☆ 4 文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始
63	4 里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる 5 公運審答申「中央公民館の施設整備について」 5 北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足 5 和田公民館改築 10 主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめ 12 公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定） 4 島立公民館改築 4 ふるさとづくりモデル事業始まる 9 公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足 11 松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催	7 文部省に生涯学習局新設☆ - 県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる*
H1	3 中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第1集発刊（第2集…4年、第3集…8年） 4 岡田公民館移転改築 4 中央公民館夜間等警備委託化	8 教育委員会総務課に生涯学習担当配置 11 「子どもの権利条約」国連で採択☆ 12 厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
2	4 南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば） 8 なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置 10 松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催 10 新村公民館図書室が多目的研修センターに開設 10 公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について 3 中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置 3 寿台公民館移転改築 4 公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	1 中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆ 4 教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織 6 「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆
3	5 公民館報紙面拡大（B4版からA4版へ） 6 なんなんひろば利用者の会発足 8 松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行 11 婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行	6 生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆ 7 松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」 8 松本市総合体育館完成（体育課移転） 9 市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結びコンピューターネットワーク 10 松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長） 10 県生涯学習基本構想策定*
4	4 神林公民館で「すこやか健康教室」始まる 5 公民館報がページ増（全市版4p、地区版2p） - 南部公民館（なんなんひろば）で「信州年寄り通信」発刊、以後定期的に発刊	1 松本市生涯学習推進懇話会発足 4 教育委員会総務課に生涯学習係設置 9 学校第2土曜日が休日となる☆
5	1 公民館研究集会分科会の運営に市民が参画 3 芳川公民館移転改築 3 中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発刊 3 「町内公民館活動リーダー必携」発刊 4 公民館主事手当が条例化 7 松本城400年まつりにより、お城盆踊りが休止	3 松本市老人保健福祉計画策定 3 提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」（松本市生涯学習懇話会）発刊 5 西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移転となる
6	1 公民館報が「声の館報」としてテープ化 3 本郷公民館移転改築 3 新村公民館で「新村のくらしー改訂版」発刊 3 岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとその移り変わり」発刊 3 神林公民館で館報200号合冊版「かんばやし」発刊 5 松本市成人学校が第100回記念講座開催 6 「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事3名参加 6 中央公民館と中央図書館の共催で「第1回公民館図書委員のつどい」開催 7 社会教育主事講習受講枠（新潟大学）が2名が1名へ	3 松本市生涯学習基本計画「ずくだせZUKUDASU学びの森づくり」策定 4 「子どもの権利条約」批准☆ 4 教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学習係及び青少年係が設置、文化課が新設 5 生涯学習情報紙「学びの森いんふおめーしょん」発刊 6 福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進研究会」発

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
6	11 市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる（信大、市、市教委、市社協合同主催）	
7	4 町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増額（29,500円・30,500円・31,500円） 6 本郷公民館「公民館を語る会」発足 7 なんなんひろば「石のモニュメント」完成 12 女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦人のつどい実行委員会により発刊される	3 生涯学習記録「学びの森を生きる」発刊 4 「地区福祉ひろば」の設置はじまる 4 町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」 9 文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育事業者に関する解釈について」☆ 12 第六次基本計画（公民館29地区29館構想）
8	1 公民館研究集会幹事会に分科会市民運営委員参画 3 今井公民館『上條端司伝』発刊 3 入山辺公民館『入山辺の民俗』発刊 3 寿公民館報合冊版『館報ことばき』発刊 3 中山公民館『館報200 号合冊版』発刊 3 里山辺公民館報合冊版「館報さとやまべ」発刊 4 公民館に公共利用予約案内システムが導入される 4 中央公民館管理業務1名シルバー人材センターへ委託 5 笹賀公民館利用グループの会発足 8 新村公民館が移転新築開館（公民館と福祉ひろば併設の第1 10 公民館で日本語講座はじまる 11 松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催 11 神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる	4 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策」 4 塩尻市に長野県生涯学習センター開館* 4 県社会教育課が生涯学習課へ* 10 市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置（公民館職2名参加） 11 社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじまる 12 「男女共同参画2000年プラン」策定☆
9	2 内田公民館報縮刷版『はちぶせ』発刊 3 本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発刊 4 東部公民館開館 4 コミュニティ構想の名残りである芝沢公民館が廃止 4 和田公民館が増築開館	3 女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる（実行委員として公民館職員参加） 3 松本市障害者福祉長期行動計画 4 公立社会教育施設建設補助金廃止☆ 7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆ 10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる
10	4 公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出 5 日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（3月まで） 5 公民館ニュースが学びの森いんふおめーしょんへ統合 7 島内公民館が移転新築開館 1 中山公民館報号外（地区産廃処理施設問題） 2 今井公民館『館報200 号合冊版』発刊 4 第二地区公民館開館 5 公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」 8 国の生涯学習審議会中間まとめをうけ、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催 9 第1回公民館委員のつどいが開催 10 今井公民館ひだまりコンサート実行委員会がCD『今井のとうちゃん』制作 11 和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される 11 公運審提言「公民館長の任命手続きについて」 12 教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定 - 北部公民館の地域づくり講座はじまる	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告 3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆ 3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発刊 3 「男女共生プランまつもと」策定 3 特定非営利活動促進法（NPO法）成立☆ 4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆* 5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置* 9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆ 12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆
11	1 全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査 4 城東公民館開館 4 中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管 5 公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申 10 中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置 11 松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発刊	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言* 3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行 4 同和教育関係の県費補助事業が廃止* 5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催 7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆
12	1 『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発刊 3 笹賀公民館「ふるさとマップ」作成 4 城北公民館開館 4 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管 9～文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実施	3 県公運協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」 4 改正された社会教育法が施行 12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆
13	1 安原地区公民館開館 1 市内の公民館でIT講習はじまる	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆ 4 中山文庫開館

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
13	<p>3 中山公民館「中山の歳時記」発刊</p> <p>3 神林公民館「ふるさとマップ」作成</p> <p>3 中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発刊</p> <p>4 田川公民館開館</p> <p>4 Mウイング文化センター設置（同条例施行）</p> <p>4 中央公民館長と男女共生課長が兼務となる</p> <p>6 公民館運営審議会「調査研究報告書」提出</p> <p>6 第1回女性センターまつり開催</p> <p>7 芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催</p> <p>9 公民館委員（体育・図書視聴覚委員）研修開催</p>	<p>4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆</p> <p>4 県公運協「公民館の基礎知識（13年度版）」発刊*</p> <p>6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆</p> <p>9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定</p> <p>10 全国公民館研究会長野大会が長野市で開催☆</p> <p>11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆</p>
14	<p>3 Mウイング・女性センターにキッズコーナー開設</p> <p>3 第二地区公民館「歴史マップ」作成</p> <p>4 Mウイングにふれあい国際・情報センター開設</p> <p>6 島内公民館で四賀村と交流会を開催</p> <p>6 町内公民館長会に女性部が発足</p> <p>7 大手公民館開館</p> <p>10 第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催</p> <p>10 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催</p>	<p>4 学校週5日制が完全実施される☆</p> <p>5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置</p> <p>11 中教審中間答申</p> <p>11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足</p> <p>11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる</p> <p>12 平成7年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催*</p>
15	<p>2 中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催</p> <p>4 「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出</p> <p>4 町内公民館振興業務委託料が増額（30,000円・31,000円・32,000円）</p> <p>9 北部公民館「地域交流～こんな町つくり～」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される</p> <p>10 公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」</p> <p>11 四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流</p>	<p>1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ</p> <p>3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆</p> <p>3 松本市男女共同参画計画策定</p> <p>4 松原町会が自治組織としての地区として独立</p> <p>4 日本公民館学会が設立される☆</p> <p>4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される</p> <p>5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出*</p> <p>6 松本市男女共同参画推進条例施行</p> <p>6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆</p> <p>6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆</p> <p>7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決</p> <p>7 松本市・四賀村法定合併協議会設立</p> <p>8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆</p> <p>10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行</p> <p>12 地域・家庭教育活性化推進補助金（人権促進事業費等）が廃止される☆</p>
16	<p>1 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる？ 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催</p> <p>3 公民館委員研修「文化委員研修会」開催</p> <p>4 公共施設予約案内システムが新システムへ移行</p> <p>4 松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加</p> <p>5 新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足</p> <p>5 『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事2名参加</p> <p>6 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催</p> <p>7 松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事6名参加</p> <p>9 市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事3名参加</p> <p>11 中央公民館長が専任に戻る</p> <p>11 入山辺公民館、大規模改修工事</p>	<p>1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆</p> <p>3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について（審議経過の報告）」☆</p> <p>3 第二次「全国公民館連合会 基本構想」☆</p> <p>4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入</p> <p>5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各郡市公民館運営協議会に依頼*</p> <p>7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される</p> <p>7 菅谷市長と語る会が30地区で開催</p> <p>8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート</p> <p>11 社会教育課による「いい街つくり、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート</p>
17	<p>1 公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案</p> <p>1 公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」</p> <p>2 島内公民館「館報縮刷版」発刊</p>	<p>1 地区福祉ひろば庁内研究会職員提案</p> <p>3 「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂</p> <p>3 「松本市次世代育成支援行動計画」策定</p>

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
17	<p>2 『町内公民館活動のてびき』第5次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊</p> <p>3 芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊</p> <p>4 寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として3月から公民館報松原地区版が発刊開始</p> <p>4 公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更</p> <p>4 合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足</p> <p>9 教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議</p> <p>9 公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置</p> <p>10 中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる</p> <p>11 中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される</p>	<p>4 四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併</p> <p>4 松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所</p> <p>4 長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる*</p> <p>4 熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をNPO法人に委託</p> <p>6 中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆</p> <p>6 全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆</p> <p>7 「食育基本法」施行☆</p> <p>7 菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる</p> <p>9 大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設</p> <p>9 文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆</p> <p>10 内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>11 長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始*</p> <p>11 文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>12 日本公民館学会第4回研究大会が松本大学を会場に開催☆</p> <p>12 第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆</p>
18	<p>3 市長公約の3Kプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画</p> <p>4 社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）</p> <p>4 庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）</p> <p>4 「松本市第8次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられ</p> <p>5 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申</p> <p>6 都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）</p> <p>8 ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）</p> <p>10 惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊</p> <p>12 主事会の県外研修に公運審委員4名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）</p>	<p>4 教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ変更、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）</p> <p>4 四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート</p> <p>4 教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆</p> <p>4 長野市で都市内分権がスタート*</p> <p>5 「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催*</p> <p>10 長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施*</p> <p>10 松本市図書館でサポーター制度を導入</p> <p>11 松本市「市民協働提案制度」がはじまる</p> <p>11 松本市「市民活動推進委員会」が発足</p> <p>11 「松本市地域づくり推進懇談会」発足</p> <p>12 教育基本法改正法が成立・公布・施行☆</p> <p>12 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆</p>
19	<p>3 中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う</p> <p>3 戦争体験の聞き取り事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）</p> <p>4 公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・通年</p> <p>4 市制施行100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）</p> <p>5 主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる</p> <p>5 学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される</p> <p>7 第1回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会い、研修会・情報交換会が行われる</p> <p>9 松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションC a f eなどが行われる</p>	<p>2 松本市教育委員会および木曾町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退</p> <p>3 全国公民館連合会「第1回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆</p> <p>3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆</p> <p>4 飯田市で地域自治組織導入（公民館は先5年間を教育委員会に残し、その後所管を検討）*</p> <p>5 松本市制施行100年を迎える</p> <p>5 松本市食育推進計画庁内調整会議が開催</p> <p>6 社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆</p> <p>6 「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる</p>

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
19	<p>11 館長会にて教育実践活動策定について説明</p> <p>11 医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）</p> <p>12 中央公民館にて、“しゃべりばinちゅーこー”や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる</p>	<p>9 医療制度改革施行☆</p> <p>9 長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択*</p> <p>11 教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動</p> <p>12 教育実践活動についての地域懇談会が始まる</p> <p>12 松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出</p>
20	<p>2 松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が2日間にわたり開催</p> <p>3 市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立</p> <p>3 地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先）</p> <p>4 第三地区公民館 開館。（あがたの森公民館が閉館）</p> <p>4 公民館委員報償費が年額単価から回数単価に変更</p> <p>4 四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行）</p> <p>5 公民館が学校と地域のコーディネーターを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート</p> <p>6 ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館）</p> <p>6 地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心に関わる</p> <p>6 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出</p> <p>8 第2回公民館報編集委員交流会 開催</p> <p>9 町内公民館館長会30周年記念の集い 開催</p> <p>9 町内公民館パンフレット 製作</p> <p>9 耐震診断費用補助対象が拡大され、昭和56年以前に建設された町内公民館も対象となる</p>	<p>2 教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆</p> <p>3 長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査*</p> <p>3 松本市放課後子どもプランが策定</p> <p>4 和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大嵩崎町会が合併し、林町会となる</p> <p>4 安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される</p> <p>4 松本市第2次男女共生参画計画 策定</p> <p>5 松本市地域づくり推進基本方針 策定</p> <p>5 『長野県公民館活動史Ⅱ』発刊*</p> <p>5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」が提</p> <p>6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆</p> <p>7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆</p> <p>7 教育振興基本計画が閣議決定☆</p> <p>9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定</p> <p>11 長野県「つながる つらなる 信州 人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定*</p> <p>12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・梓づけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条2項、第23条1項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆</p>
21	<p>1 文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町2丁目町内公民館を視察</p> <p>3 主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告</p> <p>3 全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞</p> <p>9 「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）12 松本市芸術文化祭50周年記念式典開催</p>	<p>3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞*</p> <p>4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる</p> <p>4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる*</p> <p>4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入*</p> <p>9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足</p> <p>10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※</p>
22	<p>3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館長へ提出</p> <p>3 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足</p> <p>4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館。（35地区すべてに公民館が設置完了）</p> <p>4 地区再発見情報発信事業始まる（初年度6地区～25年度に全地区終了）</p> <p>5 ベトナム学習振興会が蟻ヶ崎西町内公民館を視察</p> <p>6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おかちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同）</p>	<p>3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊</p> <p>6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定。地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる</p> <p>7 学都松本に向けた取組みを定める</p>
23	<p>11 梓川公民館大規模改修事業 竣工</p> <p>5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」</p>	<p>11 松本市の教育に関するアンケート調査報告</p> <p>12 地域主権改革第2次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参照）</p>
24	<p>9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催</p> <p>9 松本市公民館活動実践事例集（地域・くらしと学びをつなぐ）を発刊</p> <p>12 第4回全国公民館報コンクールで波田公民館が奨励賞を受賞</p>	<p>3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言）</p> <p>3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定</p> <p>3 松本市地域づくり実行計画策定</p>
25	<p>3 神林公民館大規模改修事業竣工</p> <p>3 大手公民館会館10周年記念誌『語り継ぐまちなか』発刊</p> <p>6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される</p>	<p>9 第1回学都松本フォーラム（学都松本を目指して）を開催</p> <p>2 松本市第3次男女共同参画計画 策定</p> <p>3 健康寿命延伸都市宣言</p> <p>4 市内15地区公民館（出張所機能を持たない館）に、地域づくりセンター準備職員を配置</p>

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
25	6 松原地区公民館が住民の戦時中体験をまとめた『語り伝えておきたくて』を発刊 10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全7講座が取り組まれる（記録集3月発行）	4 松本市子どもの権利に関する条例を制定 6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、9月を「学びの9月」と定める 6 社会教育法一部改正☆ 6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆ 10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「若者が創る信濃の国再発見物語」を6市町村（上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村）へ再委託 4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入*
26	2 第29回松本市公民館研究集会在歴史的大雪により初めて中止となる 4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する 6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が2年目の採択をされ、全7講座が取り組まれる（記録集3月発行） 9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される 12 入山辺公民館「入山辺文化誌（館報400号合冊版）」発刊 12 寿地区学校応援団が、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞	4 地域づくりセンターが各地区に設置される 6 改正地方教育行政法が可決、成立☆ 6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆ 6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する 10 「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」開催(岡山県岡山市) ☆(松本市の公民館から事例発表) 12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆ 12 特定秘密保護法施行☆ 3 松本市スポーツ推進計画策定
27	2 第30回松本市公民館研究集会在基調講演、過去最大数の11分科会により開催される 3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞 3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工 4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白坂地区公民館に名称変更する 6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される 8 文部科学省委託事業（公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり事業）の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展 9 地域学習テキストをモデル3地区（白坂、本郷、波田）で発刊	3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定 4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆ 4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆ 4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置 4 地域づくり部(地域づくり課、地域づくりセンター)及び文化スポーツ部(スポーツ推進課を含める・旧体育課)の新設 4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更 7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議発足☆ 8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催 10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆ 10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定 12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する3本の答申☆ 184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」 185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」 186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針について」
28	2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる 3 今井公民館大規模改修事業竣工 3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了 4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入 5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入 6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施 7 学びの森生涯学習ファイル更新（2年に1回）	1 南部福祉総合施設「なんぶくプラザ」供用開始 2 第1回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆ 4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置* 4 小中学校9年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆ 5 県政タウンミーティングを阿智村で開催* 5 県公運協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化* 8 松本市第10次基本計画策定 9 地域包括ケアシステム推進事業が、3地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区） 9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆ 12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
29	1 全国規模の集会である「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、全国各地から延1,115人が参加（1/28.29：松本市公民館70周年事業として開催）	3 あかたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定
29	3 内田公民館大規模改修事業竣工 7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足 7 波田公民館が波田庁舎内へ移転開館（旧波田公民館は30年3月に解体） 9 文科省組織改編に対し、社会教育委員会議、公民館運営審議会、町内公民館長会連名で意見書を提出	3 中高、飯水の郡市公運協を統合し「中飯」へ* 5 第2次松本市教育振興基本計画策定 5 第2次松本市地域づくり実行計画策定 8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆ 9 文科省の組織改編に対し松本市教育委員会から要望書を提出
30	2 松本市公民館研究集会と、地域づくり課所管の地域づくり市民活動研究集会を「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」として合同開催（以降毎年合同開催） 3 笹賀公民館大規模改修事業竣工 3 大手公民館・中央地区福祉ひろば開館15周年記念「まち歩き講座から見た後世に残したい地区の文化財」発行 4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始 8 住民自治を基盤とした持続可能な地域づくりに向け、町内公民館機能に着目した「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業を、東京大学牧野研究室との共同事業として開始（3カ年の事業）	3 県総合5カ年計画策定（自治と学びが柱に据わる）* 12 中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」を取りまとめ☆
31	3 和田公民館大規模改修事業竣工	1 松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結 4 第2層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）が7地区（第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田）に配置
R1	6 『町内公民館活動のてびき（第6次改訂版）』発行 7 公民館運営審議会が提言集を中央公民館に提出 8 中山公民館「中山の民話」発行	6 「第9次地方分権一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律）」公布(6/7)☆（公立社会教育機関について、一定の担保措置を講じて条例により首長が所管することが可能となる） 9 旧開智学校校舎国宝指定 9 社会教育委員会議提言書「松本版コミュニティスクールへの提言～すべてに対してやさしくおもいやりに生きる大人へ～」
2	2 第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞(2/14) 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」で、市民提案によるテーマでの分科会を実施 2 城北公民館・城北地区福祉ひろば開館二十周年記念誌発行 3 第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞(3/12) 3 岡田公民館「岡田再発見を読み解く」（岡田歴史研究会編著）発行 3 「松本市芸術文化祭60年の歩み」発行 4 新型コロナウイルス感染症の影響で約1か月間貸館を休止（4/7～5/31） 6 島内地区歴史文化財調査委員会（事務局：島内公民館）「島内の歴史と文化遺産」発行 7 7月豪雨により地区公民館（一部除く）に避難所を開設	3 菅谷昭市長退任 臥雲義尚市長就任
3	1 新型コロナウイルス感染症の影響で貸館の新規受付を停止（1/8～12/4） 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、基調講演・鼎談のみ実施となる（YouTubeでオンラインライブ配信）	1 松本市成人式が新型コロナウイルス感染症の影響で延期
4	2 安原地区公民館・福祉ひろば開館20周年記念冊子発行 1 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貸館の新規受付を停止（1/15～2/20） 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催。 3 里山辺公民館が移転新築	1 長野県内にまん延防止等重点措置が適用（1/15～3/6） 2 松本市教育大綱を策定



— 令和3年度 公民館事業報告 —

中央公民館…………… 36	白板地区公民館…112	和田公民館……………193	里山辺公民館………278
第一地区公民館… 47	田川公民館……………121	神林公民館……………201	今井公民館……………290
第二地区公民館… 54	庄内地区公民館…130	笹賀公民館……………208	内田公民館……………299
第三地区公民館… 59	鎌田地区公民館…140	芳川公民館……………219	本郷公民館……………307
東部公民館…………… 65	松南地区公民館…149	寿公民館……………233	四賀公民館……………313
城北公民館…………… 70	島内公民館……………154	寿台公民館……………244	安曇公民館……………323
大手公民館…………… 84	中山公民館……………161	松原地区公民館…250	奈川公民館……………330
安原地区公民館… 97	島立公民館……………169	岡田公民館……………261	梓川公民館……………335
城東公民館……………106	新村公民館……………178	入山辺公民館………267	波田公民館……………345

令和3年度 事業報告の概要

中央公民館

方針概要										重点施策				
<p>【方針・地域課題】 「公民館の学びを通じた地域づくり」</p> <p>超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。 また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。 このような現状の中で、本市の公民館は、松本市生涯学習基本構想のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。</p>										<ol style="list-style-type: none"> 1 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。 2 人権尊重のための学習活動を進めます。 3 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。 4 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。 5 町内公民館の振興を図ります。 6 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。 7 ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。 8 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。 9 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。 10 時代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	7	2	1	3	0	0	0	0	7	0	5	2	6	0
延べ 参加人数	1456	54	0	5220	0	0	0	0	162	0	808	360	1933	0

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
新任公民館職員研修	4月20日	1回	その他	その他	16人	令和2年度から配属された新任職員を対象に、公民館（活動）の基礎学習及び、近年の動向について研修する。今年度は、松本大学向井健氏を講師に研修を行う。 また、館長も含めた公民館職員に必要なスキルアップ研修として、ファシリテーションを行う。 （内容） ①公民館基礎学習、関係法令と運用、松本市公民館の概要と近年の動向 ②事務研修等（主事のみ）	①公民館基礎学習について、ポイントを抑えやすくするため、内容等を松大の向井氏と調整する。→講師へ ②主事として必要な事務研修を取り入れるにあたり、中公庶務担当と調整する。	①昨年度の反省を活かし、内容をシンプルにしつつもポイントを押さえるなかで、「公民館や社会教育」をイメージしやすくするために、松大の向井氏と調整した結果、参加した職員からも概ね好評であった。 ②主事に必要な事務研修を取り入れたことで、一定の効果は見られたものの、充分であったとはいえないため、再度中公庶務担当と調整する中で、次年度以降実施していく必要がある。	
第62回松本市芸術文化祭	7月～3月		地域文化	成人	5,094人	多くの市民が気軽に楽しく文化芸術に触れあう機会を創出し、市民による主体的、継続的な文化芸術活動の推進を図るもの。 和・洋・玄人・素人を問わず、市民が参画して、展示会・上演会等を通して、芸術文化の振興を図る。 展示部門各種展示会（7部門）参加者2,387人 上演部門各種発表会・演奏会（11部門）参加者2,707人	松本市芸術文化祭実行委員会により運営	団体構成員の高齢化により、後継者の育成に努める必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で練習機会の喪失、イベントの中止、観客来場者数の減少がみられる。	
松本みんなのほんご教室 （共催事業）	4月～2月	56回	人権平和	その他	715人	学齢期を過ぎた外国由来の青少年や就学および就労希望でありながらも日本語が不十分という理由で希望がかなわない外国籍住民を対象に、日本語習得の場として開催 ●毎週月・木 午前9:30～12:30	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	4つの日本語教室の中で唯一教室形式での日本語支援につとめており、週1回スタッフの勉強会やミーティングを行っている。受講者のニーズが多様化している中、対応できる支援員不足が課題である。	
学びの森いんぷおめーしょん	5月1日 8月1日 11月1日 2月1日	4回	その他	成人		市民に生涯学習関連情報（生涯学習支援登録制度登録団体等の活動情報など）を提供し、市民の多様化した生涯学習活動を補助・促進するもの 発行は年4回（5月、8月、11月、2月）。1回につき14,000部	生涯学習支援登録制度に登録している団体の情報を中心に掲載している。	配布方法が町内回覧であり、必要な時に情報が得られないことが課題のため、当冊子を「情報提供の入口」と位置づけ、QRコード等でホームページへリンク案内するようにし、冊子のページ数を減らした。今後、オンラインの多様な媒体と連携し、必要な市民に届く情報発信を図る。	
工芸の五月 ワークショップ	4月29日 10月23日	3回	地域文化	成人	18人	「工芸の五月」の一環として、日々の暮らしのなかで使う身近な道具を自らの手で作ることで、ものづくりの楽しさを知るとともに、自然・環境・暮らしを見つめなおす機会とする。 ・4/29「自然からのおくりものー草木染めworkshopー」 ・5/15「ミゴ箸づくり」	共催：工芸の五月企画室 令和2年度新型コロナウイルス感染症によって中止になったワークショップを改めて開催した。	当初、4月29日及び5月15日でワークショップを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため「草木染め」のみ開催とした。 参加予定者からの強い希望があり、「ミゴ箸づくり」を10月に開催した。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第21回松本手まり時計まつり	5月29日 ～30日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【ねらい】 中心市街地の活性化を図るとともに、Mウイングに集う人たちの新たな出会い・交流を促進する。 【事業内容】 公民館利用団体の展示部門発表、ステージ部門発表	Mウイング公益施設関係(生涯学習課・中央公民館、人権・男女共生課、多文化共生プラザ、福祉ひろば、中央保健センター、松本ヘルス・ラボ)、伊勢町商店街振興組合、利用団体、市民から構成された実行委員会及び運営委員により運営。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して開催。展示部門6団体、ステージ部門8団体次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や団体の掘り起こし等参加団体を増やす工夫が必要。	
公民館活動発表会 展示部門	5月29日 ～30日	1回	地域事業 (文化)	成人	67人	市内公民館で活動するサークル、団体等の活動発表および交流の場とする。「手まり時計まつり」にあわせて開催している。	参加5団体による実行委員会を組織。実行委員長を置く。「手まり時計まつり実行委員」に参画	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となった。展示会場の様子を撮影し、YouTubeで配信した。高齢化が進み、例年参加団体数は減少しており、作業にあたっては困難も多い。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や来場者にサークル活動に興味を持ってもらう工夫が必要。	
公民館活動発表会 ステージ部門	5月30日 (日)	1回	地域事業 (文化)	成人	200人	市内公民館とあがたの森文化会館で活動する団体等の活動発表および交流の場とする。今年で43回目となる。	発表団体で、公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会3回。当日の運営も当番役回りでやっている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当日会場には一般来場者の入場は禁止とし、YouTubeでのオンライン配信のみとした。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や団体の掘り起こし等参加団体を増やす工夫が必要。	
松本市の公民館(事務報告書)冊子作成・発刊	9月上旬		その他	成人		松本市公民館等に関する情報を、1冊にまとめて発刊する。	各館より事務報告書の提出。公民館の基礎データ、年表、教育要覧掲載情報等を集約し、冊子へまとめる。	掲載内容については常に、精査するなかで、次年度以降も継続して発刊する。	
中級者向け手話教室 「手話で学ぶ手話教室」	10月6日 ～3月30日	10回	人権平和	成人	130人	ろう者と聴者の橋渡しとなる通訳者の育成を視野に、手話奉仕員養成講座と県の通訳者養成講座の中間的な位置づけで開催。手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずろう者2名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。昼・夜の2部制。 【健康福祉】	主催の松本市聴覚障害者協会、市障害福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。	コロナのため、1月19日分を3月30日に延期した。2月2日、2月16日、3月2日は夜の部のみZoomでのオンライン開催を試みた。仕事の関係で対面での受講ができない方も参加することができ、好評だった。受講者と講師(ろう者)が通訳者を介さずに講義をする形式となっているため、受講者には比較的高いレベルの手話技術が必要となってくるため、途中で離脱する受講者もいたが、全体的には出席率も高く、おおむね満足をいただけた。今後は、松本市聴覚障害者協会と内容の検討をしたうえで次年度も引き続き開催することとしたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
入門手話教室「手話はじめの一歩」	5月19日 ～9月29日	10回	人権平和	成人	169人	ろう者の生活文化に理解を深めること、手話を学び続けたいという意欲を高めて手話奉仕員養成講座等の次の学習ステップにつなげることを目的に開催。初心者を対象に日常生活に関する基礎的な手話の習得を目指した。昼・夜の2部制。【健康福祉】	主催の松本市聴覚障害者協会、市障害福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。通訳者は講師が障害福祉課を通して依頼。	今年度は小学生1名、高校生2名の参加があった。また今後手話を生かして仕事に臨むことやろう者との交流に積極的に携わるようにしていきたいという前向きな声も多かったため、今後も継続をしていきたい。 なお、期間中に新型コロナウイルス感染拡大があり、仕事や家庭の都合上受講できない方が多かった。令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大のため、入門手話教室が中止となり例年と入門クラスと中級者クラスの順序が入れ替わってしまったため、次年度は手話奉仕員養成講座との接続を考慮して実施時期を設定したい。	
聴覚障害者と学ぶ成人学校	10月21日 ～3月17日	5回	福祉健康	成人	54人	昭和47年の開講当初に掲げた聴覚障害者の学習権の保障に加え、ろう者と聴者の相互理解を深める場、地域社会の一員として尊重し合える関係づくりに寄与する場として開講 今年度は「セルフケア」をテーマに痛みを解消するエクササイズ「エゴスキュー」を開催	松本市聴覚障害者協会と打合せを行いプログラムを編成。講師は中央公民館から、通訳者は障害福祉課を通して依頼	新型コロナウイルス感染症の影響から1月20日分を3月17日に延長した。	
第11回こいこい松本オンライン—多文化共生と国際交流の祭り—	6月27日	1回	地域事業(文化)	成人	241人	【ねらい】 松本市及びその周辺に住む外国人・外国由来の人たちを中心とした交流、ネットワークづくりの場として、お互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るきっかけづくりとして開催 【実施内容】 Zoomでのオンライン開催 ・ブース1 ロシア、韓国 ・ブース2 ベトナム、台湾 ・ブース3 モンゴル、カナダ、フィリピン ・ブース4 中国、タイ ・ブース5 エジプト、オランダ ・ブース6 南米、インドネシア ・ブース7 ステージ・ブース(中央公民館6階ホールにて撮影、配信) ・ブース8 ミャンマー問題ブース	【主催】 こいこい松本実行委員会(在住の外国由来の人たち、NPO法人中信多文化共生ネットワーク、信大生、高校生) 【共催】 中央公民館 実行委員会を組織し企画運営。公民館は実行委員会のサポート役として参画。	新型コロナウイルス感染症の影響からZoomでのオンライン開催とした。ステージ・ブースは中央公民館6階ホールにて撮影、リアルタイムで配信した。オンライン開催だったため、県外、国外からの参加者も多くみられた。	
松本市公民館運営審議会	7月29日 9月29日 11月29日 2月17日	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	57人	・公民館事業の企画実施について調査審議する。 ・主として全市対象事業について、審議。 ・令和3年度は、地域づくり実行計画、地域づくりセンターとの関係などについて審議		・8月に委員の改選あり。 ・地域づくり実行計画の審議などを活発に行った。 ・4回のうち、オンライン会議を1回開催	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業	4月～3月		地域事業 (その他)	成人	60人	松本市と東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業として、町会単位で円滑な人間関係を構築し、町内公民館を活用して、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に、共に楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ」の構築を目指す。町内公民館の可能性を探りながら、新しい地域社会のあり方を住民の一番身近な町会単位から考え、実践し、「松本モデル」として発信する。コロナ禍の影響で、牧野教授と町会、市とのオンライン懇談やヒアリングが中心の取組みとなった。鷹匠町町会では、当事業での知見をもとに、多世代が楽しく地域を考える事業として、防災交流会を開催した。 中央公民館がモデル3町会への現地調査やヒアリングを行い、コロナ禍での取組みや課題について把握した。3月22日は、オンラインと対面のハイブリット形式で報告会を開催し、モデル3町会からの取組み報告及び牧野教授からの考察があった。	東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業とし開催	コロナ禍の影響でも、オンラインを活用し、ヒアリングや懇談会を実施できた。また、町会によっては活動を実現することができた。 なお、牧野教授からの提案を受け、令和4年度末まで事業を継続することになった。 今後は、事業終了後の各地区展開を見据えたまとめが必要	
第73回「お城盆踊り」	8月4日		地域事業 (文化)	成人		国宝松本城での盆踊りを通じて、市民と観光客がひと夏の思い出をつくることともに、郷土に伝わる民謡を市民が知って郷土に愛着と誇りをもってもらえるよう開催したい。また、踊り手の高齢化もあり、地域に伝わる民謡の保全を図る一助となりたい。踊りをとおして心身ともにリフレッシュを図り、健康寿命の延伸に繋げたい。	当日の実演担当の松本レクリエーション協会と、年間をとおして踊りの講習を行うとともに、当日どのようにすれば参加した方たちに踊りを伝える事ができるか等を検討した。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、お城盆踊りは中止とし、民謡の実演動画を松本城公園で撮影し、YouTubeにて配信した。 より大勢の方に民謡を知ってもらうため、広報方法や開催方法について、検討を進めていく。	
地域に伝わる民謡講習会	5月14日 ～3月13日	12回	地域文化	成人	108人	「お城盆踊り」の踊りの実演者の育成と、地域に伝わる民謡の周知と保存のために開催。中央公民館と城東公民館の両館で開催している。地区に地元の民謡が広まるようにしたい。	講師は、松本レクリエーション協会民謡部の会員による。	新規で受講する市民は少ないながらも関心を持って参加している。より多くの市民に受講してもらえよう、周知方法なども工夫したい。 「お城盆踊り」での踊りの実演者の育成という観点では踊りの継承につながる講習会になっている。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
景観から地域づくりを考えるプロジェクト 「看板学講座」	8月3日 ～12月3日	6回	その他	成人	90人	平成25年から2年間、文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の一環として開催されたものから始まり、「松本看板学会」として組織したプロジェクトチームにより、看板を切り口にまちの景観を考える講座を展開している。 令和3年度は、前期後期の2シーズン制とし、ZOOMなども使用しつつ、あらためて景観への理解を深め、看板と地域のつながりについて理解を深めた。	コーディネーターに倉澤聡氏（都市計画家）、コメンテーターに長谷川繁幸氏（建築士）・高田美果氏（イラストレーター）を迎え、都市政策課と連携するなかで、複数回講座の内容等について検討する。講座開催期間中も、参加者の様子や講座状況なども踏まえ、方向性等について検討したうえで、新規参加者を取り込むことを目的に、2シーズン制の講座とした。	シーズン1では、ZOOMでの講座を原則とし、「レトロ」をテーマに、まちあるきを行ったのち、それぞれの参加者から発表を行った。 シーズン2では、グループに分かれまちあるきを行い、看板をテーマにトラブルマップを作製した。	
日本語講座	4月～1月	23回	人権平和	その他	152人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週火曜日 19:00～20:30	ボランティアスタッフによる運営	夜間の講座であるため、十分なミーティングの時間が取れないことや教室運営の体制に苦慮している。ボランティアスタッフと密に関わり、主体的で継続的な運営体制を目指したい。コロナウイルス感染拡大防止のため、5月、6月、8月、9月、令和4年1月、2月、3月は休講とした。	
木曜午前ボランティア 日本語教室	4月～1月	32回	人権平和	成人	165人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週木曜日 10:00～11:30	ボランティアスタッフによる運営 共催：多文化共生プラザ	スタッフ会議、グループミーティングを行い、受講者およびスタッフの交流・連携を図っている。 コロナウイルス感染拡大防止のため、8月、9月、令和4年1月、2月、3月は休室としたが、1月、2月、3月は一部試験的にスタッフによるオンラインでの授業などを実施した。	
松本市ヤングにほんご教室 (共催事業)	4月～2月	77回	人権平和	青少年	125人	日本語を母語としない外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。 ●毎週木曜日 オンライン開催 ●毎週土曜日 午後1時～午後5時	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	学習時間の間に休憩時間を設け、生徒間のコミュニケーションを図っている。ボランティアの大半が大学生のため、授業やアルバイトとのスケジュール調整が難しく、また進級に伴い他地域への移転により安定的なスタッフの確保が難しい状況である。 コロナウイルス感染拡大防止のため、9月、令和4年1月～3月は対面式教室を休講とした。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
<p>未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い</p> <p>～第37回公民館研究集会 令和3年度地域づくり市民活動研究集会～</p>	<p>2月20日</p> <p>4月～2月に市民・職員で企画準備</p>	1回	地域事業(その他)	成人	300人	<p>「学び」を大切にする松本市の公民館の理念を柱に、住民、市民活動団体、行政職員等の様々な主体が一堂に会し、身近な課題への理解を深め、幅広い議論を通して、気づき、学び合いながら、自分にできることを発見し、実践することを生み出す場として、開催した。コロナ禍で見えてきたキーワード「やるかやらないかじゃない。どうやるかをみんなで考えることが大切」「多様性を力に変える学びと自治」を柱に、企画・開催した。プロセスに注目して実践事例を考察し、どの地域でも活きる気づきとつながりを得られる工夫をした。</p> <p><全体会> 開会式、基調講演・パネルディスカッション／松田武雄（松本大学総合経営学部教授）、パネリスト：設楽秀子（寿台ハッピー食堂コーディネーター）、鈴木幹夫（なかやま体験フェスタ 中山公民館長）、野村ロセルダ（地域のなかの多文化共生実践者）</p> <p>「多様性のなかの『学びと自治』」をテーマに、4施設6会場に分散し、対面とYouTubeライブ配信のハイブリット開催</p> <p><分科会> 6の分科会を設定。4施設6会場に分散し、対面とZOOMのハイブリット開催</p> <p>①いっしょに語ろう！～地域で共に輝く若者と住民たち～ ②子ども～子どものために、それぞれができること～ ③α×地縁組織＝多様な連携で生み出す新しい風 ④多様な地域学習が未来をつくる。～自分の地域のコト知っていますか～ ⑤「誰もが住みよいまちづくり」ってなんだろう？ ⑥多様性の中の学びと自治～地域の担い手の育ちと違いを認め合う多様性のある地域づくり～</p>	<p>市民実行委員及び公民館・関係課職員による実行委員会を組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会2回（オンライン形式） ・準備会、幹事会 3回 ・幹事・世話人合同会議 1回 ・その他、各分科会運営委員会、準備会、世話人会などを順次開催。延べ700人以上が企画準備参加 	<p>昨年度から、全体会や分科会テーマ選定方法を見直した。コロナ禍でも実践されている身近な地域での取組みを掘り起こした50以上の実践をもとに、分科会テーマを設定した。</p> <p>会場分散化とオンラインの活用により、コロナ禍での開催の実現性を高めるとともに、県外の参加も多数あり、ポストコロナにおいても、オンライン活用による多様な参加を進めたい。</p> <p>コロナ禍からの復興期に、多様性を力に変える学びをとおして、コミュニティを再生させるとともに、その過程自体が自治力を高めることが見えた。</p> <p>ポストコロナでの地域づくりや公民館活動につなげたい。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
日本語ボランティア きっかけ講座	なし	2回	人権平和	その他	0人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供する日本語教室において、学習支援を実施するボランティアスタッフのきっかけづくりとして講座を開催。	講師の佐藤佳子氏と相談し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	日本語教室も新型コロナウイルス感染症の影響で休講が相次ぎ、参加者も減少している中、ボランティアの活躍場所が保証できないとして令和3年度は開催を見送った。	
日本老民考	通年	11回	福祉健康	高齢者		世界情勢から日本の政治、戦中・戦後の日本社会、福祉などを切り口に日本の歩みを検証し、老後の生活（生き方）について意見交換するなかで、それぞれの生き方を考える。毎月1回第4金曜日に開催する。	手塚英男氏（社会教育実践者／『日本老民考-さまざまな老い それぞれの終い』著者）が設定したテーマ、参加者から提供される話題を切り口に、議論を展開。	コロナ禍の生活様式や情報の取捨選択について意見を交わすことも多々あり、混乱した世の中でも前向きに暮らすことのきっかけになっている。また、新聞の社説欄等から現代の社会情勢について意見を交わしたり、参加者が各々取り組んでいる活動を話題として取り上げ、情報交換を行った。会は参加者同士が自由に意見を交換できる空気であり、参加者の生きがいの場にもなっている。 新型コロナウイルス感染症拡大により、1回開催を中止	
3歳児健診時の絵本読み聞かせ	4月～2月	中止	子育て	その他	0人	中央保健センター3歳児健診に訪れた親子を対象に、読み聞かせを月1回実施。健診時の読み聞かせを通し、図書委員会の活動を周知、図書室の利用促進につなげる。	図書委員会 新型コロナウイルス対策のため中止	中央保健センターで実施する3歳児健診の方法が、新型コロナウイルス感染対策の対応になっているため、読み聞かせを実施することができなかった。 令和4年度は未定	
松本市出前講座 「いい街つくろう！ パートナーシップまとも」	通年		その他	その他		市役所やその他の行政機関などが行っている施策について市民から要望のあった講座を開講し、市民と職員がパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながら、共にいい街をつくっていく学びの講座	各課および関係機関に講座の継続開講や新規開講等の調査を行い、毎年出前講座メニューを更新している。 令和4年度のメニュー改定に向け、オンライン手続き及びオンライン受講を実現する検討を各課行い、要綱改正等を経て、講座のデジタル化を進めた。	コロナ禍の影響で、1～2月の約2カ月間、事業を中止した。 コロナ禍での講座の実施に苦慮したが、感染対策を工夫するなどし、実施数も例年の半分程度にまで戻った。 R4年度開始のオンライン申請・受講の積極的な活用を促したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
生涯学習支援登録制度 ※3月31日現在	通年		その他	成人		多様化する市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、地域で活動するグループや指導者を登録、情報提供をすることにより、市民の生涯学習活動を補助・促進するもの。 ○10月20日現在 登録数 指導者 159名 グループ 424団体		グループ登録の場合『学びの森いんふおめーしょん』に記事を掲載するための条件であることから、登録が活発である。指導者登録の場合は、新規登録者のみが『学びの森いんふおめーしょん』に掲載される。そのため、指導者の活用を地区公民館等に仲介する仕組みづくりが望まれる。新ホームページの運用開始に伴い、掲載情報の改善を進めるとともに、市民団体等と連携し情報発信媒体の多様化を進める。	
公民館館長会 ・ 定例会 ・ 理事会	通年 各月1回	25回	公民館委員会・各種会議等	その他	550人	館長相互の研修を図り、公民館活動の促進に寄与する。	・ 定例公民館館長会（毎月第3水曜日、午後1時30分から開催、研修内容は理事会で検討し、定例会議で正式に決定） ・ 理事会は、必要に応じて開催（原則として第2火曜日、午後1時30分～）	今年度は、防災とコミュニティスクールを中心に研修会を行い、主事会との合同研修ではオンラインで防災についての研修を行った。 10月の研修会では、今後の地域づくりセンターと公民館のあり方について臥雲市長と意見交換を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、姫路市からの視察研修と県外視察研修は中止となった。 新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、5月と1月は研修を中止し、連絡事項のみに開催となった。1月はZOOMを使用し、オンラインで開催した。	
公民館主事会 ・ 公民館主事研修会 ・ 主事会プロジェクト	通年 月2回	21回	公民館委員会・各種会議等	その他	623人	公民館主事の資質向上を図り、公民館活動の推進に寄与する。	・ 公民館主事研修会（毎月第2第4木曜日） ・ 幹事会（毎月第1月曜日） コロナの影響で、8月前半の主事研修会は中止したが、オンラインを活用し、原則実施した。	公民館主事としての知識・理解を深めるため、公民館の理念や実務的な内容を研修テーマに設定した。 また、地域の実践者等、住民との研修を行うことで、常に住民の声に寄り添う態度を養うことに努めた。本市の公民館活動や地域づくりの動向を相対的に捉えなおす機会となった。 コロナ禍対策として、主事研修会・幹事会共にリモート開催を取り入れた。主事会が試行の場となり、各地区での会議や事業でのオンライン活用につなげた。 公民館主事会プロジェクトを3チーム設置し、年間を通して有志で研究を行った。 ①貸館・公民館デジタル化チーム ②町内公民館振興・支援チーム ③フューチャーデザインチーム	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
松本市町内公民館館長会	通年	—	公民館委員会・各種会議等	その他	208人	<p>【ねらい】 各町内公民館の振興及び町内公民館相互の連絡を図るために必要な研修等を行う。</p> <p>【事業内容】 ★各種会議 ・総会（書面表決） ・理事会6回（うち2回書面開催）、三役・部長会10回、広報部7回（うち2回書面開催）、企画部1回、研修部3回 ★研修及び学習会（企画部） ・役員研修会（中止）（研修部） ・新任町内公民館館長研修会（午前午後の2部に分けて開催）、ブロック別研修会（動画資料作成、DVD又はYouTubeで視聴）（女性部） ・学習会（松本市文書館小松芳郎先生講義）、意見交換会2回、クラフト講座（計画するも中止） ★広報 ・「町内公民館長会だより」76号～78号の発行</p>	各地区町内公民館館長会からの代表者を理事として1名選出し、特任理事3名を加えて計38名で理事会を運営。会長1名、副会長3名、会計1名、事務局長1名、4つの専門部（企画・広報・研修・女性）を必要に応じて開催。	新型コロナウイルス感染症の影響から事業の中止等が相次いだ。 対策として、理事会では毎回Zoomでのオンライン参加も可能とした。対面でのブロック別研修会開催の代わりに、動画資料を作成した。各地区公民館での研修会でDVD視聴又は自宅でのYouTube視聴を促した。	
公民館報全市版編集委員会	通年	24回	公民館委員会・各種会議等	成人	463人	住民自らが編集する公民館の機関誌として、地域住民と公民館を結びつけ、地域課題・生活課題の学習素材を提供するとともに、将来への足跡として公民館活動を記録するもの。	各地区から1名ずつ編集委員を選出。また令和3年度より、大学生を1名委員に選出。委員長1名、副委員長4名を置く。	紙面構成の見直し等により、地域や生活・暮らしについて幅広く話し合うことができた。 今後、館報のデジタル化について、館報のあり方や発信方法などについて、改めて見つめなおすとともに、デジタル化について検討を進めていく。	
中央公民館図書委員会	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	その他	32人	中央公民館図書室を主な活動拠点として子どもから高齢者までを対象に、地域の特性を生かしながら、イベントや選書を行い、図書の普及を図る。 今年度は新型コロナウイルスの影響で例年参加している手まり時計まつり、3歳児健診の読み聞かせ、クッキー作りが中止となったため、選書、図書室の配置の見直し等を中心に行った。	委員5名。委員長を置く。	より使いやすい図書室にするよう検討することができた。図鑑や幼児向けの本、時事的な内容の本などを新たに導入した。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
中央公民館ネットワーク事業	通年		地域事業（その他）	その他		現在、各地区がどのような課題を抱え、何を重点に活動を展開しているのか等の地区情報を中央公民館が集約し、情報提供などを通じて地域と地域をつなげることで、各地区の活動へ活かす。 各地区の事業や会議へ参加したり、地域職員連絡会などに出席したりすることで、地域の情報を把握し他の地区へ発信する。	中央1、2、3、河西部、西南部、東南部、東山部の計全7ブロックに、中央公民館から担当職員を配置する。	地区企画支援担当者会議への出席、情報集約と発信の方法を要検討。	
公民館のこれまでとこれから	1月18日 2月16日 3月1日 3月22日	4回	その他	成人	56人	アフターコロナを見据え、今までの公民館の理念や目的を問い直し、今後の公民館活動につなげていく。	松本大学向井准教授をトータルコーディネーターとし、話題提供書に島内地区地域づくりセンター長、くるめオンライン公民館、東京大学牧野教授を話題提供者とし全4回で開催した。 最終回では、東京大学と協力して活動してきた、「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業」の報告会を行った。	あらためて公民館の目的や松本市の現状を知る良い機会となった。 オンラインを用いながらの開催となったが、参加者にとっても、どこにいても繋がれるということを実感できる良い場であった。 広報や周知については、今後要検討。	

令和3年度 事業報告の概要

第一地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一地区中北部は、地区内にお店のみ構える方が多いため、昼夜人口の差が大きことが特徴としてあげられる。地区内に生活拠点を置く住民は少ない。また、中南部の高層マンションでは、町会加入率が低いといったことから、地域づくりに対する住民の関心は低い傾向にある。 ・第一地区公民館では、 <ul style="list-style-type: none"> 地区内を知ることによって地域愛を醸成する 仲間を作るため、地域住民の交流の場を設ける 地域で安心して暮らすことができるよう、住民の学習の場を設ける を、基本として講座や事業を展開し、住民自身の手で地域づくりを進めることを基本とする。 ・事業は、地域づくりセンター、福祉ひろば、町会連合会、地区関係団体が様々な課題を共有し、協力し合い改善に向けて取り組む場とする。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区公民館における諸活動について地区関係団体と協議しながら実施をする。 										<ul style="list-style-type: none"> ・既存の事業講座については、開催曜日の変更、方法の検討を行い、今まで参加しなかった参加者を呼び込む工夫を行った結果として、少数ではあるが、新しい参加者が見込まれた。 ・新規事業として、地域での生きがい発見のための高齢者向け連続講座や、身近な場所での交流事業など開催し、多くの参加者を得ることができた。 ・今年度の企画には中心市街地の地区公民館合同で、地域の再発見を目的としたウォークラリーを開催し、大変多くの参加者あり、地域遺産に対する関心の高さを実感した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館事業を一部中止・延期が、住民の集う機会を減らさないために、感染防止対策を講じ、安心して参加してもらえると判断した事業を実施した。 ・今後も前年踏襲をするのではなく、その時々状況に応じて事業の見直しが必要である。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	1	4	0	3	0	0	1	4	1	0	3	0
延べ参加人数	27	162	84	138	0	52	0	0	100	39	0	0	205	0

令和3年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春のマレットゴルフ大会	4月24日	1回	地域事業 (体育)	成人	21人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。	【準備過程】 ・体育事業実行委員会企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・スポーツ協会	【評価と反省】 ・開催にあたり実行委員会で協議し、安心して参加してもらえるよう、感染防止策や熱中症対策を講じての実施となった。 ・新型コロナウイルスの影響で参加者の減少を心配したが、例年並みの参加者となり、マレットゴルフを通じて健康増進と交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・安全に大会運営ができるよう十分配慮し、地区体育事業の推進のため継続して実施したい。	
春の視察研修	5月26日	中止回	人権平和	成人		【内容】 ・第二次世界大戦下、ドイツ軍の迫害から逃れるユダヤ難民にに対しビザの発給をした杉原千畝の記念館を訪れる。 【ねらい】 ・人権の立場から、人道、博愛精神を学び、地区人権の意識高揚に活かす。	【準備過程】 ・町内公民館長会と企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・町内公民館長会、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・杉原千畝記念館を訪れる予定日前に、岐阜県の新型コロナウイルス感染警戒レベル5となったことから、中止とした。 【今後の方針】 ・申し込みも多かったことから地区の関心が対ことが伺われたため、今年度再度企画することとした。	
やしょうまつくり	6月16日	1回	地域文化	成人	17人	【内容】 ・やしょうまつくりの体験 【ねらい】 ・地域の伝統料理であるやしょうまつくりを体験し、伝統料理の理解を深める。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・コロナ禍で感染防止策を十分に取らなかったのが開催となった。出席者数も適切で対策は十分とれた。 【今後の方針】 ・地区のニーズを捉え企画を検討したい。	
夏のポーリング大会	7月17日	中止回	地域事業 (体育)	成人		【内容】 ・地域住民の交流と健康増進のため、ポーリング大会とミニ講座を併せて計画した。(講師：地区住民) 【ねらい】 ・屋外スポーツの実施が難しい夏の時期に屋内スポーツのポーリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。 【今後の方針】 ・夏の暑さで屋外スポーツの実施が厳しい時期に、地区住民の健康増進のため、室内で出来るスポーツを企画していきたい。	

令和3年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
食文化視察研修	9月30日	1回	地域文化	成人	18人	【内容】 ・伝統食である五平餅を飯田市下久堅の住民に学び、地域交流を行うとともに、他地域の食文化や歴史を学んだ。 【ねらい】 ・食に関する体験や交流を通じて、地区住民の豊かな食習慣を育み、他市町村の風土を活かした食文化を学ぶため、視察研修を開催する。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と企画を検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・五平餅づくりを教わりながら、下久堅地区の話や聞くなどの他地域の住民との交流ができた。 ・食生活改善推進協議会と視察研修の企画を検討し、連携して取り組むことができた。 【今後の方針】 ・食生活改善推進協議会と連携し、視察研修を通じて、今後も食育事業の充実を図りたい。	
秋のマレットゴルフ大会	10月23日	1回	地域事業(体育)	成人	18人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。	【準備過程】 ・体育事業実行委員会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・スポーツ協会	【評価と反省】 ・当初9月4日開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日付を変更し開催した。 ・マレットゴルフを通じて、運動不足解消と親睦を深めることができた。 【今後の方針】 ・地区体育事業の推進のため継続して実施したい。	
秋の視察研修	11月24日	1回	人権平和	成人	27人	【内容】 ・第二次世界大戦下、ドイツ軍の迫害から逃れるユダヤ難民にに対しビザの発給をした杉原千畝の記念館を訪れる。 【ねらい】 ・人権の立場から、人道、博愛精神を学び、地区人権の意識高揚に活かす。	【準備過程】 ・町内公民館長会と企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・町内公民館長会、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・杉原千畝記念館を視察し、戦時下における千畝の人道、博愛精神を知ることができた。・歴史や文化について知識を深めるだけでなく、人権問題に関しても学ぶ機会となった。 【今後の方針】 ・他市町村の歴史文化及び諸活動を学び、町内公民館活動へ生かすため、継続して実施していきたい。	
餅つき大会	12月11日	中止回	地域事業(文化)	青少年		【内容】 ・餅つきの体験と試食を計画した。 【ねらい】 ・昔ながらの臼と杵を用いた餅つきの体験を通して、食文化の伝承を図り、子どもから高齢者まで地域住民の交流を深めるもの。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、食生活改善推進協議会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・新型コロナまん延防止、衛生面の観点から、中止とした。 【今後の方針】 ・ついた餅を試食することへの衛生面の不安の声もあり、試食方法の検討が必要である。 ・世帯間交流の場となっているため、今度も継続して実施したい。	

令和3年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
そば打ち講座	12月14日	2回	地域文化	成人	21人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統食である蕎麦打ちを体験し、自身で年越しそばを打てるようになる。 (講師：地区住民) <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蕎麦打ちを体験しながら、地域住民の交流を深める。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内のそば打ち名人と入念な打ち合わせを行い、企画運営を行った。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止策の為、各回定員を10名として、午前午後2回を開催した。 ・一人1鉢(500g)を打ち、蕎麦打ちの基礎を学べることができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者も多く人気があるため、定期的に開催をし、サークル化を目指したい。 	
冬のボウリング大会	1月22日	中止回	地域事業 (体育)	成人		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流と健康増進のため、ボウリング大会とミニ講座を併せて計画した。 (講師：地区住民) <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外スポーツの実施が難しい冬の時期に屋内スポーツのボウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の寒さで屋外スポーツの実施が厳しい時期に、地区住民の健康増進のため、室内で出来るスポーツを企画していきたい。 	
歩いて探そうお宝探訪 ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	その他	82人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の見どころがちな史跡をウォークラリーで巡り、その後、講座で史跡について学んだ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて史跡をめぐることで、地域を再発見することで、地域愛を醸成する。 ・参加した住民同士が交流することで、地域間交流を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内6地区公民館の館長主事を中心に企画検討を行った。 ・各地区内広報、および市民タイムスで周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二、第三、東部、城東、大手公民館 ・第一、第二、第三、東部、城東、中央地区地域づくりセンター(福祉ひろばを含む) 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6館合同の企画として初開催であったが、各館協力し合い参加者からも好評であった。 ・めぐる史跡を絞り切れず、ウォークラリーコースが長くなってしまった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者から2回目を望む声が上がっており、継続して開催していきたい。 ・コース選定にあたっては、誰でも参加できるよう、コースの距離等を検討していきたい。 	

令和3年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
はじめよう！お散歩写真 初級編	5月～7月	3回	趣味教養	成人	28人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ初心者向け講座を開催。学習会2回、撮影会1回実施した。 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・初級編としたことで、新規参加者が参加し、講座に活気が出た。 ・土曜開催としたが、曜日開催による新規参加者はなかった。 【今後の方針】 ・写真撮影の楽しさを知ってもらえるよう、技術レベルに応じた講座を検討したい。	
生活の知恵講座	7月～10月	4回	その他	高齢者	100人	【内容】 ・地域で安心して生活できるよう、スマホ講座、後見制度、就活活動などの連続講座を行った。 【ねらい】 ・地域で安心して過ごせるように、高齢者が知りたいと思っている事項について学びの場を提供する。 ・学習していく中で、地域住民の交流を促進し、助け合いの一助とする。	【準備過程】 ・地域づくりセンター職員を中心に企画運営を行った。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・高齢福祉課 ・信州ソフトウェア協会 ・中央包括センター ・松本市弁護士会 ・成年後見支援センターかけはし ・松本市医師会	【評価と反省】 ・新規参加者をはじめ、多くの参加があり、関心の高さを実感できた。 ・各回時間が少なく、詳細な内容まで掘り下げて学習できなかった。 ・第2回（8/12）開催予定であった、ウォーキング講座は、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。 【今後の方針】 ・関心が高いことから、各テーマもう少し掘り下げた内容で開催していきたい。	
はじめよう！お散歩写真 中級編	9月～1月	2回	趣味教養	成人	24人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ講座を開催。撮影会2回実施した。 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため9月、12月、1月に予定した講座は全て中止した。 ・撮影会は、予定通り開催し撮影時の構図のとり方、撮影する際の心得などを学んだ。 【今後の方針】 ・写真撮影の楽しさを知ってもらえるよう、技術レベルに応じた講座を検討したい。	
はじめよう！お散歩写真 写真展	1月	1回	趣味教養	その他		【内容】 ・初めてのデジカメ講座参加者による写真展をMウイングふれあいロビーで開催した。 【ねらい】 ・参加者の活動成果を発表する場として開催するもの。 ・講座の存在を知ってもらい、講座への参加に繋げたい。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・作品を展示することにより、写真撮影に対するモチベーションが上がり、技術向上へとつながっている。 ・感染拡大に伴い期間短縮となった。 【今後の方針】 ・活動発表の場は必要であるため、今後も企画していきたい。	

令和3年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
広場だよ！全員集合！	10月～3月	1回	福祉健康	その他	19人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の身近な場所で講座などを行い、住民がより参加しやすい交流の場を設けるために開催した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加しやすいよう、身近な施設で講座等を行い、地域づくりにつなげる。 ・4年度から配置される生活支援コーディネーターの活動のきっかけとする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンター職員で企画運営をした。地区内広報で周知するほか、担当ブロックにチラシを配布した。 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンター、福祉広場 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所で講座を行うことで、今まで参加していなかった住民の参加が得られた。 ・当初10月から12月にかけて4回を企画したが、新型コロナの感染拡大を受け1回のみ開催となった。 ・仕切り直して3月にも1回計画したが同じく延期となってしまった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりや地区課題の吸い上げに有益であるため継続して実施したい。 	
かんたんストレッチ	通年	6回	福祉健康	成人	143人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士から転倒予防や筋力維持のための正しいストレッチ方法を学んだ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動初心者向けの講座として開催し、定期的実施することで運動習慣を身に付け、健康への意識向上を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師と職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ひろば事業推進協議会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力アップのための体操を中心に、参加者の体力維持に役立った。 ・新型コロナウイルス感染予防のため8月、9月、12～3月の計6回中止した。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力維持ができるよう、講師にプログラムの内容を相談しながら、実施していきたい。 	
すくすくひろば	通年	6回	子育て	家庭教育	84人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児と保護者を対象に、英語や親子体操、季節の行事などを取り入れ異なるテーマで、学びや遊びを実施した。 ・12月は食生活改善推進協議会が手作りおやつをプレゼントとして配付した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の子どもと保護者が気軽に交流できる場を設け、子育ての不安や悩み事が相談できる場として、子育て支援の推進を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生児童推進協議会、食生活改善推進協議会、福祉ひろば事業推進協議会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3密を回避すべく参加定員を設定したため、参加者は少なくなった。 ・人数は少ないながらも親子で楽しく交流する機会となった ・新型コロナウイルス感染予防のため5月、8月、9月、1～3月の6回中止した。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への支援は必要とされる事業であるため、テーマを検討して今後も実施していきたい。 	

令和3年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地域だよりの発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の情報や公民館と福祉ひろばの講座案内等を掲載した「地域だよりの」を、広報まつもとの配布に合せ毎月発行した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会連合会、地区団体、公民館、福祉ひろば等の諸活動について周知を図り、地域の活性化に向けて。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会連合会広報委員会で紙面の編集と発行を行った。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会連合会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は必要に応じ、新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起を掲載し啓発活動を行った。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域住民に見てもらえるようにするため、広報委員会で検討をしていきたい。 	
館報の発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第一地区版」公民館報を2カ月毎に編集発行した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の諸活動を記録、共有するため、地区住民から選出された委員によって編集を行う。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行月毎に館報委員会を開催し、内容等を検討した。 ・視聴覚委員会は、地区の「今」を写真として記録するため、季節の写真や行事等の写真を撮影し掲載した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館報委員会、視聴覚委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止となり、掲載記事に苦慮しながらも委員それぞれが、現状を把握する中で工夫を凝らして記事を掲載することができた。 ・各委員とは、館報委員会以外でもコミュニケーションを図り調整した。毎月発刊日を厳守することができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の諸活動を幅広く掲載できるよう、紙面の充実を図りたい。 	
公民館員会	通年	40回	公民館委員会・各種会議等	その他	205人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営、館報、文化、視聴覚、事業内容に応じた委員会を組織し、公民館事業を企画、運営、評価等を行った。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の公民館活動を推進する 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会ごとに随時開催した。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は当初の計画通りに委員会主催事業等を実施することができなかった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら、委員会活動の充実を図っていきたい。 	

令和3年度 事業報告の概要

第二地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 各種公民館事業の実施に際し、前年度事業をベースにして、それぞれの講座及び事業を継続実施した。前年度の反省を踏まえて各種事業のより一層の充実と、新規講座等開設を重点目標として取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症予防対策として、講座の前に消毒や換気を徹底した。また、コロナ禍で在宅時間が増えており、家での時間を充実させるための「そば打ち講座」、「コーヒーの淹れ方講座」等も企画し取り組んだ。 また、新規事業としてポッチャ大会を4回開催し大いに賑わった。 地域づくりセンターが作成した「地区診断書」、「地域福祉計画」を踏まえて、月1回の地区担当職員連絡会議に参加し、地域の課題を議論しながら地域づくりの一端を担っていく。</p>										<p>通年実施している講座については、参加者と講師の関係も良く、講座参加者からはとても楽しい講座だから継続実施して欲しいとの声が聞かれている。しかし、長年続く講座はマンネリ化や、サークル化が難しくなるため、来年度以降サークル化の話を進めていきたと考えている。 町会連合会よりポッチャ用具を2セット寄贈していただきポッチャ講習会1回、ポッチャ大会を4回開催することができた。ポッチャはパラリンピック公式種目にもなっており、地域での関心も高く多くの住民が参加した。 令和2年度から開催している、コーヒー講座も大好評だったため来年度も新型コロナウイルスの状況を見て開催していきたい。 新型コロナウイルスの影響で地区盆踊大会と文化祭を開催することができなかった。来年度は感染予防対策を講じて開催できるように計画したい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	0	0	3	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0
延べ 参加人数	0	0	0	107	0	550	434	0	0	0	0	0	0	0

令和3年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歌で健康力アップ講座	通年	10回	趣味教養	成人	225人	<p>【内容】 木次由美子先生を招いて、懐かしい曲を中心にオリジナル曲「第二地区讃歌」も歌いながら、発声により健康促進を図る。</p> <p>【ねらい】 発声による健康促進と、住民相互の親睦を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備</p>	<p>【評価と反省】 大人気講座。第二地区オリジナル曲「第二地区讃歌（せせらぎに寄せて・・・）」は、当講座から生まれた曲である。今では、第二地区の各種行事で地域住民が歌い、地域に定着している定番の地区オリジナル曲となっている。</p> <p>【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。</p>	
にこにこ体操講座	通年	21回	スポーツ	成人	312人	<p>【内容】 ゆっくりとしたストレッチを中心に、健康増進を目的とした体操教室。</p> <p>【ねらい】 高齢者の健康促進、住民相互の親睦を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備</p>	<p>【評価と反省】 参加者は高齢者が多く、日常生活の中で無理なく健康管理ができると好評。 高齢者の転倒防止や膝・腰痛予防にもなり、人気の講座として定着している。</p> <p>【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。</p>	
やさしい手話講座	通年	19回	趣味教養	成人	169人	<p>【内容】 講師を招き、テキストを中心に手話を学ぶ。</p> <p>【ねらい】 日常会話ができるようになることはもちろん、災害時等、有事の際にも役立てるよう手話を習得することを図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備</p>	<p>【評価と反省】 手話を通じて聴覚障害者の方々とのコミュニケーションが深められている。また、継続実施してきていることにより、受講者の手話能力レベルが上がってきており、日常会話等ができるようになってきている。 受講者の固定化が見られるため、今後は、新しい受講者の確保に努めていきたい。</p> <p>【今後の方針】 継続実施していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
楽しいパソコン講習会	通年	20回	趣味教養	成人	156人	【内容】 高齢者を中心に、ゆっくりとしたペースで繰り返し教えるパソコン講座。 【ねらい】 高齢者の生きがいづくりや認知症予防、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備	【評価と反省】 ゆっくり丁寧であり一人ひとりにやさしく指導していただいております。参加者から大変好評をもらっている教室。指先を動かしたり、考えたりしながら、親睦を深めながら実施できている。 【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。	
押し絵籠講習会	6～8月	7回	地域文化	成人	45人	【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ベラミ人形店）を講師として招き、本格的な松本押し絵籠を作製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵籠」を学び、その文化と技術を伝承することを図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 前年参加者へ声掛け 講師謝礼準備	【評価と反省】 張子の虎を題材に押し絵を作製した。 参加者の技術に差があるため、全員が同じ作業工程に進むことはできなかったものの、参加者同士が助け合うなどして、一つの作品を全員が完成させることができ有意義であった。 【今後の方針】 伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。	
マレットゴルフ&ウォーキング大会	6月	1回	スポーツ	成人	14人	【内容】 マレットゴルフ ウォーキング 【ねらい】 地区住民の親睦を深め、健康増進を図る。	【準備過程】 チラシを作成し地域住民へ周知 公用バス確保 賞品準備 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 心と身体がリフレッシュできたと喜びの声が聞けた。 【今後の方針】 健康増進には、楽しむことが大事であることから、参加者の声を大事にし、今後も継続実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウォーキング大会	10月	1回	スポーツ	成人	27人	<p>【内容】 上高地のウォーキングコース約5kmを歩く。</p> <p>【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進を図る。</p>	<p>【準備過程】 ウォーキング会場の選定 チラシを作成し地域住民へ周知 公用バス確保 講師の依頼</p> <p>【共催団体】 第二地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 紅葉シーズンに実施したことで、大変綺麗な紅葉を満喫しながらウォーキングが実施でき、参加者からは大好評であった。楽しく、清々しく歩けたことにより、心と身体のリフレッシュが図れた。</p> <p>【今後の方針】 高齢者にとっては大変長い距離のため、今回は、補助員として職員4名が参加した。今後は地区住民の中でリーダーを育成し住民が主体となって運営し継続していきたい。</p>	
歴史文化継承講演会	11月	1回	地域文化	成人	52人	<p>【内容】 馬場家住宅の窪田館長を講師として招き、地域の歴史や町名の由来を講演していただく。</p> <p>【ねらい】 第二地区の歴史文化の継承。</p>	<p>【準備過程】 チラシを作成し地域住民へ周知 歴史文化継承委員会の発足 講師依頼</p> <p>【共催団体】 ・歴史文化継承委員会 ・第二地区地域づくり協議会 ・町内公民館長会</p>	<p>【評価と反省】 数年前まで第二地区歴史談会として活動していた経過があり、令和2年度に歴史文化継承委員会として再出発した。 参加者からは、「それぞれの町名由来や歴史について講師から説明を聞き、改めて自分の住む地区について考えることができた」と大変好評であった。</p> <p>【今後の方針】 歴史文化継承委員会を中心に第二地区の歴史探訪等、また、まつもと文化遺産認定を目標に掲げて活動する。</p>	
ポッチャ大会	5～11月	4回	スポーツ	成人	81人	<p>【内容】 ポッチャ指導員を招き、ポッチャを体験する。</p> <p>【ねらい】 パラリンピックの正式種目でもあるポッチャを体験し、ポッチャの楽しさを知り、参加者同士の親睦を深める。</p>	<p>【準備過程】 チラシを作成し地域住民へ周知 ポッチャの用具購入</p> <p>【共催団体】 町会連合会 第二地区健康づくり推進委員会</p>	<p>【評価と反省】 ポッチャを体験して参加者からは、思ったより難しかった、とても楽しかった等、評価が高かった事業であった。各地区団体と共催事業であったが、連絡を密に取り合い大成功であったと感じている。</p> <p>【今後の方針】 健康づくり推進委員会と共催して事業を継続していく。講座内容については、今後検討していく。</p>	

令和3年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
干支の押し絵雛講習会	12月	1回	地域文化	成人	10人	<p>【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ペラミ人形店）を講師として招き、来年の干支を押し絵雛で作製する。</p> <p>【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵雛」を学び、その文化と技術を伝承することを図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 前年参加者へ声掛け 講師依頼 講師謝礼準備</p>	<p>【評価と反省】 長年続いている講習会で、参加者からは大変好評をいただいている。しかし、参加者が固定化してきている。さらに、12年以上続いているため、12支が揃った方は、参加を辞めていく傾向にある。新規参加者の確保に向け、周知方法等を検討していく必要がある。</p> <p>【今後の方針】 大事な伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告の概要

第三地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 「WITH コロナ」を掲げ、すべての地区行事・講座を中止するのではなく、いかにして開催ができるかを主催団体等と協議し、地区全体の活性化に努める。</p> <p>2 第三地区の講座に若い世代の参加者が少ないため、働く世代にも興味・関心が持ってもらえるような講座を企画していく。また講座参加率の上げるのしくみづくりを検討する。</p> <p>3 近年急速に進むデジタル化に取り残される人がいないようICT支援を推進する。</p> <p>4 CS事業のボランティアが高齢化・担い手不足となっていることから、人材育成のための講座を開講し新たな人材確保を目指す。</p>	<p>1 行事開催にあたり中止にするのではなく、コロナ対策を徹底することで開催ができるよう前向きな取り組みを進めた。そのためには主催団体とコロナ対策について話し合い、どのようにして開催するか都度意見を交わした。その結果主催団体も参加者も安心して参加できる行事にすることができたが、新たなコロナ対策が地域住民に浸透できておらず、円滑な運営ができない場面があった。</p> <p>2 地区住民との交流をする中で地区全体の問題を見つけ講座を企画することができた。また、ながの電子申請サービスによる電子申請を導入することで職員の勤務時間外でも申込み受付ができる環境を整備した。</p> <p>3 ICT支援として初心者向けのスマホ教室を開催し、今まで不安に感じていた操作に自信が持てたと好評であった。今後はZOOMやLINEなどのオンラインで交流できるよう支援をしていきたい。</p> <p>4 CS事業の人材育成にあたり、依頼の多い松本手まりづくりの講習会を開催した。講習会の開催により新たなボランティアも増え人材育成の一助となった。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	6	5	3	0	4	0	1	7	0	0	3	4	5
延べ 参加人数	0	146	255	23	0	43	0	0	624	0	0	292	191	745

令和3年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
初夏のグランドカバー講座	5月29日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 グランドカバーについて学び、自身の庭に応用できるようにする 【ねらい】 庭の手入れを楽にする技法を学びつつ、住民同士の交流を図る	【講師】 宮崎 愛華氏（花華ショップ）	【評価と反省】 第三地区は除草剤が撒けないため住民が草取りに苦慮している状況から企画をした。当日は、普段公民館に来ない人たちも多く参加し、参加者の中で情報共有をするなど住民同士の交流も深められた。	
水無月コンサート	6月13日	1回	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 あがたの森文化会館にて演奏会を実施 【ねらい】 住民同士や地域住民と児童・生徒との交流	【主催】 町内公民館長会	※新型コロナウイルスにより中止	
第三地区まちあるき ～美しい庭を楽しみながら地区を知ろう～	6月16日	1回	その他	成人	6人	【事業内容】 第三地区やその周辺にある美しい庭などを巡る 【ねらい】 生活・文化委員自身が地区について知る	【主催】 生活・文化委員会 ※委員対象の勉強会	【評価と反省】 委員自身が地区のことを知るために開催。地区の魅力を再発見してもらうきっかけとなったが、急遽企画したため花の見頃を過ぎてしまった。	
エアロビクス講座	7月20日	1回	福祉健康	成人	13人	【事業内容】 エアロビクス 【ねらい】 健康増進を図りつつ、普段利用しない柔剣道場を楽しんでもらう	【講師】 小林 文子氏（健康運動指導士）	【評価と反省】 参加者からは「普段利用しないので中に入れて新鮮だった」と好評だった。また、講座の内容から普段公民館に来ない住民の参加が多かった。	
あがたの森夏まつり	8月1日	1回	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 あがたの森公園での夏まつり（各町会の出店、青山様・ぼんぼんなど） 【ねらい】 住民同士の交流を図りつつ、青山様・ぼんぼんなど伝統文化を次世代に継承する	【主催】 あがたの森夏まつり実行委員会	※新型コロナウイルスにより中止	
富士見町トレッキング講座	8月28日	1回	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 富士見町でのトレッキング 【ねらい】 健康増進とともに住民同士の交流を図る		※新型コロナウイルスにより中止	
松本手まりづくり講座	9月28日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 松本手まりづくり体験 【ねらい】 伝統文化の継承	【講師】 鈴木 智恵子氏 森下 幸子氏	【評価と反省】 CS事業のボランティア育成講習も兼ねた講座であった。本格的な材料・作り方であったため、何度も作ったことがある人でも楽しめる为好評であった。	

令和3年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
お母さんのための リラックスヨガ講座	10月6日	1回	子育て	女性	10人	【事業内容】 未就園児の子をもつ母を対象にした ヨガ講座（託児付き） 【ねらい】 日々の育児のストレスを解消しつ つ、母親同士の交流を図る	【講師】 栗澤 康恵氏（ヨガ講師） ※託児保育あり	【評価と反省】 初めて託児付き講座を開催したが、母 親たちからはリフレッシュでき、子離 れのきっかけにもなったと好評であっ た。 トライあいの託児室だけだと足りず、 急遽施設の1階をすべて貸し切り対応 した。	
市議会のしくみ講座	10月12日	1回	その他	成人	6人	【事業内容】 部長を経験した市職員08から市議会 のしくみを学ぶ 【ねらい】 市政への関心を高めてもらう	【主催】 生活・文化委員会 【講師】 武井 保典氏（市職員08）	【評価と反省】 毎年議会に直接行き傍聴をしていたが コロナにより行けなかった。座学メイ ンであったが、配信動画を見ながら解 説をもらい、参加者にも内容を理解し てもらえた。	
第三地区作品展	11月6日 11月7日	1回	地域事業 (その他)	成人	292人	【事業内容】 地区住民や近隣学校の子どもたちが 制作した作品を展示 【ねらい】 作品を通じて地区住民、児童・生徒 との交流を図る	【主催】 町内公民館長会	【評価と反省】 コロナ禍ではあったが感染症対策を徹 底し開催することができた。密を避け るため片付けの時間を町会ごと分けた が伝達ができておらず結局密になって しまった。	
バスウォーキング講座 ～善光寺七福神めぐり ～	11月14日	1回	福祉健康	成人	20人	【事業内容】 長野市善光寺周辺にある七福神めぐ りウォーキング 【ねらい】 健康増進とともに住民同士の交流を 図る	【主催】 体育委員会 【ガイド】 長野市ガイド協会	【評価と反省】 昨年度から企画していたがコロナによ り何度も延期となっていた。ガイドか らの解説もあり楽しみながら歩けたと 好評であった。	
アロマで ハンドマッサージ	11月16日	1回	趣味教養	高齢者	14人	【事業内容】 アロマを活用して自宅でするハン ドマッサージを学びながら、認知症 に関する情報提供を行う 【ねらい】 気持ちのリフレッシュとともに、認 知症への理解を深める。	【主催】 公民館・東部地域包括支援セン ター 【共催】 地区生活支援員 【講師】 萬羽 奈津美氏（salon Vigorオー ナー、介護福祉士）	【評価と反省】 地区担当職員との合同開催であつた が、事務手続きや広報など連携して進 めることができた。高齢者対象のハン ドマッサージ講座は初めてであつたた め、参加者も新鮮な気持ちで楽しんで いただいた。	
広報まつもとをスマホ で読んでみよう	11月24日	1回	その他	成人	6人	【事業内容】 カタログポケットの使い方の説明 【ねらい】 スマホでの市政情報の入手に慣れて もらう	【講師】 秘書広報室職員（出前講座）	【評価と反省】 スマホ講座の応用編として開催した が、あまり参加者が集まらず町会役員 等に声をかけた。スマホに疎い方が多 かったため、スマホの操作方法を含め 説明していただいた。	

令和3年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
押絵雛で来年の干支を作ろう	12月9日	1回	地域文化	成人	0人	【事業内容】 押絵雛で来年の干支・寅を制作 【ねらい】 伝統文化の継承	【講師】 三村 隆彦氏（バラミ人形店店主）	【評価と反省】 昨年度参加者からの要望により開催したが、あまり人が集まらなかった。今年は難易度が高く、時間内に終わらない人もいた。	
しめ縄・お飾り講座	12月19日	1回	地域文化	成人	13人	【事業内容】 しめ縄・お飾りの制作 【ねらい】 伝統文化の継承	【講師】 吉澤 恵美子氏 他2名	【評価と反省】 例年開催している講座。今年は先生が代わり、しめ縄・お飾りに関する基礎知識も含め説明していただいた。	
源池小学校 松本手まりづくり	12月23日	1回	子育て	青少年	60人	【事業内容】 源池小学校5年生を対象とした松本手まりづくり体験 【ねらい】 伝統文化の継承と地区住民・児童との交流	【講師】 鈴木 智恵子氏 森下 幸子氏 ほか地元ボランティア6名	【評価と反省】 修学旅行の一環で体験する予定であったがコロナで中止となったため年末に実施した。先生に7割程度作ってもらっていたが、時間がかかり時間内に終わらない児童もいた。	○
お正月用フラワーアレンジメント講座	12月27日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 お正月に飾るフラワーアレンジメントの制作 【ねらい】 教養の向上とともに地区住民同士の交流を図る	【主催】 生活・文化委員会	【評価と反省】 例年開催している講座。お正月に飾る花をこの講座で用意する人も多く、毎年人気。	
インド舞踊講座 ～バラタナーティヤムに触れてみよう～	1月18日	1回	趣味教養	成人	7人	【事業内容】 南インドの古典舞踊バラタナーティヤムに関する講演と実演 【ねらい】 インド文化に対する差別意識をなくす	【主催】 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 コロナ感染者が急増しキャンセルも相次いだ。逆に密を避けた状態で開催できた。異文化について興味をもってもらうきっかけとなった。	
高めよう防災力！ ～ハザードマップを読んで災害に備えよう～	1月29日	1回	防災	成人	0人	【事業内容】 第三地区のハザードマップを活用し災害に関する知識を養う 【ねらい】 防災に対する意識を向上させ、詩人の防災への備えを見直すきっかけにしよう	【主催】 生活・文化委員会	※新型コロナウイルスにより中止	
歩いて探そうお宝探訪 ウォークラリー ～地域再発見～	3月21日	1回	福祉健康	成人	79人	【事業内容】 第一、第二、第三、東部、城東、中央地区の名所をウォークラリーをしながら巡る。 【ねらい】 普段目に留まらない名所を再発見してもらいながら、参加者同士の交流を図る。	主催：まちなかウォークラリー実行委員会 【講師】 後藤 芳孝氏（まつもと文化遺産保存活用協議会会長）	【評価と反省】 中央1ブロックと大手公民館の合同開催で、79名の参加者が集まった。まつもと市民芸術館小ホールを借り実施した大きなイベントであったが、各地区の職員にも協力してもらい円滑な運営を進めることができた。距離が長く30分ほど押ししてしまった。	

令和3年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
健康講座「正しく知ろう認知症」	5月8日 6月19日 7月10日 8月7日	4回	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 認知症に関する基礎知識、予防等について学ぶ 【ねらい】 認知症に対する知識・理解を深める	【主催】 体育委員会 【講師】 相澤病院（出前講座）	※新型コロナウイルスにより中止	
源池小学校 田植え稲刈り支援	5～10月	4回	子育て	青少年	65人	【事業内容】 5年生を対象に校内にある田んぼにて田植え、稲刈りの体験を行う 【ねらい】 児童たちの農業・自然環境に対する関心を高める	【講師】 高山 金久氏（第三地区まちづくり協議会幹事長） 降旗 都子氏（第三地区まちづくり協議会副会長）	【評価と反省】 例年支援しているCS事業。次の担い手を探しているが見つからない状況にある。	○
松本工業高校・第三地区まちづくり協議会とのアニメーション制作	5～3月		その他	青少年	50人	【事業内容】 第三地区まちづくり協議会が制作した歴史冊子「お蚕さまから生まれた街」を松本工業高校の学生有志がアニメーション化。アニメーション化を記念してイオンモールにてお披露目会を開催。	【主催】 松本工業高校 第三地区まちづくり協議会 【制作協力】 松本市文書館 ほか	【評価と反省】 松工生からの要望により制作が始まった。修正箇所の指導やイオンモールとの調整など裏方として協力をした。完成後は市公式YOUTUBEにアップロードするなどアニメーションを広める活動にも協力をした。	
源池小学校 クラブ活動支援	6月14日 6月28日	2回	子育て	青少年	120人	【事業内容】 地区住民が源池小学校の放課後クラブ活動（手芸や将棋など）の指導を行う 【ねらい】 地区住民・児童との交流を図る	【講師】 地元ボランティア数名	【評価と反省】 当初4回開催であったがコロナにより2回となった。地域住民からも児童と交流ができて楽しかったという声が多かった。	○
上高地ウォーキング講座①	6月14日 8月10日	2回	福祉健康	成人	34人	【事業内容】 上高地でのウォーキング 【ねらい】 健康増進とともに住民同士の交流を図る	【講師】 上條 恒嗣氏（1回目） 溝口 清志氏（2回目）	【評価と反省】 当初1回開催を予定していたが、すぐに定員に達してしまっため8月にも開催した。地元住民にガイドしてもらい知識を深めながら気持ちをリフレッシュすることができた。	
清水小学校家庭科支援	6～9月	15回	子育て	青少年	0人	【事業内容】 清水小学校5、6年生の家庭科授業を支援 【ねらい】 地区住民・児童との交流を図る	【講師】 地元ボランティア数名	※新型コロナウイルスにより中止	○
初心者のためのスマホ講座	9月29日 10月13日 10月27日	3回	その他	高齢者	35人	【事業内容】 スマホに関する基礎知識、操作方法を学ぶ 【ねらい】 スマホ操作に慣れることで、市政デジタル化に取り残される人をなくしていく	【講師】 ドコモショップイオンモール松本店	【評価と反省】 スマホを1から教わりたいという地域住民の要望により開催した。2人に1人補助もいたため、分からないことはすぐ聞くことができた。今後開催方法については講師と要相談。	

令和3年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
大切な人のために学び大切な人を守る護身術	1月15日 3月12日	2回	その他	成人	21人	【事業内容】 身体と心を守る方法を護身術の講師から学ぶ 【ねらい】 防犯意識の向上するとともに気持ちをコントロールする方法を学ぶ	【主催】 人権啓発推進協議会 【講師】 上條 成山氏（日本武芸司護身道八光流柔術総本部皆伝師範）	【評価と反省】 普段公民館にこない住民にも参加してもらえた。当初は実技メインにする予定であったがコロナにより座学がメインとなってしまった。	
あいさつ運動	4～3月	43回	その他	青少年	500人	【事業内容】 地区のボランティアが毎週金曜日の朝各箇所立ちあいさつ運動を行う。また、毎月第2金曜日はあがたの森にて近隣学校の児童・生徒とともにあいさつ運動を行う。	【経過】 あがたの森未来サミットから生まれ、地元ボランティア協力のもと運営	【評価と反省】 横断歩道に立つボランティアから、旗振り誘導のマニュアルを作成してほしいと依頼があったため、自転車推進課・松本警察署の協力のもと制作した。今度参加していただくボランティアにも配布予定。 あがたの森前でのあいさつ運動は、コロナ禍で松工以外の参加がなかったため今度呼びかけが必要。	○
公民館運営委員会	4～3月	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	48人			【評価と反省】 公民館の利用状況等の報告のみとなっているため、今後活発な意見が出るよう協議内容の再考が必要。	
館報編集委員	4～3月	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	68人			【評価と反省】 館報編集委員の中でも記事を書く人が固定化しているため、色々な人が執筆に携われるようにしていきたい。	
体育委員会	4～3月	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	35人			【評価と反省】 講座、イベントの企画・運営に積極的に参加してもらうことができた。今年度は1つしか主催講座ができなかったため、次年度はコロナ対策をしつつ実施していきたい。	
生活文化委員会	4～3月	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	40人			【評価と反省】 委員から意見がなかなか出ず主催講座の参加率も低い。今年度から主催講座アンケートを実施しその内容に沿った講座を企画した。次年度も引き続き実施し、より講座に参加してもらえるような工夫が必要。	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 ・だれもが安全・安心でいきいき暮らせる地域を目指す。 ・住民や地域に関わる方々に東部公民館を知ってもらい、また携わってもらえるよう事業を企画する。 ・各団体と連携・協力し事業を実施する。 ・できることで且つ継続していける事業に衣替えして行く。 <p>【主に取り組んだ事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住民同士の交流を促す事業（2回以上の新規事業） ウォーキング講座、玉子焼き講座、魚の煮付け講座、ペン習字講座等 2 全体講座・町内公民館出前講座 各団体主催の各種講座、町会連合会主催の交通安全と防災講座（計8回） 3 方針説明会の開催 4 住民の防災意識向上を促す事業 防災講座、地区別防災マップ点検等 5 伝統文化の継承 しめ縄作り講習会、三九郎マップ作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで中止となり計画どおり実施はできなかったが、文化祭やサークル発表会等地区全体が関わる事業や、新規講座を実施することができた。来年も感染症対策を徹底し計画通り実施していきたい。 ・地区団体との共催講座(全体講座)など、企画運営に住民が関わる講座も開催出来た。特に町内公民館を会場に全8回実施した交通安全と防災の取組みは、普段公民館に来られない方の参加もあり良かった。今後は福祉ひろばと連携しながら町内公民館で開催する取組みは継続して実施したい。 ・方針説明会では、地区の組織や目標、公民館とは、年間の事業計画等を周知し、理解と関心を深めるとともに、郷土への愛着と地域活動への参加意識を高めることができた。今後は新役員をメインに継続して取り組んでいきたい。 ・防災講座や防災マップ点検により、防災の重要性を再認識できるような事業ができた。引き続き継続していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	2	1	6	1	13	0	6	6	3	2	1	1	2
延べ 参加人数	0	93	0	175	32	397	0	226	76	106	376	0	296	0

令和3年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ講座	4月9日	中止	趣味教養	成人	0人	デジタル化する世の中に対応するため、スマートフォンの知識を学ぶ。		職員の人事異動により中止。要望はあるため、外部講師とするなど調整し、来年度以降実施できれば行いたい。	
ウォーク講座 「高遠城址公園」	4月14日	1回	福祉健康	成人	13人	福祉ひろばと共催し、ウォークによる健康増進と住民同士の交流を図るもの。	福祉ひろば	桜の時期とずれてしまったが、1時間ほど散策・ウォークができた。ウォーク講座は実施していきたい。	
ブロック別バス講座 「近代日本の夜明け 富岡製糸場へ」 【中止】	5月21日 6月30日 7月20日	中止	趣味教養	成人	0人	地区をブロック別に分けてバス見学会を行う事により、普段公民館を利用しない方々にも公民館を利用してもらうきっかけとなるのと同時に住民同士の交流を図るもの。	地区内各町会	コロナウイルスにより中止。住民同士の親睦を深める良い場となっているため、来年度以降も実施したい。	
方針説明会	5月21日 5月22日 5月24日 6月11日	5回	地域文化	成人	107人	東部地区の方針と取組について理解と関心を深めるとともに、郷土への愛着と地域活動への参加意識を高めるため、昨年度作成した「学習テキスト」をもとに活動の周知を図る。	町会連合会 福祉ひろば	地区の組織や目標、公民館とは、年間の事業計画等を周知し、地域活動への参加意識を高めることができた。今後は新役員をメインに継続して取り組んでいきたい。	
町内公民館出前講座 「交通安全・防災講座」	5月28日 6月25日 7月16日 9月24日 10月8日 10月29日 11月19日 12月17日	8回	防災	成人	99人	各町内公民館を会場に、交通安全と防災について学ぶ講座を実施した。講師：安協東町支部、コバポーシステム	町会連合会 町内公民館長会	予定していた全8回を実施することができた。参加人数は目標に達しなかったが、地区住民の交通安全と防災に関する知識を向上させることができた。来年度も内容を変えつつ実施していきたい。	
食育講座 「高原でわらび収穫体験」	6月2日	1回	地域文化	成人	14人	信州の食文化である山菜の一種わらびの収穫体験を通して、食文化を学ぶと共に住民同士の交流を深める。	東部地区町会連合会 地区内諸団体	食について考え、住民同士の親睦を深める良い場となった。バスの予約状況により来年度以降も実施したい。	
レベルアップ講座① 「ゴミの減量とリサイクル」	6月8日	1回	環境	成人	32人	環境業務課職員を講師に招き、環境に係る出前講座を実施するもの。	東部地区衛生部	ゴミのリサイクルについて考えるいい機会となった。来年度も実施したい。	
自然観察会 「ほたる祭り」	6月19日	中止	子育て	青少年	0人	辰野町のほたる祭りを見学し、自然環境について学ぶ。親子で参加できる事業で公民館を知ってもらう。	子ども育成会	コロナウイルスにより中止。	
レベルアップ講座② 避難行動計画 「マイタイムライン」	6月22日	1回	防災	成人	34人	危機管理課職員を講師に招き、防災に係る出前講座を実施するもの。	東部地区防災部	水害に備えた事前準備について知ることができ、防災への意識が高まった。防災に関する講座は引き続き実施したい。	
自然観察ウォーク講座 ① 「夏の上高地を散策しよう」	6月30日	1回	趣味教養	成人	20人	上高地へ赴き、健康のためウォーキングを実施するもの。		ブロック別バス講座の振替で実施。ガイドによる説明もあり、上高地について学ぶ良き機会となるとともに、健康増進にも繋がった。	

令和3年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
レベルアップ講座③ 「クロスロードゲーム」	7月6日	1回	防災	成人	22人	危機管理課職員を講師に招き、防災に係る出前講座を実施するもの。	東部地区日赤奉仕団	ゲームを用いながら楽しく防災への意識が高めることができた。防災に関する講座は引き続き実施したい。	
高原でマレットゴルフ	7月9日	1回	趣味教養	成人	20人	柵池高原のマレットゴルフ場へ行き、スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図るもの。		いつもとは違う環境でリフレッシュしながら、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。	
自然観察ウォーク講座② 「とにかくスーパの大きい乗鞍高原へ」	7月20日	1回	趣味教養	成人	23人	乗鞍高原へ赴き、健康のためウォーキングを実施するもの。		ブロック別バス講座の振替で実施。ガイドによる説明もあり、乗鞍高原について学ぶ良い機会となるとともに、健康増進にも繋がった。	
レベルアップ講座④ 「楽しいラジオ体操」	7月25日	1回	趣味教養	その他	230人	清水小学校のグラウンドで、ラジオ体操を実施するもの。	こども育成会	予想より多くの親子の参加があり、盛況であった。地域と子どもを繋ぐいい機会となったため、今後も継続していきたい。	
小学校書道事業における講師補助【中止】	例年7月	中止	その他	成人	0人	清水小学校からの要望を受け、公民館サークルに依頼し書道授業で補助を行うもの。地域住民が地域の子供たちと触れ合う機会となる。	楽しい書道教室	コロナウイルスにより中止。来年度実施したい。	○
ボウリング大会	8月8日	1回	地域事業(体育)	成人	64人	スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図るもの。	東部地区体育協会主催	スポーツを通して、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。	
自然観察ウォーク講座③ 「美しく自然豊かな美ヶ原高原へ」	8月20日	1回	趣味教養	成人	20人	美ヶ原高原へ赴き、健康のためウォーキングを実施するもの。		ガイドによる説明もあり、乗鞍高原について学ぶ良い機会となるとともに、健康増進にも繋がった。来年度も引き続き実施したい。	
東部地区防災祭【中止】	9月5日	1回	防災	成人	0人	東部地区防災緑地を会場に、防災に関する催しを行い、緑地の周知と防災意識を高める。	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	コロナウイルスにより中止。来年度実施したい。	
東部地区文化祭	10月15日 10月16日 10月17日	1回	地域事業(文化)	成人	203人	サークルや地区住民が日ごろの制作の成果を発表するもの。	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	昨年度に引き続きコロナ対応の為3日間の分散開催とした。年々展示品が減少傾向にある中、小学生の選挙ポスターや中学校の美術部作品を展示した。親子の参加が多くなるよう工夫していきたい。	
魚の煮付け講座	10月27日	1回	趣味教養	成人	12人	魚の煮付け(サバの味噌煮・甘辛煮)の作り方について学び、食育について考える機会とするもの。		地区内の料理屋の方を講師に招き、魚の捌き方からサバの味噌煮、甘辛煮等学んだ。最後は皆で食べ、参加者同士の親睦を深める良い機会となった。	
東部複合施設防災訓練	10月29日	1回	防災	成人	40人	公民館の訓練として非常通報や避難訓練を、地区の訓練として初期消火訓練を行った。	丸の内消防署 東部地区町会連合会 日赤奉仕団 防災部	火災の際、各職員がどのように行動するかを確認する貴重な機会となっている。年に1度の訓練であるので、今後も引き続き実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
マレットゴルフ大会	11月7日	1回	地域事業 (体育)	成人	27人	スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図った。	東部地区体育協会主催	9/12の振替にて開催。スポーツを通して、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。	
東部地区サークル発表会	11月14日	1回	地域事業 (文化)	成人	173人	演芸系のサークルが日ごろの成果を発表するもの。	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	例年出演していた複数のサークルが不参加となったため、個人の方にも出演依頼をし、初めて出演するサークルもあった。来年度は形を変えながら実施していきたい。	
松本押絵雑講習会 (干支作り)	11月25日	1回	地域文化	成人	10人	松本の歴史と文化を学ぶ。今年の干支「寅」を作成した。 講師 三村 隆彦		毎年恒例の講座。地区外や市外からの参加者もあり、松本の伝統文化である押絵雑への入り口として重要な講座である事を再認識した。	
レベルアップ講座⑤ 「防犯講座」	11月25日	1回	その他	成人	47人	地区の犯罪の発生状況や、あおり運転・特殊詐欺対策等を学び、地区内の防犯意識の向上を図るもの。	東部防犯協会	毎年1回開催している。自分の住んでいる地区の犯罪の発生状況等を詳しく知ることにより、住民の防犯意識の向上に繋がった。	
玉子焼き講座	12月1日	1回	趣味教養	成人	13人	玉子焼き・だし巻きの作り方について学び、食育について考える機会とするもの。		9/9の振替で開催。地区内の料理屋の方を講師に招き、2種類の玉子焼き学んだ。最後は皆で食べ、参加者同士の親睦を深める良い機会となった。	
やしょうま作りともちつき大会 【中止】	12月4日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	伝統食「やしょうま」作りと、餅つき体験を通して地域と日本の伝統文化を学ぶ。	東部地区子ども会育成つぼみの会 東部地区町会連合会 東部地区民生児童委員協議会	コロナウイルスにより中止。来年度実施したい。	
映画会とクイズ・抽選会 で楽しもう	12月4日	1回	趣味教養	成人	23人	親子で参加できる事業を実施。公民館へ足を運んでもらう機会を作るもの。	東部地区子ども会育成つぼみの会 東部地区町会連合会 東部地区民生児童委員協議会	やしょうまの振替で実施。ドラえもんをコンセプトにアニメ鑑賞、クイズ等で盛り上がった。公民館へ初めて来る方もいて、よい機会となった。	
レベルアップ講座⑥ 「防災講座」	12月8日	1回	防災	成人	31人	防災について学ぶと共に、地区別防災マップの点検を行い、最新の情報に修正を行うもの。	東部地区防災部	マップ点検は、自身の町会の危険個所や避難場所などを再確認することができる良い機会となった。引き続き毎年実施し、全戸配布をしたい。	
中学校書道事業における 講師補助	12月10日 ～ 12月15日	4回	その他	成人		清水中学校からの要望を受け、公民館サークルに依頼し書道授業で補助を行った。地域住民が地域の子供たちと触れ合う機会となった。	楽しい書道教室	毎年継続的に実施している。サークルも教えることを通じて自分たちの学習を深めており、双方にとって良い機会となっている。今後も継続していきたい。	○
特別講演会 「免疫力を高める音楽療法」	12月11日	1回	福祉健康	成人	80人	東部複合施設開設25周年を記念し、和合治久さんを講師に「免疫力を高める音楽療法」について講演会を行うもの。	東部地区人権啓発推進協議会	コロナかではあったが、多くの方にご参加いただき、参加者からは勉強になった等好評の声をいただいた。	

令和3年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄作り講習会	12月18日	1回	地域文化	成人	23人	しめ縄の作り方、飾り方などを学び、家族で新年を祝うもの。 講師 福澤 伸起		毎年実施しているが、多くの参加者がある。初めて参加する方や親子での参加もあり、日本の伝統文化を学ぶ良い機会となっている。	
年末大掃除会	12月28日	1回	その他	成人	29人	公民館利用サークルにより公民館の清掃を行うもの。		普段の清掃では手の届かない細かい部分まで綺麗にすることができた。普段中々出会わないサークル同士の親睦を深める良い機会となった。 引き続き実施したい。	
三九郎マップ作製		1回	地域文化	成人		女鳥羽川の河川敷で行われる三九郎を紹介するマップの作製。27年度開催したまちづくり講座をきっかけとして作成が始まったもの。「マップを作成する事」ではなく「女鳥羽川の魅力を伝えること」を目的として発行。		小・中学校や大型ショッピングモール、近隣の店舗等へ配布している。地域の伝統文化を伝える良いツールとなっている。	
新春 書初め大会	1月4日	1回	趣味教養	青少年	21人	地域の人達が学校に出された課題に取り組む子供達に書道の楽しさを教えることを目的に開催。 講師 楽しい書道教室の皆様	楽しい書道教室	毎年開催している。小・中学校の冬休みの課題である書き初めを地域の人達がサポートすると同時に、書道の楽しさを伝える良い機会となっている。	
歴史講座	1月13日	1回	地域文化	成人	21人	文化財課職員を講師に招き、地区内の文化財について出前講座を実施するもの。		地区内の歴史ある文化財について知ることができ、いい機会となった。 今後文化財を活用した講座や事業を実施していきたい。	
アートレクチャー講座【中止】	1月28日	中止	趣味教養	成人	0人	美術館主催の出前講座を実施するもの。	美術館	コロナウイルスにより中止。 来年度実施したい。	
レベルアップ講座⑦ ニューススポーツ講座 「健康太極拳」	2月15日	1回	地域事業 (体育)	成人	15人	太極拳を通して、健康増進と地域住民の交流を図るもの。	東部地区体育協会主催	初めての試みだったが好評であった。参加した方の中にはサークルで続けたいとの声もあり、サークルの活性化にも繋がった。	
ペン習字講座	3月1日 3月8日 3月15日 3月22日	4回	趣味教養	成人	15人	全4回の講座でボールペンできれいな字を書くコツを学ぶ。		地域の方の要望により企画実施。 予想よりも多くの参加があり好評であった。 サークル化も視野に入れていきたい。	
東部ひろばニュースの発行	通年	12回	その他	成人		東部地区福祉ひろばと共に発行			
松本市公民館報東部版の発行	通年	6回	その他	成人		隔月発行			
各種委員会	通年	29回	公民館委員会・各種会議等	成人	296人	五部門委員会の開催			

令和3年度 事業報告の概要

城北公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 コロナ禍におけるふれ愛の創出・継続 コロナ禍においても住民同士の「ふれ愛」の創出、継続を行うため、三密を避け、工夫しながら事業を実施する。</p> <p>2 地域との連携 住民の豊かな生活づくり、地域づくりのよりどころとして、住民が地域や暮らしについて主体的に考え、行動できるよう、公民館委員会を始めとした各種団体と次のとおり協議、連携し、住民と共に講座づくりを行う。 (1) 子どもを対象とした事業は、子ども会育成会や学校と連絡・協議して実施する。 (2) 地区公民館が地区の南端にしていることから、町内公民館と連携し、出張講座を実施する。</p> <p>3 地域住民の要望を取り入れた事業実施 事業内容や参加者が固定化しないよう、常に新しい講座を取り入れていく。</p>										<p>1 コロナ禍において、飲食を伴う事業等、延期や中止を余儀なくされたものもあったが、感染症対策を徹底し、住民の学習機会の確保、「ふれ愛」の創出・継続に努めた。</p> <p>2 通学路の横断危険箇所について、学校や子ども会育成会、行政と連携し、地区内での問題意識の共有、横断歩道移設に向けた協議を行った。 健康増進を目的とした講座を地区の北側に位置する町内公民館で実施し、地区公民館までアクセスできない住民の講座参加が得られた。</p> <p>3 公民館事業アンケートを実施し、当日行った講座の感想や今後希望する講座の内容を調査することで、住民が要望しやすい環境づくりを行った。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	3	1	7	17	3	1	3	2	2	0	6	1
延べ 参加人数	20	94	51	13	97	498	0	27	107	63	150	0	241	180

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
拾ヶ堰散策講座	4月15日	1回	環境	成人	18人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：安曇野市拾ヶ堰、安曇野郷土博物館、碌山美術館 ・拾ヶ堰を散策し、春の自然観察と歴史学習を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養向上。 ・健康増進。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別記「歴史とロマン講座」の講師に本講座の講師を依頼。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候にも恵まれた散策となった。 ・道路事情等から、当初の予定より長距離を歩くことになった。 ・安曇野郷土博物館で外来植物に関わる企画展が開催されており、別記「植物のタネの戦略を学ぶ」講座開催にもつながった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察講座として、場所を変えながら継続。 	
親子化石発掘体験講座	5月9日	1回	趣味教養	青少年	10人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：四賀化石館等 ・親子で化石館や断層の見学、化石発掘体験を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・自然科学への理解を深める。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した家族としての数は少なかったが、実際に化石を発掘する貴重な体験の場となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子向け事業として、内容を変えながら継続。 	
ウォーキング大会	5月15日	1回	地域事業(体育)	成人	30人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4コース(2.5km、4km、5km、6km)に分かれて地区内をウォーキングする。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・健康増進。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>共催：福祉ひろば・公民館体育部・住みよい町づくり協議会健康の部会・健康づくり推進員</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースの先導等、企画運営を住民自ら主体的に行った。 ・参加者は自分の体力に合わせてコースを選び、ウォーキングを楽しんだ。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
手作りパンとスイーツ講座	5月18日 6月20日 7月6日	3回	趣味教養	成人	35人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンと簡単なお菓子の作り方を学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・参加者の趣味の幅を広げる。 ・3回中1回を休日開催し、普段公民館に馴染みのない親子や若者の参加につなげる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日開催の回は、ほとんどが親子での参加となり、ねらいを達成した。 ・昨年度の反省を活かし、大人向け、親子向けにメニューの難易度を調整することで、いずれも時間内に終了できた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
マレットゴルフ大会	6月5日 11月6日	2回	地域事業 (体育)	成人	33人	【内容】 ・会場：アルプス公園 ・マレットゴルフを行う。 【ねらい】 ・運動不足解消。 ・健康増進。 ・参加者の交流。	【準備過程】 ・区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館体育部	【評価と反省】 ・道具や記念品の準備、当日の運営まで、体育部員の住民が全て主体的に行った。 ・常連の参加者が目立つが、和気あいあいとプレイしており、交流を深めることに寄与している。 【今後の方針】 ・継続。	
丸の内病院健康教室	6月9日 7月29日 11月26日 3月1日	3回	福祉健康	成人	39人	【内容】 ・講師：丸の内病院 ・地区住民が関心のある健康に関するテーマについて講座を行う。 ・第3回目は、町内公民館で試験的に実施。 【ねらい】 ・健康増進。 ・健康に関する知識を深める。 ・町内公民館での講座実施により、地区公民館に馴染みのない住民が公民館事業に触れる機会とする。	【準備過程】 ・町内公民館での講座実施について、町内公民館長会で相談、承諾を得た。 ・区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・3月の第4回目はコロナ禍で中止。 ・町内公民館での開催は初めてだったが、地区公民館の事業には見られなかった住民の参加もあり、ねらいを達成した。 【今後の方針】 ・町内公民館での実施も含めて継続。	
手話講座	6月14日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 ・講師：手話サークル ・簡単な日常会話の手話を学ぶ。 【ねらい】 ・手話を身近に感じてもらう。 ・手話サークルの増員。	【準備過程】 ・サークルから、メンバー減少の相談を受け、講座を企画・実施。 ・区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・より実践的に学べるよう、人数を絞って実施した。 ・参加者各自の名前の手話を講師が丁寧に教えたことで、手話に親しみをもつきっかけとなり、サークルの増員にもつながった。 【今後の方針】 ・手話サークル増員の目的を達成したため、終了。	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
開智小学校 クラブ活動支援	6月17日 7月1日 7月15日 9月9日 9月24日 10月14日 11月18日	3回	趣味教養	青少年	180人	【事業内容】 ・支援内容：囲碁将棋、手芸、化学、琴の各クラブ ・コミュニティスクール事業の一環として、開智小学校のクラブ活動での講師を地区住民が務める。 【ねらい】 ・地区住民と子どもとの交流。 ・課外授業の支援。	【準備過程】 ・学校長からクラブ活動の指導者について相談を受け、地区住民を中心に講師を打診。	【評価と反省】 ・当初は年7回実施予定だったが、コロナ禍により3回に短縮。 ・地区住民が講師を行うことで、地区と学校との連携強化及び新たな地区人材の発掘につながった。 【今後の方針】 ・学校の意向に応じて継続。	○
歴史とロマン講座	6月21日 7月12日 8月23日	3回	趣味教養	成人	62人	【事業内容】 ・講師：松本市文化財審議委員 ・長野県に關係する歴史について講義を行う。 【ねらい】 ・歴史学習。 ・教養向上。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・貴重な資料を交える等の講師の工夫により、人気の講座となっている。 ・古代から近現代まで、幅広い内容の講座となった。 【今後の方針】 ・継続。	
料理教室	6月25日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・料理教室を行う。 【ねらい】 ・料理技術の向上。 ・参加者の交流。	【準備過程】 ・コロナ禍により、昨年に引き続き、食生活改善推進委員（以下「食改」）との共催での実施は困難に。 ・食改と相談し、昨年と同様公民館単独で開催。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・今回のメニュー「よもぎ餅」が、家庭料理としてはあまり馴染みのないメニューであったことから興味を持った参加者が多かった。 ・公民館にあまり馴染みのない住民の参加も得られた。 【今後の方針】 ・講師や食改と開催方法を相談しながら継続。	
下栗の里視察研修	6月30日 10月11日	2回	環境	成人	24人	【事業内容】 ・行先：飯田市上村「下栗の里」 ・「下栗の里」の視察を行う。 【ねらい】 ・自然との共存を学ぶ。 ・参加者の交流。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・6月実施の際に、キャンセル待ち多数となったため、10月に追加実施した。 ・2回とも地元住民にガイドを依頼し、現地での生活ぶり等を詳細に聞くことができた。 【今後の方針】 ・自然観察講座として内容を変えながら継続。	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
育成会バス学習会	7月4日	1回	趣味教養	青少年	24人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：国営アルプスあづみの公園 ・自然の中で外遊びやネイチャークラフトといった経験をとおして学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの交流。 ・学校ではできない自然体験。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：子ども会育成会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少雨により、外遊びはできなかった。 ・急きよ、近隣の田淵行男記念館やわさび田湧水群公園を見学し、子どもたちも楽しむことができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
白馬五竜視察研修	7月21日	1回	環境	成人	20人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：白馬五竜高山植物園 ・高山植物を見学する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察。 ・参加者の交流。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な高山植物を見学することができた。 ・見学中は参加者相互に自発的な交流ができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察講座として内容を変えながら継続。 	
公民館で遊ぼう	7月30日	1回	趣味教養	青少年	40人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の小学生が買い物やお化け屋敷などを企画、運営する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の交流。 ・子ども自ら企画し実行することをとおした学習。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年1泊2日の日程で行なっているが、コロナ禍を受け、主催者と相談し、日程短縮、内容変更での実施を決定。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 ・7月17日には、参加児童を集めた事前打合せを実施。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：子ども会育成会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年の宿泊日程を短縮、調理体験をお弁当買い出し体験に変更する等、コロナ禍でも実施できる方法を主催者と模索した。 ・短縮日程の中でも、計画的な買い物ができるように仲間同士で相談する等、子どもの主体的な活動が見られた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
小中学生夏休み自習室	8月2日 ～ 8月20日	14回	子育て	青少年	25人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中の子ども達への自習室として、エアコンの効いた公民館の一室を期間中の開館日（平日）に開放する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な学習環境の提供。 ・子どもに公民館を身近に感じてもらう。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 ・企画運営委員からの発意を受け、日程や会場の広さ、学習指導できる人員の要否について、利用者アンケートを用意した。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用する子どもは固定化しつつあるが、実施期間中は毎日利用されており、ニーズがある。 ・利用者アンケートでは、日程や会場について現状で継続してほしいとの声、指導人員は不要との声が聞かれた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を参考に継続。 	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
平和を語る会	8月6日	1回	人権平和	成人	20人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：人権・男女共生課 ・同課の所有する人権啓発DVDの鑑賞 ・DVDの内容に基づく講演会 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発。 ・人権保護意識を高める。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：城北地区人権啓発推進協議会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師や内容の選定等の企画、運営を、主催者である住民自ら行っている。 ・今年度は、「松本市パートナーシップ宣誓制度」が開始されたことに伴い、性の多様性について学んだ。 ・耳慣れない用語も多かったが、講師が丁寧に説明することで、参加者にとっても新たな学びの多い場となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 	
文化部視察研修	8月25日 12月12日	1回	趣味教養	成人	19人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：小諸市 ・城下町や史跡等を訪ねる。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養の向上。 ・参加者の交流。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：公民館文化部 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察先や内容の企画や資料の準備等を主催者である公民館委員会文化部が主体的に行っている。 ・当初8月に実施予定だったが、コロナ禍により12月に延期した。冬の開催となったが、文化部員住民の案内により、様々な文化財を視察することができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 	
4館合同上高地視察	9月4日	中止	環境	成人	0人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：上高地 ・城北、大手、白板、安原の4館合同で上高地視察研修を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養の向上。 ・地区を超えた参加者の交流。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察講座として内容を変えながら継続。 	
タカの渡り観察会	9月23日	中止	環境	成人	0人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：奈川（白樺峠） ・「タカの渡り」を観察する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・環境保全意識の高揚。 ・野鳥に興味を持ってもらう。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察講座として内容を変えながら継続。 	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第21回ふれ愛まつり	9月25日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 ・地区文化祭を開催する。 【ねらい】 ・地域づくりの推進。 ・住民が行う学習の成果発表。 ・住民の交流。	【準備過程】 ・実行委員会を開催し、開催形式や日程、内容を検討。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：ふれ愛まつり実行委員会	【評価と反省】 ・コロナ禍により、日程短縮や規模縮小を実行委員会内で検討した。 ・実行委員会で設けた開催可否の基準に基づき、直近の警戒レベル上昇を受け、中止。 【今後の方針】 ・継続。	
健康講座	10月16日 11月20日	2回	福祉健康	成人	55人	【事業内容】 ・健康に関する講話、簡単なストレッチなどを行う。 【ねらい】 ・運動不足解消。 ・健康増進。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会 共催：城北公民館、福祉ひろば	【評価と反省】 ・例年はウォーキング講座を開催していたが、今年度は広く「健康」をテーマに、体力とは何か及びストレスケアの方法について学んだ。 ・講話と合わせて簡単なストレッチや筋力トレーニングを行い、コロナ禍で閉じこもりがちな参加者の健康増進につなげた。 【今後の方針】 ・住民の要望を交え、ウォーキング大会、ウォーキング講座も選択肢にしながら、継続。	
植物のタネの戦略を学ぶ	10月18日	1回	環境	成人	11人	【事業内容】 ・講師：安曇野郷土博物館学芸員 ・自然豊かなアルプス公園を散策し、植物の繁殖戦略について学ぶ。 【ねらい】 ・教養向上。 ・健康増進。	【準備過程】 ・当初は「外来種」をテーマにする予定だったが、講師と相談し、季節や会場から広く「植物の繁殖戦略」をテーマにした。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・前述の「拾ヶ堰散策講座」の中で観覧した企画展を受けて企画した。 ・地区に近いアルプス公園を会場とし、現地集合、解散で行なったところ、自家用車を持たない住民からは参加が難しいとの声もあった。 【今後の方針】 ・季節を変えながら継続。 ・地区近隣の会場であることから、当面は現地集合、解散の実施方式を継続。	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ファミリーコンサート	10月23日	1回	子育て	青少年	26人	【事業内容】 ・楽団ケ・セラによる親子向けのコンサートを行う。 【ねらい】 ・教養向上。 ・親子の交流。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・親子での参加は少なかったが、地域の大人と子どもが音楽鑑賞をとおして交流する機会となった。 ・障がい者の自立を目指す楽団を演奏に招いたことで、参加者の人権意識の高揚にもつながった。 【今後の方針】 ・継続。	
企画運営委員会 視察研修	10月25日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	8人	【事業内容】 ・行先：松代城跡等 ・県内の文化施設や史跡の視察を行う。 【ねらい】 ・県内の歴史や文化財についての理解を深める。 ・公民館事業の企画につながる知識、教養を深める。	【準備過程】 ・企画運営委員会の中で行先について協議・決定。	【評価と反省】 ・参加者は少なかったが、参加者の交流をより深めることができた。 【今後の方針】 ・継続。	
ハワイアンキルト講座	10月28日 11月 5日	2回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・ハワイアンキルトのランチオンマットの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流。 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・当初は1回開催の予定だったが、参加者の要望により2回開催した。 ・講座時間内の完成は難しいが、冬のこもりがちな時期に自宅で取り組む趣味の創出機会となった。 【今後の方針】 ・継続。	
古きを訪ね新しきを 悠学する講座	10月29日 11月 8日	2回	趣味教養	成人	42人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・県内の寺社仏閣、保有する仏像等について学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・教養向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・10月に事前学習、11月に現地での視察を行った。 ・事前に学習した内容を、現地で実際に見学することで、より深い学習を行うことができた。 【今後の方針】 ・継続。	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
秋の森で遊ぼう	11月7日	1回	環境	青少年	24人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：小学生 ・地区内の裏山で自然の遊びやアウトドアクッキング等を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏山での遊びを通じてアウトドアについて学ぶ。 	<p>【共催団体等】</p> <p>主催：公民館青年部 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により自粛生活を強いられた子どもたちにとってアウトドアに触れる機会になった。 ・公民館青年部として地区内の若い住民が率先して企画、運営し、内容も子どもたちが楽しめるように工夫している。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
普通救命講習会 (AED講習会)	11月10日	1回	防災	成人	27人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：丸の内消防署 ・AEDの使用方法を学ぶ普通救命講習を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いざという時に適切な対処ができる人材を育てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会長会、日赤奉仕団等、関係団体に通知。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：城北地区日赤奉仕団 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で講師側の基準に基づいて定員を限定して実施。 ・接触機会を減らすよう、例年から内容を変更して実施したが、AEDの使用等実践機会は確保されており、有意義な講習会となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
城北地区人権啓発推進協議会視察研修	11月12日	1回	平和人権	成人	16人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無言館を視察する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の更なる向上。 ・委員相互の交流を深め、日頃の啓発活動につなげる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発推進協議会委員に通知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察先の選定等、委員である住民が中心となって企画している。 ・無言館は何度か視察した経験のある住民もいたが、施設の規模や展示内容が変わっており、改めて有意義な視察となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
城北ふれ愛展示会	①11月15日 ～30日 ②12月3日 ～27日 ③1月17日 ～2月18日 ④2月14日 ～25日 ⑤1月～3月	5回	地域事業 (文化)	成人	150人	【事業内容】 ・地区文化祭「ふれ愛まつり」の中止を受け、地区住民やサークル等による作品展示会を開催する。 ①地区住民写真展 ②押絵サークル展 ③関係住民写真展 ④地区住民写真展 ⑤地区住民作品展（随時展示入替） 【ねらい】 ・活動成果発表機会の確保。 ・作品鑑賞をととした住民の交流。	【準備過程】 ・関係住民やサークルに対し作品展示について相談。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・住民同士の口コミにより、地区内外から観覧者が訪れた。 ・昨年度に続き2回続けて文化祭が中止となる中、活動成果発表及び住民の交流の場となった。 【今後の方針】 ・地区文化祭が中止された場合の代替案として必要に応じて継続。	
他地区をめぐる	11月16日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 ・講師：探訪先地区住民等 ・行先：安原地区 ・他地区を探訪し、歴史や文化財について学ぶ。 【ねらい】 ・他地区との交流・連携。 ・教養向上。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新規事業として、文化部員である住民が主体的に企画した。 ・近隣の安原地区を訪ね、歴史や文化財、またその保存への取組みについて安原地区住民から学んだ。 【今後の方針】 ・継続。	
珈琲焙煎講座	11月28日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 ・珈琲焙煎の方法を学ぶ。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げ、掘り下げる。 ・珈琲の健康に係る知識を深める。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・自分好みの焙煎具合を工夫するなどして楽しんだ。 ・試飲の際には参加者同士で味の感想を言い合いながら交流を深めた。 ・参加者が固定化しつつあるが、参加者からは年に1回は焙煎方法を確認できる場があったと良いと好評。 【今後の方針】 ・継続。	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
フラワーカップを作ろう	12月3日	1回	趣味教養	成人	11人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：地区住民 ・造花を使ったフラワーアレンジメントを学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味の幅を広げる。 ・参加者の交流。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内の水回りに花を飾ってはどうかという住民の意見から企画。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス風のアレンジを楽しんだ。 ・使用する花材を変えて、正月アレンジをしてみるという声が聞かれ、新たな趣味の創出機会となった。 ・次年度はリースが作りたいという要望があった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメントをテーマに内容を変えながら継続。 ・特に次年度はクリスマスリース作りがしたいという要望に沿って企画。 	
城北公民館年末大掃除	12月10日	1回	その他	成人	50人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館を利用している約50の団体からなる「城北友の会」が年に一度公民館の大掃除を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の美化、保全。 ・自ら利用する公共施設を大切にす意識を育む。 	<p>【共催団体等】</p> <p>主催：城北友の会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約半日の日程の中で、団体の枠を超えて協力し合い、大掃除を行うことができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
しめ縄作り講座	12月14日	1回	地域文化	成人	13人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：地区住民 ・正月のしめ縄の作り方を学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・日本の伝統であるしめ縄作りを学び、正月を彩る。 	<p>【準備過程】</p> <p>地区内全戸配付チラシにて周知。</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料となる藁の準備に講師にも多大な協力をいただいております。 ・当日は講師から教わるだけでなく、参加者同士で教え合う雰囲気が自然に作られ、交流が深められた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の講師からは終了したい意向が示されているため、別の講師を検討。 	
ケーキ作り教室	12月20日 1月14日 1月23日 2月4日	1回	趣味教養	成人	5人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーキ作りを学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・趣味の幅を広げる。 	<p>【準備過程】</p> <p>・地区内全戸配付チラシにて周知。</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、4回中1回目のみ実施。 ・1回目は、クリスマスと絡めて日程を設定したが、年末の多忙な時期のため、参加者が少なくなった、次年度は時期を検討したい。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
もちつき体験会	12月28日	1回	その他	青少年	30人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵と臼を使った餅つきを親子で体験する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流。 ・体験をととした文化理解。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年夏の「公民館に泊まって遊ぼう」にて餅つき大会を実施しているが、コロナ禍で餅つき体験が実施できていないため、企画。 ・区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの親子連れが参加した。餅つきだけでなく、その準備から主体的に手伝う子どももいた。 ・杵と臼を使った餅つきの機会が減っている昨今、貴重な機会となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の餅つき実施状況に応じて継続を検討。 	
書初め大会	1月4日	1回	その他	青少年	27人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：書道サークル講師 ・書初め大会を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正月行事に触れる。 ・講師の添削を受けながら書道技術を向上する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：子ども会育成会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年の恒例行事として実施した。 ・3名の講師が随時会場内を見回り、丁寧に指導した。 ・子ども達は隣同士見比べたりしながら書初めに意欲的に取り組んだ。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
スキーツアー	1月16日	中止	スポーツ	成人	0人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のスキー場でスキーに親しむ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬場の運動不足解消。 ・参加者の交流。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：城北地区健康づくり推進員会、住みよい町づくり協議会健康の部会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	
雪中キャベツ収穫体験	1月29日	中止	趣味教養	成人	0人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小谷村で雪中キャベツの収穫体験を行う。 ・雪に覆われた地域の資源について学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流。 ・小谷村について学ぶ。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続。 	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
軽スポーツ交流会	2月6日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 ・老若男女問わず楽しめる軽スポーツを行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消。 ・参加者の交流。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：城北公民館、公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・コロナ禍により中止。 【今後の方針】 ・継続。	
文化部講演会 極楽をのぞいてみましょう	2月18日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・絵図を元に、昔の人が極楽をどう捉えていたのか学ぶ。 【ねらい】 ・教養を深める。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・コロナ禍により中止（次年度へ延期）。 【今後の方針】 ・継続。	
ボウリング大会	2月26日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 ・町会対抗のボウリング大会を行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消。 ・参加者の交流。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・コロナ禍により中止。 【今後の方針】 ・継続。	
親子料理教室	3月19日	中止	子育て	家庭教育	0人	【事業内容】 ・食育事業の一環として、親子で料理を行う。 【ねらい】 ・親子で料理を学ぶ。 ・子どもの料理への関心を高める。	【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・コロナ禍により中止。 【今後の方針】 ・継続。	
企画運営委員会（会議）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	79人	【事業内容】 ・公民館運営のための委員会を開催する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・通年の公民館事業について、実施結果等を報告することをとおし、企画検討することができた。 ・また、各部門の事業についても情報共有することで連携強化に寄与した。 【今後の方針】 ・継続。	

令和3年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	112人	【事業内容】 ・館報城北地区版編集のための会議を開催する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・様々な役員や施設に着目し、改めて地区の活動等に目を向ける記事を取材、掲載した。 ・五部門委員会の中でも特に活動回数が多く、委員の負担が大きいことが例年の課題。 【今後の方針】 ・継続。	
館報記録	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	18人	【事業内容】 ・公民館事業及び地区内の活動を記録する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・委員同士で教え合いながら写真技術の更なる向上に努めた。 ・撮影した写真及び撮影者である委員の事業に対する所感を館内の展示を実施し、写真が住民の目に触れ、事業を振り返る機会を設けた。 【今後の方針】 ・継続。 ・館報編集委員との連携強化。	
文化部	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	6人	【事業内容】 ・ふれ愛まつり及び研修・講演会の打ち合わせを行う。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・下見を行なったうえで視察研修の行程を決定する等、委員が主体となって積極的に企画、運営している。 【今後の方針】 ・継続。	
体育部	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	18人	【事業内容】 ・ウォーキング大会、マレットゴルフ大会等の打ち合わせを行う。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・必要物品の準備、当日の運営等、委員自らが積極的に関わっている。 ・恒例行事であっても内容を変える等、参加者を飽きさせないよう工夫した。 【今後の方針】 ・継続。	

令和3年度 事業報告の概要

大手公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域住民がお互いに支え合っているよう住民の場づくり・関係づくりに取り組む。 ・前年に引き続き生きがいのある豊かな心の持てる地域を作るため、地域づくりセンターを中心に公民館や福祉ひろばが独自性を出しながら地区住民の多くの参加、参画を促し公民館事業のさらなる推進を目指す。 ・公民館委員会の活動をより充実させ、主体的な住民を育成する。 ・「人材の宝」を多く活用した事業の展開や、「自分がいなければこの行事はできない」という主体的な意識を少しでも持たせることで、地域への愛着と生きがいづくりにつなげてもらえるような「人づくり」を実施する。 ・松本城南・西外堀復元事業や内環状北線整備事業、新庁舎建て替え事業、新基幹博物館建設事業など、地区内のハード事業が目白押しであり、住民にも関心を持ってもらえるよう取り組む。 ・住民の知りたい、学びたい、やりたい思いを汲み取り、公民館事業をより充実させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉互助会での福祉活動、学びと交流を活かした公民館活動など、コロナと共生しながら行うことが出来た。地域包括ケアシステム体制の構築を進めたい。 ・図書・視聴覚委員会では、地区内の資源を保存し活用しようと提案があり、活動が広がりを見せている。 ・館報・運営委員会については定期開催ができたが、文化・体育委員会については活動を行うことが出来なかった。来年度の開館20周年に向け、活動に力を入れていきたい。 ・地区の団体役員は地区行事に積極的に参加しているが、参加メンバーの高齢化・固定化が顕著であり、新しい人材に乏しい現状がある。引き続き持続可能な地域づくりの推進に努めたい。 ・定着した要援護者優先避難所運営委員会では、さらなる協議を続け、地区の防災力高めることが出来た。 ・地区内のハード事業について関心を持つ住民に対し、行政説明会など学ぶ機会を提供することが出来た。さらに語る場や学習の機会を設けたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	10	4	8	5	7	0	1	3	1	2	5	3	3
延べ 参加人数	49	1040	130	62	150	273	0	200	85	31	50	650	285	115

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中央地区お花見会	4月	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	松本城の桜を楽しみながら、地区役員と住民の親睦、交流を図る。国宝がある地区に誇りを持つ機運を高める。	【準備過程】 地区町会連合会が主体となって開催方法について検討を行った。 【共催団体等】 地区町会連合会、福祉ひろば、社協地区支会	【評価と反省】 コロナ禍により今年度も中止となった。楽しみにしている地区住民もいるため、コロナと共存しながらどう実施するか検討したい。 【今後の方針】 継続開催	
高原ウォーク	5月25日	1回	福祉健康	成人	10人	高原の風を感じながらウォーキングを行い。高原植物を学び教養を深める。コロナ禍での運動不足を解消する。	【準備過程】 公民館、小谷村観光連盟で調整し参加募集 【共催団体】 地区高齢者クラブ	【評価と反省】 高山植物であるワラビやシオデ、他にもウツギなどの花について学ぶことが出来た。適度な勾配を歩き、運動不足を解消することが出来た。 【今後の方針等】 住民のニーズを把握し、高山植物についての学習の機会を提供していきたい。	
松本城 城西花壇整備支援	6月 10月	2回	環境	成人	100人	地元団体、近隣中学生のボランティアにより、松本城の西側にある花壇の植え替え作業を行う(春・秋各1回)。参加者の交流と、松本城を訪れる観光客や、通行人に花いっぱい運動のPRを行う。	【準備過程】 公民館が各団体、丸ノ内中学校へ協力を依頼 【共催団体】 地元各団体、丸ノ内中学校	【評価と課題】 松本城を訪れる人たちへのおもてなしとなっている。秋には丸ノ内中学生の生徒も参加し、生徒と地元住民の交流の場となった。 【今後の方針等】 世代間交流を行う貴重な場となっており、継続して開催したい	○
丸ノ内中学校 花壇整備	6月 11月	中止	環境	青少年	0人	丸ノ内中学校の来校者を明るく迎える目的で、緑化委員会の生徒と地域住民が交流しながら花植えを行う。	【準備過程】 公園緑地課と調整し花苗や肥料等を準備 【共催団体等】 地区ボランティア部会	【評価と反省】 コロナ禍により、生徒達との交流は中止とし、苗や培養土の材料を支給した。 【今後の方針】 学校からもありがたいと評価をいただいております。継続したい。	○
公民館花壇整備	6月 11月	2回	環境	成人	50人	地区住民の有志を募り、公民館の花壇を整備する。公民館へ愛着を持ってもらうとともに、住人同士の親睦を深める。	【準備過程】 公民館と緑化推進委員で日程や資材について検討 【共催団体等】 地区緑化推進委員、地区ボランティア部会、地元各団体	【評価と反省】 毎年大勢の参加があり、公民館の環境美化につながっている。資材運搬や花植えなど、主体的に作業に取り組んでいただいている。 【今後の方針】 継続開催	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康タイムス発行	6月	1回	福祉健康	成人	10人	公民館へ来ることの出来ない人たちへも健康づくりについての情報提供を行い、地区住民の健康増進の底上げを行う。	【準備過程】 編集委員会を開催し、内容について検討 【共催団体等】 地域づくりセンター、おおて坂36	【評価と反省】 テーマを「高血圧予防」とし、数値やレシピ、予防体操の紹介を行った。体操のモデルを「おおて坂36」に依頼し、地区へ高血圧予防を呼びかけることが出来た。 年3回の発行を予定していたが、1回の発行のみとなった。 【今後の方針】 継続するか改めて協議	
中央地区マレットゴルフ交流会	6月13日 9月27日	2回	地域事業(体育)	成人	31人	誰もが楽しめるマレットゴルフを通して、健康の増進と参加者同士の交流を図る。 (春1回、秋1回)	【準備過程】 地区体育協会と公民館で企画し、参加者募集 【共催団体等】 地区体育協会、地区マレットゴルフ同好会、大手公民館体育委員会	【評価と反省】 日頃の運動不足解消と交流が深まる良い機会となった。 体育協会からの補助を活用して景品を用意し、大会を盛り上げることが出来た。市民体育大会への参加もすることが出来た。 【今後の方針】 継続事業。年2回開催予定	
上高地自然体験観察会	6月20日	中止	環境	青少年	0人	上高地の雄大な自然に触れ、子ども達が自立心を育む体験、自然環境の仕組み等について学ぶ。	【準備過程】 公民館と子ども会育成会で日程調整。育成会で事業の周知、参加者募集。公民館でガイドの調整。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 コロナ禍のため中止となった。 【今後の方針】 継続開催 事業について見直し	
歴史探訪	7月5日	1回	人権平和	成人	21人	戦国時代に生き抜いた女城主に触れ、女城主ゆかりの山城「岩村城」を訪れ、歴史のまちなみをウォーキングし、女性の社会活躍について考える。	【準備過程】 募集チラシを全戸配布 【共催団体】 地区町会連合会、地区高齢者クラブ、福祉ひろば	【評価と課題】 山城の散策、当時の社会での女性の立ち位置を学び、現在の女性の社会進出について考えることが出来た。 【今後の方針等】 継続開催 松本城や林城など、市内の城や城址と絡め、学びを深めたい。	
日赤奉仕団中央分団視察研修	7月7日	1回	人権平和	成人	16人	満蒙開拓記念館を訪れ、開拓団の苦労や想いを慮り、平和について考える。	【準備過程】 日赤奉仕団中央分団が主催。公民館は事務の補助を行った。 【共催団体】	【評価と反省】 当時の生活や開拓団の想いを知り、平和のあり方や非常時の助け合いについて考えることが出来た。 【今後の方針】 継続開催 防災意識を高める研修の機会を検討	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
丸ノ内中学校 総合の時間支援	7月14日	1回	地域文化	青少年	15人	丸ノ内中学校の3年生が、総合の時間で、松本城の歴史を知りたいと要望があり、地区住民の講師を公民館で手配し、街歩きを行った。	【準備過程】 丸の内中学校と調整 講師の手配 【共催団体等】	【評価と反省】 学校のニーズに応えることが出来た。地区住民の出番を作り出すことが出来た。 【今後の方針】 単発で終わらないよう、今後の総合の時間においても、地区と関りを持ってもらえるよう学校へ投げかけたい。	○
塩の道ウォーク	7月19日	1回	地域文化	成人	7人	かつて塩が運ばれた「塩の道」をたどり、松本の生活や経済を支えた歴史を学ぶ。 新型コロナウイルスの感染拡大により、外出する機会が少なくなってしまった地区住民に対し、ウォーキングの機会を提供し、健康増進を図る。	【準備過程】 大手公民館と小谷村観光連盟で調整、ガイドの手配 公民館便りで周知 【共催団体】	【評価と反省】 前年に続いての企画。ガイドから様々な歴史を学びながら辿ることが出来た。当時の道が当時のまま保存されているなど、中央地区内の歴史文化の保存についても考えさせられる機会となった。 【今後の方針】 今回の続きを歩くなど、住民の意欲を引き出したい。	
長期休み子ども開放 (夏・春)	7月26日～ 8月20日 3月18日～ 4月5日	20回 12回	子育て	青少年	15人	子ども達に宿題の出来る場所を提供し、公民館は身近なところだと感じてもらうことを目的に実施	【準備過程】 地区内全戸配布で周知	【評価と反省】 コロナ禍であり、積極的に子どもを集めることはしなかったが、公民館を身近に感じてもらうことが出来た。 【今後の方針】 継続開催。子どもと地区住民との交流も図りたい。	
七夕まつり コンサート	7月30日	1回	地域文化	成人	30人	コンサートを開催し、七夕の文化に触れてもらうことを目的に開催。 笹を準備して公民館ホールに飾り、地区住民に願い事を記入してもらう。 コンサート内容：ピアノとヴァイオリンの饗宴 ピアノ：伊藤 訓子 ヴァイオリン：深沢 厚	【準備過程】 公民館と福祉ひろばで日程調整。 【共催団体等】 福祉ひろば	【評価と反省】 福祉ひろばと開催日を調整し、参加者の分断を防ぐことが出来た。七夕にちなんだ曲や馴染みのある曲を、生演奏で聴く機会を提供することが出来た。 【今後の方針】 継続開催。コロナ禍で開催できなかった「七夕ほうとう」作りも行いたい。	
中央地区 町内公民館長会 視察研修	8月2日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	町内公民館活動の振興を図るために開催	【準備過程】 視察地の選定 募集チラシの作成 【共催団体等】 中央地区町内公民館長会主催	【評価と反省】 コロナ禍により、中止とした。 【今後の方針】 継続開催。館長会で先行等についてしっかりと話し合いをしてもらう。	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
すいか割交流会	8月3日	1回	子育て	青少年	5人	家庭ではなかなか見られなくなった夏の行事であるスイカ割りを子ども達に体験してもらい、子どもの思い出づくりと家庭教育を支援する。公民館の存在を知ってもらう。	【準備過程】 子ども会育成会と日程調整 今井の農家塾へスイカの発注 【共催団体等】 中央地区子ども会育成会 地区住民有志	【評価と反省】 コロナ感染対策を徹底して開催することが出来た。制限がある中でも子どもに楽しんでもらえた。地区住民有志にテント設営など協力を得ることが出来た。 【今後の方針】 子ども達と地区住民が交流する貴重な場であり、今後も実施していきたい。	
青山様・ぼんぼん	8月8日	中止	地域文化	青少年	0人	ぼんぼん・青山様の実施。博物館から四柱神社までの往復。伝統行事の体験と継承を目的に開催	【準備過程】 子ども会育成会の支援 公民館は申請書類作成、備品の貸し出し、子どもの安全確保、写真撮影に協力 【共催団体等】 地区子ども会育成会主催	【評価と反省】 コロナ禍のため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催 伝統行事をどう継承・経験させていくかは課題。保護者が地域行事に関心を持てるよう、育成会と盛り上げていく必要がある。	
4地区合同上高地ウォーキング	9月4日	中止	福祉健康	成人	0人	健康増進を目的に上高地の自然に触れながらウォーキングを開催。城北、白板、安原、中央の4地区の住民の交流を深める。	【準備過程】 4地区の公民館で主催・企画 【共催団体等】	【評価と反省】 コロナ禍により中止となった。 【今後の方針】 地区を超えた公民館や住民の交流事業であり、継続を検討したい。	
昭和の松本を語る会	9月6日	中止	地域文化	成人	0人	昔のまちの様子を撮った写真を活用して、思い出を語る場を企画した。	【準備過程】 図書・視聴覚委員会と企画・検討	【評価と反省】 コロナ禍により中止となった。 【今後の方針】 引き続き、場づくりを推進したい。	
三世代ウォーク 乗鞍高原 滝巡り	9月12日	中止	健康福祉	成人	0人	三世代の交流機会の増、健康ふくりの場を提供し、乗鞍の自然に触れながらウォーキングを開催。	【準備過程】 公民館で主催・企画 【共催団体等】	【評価と反省】 コロナ禍により中止となった。 【今後の方針】 継続を検討したい。	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
デジカメ・スマホ撮影講座	9月～11月	4回	趣味教養	成人	35人	デジタルカメラやスマートフォンを用いた撮影方法を学び、教養を深める。教養を深めたあと、もみじ湖での撮影会を行った。	【準備過程】 カメラに詳しい住民に講師を依頼し、講師と企画を行った。	【評価と反省】 座学と実践を繰り返し、撮影方法を学ぶことができた。撮影の成果を皆で觀賞し、参加者の自己肯定感を醸成することが出来た。 【今後の方針等】 撮影した写真の展示会の検討 撮影会の企画の検討	
第17回中央地区ふれあい祭り	10月17日	中止	地域事業(文化)	成人	0人	「つなげよう中央地区の絆」をテーマに、各利用団体の成果発表、作品の展示、ステージ発表会の開催。子どもコーナーの設置、うどん類や農産物の販売等を実施。地区住民が企画を自ら考え、住民主体の地区行事として開催	【準備過程】 中央地区関係団体で実行委員会を組織、部門別に責任者を決め、大手公民館が事務局を担当	【評価と反省】 8月の実行委員会において、コロナ禍のため中止を決定。 【今後の方針】 継続開催。コロナ対策も含め、どう開催するか地区住民の議論を促しながら決定したい。	
美術館アートレクチャー講座	10月25日	1回	趣味教養	成人	3人	市立美術館に所蔵されている作品がカードになった「アートカード」を用いて、美術館を知り、教養を深める。	【準備過程】 市立美術館と調整 【共催団体等】 市立美術館	【評価と反省】 作者にまつわる話や、個々に異なる作品の見方を知るなど、新たな発見があった。 【今後の方針】 リニューアルオープンした美術館との連携を検討したい。	
秋の展示会	11月8日～11月10日	1回	趣味教養	成人	20人	中止となったふれあい祭りの代替策として、サークル活動の作品や個人作品を展示する機会を設けることを目的に開催	【準備過程】 作品募集チラシ配布 作品搬入・展示 作品搬出 【共催団体等】 利用団体「手習いの日」、「ニッコールクラブ」、「ハッセルブラッドフォトクラブ」	【評価と反省】 展示作品数は少なかったが、展示の機会を与えることが出来た。 【今後の方針】 秋だけに限らず、通年を通しての展示を企画したい。	
中央地区人権啓発推進協議会視察研修	11月15日	1回	人権平和	成人	12人	戦没画学生慰霊美術館「無言館」を訪れ、二度と筆を握る事が出来ずに戦死した遺作を見て戦争と平和を考える機会とする。	【準備過程】 推進協議会と公民館で企画・運営 【共催団体等】 中央地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 戦争のむごさ、悲しさ、虚しさを知る機会となった。 【今後の方針】 継続開催	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
利用団体大掃除	12月3日	1回	その他	成人	20人	公民館への感謝を込めて、利用団体の協力を得て大掃除を行う	【準備過程】 利用団体へ無理のない範囲で協力を依頼	【評価と反省】 積極的に参加いただく利用者もおり、公民館をきれいに利用しようという思いを感じる。 【今後の方針】 継続開催 利用者とのコミュニケーションを取る機会としても活用したい。	
企業訪問 木質バイオマス発電所見学	12月8日	1回	環境	成人	15人	木質バイオマス発電所を訪れ、持続可能な電力について考える機会とする。	【準備過程】 塩尻市農林課へガイド依頼 【共催団体等】 地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 木材の端材の利用や、ゼロカーボンでの発電など、将来の電力について考える機会となった。 【今後の方針】 継続開催	
クリスマスコンサート	12月16日	1回	子育て	青少年	10人	子育て親子の支援および生きがいをづくりに寄与することを目的に開催	【準備過程】 大手公民館で周知 【共催団体等】 中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 昨年に続き布野えいじ先生にクリスマスソングの発表をしてもらい、親子で楽しむことができました。 【今後の方針】 子どもが喜ぶ内容を検討し、福祉ひろばの協力を得て次年度も継続開催したい	
門松作り	12月22日	1回	地域文化	その他	10人	地区役員有志が集まり、大手公民館玄関前に高さ約2mの門松を設置	【準備過程】 公民館で材料調達や資材運搬の支援、当日の作業補助	【評価と反省】 役員の高齢化により、材料調達も困難になりつつあるが、毎年立派な門松を頂いている。 【今後の方針】 継続開催	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
世代間交流 中央地区餅つき大会	12月27日	1回	地域事業 (文化)	成人	50人	住民寄贈の木製の杵と臼を使い、子ども達に本格的な餅つきを体験してもらい、世代間交流を図る。	【準備過程】 福祉ひろばが材料の手配・役割分担の調整 町会役員が餅つきの補助 健康づくり推進員や民生委員が餅を丸めて提供 材料費等は町会連合会で負担 【共催団体等】 町会連合会、健康づくり推進員、民生・児童委員、町内公民館長会、日赤奉仕団、ボランティア部会、中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 コロナ対策を徹底して開催した。子どもからお年寄りまで多くの交流が生まれた。 【今後の方針】 子どもと高齢者が交流し、伝統的な餅つきを体験できる貴重な機会。次年度も継続開催。	
中央地区新春落語会	1月18日	中止	趣味教養	その他	0人	新春の中央地区に笑いを届ける企画として毎年開催。	【準備過程】 松本落語協会と日程調整 【共催団体等】 町会連合会、社協地区支会、福祉ひろば、町内公民館長会からなる実行委員会を組織	【評価と反省】 コロナ禍のため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催 落語ファンが増えるなど毎年好評いただいている。もっと落語を身近に感じてもらいたい。	
雪中ウォーク	1月22日	中止	福祉健康	成人	0人	雪上でのウォーキングを行い身体のバランス感覚と筋力を鍛える。雪国ならではの食糧の保存方法を学ぶ。	【準備過程】 小谷村観光連盟と調整 【共催団体等】 地区体育協会	【評価と反省】 コロナにより中止となった。 【今後の方針等】 参加者からリベンジの要望があり、企画していきたい。	
食育講座	2月～3月	2回	趣味教養	成人	15人	生きる源である「食」を学び、健康づくりと教養を深めるために開催。 ①おうちで味噌づくりにチャレンジ ②体の温まる料理 講師：水野尚子氏	【準備過程】 講師にレシピ作成を依頼。 【共催団体等】 健康づくり推進委員会が材料費を一部負担。	【評価と反省】 毎年人気の食育講座で、各コース好評をいただいている。 ①コロナ禍のため、各家庭で味噌の仕込みを体験してもらうこととし、公民館で体験は出来なかった。 ②講師指導のもと、食材のうまみを生かした減塩メニュー、たくさんの品目を使用したメニューを調理し、学ぶことが出来た。 【今後の方針】 継続開催 幅広いテーマで食育を進めたい。	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
6地区合同事業 地域再発見！歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	成人	82人	第一、第二、第三、城東、東部、中央の6地区の隠れた名所を再発見してもらい、地域に愛着を持ってもらう機運を醸成する。 ウォークラリーをしながらクイズを解き、ウォークラリー終了後は後藤先生の講義をお聞きし、隠れた名所の復習をする。	【準備課程】 6地区の公民館で実行委員会を組織 【共催団体】 各地区福祉ひろば、地域づくりセンター、生活支援員	【評価と反省】 参加者からまた参加したいと好評。改めて地域の魅力に触れる機会となった。 【今後の方針等】 継続開催。スタッフに地区住民を巻き込んでいきたい。	
企業訪問 日銀講座 日本銀行松本支店 見学	3月25日	1回	趣味教養	成人	15人	日本銀行の役割や紙幣の偽造防止技術を知り、暮らしとお金がどのように結びついているのかを学ぶ。	【準備課程】 日本銀行松本支店と調整 講師を日銀職員へ依頼 【共催団体】	【評価と反省】 お金や日本銀行の役割について分かりやすく説明していただき、参加者も楽しみながら学ぶことが出来た。 【今後の方針等】 対象年齢ごとの資料やDVDもあり、対象範囲を決め再度実施することも検討したい。	
かんたん体操コース	5月～3月	7回	福祉健康	成人	30人	コロナ禍により、外出が減った高齢者を支援するもの。	【準備過程】 アンケートを実施し参加者のニーズを把握 ニーズにあった講師の選定 【共催団体等】 中央地区体育協会から一部補助を受け開催	【評価と反省】 既存講座（いきいき元気大学）のを反映し企画した。 ラジオ体操の指導資格を持つ講師を選び、誰もが親しんでいるラジオ体操と脳トレを組み合わせた内容とした。 【今後の方針】 継続開催 町会でのサロン活動などに出向き、介護予防として実施することも検討したい。	
いきいき元気大学 (第11期・第12期)	4月～3月	17回	福祉健康	成人	250人	健康寿命延伸を目的に、毎回テーマを変えて開催。健康づくりと体力づくりに励む。脳トレやリズム運動、ストレッチ等を行う。 講師：百瀬みどり氏	【準備過程】 公民館と講師で日程調整。 参加者への周知は公民館。 テーマは講師へ一任。 【共催団体】 地区体育協会	【評価と反省】 コロナ対策として2回中止。 コロナによる報償費の減額のため、定期的な開催が危ぶまれたが、参加者と話し合いを行う中で、一部の開催を集金により実施し、参加者の意欲による自主的な開催が出来た。 【今後の方針】 今後も主催事業として継続開催 参加者の主体的な講座運営を模索したい。	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康アップ歌唱講座 (第23期・第24期)	4月～3月	15回	福祉健康	成人	200人	歌唱による健康増進のため、呼吸法、声帯の使い方など学び、心のケアも目指すことを目的に開催。 講師：木次由美子氏	【準備過程】 大手公民館と講師で日程調整。参加者への周知は公民館。 内容は講師へ一任。	【評価と反省】 コロナによる報償費の減額のため、定期的な開催が危ぶまれたが、参加者と話し合いを行う中で、有志によるサークルが試験的に立ち上げられ、主体的な活動につながった。 【今後の方針】 主催事業の継続とサークル立ち上げの支援を行い、主体的な住民育成へつなげたい。	
居酒屋公民館	4月～3月	7回	その他	成人	60人	「みんなで気軽にワイワイ!!!」をテーマに語り合う企画。住民の交流と、語り合いの中から生まれる住民の自主的な地域活動等につなげていけるよう毎月1回定期的に開催 「LPレコード観賞会」などを企画した。	【準備過程】 食べたいものや飲みたいお酒などは各人で用意 参加者で会場設営・片付け	【評価と反省】 コロナ対策として5回中止したが、感染症対策を行い実施することも出来た。地区の話題、社会の関心事など、毎回盛り上がっている。参加者から生まれる住民同士の連携や交流に期待したい。 【今後の方針】 住民の学習の場ともなるよう企画を検討したい。	
フラダンス講座	4月～3月	14回	福祉健康	成人	140人	地区住民の健康及び社会福祉の増進、心身のリフレッシュを目的として開催。 講師：KIYOMIさん	【準備過程】 講師と日程・内容調整 募集チラシを全戸配布	【評価と反省】 フラダンスの基礎を習い、課題曲を2曲覚える事が出来た。 【今後の方針】 継続開催 参加者と講座名を考えたい。 既存事業での発表を参加者へ提案していきたい。	
公民館五部門委員会	4月～3月	通年	公民館委員会・各種会議等	成人	260人	運営、館報、図書・視聴覚、文化、体育の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。 運営委員会は、社協企画委員会と合同で開催し、地区内各種団体を横につないで、情報交換や課題の共有などを行う。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 コロナにより活動できなかった委員会があった。コロナ禍でもどう活動するか検討したい。 【今後の方針】 各委員会の目的、取り組みについて再度確認したい。	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書・視聴覚委員会	4月～3月	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	25人	「平成のまちなみの記録を残す」ことを目的として活動し、①現在のまちなみを定点撮影して残す②昔と今の写真を対比出来るよう整理する③昔の写真を掘り起こす④昔の写真を活用する、の3つの柱として活動を行った。	【準備過程】 委員会において活動の方向性を協議	【評価と反省】 会の活動について検討し、特に定点観測と写真の整理に力を入れ継続することを決定した。 【今後の方針】 定点撮影を進め、写真の整理を行う。	
大手公民館要援護者優先避難所運営委員会	通年	13回	防災	成人	200人	運営委員会を組織化し、定期的に開催している。防災知識や避難所での役割を学び、平時から災害に備えることを目的とする。 班長会 年5回開催 委員会 年8回開催	【共催団体等】 大手公民館要援護者優先避難所運営委員会、中央地区自主防災会、町会連合会、中央地区地域づくりセンター	【評価と反省】 手話講座ややさしい日本語講座などを学習し、9月25日に避難所運営訓練を開催。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの改定に向けた話し合いを行うことができた。 また、班長会において訓練や委員会の内容を検討し、委員会へ提案した。 【今後の方針】 定期的に開催し、班ごとの活動内容を確認し、いざという時に動ける住民を増やしていきたい。	
中央っ子応援団	4月～3月	18回	子育て	成人	100人	地域でも子供たちを支援しようと、地元団体からなる「中央っ子応援団」を結成。 下校時の見守り活動について各団体と調整を行った。	【準備過程】 会議の招集や見守り当番の周知 【共催団体等】 地区各団体	【評価と反省】 開智学校側から大変ありがたいと感謝をされており、学校との連携や、コミュニティースクール事業の充実につなげたい。活動は月2回行うことができ、応援団の協力で感謝したい。 【今後の方針】 地域でも子どもを育てていくの重要性を地区住民へも投げかけていきたい。	
松本城の床磨き	5月～9月	中止	地域文化	成人	0人	松本城周辺に居住を構える地区として、子どもに限らず大人も市の宝である松本城に触れ関わり、後世に残していく責務があるとして全6回開催。床磨き終了後に研究専門員によるお話会にも参加	【準備過程】 松本城管理事務所主催の企画に公民館で申込み	【評価と反省】 コロナ禍により中止となった。 【今後の方針】 継続開催 国宝である松本城に、より愛着を持つ住民を増やしていきたい。	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ようこく朝市支援 城南あさ市支援	5月～11月	10回	地域事業 (その他)	高齢者	250人	①日頃閉じこもりがちの人たちを対象に、買い物しながら外出する場を提供する②出かけてきた人たちが安心して交流できる「居場所」を設けることを目的に実施	【準備過程】 関係団体からなる実行委員会を開催し、方向性を確認しながら実施 【共催団体等】 深山農業塾、波田商工会、四賀しのめの道バザール、関係町会	【評価と反省】 身近な買物の場となっている。また、お茶飲み場も設け、来場者の交流の場ともなっている。日頃閉じこもりがちの人たちに、声掛け・見守るためのツールとして朝市を活用しよう、という話になっている。 【今後の方針】 朝市の効果を確認し、継続開催	
中央地区福祉互助会 かかわり隊事業支援	4月～3月	通年	福祉健康	高齢者	100人	困っている人と、何とかしてあげたいと思っている人を繋げる事務局（福祉推進員）を設置し、ボランティア（協力会員）が援助を必要とする高齢者（利用会員）の依頼により、日常生活の中で発生する困り事の中からできる事を支援する安価な有償サービスを提供するもの	【準備過程】 中央地区地域づくりセンターと町会連合会の協働により事務局を設置。2月に1回の「かかわり隊員会議」を通して課題を議論し、情報を共有	【評価と反省】 立ち上げから6年が経過。新たに配置された生活支援員とともにちょっとした困り事の解消や困りごとを支援できる人を引き続き募集したい。 【今後の方針】 継続支援	
町会連合会支援	4月～3月	通年	地域事業 (その他)	その他	200人	地域拠点施設として信頼される公民館を目指すことを目的に、地区関係団体の総会資料印刷や通知文作成等に協力。定例町会長会議に同席することで、住民の生の声を聞き、課題や要望等を把握する。	【準備過程】 町会連合会がメインであるが、地域づくりセンター及び公民館で支援を行っている。	【評価と反省】 町会連合会の要望により、関係課を招いて三の丸エリアビジョンについての行政説明会を開催し、まちづくりを考える機会となった。新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の実施の可否について随時検討することが出来た。 【今後の方針】 継続支援	
社協中央地区支会支援	4月～3月	通年	地域事業 (その他)	その他	200人	各団体からなる企画委員会では、①情報交換、②課題共有、③ふれあい会食会の開催可否、企画の検討、④社協だよりの発行などについて協議を行った。	【準備過程】 公民館は地域づくりセンターとともに事務局立場として、召集や事務作業を分担	【評価と反省】 各団体に積極的に参加いただき、情報交換を行っている。さらに連携や事業企画へつなげたい。 住民が抱える課題が会議に反映され、解決策が話し合われることが必要。 【今後の方針】 継続支援	

令和3年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
早朝歩こう会支援	3月～11月	8回	福祉健康	成人	300人	3月～10月までの第2日曜日に開催。夏場朝6時から、それ以外は朝7時から実施。住民の健康増進と交流を図ることを目的に開催 11月は福祉ひろばと共催で講師を招いてウォーキングやストレッチの講習会を実施	【共催団体等】 中央地区町内公民館長会主催	【評価と反省】 20年以上続く事業。年々参加者が減りつつあるが、常時20人ほど集まる事業である。 松本城公園でのラジオ体操も参加者に好評。 【今後の方針】 継続支援	
初心者麻雀教室	6月～2月	19回	趣味教養	成人	200人	麻雀を初歩から習い、楽しみながら実践し、参加者の親睦を深め、居場所づくりを推進する。	【準備過程】 公民館でテキストのたたき台を作成し、地区の麻雀サークルメンバーに添削を依頼。当日は座学の講師を主事が行い、実践ではサークルメンバーに指導を依頼。 【共催団体等】 お達者雀サークル	【評価と反省】 意外にも女性の申込者が多く、やりたいが上級者の中にはいきなり入れないと思う住民ニーズを拾うことが出来た。教室からサークルへ参加する生徒もあり、サークルの活性化にもつながった。生徒同士の交流にもつながった。 【今後の方針等】 継続開催	
フューチャーデザインワークショップの開催	2月	1回	その他	その他	5人	フューチャーデザインワークショップ（FDWS）の手法を用いて、地区での未来の暮らしを、考える機会とする。	【準備過程】 総合戦略室と信州大学で研究 総合戦略室と地域づくり課、生涯学習課でFDWSのモデル地区について協議し、中央地区を選定 【共催団体等】 信州大学	【評価と反省】 地区担当職員と地区住民の合同でWSを開催することが出来た。48年後の未来について考える機会となった。過去の人々が松本城を残したように、私たちも未来へ残すべきものを考え、未来の選択肢を狭めることのないよう、地区での暮らしを考えていきたい。 【今後の方針等】 一般地区住民を交えての開催を検討	
開館20周年記念特別事業実行委員会	6月～3月	15回	公民館委員会・各種会議等	成人	150人	R4年度に開館20周年を迎える大手公民館での記念事業について、地区団体からなる実行委員会を組織し検討 20周年記念誌編集委員会を組織し、内容について検討	【準備過程】 公民館から各団体へ呼びかけ 【共催団体】 地区各団体、館報編集委員会	【評価と課題】 20周年を晴れやかに迎えようと事業の企画・検討を行うことが出来た。 【今後の方針等】 記念事業の実施に向け、さらに協議を行う。	

令和3年度 事業報告の概要

安原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区関係団体と連携して、地区内の一体感を生み出す事業を展開し、地域コミュニティの推進を図るとともに、地区の文化・福祉の向上を図る。 ・コミュニティスクール事業に関して、地区の学校（旭町小学校、旭町中学校）、またその他の教育機関（信州大学、美須ヶ丘高校、松本盲学校、松本養護学校分教室しなの木教室）と地域住民、学校同士のパイプ役として、相互を繋げられるような事業の展開を図り、課題の共有や解決方法の模索をする。 ・地区内にある武家屋敷「橋倉家住宅」や「十王堂跡」がまつもと文化遺産に認定されたことを受け、より一層地区の文化財保護事業を推進し、地区住民を中心に安原地区の歴史文化を知ってもらう。 ・コロナ禍によりZoomによるビデオ通話やPayPayによる電子決済サービスなどオンライン化が顕著に進んでいるが、地区住民の中にはそもそもスマートフォンに対する知識がなかったり、操作方法に戸惑ったりする方が少ないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も昨年度と同様、コロナの影響により夏祭りや文化祭が中止となった中で、新しくウォークラリーを企画し、実施することができた。また、同時に地区住民の文化・健康の増進に寄与するものとなった。 ・旭町小学校を中心にコミュニティスクール事業を実施した。これまで関わりのなかった地域住民の協力を得るなど、新しい人材発掘にも繋がられた。来年度は、高校生や大学生と連携して地域づくり等に繋がっていきたい。 ・市文化財課とともに橋倉家住宅の見学会を行ったり、十王堂跡に関する講演会を開催するなど、これまで以上に積極的な文化財保護事業を推進した。今後は、これらを活用してより多くの住民に知ってもらえるような取り組みを行う。 ・これまで開催していたパソコン講座に加え、スマホ講座を取り入れた。今後も定期的に開催し、地域のDX推進に繋がっていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	5	5	5	0	3	0	0	8	0	2	0	2	6
延べ 参加人数	25	348	187	395	0	160	0	0	209	0	68	0	81	250

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
旭町小学校3年生 安原地区歴史まち歩き 講座	5月26日	1回	地域文化	青少年	55人	【内容】 ・旭町小学校3年生を対象に、歴史研究会の会員がまち歩きをしながら、地区の歴史文化について説明をする。 【ねらい】 ・子どもたちに地区の歴史文化に触れてもらい、地域の宝に対する住民の思いを知る。	【準備過程】 ・旭町小学校3年生担任と打ち合わせ ・安原地区歴史研究会と打ち合わせ ・当日行程表の作成、確認 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・自身が住む町を実際に歩いて、文化財など見ながら学習することができ、子どもたちにも分かりやすい学習とすることができた。 【今後の方針】 ・内容を検討し、来年度も継続する	○
高齢者交流自然観察会	6月7日	1回	福祉健康	高齢者	26人	【事業内容】 ・豊科美術館、大王わさび農園、四賀化石（クジラ）発見場などを巡り、見識を深めるとともに、親睦を深めるため、自然観察会を実施。 【ねらい】 ・地区在住の引きこもりがちな高齢者を対象に、健康づくりの推進及び親睦を深める。	【準備過程】 ・社会福祉協議会地区支会と日程、行程などを打ち合わせ 【共催団体】 ・社会福祉協議会安原地区支会	【評価と反省】 ・コロナ禍により外出の機会が減っていた中で、自然観察を通して出歩くことで鬱蒼とした気分を晴らすとともに、健康増進に繋がる講座となった。また、住民同士が自身の知っている知識、名スポット等を紹介することで互いに学び合う機会となった。 【今後の方針】 ・来年度は内容、行程など変更して実施。	
善光寺街道探訪②	6月28日	1回	その他	成人	16人	【事業内容】 ・安原地区歴史研究会の会員を中心に、前年度実施した善光寺街道探訪第2弾（麻績宿～善光寺）を実施。ガイドの案内を聞きながら、各宿場を巡ったもの。 【ねらい】 ・安原地区を南北に横断する善光寺街道の知識を深め、文化財保護事業を推進する。	【準備過程】 ・安原地区歴史研究会と行程決め ・ガイドとの打ち合わせ ・各施設との日程調整 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・昨年度に引き続き善光寺街道に関する探訪を実施したことで、参加者がより興味を持つことができた。 【今後の方針】 ・一通り善光寺街道を実際に歩いて学習したことを地区の文化財保護事業に活かせるよう今後の活動を進める。 ・来年度も研究会内で学習したいものを決め、それに関する現地学習を実施する。	
食育講座 『お手軽、糖質オフ』 クッキング	7月21日	1回	その他	成人	10人	【事業内容】 ・話題の「糖」の選び方、摂り方などをZoomを使って学びながら、簡単な料理実習を行い食育に繋げる。 【ねらい】 ・日々の生活や自身の体に大きな影響を持つ「食」について正しい知識を身に付け、健康でいられることを目指す。	【準備過程】 ・講師と日程、講座内容の打ち合わせ ・当日必要物品の調達 ・東京在住講師とZoom接続テスト	【評価と反省】 ・当初3回のシリーズものとして企画していたが、コロナの影響により1回のみ開催となってしまった。学習のみZoomを使って実施した。 【今後の方針】 ・コロナの感染状況を踏まえながら、開催タイミングを見計らって講座を実施する。	

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
神秘的な「鎌池」癒しの散策 ～セラピーガイドが森の癒し体験をアドバイス！～	8月7日	1回	その他	成人	19人	【事業内容】 ・小谷村「鎌池」周辺を、セラピーガイドの案内を聞きながら散策する。 【ねらい】 ・住民同士の交流や普段味わうことのできない森の癒しを体験する。	【準備過程】 ・小谷村観光連盟と内容打ち合わせ ・各施設予約	【評価と反省】 ・セラピーガイドを付けたことで、ただ散策をするだけでなく、小谷の風土や植生等について深く知ることができ、参加者からも好評であった。 【今後の方針】 ・来年度も行程、内容等精査して実施	
夏休み子ども企画 バウムクーヘンをつくろう！	8月18日	1回	子育て	青少年	0人	【事業内容】 ・地区内に住み小・中学生を対象にバウムクーヘンづくりを体験してもらう。 【ねらい】 ・バウムクーヘンづくりを楽しむのと同時に、木の年輪についても勉強できる機会とする。	【準備過程】 ・寿さと山クラブに講師を依頼し、事前打ち合わせを実施	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・来年度の状況を鑑みて再度実施を検討する	
4地区合同上高地ウォーキング	9月4日	中止	その他	成人	0人	【事業内容】 ・中央第2ブロックの公民館4館合同で上高地ウォーキングを実施 【ねらい】 ・他地区の方と親睦を深めながら、上高地の景色や植物を味わう	【準備過程】 ・4館の主事を中心に当日の行程や内容を決める	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・来年度の状況を鑑みて再度実施を検討する	
あさば野実りの音楽フェスタ	9月25日	中止	人権平和	青少年	0人	【事業内容】 ・安原地区内の小・中・高・大学生が一同に会して音楽祭を実施 【ねらい】 ・安原地区住民と地区の児童、生徒が音楽を通じて交流を図る。また、子どもたち同士の縦の繋がりを生む機会とする。	【準備過程】 ・下記共催団体との開催可否協議、日程調整等を行う。 ・全戸配布のチラシにて広報する。 【共催団体】 ・安原地区まちづくり協議会 ・安原地区人権啓発推進協議会 ・安原地区町内公民館館長会 ・信州大学 ・松本美須々丘高校 ・旭町中学校 ・旭町小学校	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の検討をし、事業継続を図る	

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
満蒙開拓平和記念館人権研修	9月29日	1回	人権平和	成人	13人	【事業内容】 ・阿智村の「満蒙開拓平和記念館」の見学及び講演の視聴 【ねらい】 ・戦時中から現代までの人権の在り方について考え、参加者の今後の学び、人権の啓発活動に繋げてもらう	【準備過程】 ・施設側との日程調整 【共催団体】 ・安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・満蒙開拓団が辿った悲惨な歴史を深く知ることによって改めて戦争のひどさを痛感し、参加者からは、良い勉強になったとの声があった。 【今後の方針】 ・行先、内容を検討し、人権研修を継続する。	
旭町小学校1年生遠足支援	9月29日	1回	その他	高齢者	63人	【事業内容】 ・地区住民が旭町小学校1年生の遠足の引率をする 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保をするともに、お年寄り世代と子どもたちの交流を図る機会とする	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への参加呼びかけ	【評価と反省】 ・地区住民に引率していただくことで安心して遠足を行うことができた为学校側からお話をいただいた。 【今後の方針】 ・学校側の要望に応じて、来年度も継続する	○
第21回安原地区文化祭・ひろば祭り	10月17日～10月18日	中止	地域事業(文化)	その他	0人	【事業内容】 ・2日間に渡り、展示・ステージ発表・露店販売等を行う。また、子ども向けのイベントを開催する。 【ねらい】 ・安原地区全体の交流、地域活性化を図る	【準備過程】 ・下記共催団体と審議、打ち合わせを行う ・全戸配布のチラシで周知 【共催団体】 ・安原地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の見直しをし、事業継続を図る	
橋倉家見学会	10月17日～10月18日	1回	地域文化	その他	115人	【事業内容】 ・安原地区内にある武家屋敷「橋倉家住宅」の見学会を開催 【ねらい】 ・県宝にも指定されている橋倉家住宅を広く市民に知ってもらう	【準備過程】 ・市文化財課と日程調整 【共催団体】 ・市文化財課	【評価と反省】 ・100人を超える参加者があり、多くの参加者から歴史を知る良い機会となったと話をいただいた。 【今後の方針】 ・来年度も市文化財課と協力し、まち歩きなども絡めながら事業継続を図る	
旭町小学校6年生火縄銃学習	10月21日	1回	子育て	成人	2人	【事業内容】 ・信州松本藩鉄砲隊の方を講師に招き、旭町小学校6年生を対象に火縄銃の学習会を開催 【ねらい】 ・6年生の社会科の授業で火縄銃を学習際、実物を見ることでより深い勉強をすることができる	【準備過程】 ・地区住民、信州松本藩鉄砲隊の方との日程、授業内容打ち合わせ 【共催団体】 ・信州松本藩鉄砲隊	【評価と反省】 ・通常の授業では体験できない内容の授業を子どもたちが受けることができ、子どもたち・教諭ともに満足できるものとなった。 【今後の方針】 ・火縄銃に限らず、子どもたちの関心をひくような内容のものを学校側の要望に応じて実施したい	○

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
上高地ウォーキング	10月26日	1回	その他	成人	25人	【事業内容】 ・秋の上高地に行き、ガイドの解説を聞きながら自然観察会を行う。 【ねらい】 ・コロナ禍で家に籠りがちな地区住民の外出機会の創出及び、松本市の観光名所の知識を深める	【準備過程】 ・当日の講師の依頼 ・講師との内容打ち合わせ	【評価と反省】 ・ガイドの詳細な解説により、上高地をより深く知る機械となった。 【今後の方針】 ・内容を検討し、事業の継続を図る	
橋倉家「秋の読書会」	10月31日	1回	趣味教養	その他	20人	【事業内容】 ・県宝に指定されている橋倉家住宅内で読書を実施 【ねらい】 ・より多くの地区住民に橋倉家を知ってもらおうとともに、昔ながらの武家住宅内での読書をする雰囲気を楽しむ	【準備過程】 ・安原地区歴史研究会との日程調整、内容打ち合わせ 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・閑静な室内で昔ながらの雰囲気を感じながら読書を楽しむことができた と好評であった 【今後の方針】 ・内容を検討し、事業の継続を図る	
旭町小学校 スケート教室支援	11月2日	1回	子育て	高齢者	122人	【事業内容】 ・旭町小学校1、2年生のスケート教室で地区住民に補助に入ってもらおう 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保、地区住民と子どもたちの交流を図る	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への参加呼びかけ	【評価と反省】 ・主に最初の靴紐しばりをお手伝いいただき、子どもたちの滑走時間を十分に取ることでできた 【今後の方針】 ・学校側の要望に応じて、来年度も継続する	○
旭町小学校2年生 スイートポテトづくり	11月22日	1回	子育て	その他	63人	【事業内容】 ・子どもたちが学校で育てたサツマイモを使い、地区住民と一緒にスイートポテトを作る 【ねらい】 ・地区住民と子どもたちの交流機会の創出及び、食育について学ぶ	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への参加呼びかけ ・使用材料の調達	【評価と反省】 ・最後の仕上げ部分を子どもたちに手伝ってもらうことにしたことで、安全に楽しく事業を実施することができた 【今後の方針】 ・学校側の要望に応じて、事業の継続を図る	○
信州大学留学生との 異文化交流会	11月27日	1回	人権平和	その他	12人	【事業内容】 ・信州大学に在籍する留学生に自国の紹介や日本の印象等を話していただく 【ねらい】 ・異国の文化や観光名所を知り、また異国から見た日本の様子を知ること、異文化への理解を深めるとともに様々な文化を受容することについて考える機会とする。	【準備過程】 ・信州大学国際交流課との日程調整、内容打ち合わせ ・当日講師として来られる留学生との打ち合わせ 【共催団体】 ・安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・2年ぶりに信州大学留学生との交流会を実施することができ、海外の若者が考えている未来など面白い話を聞くことができた。 【今後の方針】 ・参加人数が少なかつたため、内容や周知方法等について少し改善をし、事業の継続を図りたい	

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
もちつき大会	12月5日	中止	地域文化	その他	0人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安原地区に住む子どもたちを集めて、もちつき大会を開催する <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては各家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化に触れる機会とする 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安原地区子ども会育成会が企画 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催方法の検討をして、事業の継続を図る 	
あさばのウォークラリー-2021	12月19日	1回	地域事業(文化)	その他	68人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の史跡10箇所にチェックポイントを設け、それに関連する問題を解きながらウォーキングを行う。終了後は、景品抽選会・カレーライスの提供をした <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングを通じて地区住民相互の親睦を深め、健康増進を図るとともに、地区内の史跡を巡ることを通して、歴史・文化に関心を持ち地区への愛着を深める 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催要項、ウォーキングマップの作成 ・景品買い出し ・各共催団体との内容打ち合わせ <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安原地区まちづくり協議会 ・安原地区民生児童委員協議会 ・安原地区健康づくり推進委員会 ・シフォンの会 ・安原地区町内公民館館長会 ・安原地区体育協会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急遽の実施となったため、色々準備不足があったと思われるが、各共催団体の協力のもと大盛況で終わることができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は実行委員会形式をとり、入念な準備を進める ・内容、時期等検討し、事業継続を図る 	
旭町小学校6年生歴史まち歩き学習	12月22日	1回	地域文化	青少年	55人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭町小学校6年生を対象に、歴史研究会の会員がまち歩きをしながら、地区の歴史文化について説明をする。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに地区の歴史文化に触れてもらい、地域の宝に対する住民の思いを知る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭町小学校6年生担任と打ち合わせ ・安原地区歴史研究会と打ち合わせ ・当日行程表の作成、確認 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安原地区歴史研究会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が住む町を実際に歩いて、文化財など見ながら学習することができ、子どもたちにも分かりやすい学習とすることができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を検討し、来年度も継続する 	○
福祉を語るつどい	3月5日	中止	福祉健康	成人	0人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和合治久さんを講師に招き、免疫力向上に寄与するとされる音楽療法について講演していただく <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的に流行している新型コロナウイルスの感染防止のため免疫力を向上させる方法について学ぶ 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和合治久さんとの日程調整、内容打ち合わせ ・全戸配布による周知 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会安原地区支会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期を変更し、再度計画・実施する 	

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
パソコン教室	通年	20回	趣味教養	その他	100人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基礎学習をおこなう。 ・毎月1回専門家を招き、日頃の不明点について解決し探求心の増幅を図る。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が教え合いながら行うことで、技能向上及び参加者交流を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配布チラシにて周知 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が得意分野を教え合うことで皆の知識向上につながった。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。 ・スマートフォンに関する講座の実施を検討する。 	
スローストレッチ教室	通年	16回	福祉健康	その他	176人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりとした動きの健康体操を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合ったストレッチ体操を行い健康寿命延伸につなげるもの。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配布チラシにて周知 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でのストレッチ体操ができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・講座の名称を変更するなどして講座の内容を分かりやすくしたところ、参加者の向上につながった。 ・新型コロナウイルス対策のため3月に行う予定の講座は中止した。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。 	
みんなのストレッチ講座	通年	9回	福祉健康	その他	82人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体幹を鍛える健康体操を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った体幹トレーニングを行い健康寿命延伸につなげるもの。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配布チラシにて周知 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲での体幹トレーニングができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。 	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
男のストレッチ講座	通年	8回	福祉健康	成人	64人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体幹を鍛える健康体操を行う。(男性向け) <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った体幹トレーニングを行い、健康寿命延伸につなげるもの。 ・男性の参加率を増やすために男性限定の講座を実施。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配布チラシにて周知 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任講師に依頼することで持続的で無理のない範囲での体幹トレーニングができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・男性限定にしたため、男性が来やすくなり、参加率の向上につながった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参加者が増えるような広報活動をする。 	
男の料理教室	偶数月第1金曜日	5回	その他	その他	22人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性を対象とした料理教室 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性に料理を学んでもらうことで、食育事業につなげる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配布チラシにて周知 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野の料理を何品も作るため、参加者からも様々な分野の料理が学べて良いと非常に好評であった。料理を作ることを通して食育を学び、地域住民の交流にもつながっている。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も継続する。 ・参加者増加を図る。 	
パンとスイーツ教室	奇数月第4金曜日	4回	その他	その他	54人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンとスイーツを中心とした料理教室 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンとスイーツ作りを通して食育、地区住民の交流、地域活性化を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全戸配布チラシにて周知 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師が1回の講座で2品～3品作るので、様々なパン、お菓子作りができたこと好評であった。食育、地域活性化に繋がっている。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も継続する。 	
スマホ講座	偶数月第2水曜日	5回	趣味教養	高齢者	40人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの基本的な使い方や参加者が普段使っていて分からないことを相談しながら解決していく <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化が進む中で特に高齢者がデジタル機器の取り扱いに困らないよう支援する 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催団体との日程、内容打ち合わせ <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太白琥珀会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から定期的に開催している講座であり、毎回一定数の参加者があり、需要があると思われる <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都度内容を検討しながら、事業の継続を図る 	

令和3年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
安原地区歴史研究会	毎月第4金曜日	14回	地域文化	成人	280人	【内容】 ・地区内の歴史を中心に、時には地区外の歴史まで幅広く学ぶ。 【ねらい】 ・各分野の歴史についての研鑽を積むだけでなく、地区住民の繋がりを深め、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・各講座の内容検討、確認	【評価と反省】 ・歴史について幅広く詳しく学ぶことができた。旭町小学校の地区歴史学習でも講師を務めるなど、広い範囲で活躍していただいた。 【今後の方針】 ・来年度も内容を工夫して継続する。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	62人	【内容】 ・安原地区公民館報の作成 【ねらい】 ・安原地区公民館報を通して、地区住民に地域の情報を発信する。	【準備過程】 ・公民館委員への会議通知送付	【評価と反省】 ・月1で会議を行い、どれも内容のある話し合いが持てた。 ・コロナ禍で事業の中止が相次ぎ、記事の選定に苦慮した。 【今後の方針】 ・内容の見直し等を行い、継続する。	
公民館運営委員会・文化委員会等合同会議	5月26日 6月9日 7月27日	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	19人	【内容】 ・公民館の運営、各種イベントについての打ち合わせ、反省会。 【ねらい】 ・安原地区公民館、地域の活性化につなげる。	【準備過程】 ・公民館運営委員長、文化委員長との打ち合わせ。 ・公民館委員への会議開催通知を送付。	【評価と反省】 ・開催回数を最低限にしたが、その分密度の濃い会議を行うことができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。	
旭町小学校・中学校あいさつ運動	通年	4回	子育て	青少年	50人	【内容】 ・旭町小西門、旭町中正門の前であいさつ運動を行う。 【ねらい】 ・地区住民が積極的にあいさつすることで小・中学生との交流、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・旭町学校応援団と打ち合わせ ・全戸配布の公民館だよりで周知 【共催団体】 ・旭町小学校学校応援団 ・安原地区町会連合会	【評価と反省】 ・事業が定着してきており、来てくださる地域の方も回数を重ねることに増えていった。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。	○

令和3年度 事業報告の概要

城東公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の北端、福祉複合施設の3階にある公民館ということで、地域住民が気軽に立ち寄ることが難しい条件にある。このため大勢の住民に足を運んでもらえるような多種多様の講座、事業を実施するよう留意している。またコロナ禍が続いている中、直近の感染拡大状況や開催方法を熟慮し、感染症予防と事業実施の両立を目指す。 ・講座終了後に参加者へアンケートを実施したり、直接参加者とコミュニケーションを取ったりすることで、地域住民の学びに対するニーズを講座に反映していくよう努めた。 ・公民館講座やコミュニティースクール事業を他地区と合同で行うことにより、単独館では行えなかった規模での開催や参加者へのきめ細かいサポートを行うことができ、地域愛の醸成や社会福祉への更なる貢献を図った。 										<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や講座参加者からの意見、要望の吸い上げに力を入れた結果、そこから企画した講座もいくつか行うことができた。今後も地域からのニーズや地域課題に沿った講座企画を行っていききたい。 ・昨年度から引き続きコロナ禍での公民館運営となった。感染拡大の影響でやむなく中止となった事業もあったため、次年度以降は感染拡大防止と公民館事業の推進のバランスを今まで以上に考慮していききたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	9	3	0	5	2	0	1	0	0	1	5	7
延べ参加人数	22	12	123	176	0	143	35	0	24	0	0	22	117	98

令和3年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
桜につられて松本城までウォーキング	4月8日	1回	福祉健康	成人	12人	【内容】 ・松本城までウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体】 城東地区福祉ひろば	・感染症予防対策を徹底した上で開催。コロナ禍の中で希薄になりがちな人と人との交流や、健康づくりに資することができた。	
子ども安全安心学校	7月30日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・防災、防犯について子どもと大人が一緒に学ぶ 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 子ども会育成会、日赤奉仕団、福祉ひろば、児童館他	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
第41回マレットゴルフ大会	6月28日	1回	スポーツ	成人	16人	【内容】 ・アルプス公園でマレットゴルフ大会を行う 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・コロナ禍での自粛ムードが続く中、屋外で体を動かす良い機会となった。	
夏休み子どもバーベキューツアー	8月3日	1回	子育て	青少年	25人	【内容】 ・子どもを対象に国営アルプスあづみの公園でアスレチックで遊んだり、奈川でバーベキューを行ったりして、子どもの自然学習と思い出作りを行う 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の世代間交流		・参加者同士の親睦、交流につながった。 ・次年度以降も継続していきたいが、バーベキュー等の当日準備が滞らないよう事前準備をより念入りに行いたい。	
盲学校の草取り作業	9月11日	1回	地域事業(その他)	成人	22人	【内容】 ・松本盲学校の草取り 【ねらい】 ・地域の絆を深める ・環境美化	【共催団体等】 城東地区環境衛生協議会	・地域住民の助け合いの精神がいかなく発揮された。 ・今後も継続していきたい。	
第42回マレットゴルフ大会	9月15日	1回	スポーツ	成人	19人	【内容】 ・アルプス公園でマレットゴルフ大会を行う 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・コロナ禍での自粛ムードが続く中、屋外で体を動かす良い機会となった。	
上高地散策	10月8日	1回	健康福祉	成人	23人	【内容】 ・上高地自然散策 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・自然学習や、参加者の健康づくりに役立った	

令和3年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権講座	11月25日	1回	人権平和	成人	22人	【内容】 ・長野県人権啓発推進センターを訪れ、人権について学ぶ 【ねらい】 ・人権意識の向上	【共催団体等】 ・城東地区人権啓発推進協議会	・人権意識向上に役立った。 ・協議会と実施内容を協議しながら継続実施したい。 ・講座については、次年度に再度計画したい。	
キムチ漬け講座	12月3日 12月4日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 ・簡単漬け物講座 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		・潤いのある生活に役立てた。 ・人気講座であるため、次年度以降も継続して開催していきたい。	
健康体操講座	12月17日	1回	健康福祉	成人	4人	【内容】 ・背骨コンディショニングに関する体操講座 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・参加者は少人数であったが、その分講師の目も行き届きやすく、満足度の高い講座となった。 ・健康に関する講座は地域住民からの要望も厚いので、今後も継続していきたい。	
留学生との新年交流会	1月8日	1回	地域文化	成人	16人	【内容】 ・留学生と地域住民が新年の遊びなどを通じて交流する 【ねらい】 ・留学生と参加住民の交流		・コロナ禍でも留学生と地域住民との交流を図る貴重な機会となった。 ・地域住民の参加が少ない。また、留学生の無断欠席も多いため対応を検討する。	
絵画教室	1月26日	1回	趣味教養	成人	6人	【内容】 ・地域の方を講師にお招きして、絵画に関する基本的な講座とスケッチを行う 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・地域住民が活躍できる場の創出		・準備不足もあり当日の進行が滞ってしまった場面もあった。事前準備と講師との打ち合わせは綿密に行いたい。 ・参加者からは今後の展開を期待する声が多かったため、次年度以降は連続講座等も検討していきたい。	
おやき作り講座	3月16日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 ・おやき作り 【ねらい】 ・食育、教養の向上 ・参加住民同士の交流		・食育及び参加者同士の交流に大いに役立った。 ・今後も郷土の文化に根付いた食育講座を企画していきたい。	
歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	その他	83人	【内容】 ・ウォークラリー ・ウォークラリーにて巡った史跡に関する歴史講座 【ねらい】 ・地域資源、財産の再発見 ・参加住民同士の交流	【主催】 まちなかウォークラリー実行委員会 (第一、二、三、東部、城東、大手公民館)	・地区合同講座として開催。単独館での企画より大規模に行うことができ、参加者同士はもちろんのこと、職員同士の連携醸成や地区間の情報共有にも役立った。	

令和3年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
そば打ち講座	5月～12月	8回	趣味教養	成人	56人	【内容】 ・公民館利用団体の方を講師にお招きしてのそば打ち講座 【ねらい】 ・食育、教養の向上 ・郷土食をすることによる郷土愛の醸成 ・参加住民同士の交流		・通年講座として企画したが参加者からの反応は良く、継続して参加される方も多かった。 ・次年度以降は内容の見直し等、更なる充実を図り新規の方も参加しやすい講座作りを心掛ける。	
歴史講座	7月～12月	4回	地域文化	成人	77人	【内容】 ・地域の歴史に関する講演 ・史跡を巡るウォーキング 【ねらい】 ・地域を深く知るにより、自分の住む地域に対する愛着を醸成する		・参加者も多く、地域に対する理解を深める一助となる講座となった。 ・今年度は全4回を講師1人にお任せする形となったので、次年度以降は別の方をお呼びするなど、内容を検討し発展させていきたい。	
ふるさと料理教室	8月～11月	4回	趣味教養	成人	61人	【内容】 ・県内のふるさと料理づくりと試食 最終回は、市バスで現地視察 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・ほほえみの会	・毎年恒例の講座であり、参加者からの人気も高い。 ・調理するレシピについては、参加者からの要望も取り入れて検討していきたい。	
スマホの取り扱い講座	11月～12月	3回	その他	高齢者	24人	【内容】 ・スマホの取り扱いに不慣れな方を対象とし、スマホの操作方法等を学ぶ 【ねらい】 ・デジタルデバイトの解消	【共催団体等】 ドコモショップイオンモール松本店	・今年度はスマホにテーマを絞った講座を行ったが、参加者からの反応は上々であった。 ・松本市としてDX施策を進める中でデジタルデバイト解消は急務であるので、今後も継続して開催していきたい。	
コミュニティースクール事業（小中学校）	4月 8月 1月 3月	8回	子育て	青少年	37人	【内容】 ・旭町小、中学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
コミュニティースクール事業（小学校）	4月21日	1回	子育て	青少年	5人	【内容】 ・旭町小学校の交通安全教室時に、コースとなる道路の安全を見守る 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む		・子どもたちの交通安全に資することができた。	○
	6月2日 10月27日	2回	子育て	青少年	8人	【内容】 ・旭町小学生と地域住民でさつまいもの植付と収穫を行う 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・食育			○
	11月2日	1回	子育て	青少年	7人	【内容】 ・旭町小学校1,2年生のスケート教室に同行し、靴紐結びや見守りを行う 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む ・子どもたちの滑走時間を確保する			○
	11月24日 12月1日	2回	子育て	青少年	30人	【内容】 ・旭町小学生の防災頭巾作成 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・地域で子どもを見守る、育む			○
	12月16日	1回	子育て	青少年	7人	【内容】 ・旭町小学生と地域住民で収穫したさつまいもを使ってスイートポテト作りを行う 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・食育			○
	3月2日	1回	子育て	青少年	4人	【内容】 ・旭町小学校5年生が地域の寺社を訪れ、歴史学習を行う 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む ・地域愛の醸成			○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
公民館委員会会議	通年	13回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 ・公民館の運営にそれぞれの部門から助言や支援をいただく ・各部門の主管事業の実施 ・運営委員会 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会 ・体育委員会		・各委員会のなり手不足が深刻となっ てきている。現委員でも高齢化が進 み、後任がないために継続して委員 を務めなければならない状況。 ・活動が定例化しつつあるため、各委 員会の活動理念に沿った新しい取り組 みを模索したい。	
			公民館委員会・各種会議等	成人	72人				
			公民館委員会・各種会議等	成人	15人				
			公民館委員会・各種会議等	成人	4人				
			公民館委員会・各種会議等	成人	6人				

令和3年度 事業報告の概要

白板地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来取り組んできた文化事業をコロナ禍でもできる事業へ再検討 ・昨年度作成した白板歴史ウォーキングDVDの活用 ・町会・町内公民館へ入っての事業実施 ・地区団体との連携 ・講座参加者の声から生まれた講座づくり 										<p>・ひな祭り、端午の節句、お月見会、クリスマス会は飲食を伴い、多世代交流事業の意味合いが強く昨年度は一律中止となった。今年度は文化委員長中心に検討を行い。施設見学を主軸に地域学習、文化学習での講座実施とした。</p> <p>・昨年度作成したDVDは未発表のものを年度当初にお披露目講座を行い。町会連合会へ報告を行った。結果複数町会から放映、関連した講座を実施して欲しいとの要望をいただいたが感染症警戒レベルの関係で実施は1町会のみであった。次年度以降は要望のあった町会で実施したい。</p> <p>昨年実施した講座の感想から松本市内の水に関する講座を複数行うことができた。また、派生して防災の観点からも講座を実施することができた。公民館講座の意義を再確認ができた一連の講座であった。</p> <p>従来講座やイベントを協働している地区団体の他に児童センターや市民学芸員と協働しての講座を持つことができた。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	0	15	2	3	3	1	1	2	6	4	6	3
延べ 参加人数	0	68	0	192	19	55	225	8	81	0	89	636	9	83

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
上高地自然観察会 (ウォーキング)	4月27日 5月26日 5月31日 6月21日 10月7日	5回	福祉健康	成人	68人	コロナ禍で、できる講座として自然観察会を実施。 バスの利用定員の半分で講座を実施したため回数を増やし、時期や見学コースを分散化した。	【準備】 地区だよりにて周知	参加者の体力にあわせてコースを毎回分けて実施した。 自然観察も取入れながらの実施。 次年度も継続してゆきたい。	
文化講座 端午の節句	5月13日	1回	地域文化	その他	7人	端午の節句の云われを知り、地域文化の理解と継承 須坂市の世界の人形博物館を見学	【準備】 地区だよりにて周知	急な変更に対応できるように、市内の博物館施設なども含めて実施を検討。	
第20回白板大運動会	5月16日	1回	地域事業 (体育)	その他	0人	地区スポーツ協会が中心となり、地区内の誰でも参加できる競技の考案・当日運営。 町会同士の交流をはかる。	【準備】 スポーツ協会4月の理事会で中止決定。	2年連続の中止であり第20回の記念大会が開催できていない。記念大会のため、規模縮小なども難しいとの意見もあり、次年度についてはスポーツ協会が中心となり検討してゆく。	
田川児童センター協働講座 白板歴史ウォーキング	5月29日	1回	地域事業 (文化)	青少年	19人	田川児童センターの利用者対象に白板地区歴史ウォーキングを実施	【準備】 児童センターと内容検討 地区住民のボランティア募集 児童センターで周知	地区内の文化財を児童とセンター職員で巡るものであったが、道中危険箇所もあるため、福祉ひろば職員、地区ボランティアとが付き添い参加 公民館は講師。	
自然体験講座 小谷村でわらび狩り	6月6日	1回	趣味教養	その他	9人	新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着くなか、自然体験を通じて、ウィズコロナとして日常のリフレッシュと地域住民の交流を図る。	【準備】 地区だよりで周知	住民には好評な講座ではあるが、趣味・娯楽的な要素もあるため、庁用バスでの実施は難しい。	
文化講座 中世の山城見学	6月9日	1回	地域文化	成人	19人	昨年度実施した白板歴史ウォーキングで地区内の犬甘城山遺跡（中世の山城）について深く学びたいとの意見があり、同時代の復元遺跡の荒砥城跡等を見学した。	【準備】 地区だよりで周知	犬甘城山遺跡（城山公園）の価値を住民がより深く知ってもらえるような講座を文化財課の職員と検討してゆきたい。	
白板歴史ウォーキング 犀川通船編 DVDお披露目会	6月16日	1回	地域文化	その他	4人	昨年度実施した白板歴史ウォーキングを映像化しDVD化したもの。コロナ禍での公民館の講座・デジタル化を模索した。	【準備】 公民館図書視聴覚委員とDVD作成	関係する町会（白板3町会、折井、巴町）などの町内公民館事業で活用いただく町内公民館長へ働きかけを行う。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
七夕飾り付け	7月7日～ 8月20日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	9人	公民館ロビーに文化委員と七夕人形、笹の葉を飾り付け。来館者へ短冊に願いを書いてもらった。	【準備】 文化委員からの笹竹の提供	飾りつけは文化委員と実施できたが片付けは新型コロナウイルス感染症警戒レベル5に伴い、職員のみで実施。当該期間は来館者も少なかったため、願いを記入した短冊も例年より少なかった。 公民館を彩る季節のものは継続して展示してゆきたい。	
近代の水道施設見学	7月21日	1回	地域文化	その他	7人	昨年度実施した白板歴史ウォーキングで地区内の文化財、城山配水池（国有形登録文化財）について学びたいとの意見があり関連する島内第一水源地とともに（国有形登録文化財）上水道課の講師のもとに施設見学を実施した。	【準備】 上水道課と講座内容の検討 地区だよりにて周知	講座参加者からの声を大切に講座を実施してゆきたい。本講座のように実施した講座から発展・派生する講座を今年度多く企画・実施できた。 講座作りの営みとして継続してゆきたい。	
丸ノ内中学校学校登山ボランティア	7月14日	1回	地域事業 (その他)	その他	2人	丸ノ内中学校2学年の学校登山（乗鞍登山）の随伴ボランティア登山経験のある住民とともに、生徒・引率教諭のフォロー	【準備】 学校の職員会議にて打ち合わせ 地区だよりにて登山経験のある住民の募集	今回は地区内外から4名のボランティアの応募があり、うち3名が看護師資格を持った方であった。昨年度、公民館の上高地・乗鞍講座の参加者から紹介を受けたとのことだったので、別講座等を通じて人材の発掘を行うことができた。	○
自然観察会IN 乗鞍	7月30日 8月30日	1回	環境	成人	8人	昨年度災害等で実施できなかった時期に講座を行った。高山植物の自然観察を実施した。	【準備】 地区だよりにて周知 8月30日は中止	上高地自然観察会同様に、バスの利用定員の半分で実施しているため、実施回数を2回で企画したが2回目は中止となってしまった。次年度以降も、上高地講座と共に実施したい。CSの乗鞍登山の随伴ボランティアを本講座参加者から人材の発掘・確保ができるため継続してゆきたい。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子ども会育成会協働事業 自然科学体験講座	8月1日	1回	地域事業 (文化)	青少年	21人	地区・市内の博物館施設を利用して、子どもへ自然科学・人文科学の楽しさを伝えた。 【午前】山と自然博物館学芸員を講師に青いハチをアルプス公園で探す。 【午後】中山考古館学芸員を講師に博物館見学・勾玉づくり	【準備】 育成会役員と内容検討。 市内博物館学芸員と講座内容の検討 子ども会の回覧にて周知	当初佐久子ども未来館の見学を予定。先方の利用規約で市外見学者の団体受け入れを中止していたため、市内の施設で自然・人文科学的な見学ができないか育成会と検討した。結果として地区内の博物館施設で受け入れが可能であり、普段利用しない施設や子どもにとって新たな発見がある講座となった。	
黒部ダム見学講座	8月3日	1回	環境	その他	11人	近代の水道施設見学の派生講座。水利用（治水・利水）について学びたいとの意見があり、ダム見学を実施した。	【準備】 地区だよりにて周知	夏休み期間中であり、親子での参加申込が多くあった。こちらも趣味・娯楽的な側面があるため、講座の目的をはっきりさせながら実施したい。	
公民館に泊まろう	8月7日～ 8日	1回	地域事業 (体育)	青少年	0人	白板地区は学校区が2校にまたがっており、小学生間のつながりが希薄である。また自身が白板地区の住民という意識も低い。宿泊を通じて、交流と地区への帰属心の醸成を図る。	【準備】 年間行事予定で地区内には周知を行ったが、主催団体の役員会で中止を決定したため、地区だよりなどで、周知を行わなかった。 【主催】 丸ノ内スポーツクラブ	宿泊・飲食を伴うイベントであり、感染症対策が徹底できないため中止。次年度以降は宿泊を伴うイベント、複数校が一堂に会するものは感染症対策の徹底、まん延防止が困難なため、1日開催のイベントの実施を検討する。	
文化講座 七夕人形見学 (馬場家住宅)	8月11日	1回	地域文化	その他	0人	松本市内独自の七夕人形文化について学習を行う。展示を行っている馬場家住宅の見学と学芸員による解説を企画した。	【準備】 馬場家住宅学芸員と内容検討 募集後中止	警戒レベル5に伴い中止。次年度実施したい。	
文化講座 仁科氏と犬甘氏	8月25日	1回	地域文化	その他	0人	白板地区にある犬甘城の城主であった犬甘氏は信州守護職の小笠原氏の家臣であった。仁科氏も小笠原氏の家臣でありゆかりの仁科神明宮などの見学を企画した。	【準備】 地区だよりにて周知 募集後中止	警戒レベル5に伴い中止。次年度実施したい。	
4館合同 上高地講座	9月4日	1回	地域文化	その他	0人	旧北部公民館（城北・安原・白板）に隣接地の大手公民館の4地区合同の公民館講座。自然観察・ウォーキングを通じて住民の交流を図る。	【準備】 主事会中央第2ブロックにて実施方法の検討 各地区館のたよりにて周知 募集後中止	本事業もマンネリ化しつつあり、また、100人近くの参加者の対応など、運営が難しくなっている。別の交流事業の検討を4館で行いたい。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化講座 お月見会	9月11日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	0人	例年、仲秋の名月にちなんだ料理を食生活改善推進委員から提供いただき、多世代交流を実施しているが今年度は館内での飲食を制限していたため、別企画を文化委員で検討した。	【準備】 月に因んだ展示を各博物館施設へ問い合わせを行ったが該当がなく、企画段階で中止とした。	昨年はプラネタリウムでお月見会としたが、今年度はお月見に因む展示等がなく実施できなかった。警戒レベル次第ではあるが、多世代交流事業へ戻してゆきたい。	
水めぐり講座 お城北側編 井戸と景観賞編 お城南側編	9月29日 10月27日 11月18日	3回	地域文化	その他	26人	8月の近代水道施設講座から、松本の水利用と文化財・景観について学びたいとの意見があり実施。3回に分けて、井戸利用、湧水、町の景観、文化財など安原、中央、城北、第2、第3地区を巡った。	【準備】 地区だよりにて周知	NHKの番組などの取りあげられた水路なども見学することができ参加者に好評であった。 1つのテーマから講座が派生や発展することなど講座実施に意義があるものであった。 また、参加者に町なか観光ボランティアに登録されている方がおり、解説なども専門的な内容となった。	
白板地区文化祭	10月16日	1回	地域事業 (文化)	その他	0人	地区での活動している、団体・サークルの活動発表の場、平成28年度からひろば祭りも統合し、白板地区公民館・ひろば文化祭とした。	【主催】 文化祭実行委員会 【共催】 町会連合会 公民館 福祉ひろば 住みよい町づくり協議館 食生活改善推進協議会 日赤奉仕団白板分団	今年度は、会議の開催が制限されていたため、町会連合会、公民館運営員・文化委員、ひろば事業推進委員へアンケートを行い、開催形態を決定した。	
文化祭代替企画	10月16日～ 11月30日	1回	地域事業 (文化)	その他		文化祭が中止となったため代替事業として、公民館・ひろばにて展示を中心とした活動紹介をおこなった。	【準備】 全サークルにアンケート 地区だよりで周知	地区の登録団体全てにアンケートを実施 例年ステージ発表をしていた団体に動画の撮影依頼を提示したが、すべて断られてしまった。展示できる団体から作品を募集して週替わりで展示をおこなった。また、町内公民館の文化祭が中止となったため、作品展示の場がなかった団体についても、公民館で展示することができた。 関係課とも連絡をとり地区で活動している団体等をパネルで展示することができた。 新たに田川小学校ブラスバンド部、丸ノ内中学校吹奏学部から動画の提供をいただき、公民館で編集したものをモニターで放映することができた。 次年度以降運営形態を地域住民主体の実行委員会へ戻していくようにしたい。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やきいも大会 畝たてマルチ引き 植え付け 草取り 収穫 事前準備 やきいも大会	5月 9日 6月 5日 7月 4日 7月31日 9月 4日 10月17日 11月12日 11月13日	8回	地域事業 (その他)	青少年	600人	公民館へ泊まろう同様に地区内の小学生同士の交流を図る。 さつまいもの栽培から実施し食育も併せて実施をする。	【準備】 育成会総会にて周知 各事業前に育成会の回覧で周知 【主催】 子ども会育成会	昨年度は一律中止の判断であったが、今年度は警戒レベルに合わせて事業を実施した。結果、役員の負担が多くなってしまったが、収穫、大会本番は通常実施でき、子どもは非日常体験となった。次年度も実施の方向で検討を行う。	
宮淵東町会 文化講演会	11月23日	1回	地域事業 (文化)	成人	30人	町内公民館で実施される健康サロンに合わせて、昨年作成した白板歴史ウォーキングDVD～寺社編～の放映と宮淵地籍の歴史・文化についての講演。地区公民館の役割紹介と活用について提案を併せて行った。	【準備】 町会長と実施内容を検討 町会回覧にて周知。	上記、白板歴史ウォーキングDVD編の活用の一環として町内公民館で事業を実施した。町会（地籍）に合わせた内容であったため、参加者には好評であった。他の町会でもこのような事業が可能のため、次年度以降実施してゆきたい。	
水めぐり講座 防災 兎沢川編	11月25日	1回	防災	その他	8人	8月15日に土砂災害警戒警報が発令された町会の危険箇所と新ハザードマップで地区内の確認を行った。	【準備】 地区だよりで周知 町会連合会にて講座を実施する経過の報告	8月の豪雨災害の最中に、ハザードマップ、土砂災害警戒警報、避難行動について当該町会住民から問い合わせが多くあり、それを受けての講座実施であった。しかし、当該町会住民や問い合わせ者からの申し込みはなく全体の参加者も少なかった。 今後は町会自主防災会、緩やかな協議体の防災部会などの啓発事業へ移行したい。	
クリスマス飾り	12月1日～ 27日		公民館委員会・ 各種会議等	その他		公民館ロビーにクリスマスツリー、以前講座で作成したリースの飾りつけ		今年度、丸ノ内スポーツクラブのクリスマス会が中止のため、職員のみで飾りつけを実施。次年度は通常どおり、文化委員・地域住民と実施したい。	
親子料理教室 クリスマス企画	12月4日	1回	地域事業 (その他)	青少年	34人	親子の交流を図るため、料理教室を実施 クリスマスケーキ作りを行った。	【準備】 育成会で対象者へ周知 地区だよりにて周知 ボランティアスタッフの募集 【主催】 子ども会育成会	昨年は感染症対策として午前・午後を2日間、計4回実施であり、育成会役員・ボランティアの負担が大きかったと反省。新型コロナウイルス感染症の市内新規感染者が0であった時期ということもあり、1テーブル2家族として、1日午前・午後の2回実施とした。（参加人数は昨年と同規模） 器具の共有を行わないなど感染症対策の徹底と運営側の負担軽減に努めた。 やきいも大会と連続しての活動のため次年度は丸ノ内スポーツクラブのクリスマス会が実施されるようであればそちらを優先したい。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館長レクチャー しめ縄講座	12月6日 ～24日	3回	地域文化	その他	10人	館長が期間中に公民館・ひろば用のしめ縄を製作するのに合わせて、ごぼう締め・わ締めの実演。見学自由（レクチャーは要申込制）として、気軽に参加できるものとした。	【準備】 地区だよりにて周知 地区の農家から稲わらの提供	期間中3回の見学・レクチャー申込があった。県外から移住された住民は松本地方の正月飾りの文化がわからないとの理由で見学やレクチャーを受けた。24日のしめ飾り講座の事前講座の意味合いであったが、思いがけず住民ニーズを汲むものとなった。	
松本の風土記 市民学芸員と学ぶあめ市講座	12月11日	1回	地域文化	その他	20人	市民学芸員第7期生（あめ市について学習）が発表の機会がないと公民館へ相談があった。単なる発表の場の提供に留まらず、白板地区に関連する事項（新橋あめの歴史について）市民学芸員と聞き取り調査を行い、白板地区としてのあめ市についての講座を実施した。	【準備】 市民学芸員と地区内の調査 地区だより 市民学芸員Facebookにて周知	単なる、市民の発表機会の提供にとどめず、地域文化の再発見や顕彰につなげる事業として継続してゆきたい。次年度は文化委員との協働なども検討したい。	
児童センター協働講座 しめ飾りづくり	12月18日	1回	地域事業 (文化)	青少年	19人	田川児童センター利用者と地域の高齢者の交流を目的に締め飾りづくりを実施した。	【準備】 児童センターと打ち合わせ 周知は児童センターが行った。	児童1人につき講師1人の体制で実施したが低学年には難しい内容であった。児童は悪戦苦闘ながらも自作でき良い経験となった。また講師を務めた高齢者も子どもと交流ができて良かったとのこと次年度も続けて行きたい。	
文化講座 しめ飾りづくり	12月23日	1回	地域文化	その他	10人	正月に飾る締め飾りについて、ゆわれを聞きながら自作した。	【準備】 地区だよりにて周知	練度がさまざまであり、講師が大変であったとの意見があり、初心者には館長レクへ誘うなど工夫が必要であった。	
公民館お正月飾り	12月27日～ 1月7日		地域文化	その他		講座で作成した正月飾りを公民館・福祉ひろばで飾りつけ。	【準備】 地区だよりにて周知 館長が自作	講座の成果物の発表の場にもなり、次年度以降も継続実施したい。	
人権講座 JICA駒ヶ根訓練所 見学	1月17日	1回	人権平和	成人	0人	白板地区は地区内の外国籍の方の居住割合が市平均と比べて高い。多文化共生のため、外国籍の方の人権について考えるものとした。今回は国際的な支援活動を行っているJICA駒ヶ根訓練所で主に東南アジアの方々との交流をテーマに視察を企画	【準備】 地区人権啓発推進協議会で内容検討 JICA駒ヶ根訓練所に視察依頼 地区だよりにて周知 募集後中止	松本市の新型コロナウイルス感染症警戒レベルが5への引き上げに伴い中止 公益財団法人人権啓発推進センター発行の『人権について考える2022』をテキストに連合町会長会で研修を実施。	
自然体験講座 小谷村で雪中キャベツ	1月30日	1回	趣味教養	成人	0人	小谷村の特産物の雪中キャベツの収穫体験を通じて、住民間の交流を図る。	募集後中止	趣味・娯楽的な側面があるため、講座の目的をはっきりさせながら実施したい。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子料理教室 バレンタイン企画	2月6日	1回	地域事業 (その他)	青少年	0人	子ども会育成会との協働事業バレンタインディに合わせて、紅茶のクッキーづくり	【準備】 育成会役員、地区の有志と講座内容(レシピ)の検討 募集後中止 レシピのみ申込者へ配布。	子ども会育成会と次年度も実施について検討したい。	
雛人形展示	2月22日～ 4月5日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他		公民館ロビー、多目的室に地域の方から寄贈を受けた押絵雛、御殿飾り、7段飾りの雛人形の展示	【準備】 地区だよりにて周知	地域住民・文化委員を交えての雛人形の展示作業を今年は行わなかった。広報活動として、市民タイムス、テレビ松本の取材をうけた。次年度以降は、展示作業は住民を交えてのものとした。	
文化講座 松本の風土記① 押絵雛見学 (馬場家住宅)	3月5日	1回	地域文化	その他	0人	桃の節句行事の代替として、馬場家住宅で展示されている押絵雛の見学を通じて、松本独自の雛祭り文化に触れる	【準備】 馬場家住宅学芸員と講座内容検討 地区だよりにて周知 募集後中止	節句講座についてお月見会同様に多世代交流事業へ戻すか文化学習会を継続するのか文化員と検討したい。	
文化講座 松本の風土記② 松本のひな祭り文化について	3月12日	1回	地域文化	その他	15人	12月のあめ市講座の雑談の中から市民学芸員と公民館の協働を続けたいとの提案があり、雛祭りについて住民と市民学芸員と一緒に学べる講座を実施	【準備】 市民学芸員がアンケート調査 博物館館長と内容の検討 松本地方の独特の文化(資料の調査)	コロナ禍で地域住民向けのアンケートが実施できなかったため、博物館長、公民館長が講師で講座を実施した。次年度は市民学芸員の調査結果をもとに事業実施したい。	
正しいラジオ体操講座	3月16日	1回	スポーツ	高齢者	10人	高齢者の閉じこもりの防止のため始めたゆるやかラジオ体操の派生講座。ラジオ体操の正しい動きがわからないという参加者の声から2級ラジオ体操指導士の方を講師に講座を実施	【準備】 講師と内容の検討	当初は、ラジオ体操の健康的効果について学ぶものとして企画していたが、事業内容・ねらいに記載のとおり参加者のニーズ、レベルに合わせての講座とした。次年度、健康的効果に着目した講座を実施したい。	
ゆるやかラジオ体操	毎週水曜日	40回	スポーツ	高齢者	160人	高齢者の閉じこもり防止のため公民館でラジオ体操を実施。 継続性を持たせるため、雨の日は原則中止、来たくない日は来なくても良いなどゆるやかなものとした。	【準備】 地区だよりにて周知 健康づくり推進委員へ協力依頼	白板地区公民館オリジナルのラジオ体操カード、消しゴムはんこを作成15個貯まると健康啓発グッズの進呈など楽しんで参加していただく工夫をおこなった。参加者が少ないため、他事業参加者やサークル利用者への呼びかけを行いたい。	
暮らしの花講座	通年	7回	趣味教養	成人	46人	コロナ禍で家庭時間が増えたため生活に彩りを与えるお花と身近なものを花器として暮らしのテーマに講座を実施した	【準備】 講師と連絡調整	年度途中の主事が講師で金継講座も併せて実施。 途中中止もあり次年度も実施したい。	

令和3年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康吹き矢講座	通年	7回	スポーツ	成人	55人	昨年同様に健康吹き矢講座を実施。	【準備】 地区だよりにて周知 定期的に的の張替え	感染症リスクの高い講座のため、年度内は5回中止し、講座の継続がむずかしかった。今後は令和2年度以前の受講者はサークル化を目指し、令和3年度からの受講生は令和6年度を目途のサークル化など一定の区切りをつけたい。	
岳都講座	偶数月	6回	地域文化	成人	84人	城北公民館他近隣地区の住民を対象とした講座で今年度10年を経過した。 上高地の山岳・自然・文物を講座参加者が講師となった研究を行う。	【準備】 参加者各自で課題の資料作成	講師の定年（元城北公民館主事）もあり、新しい形で岳都松本を学べる講座を公民館長主体で計画したい。	
下校時見守り活動	毎月 第2水曜日	9回	その他	その他	81人	地区内の小学生の見守り活動	【主催】 白板地区住みよい町づく協議会	白板地区住みよい町づくり協議会とより良い活動になるように検討をしてゆきたい。	○
館報編集委員会	偶数月	6回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	24人	公民館事業・学校の様子の発信。地区情報、文化財の記録	【主催】 館報編集委員会	中学生に館報編集委員会を委嘱し丸ノ内中学校行事や生徒会活動を地区に情報発信するなど他地区には見られない企画を行っている。 警戒レベルの引き上げで実施できな講座などがあり記事がなくなるなど苦勞をしたが編集委員がコラムや地区の今昔など工夫しながら記事の執筆を行った。 次年度は道路拡幅で地区内の風景が一変することから記録活動にも力を入れたい。	○
体育委員会	奇数月	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	17人	スポーツ交流イベントの企画・運営	【準備】 各町会の体育部長を通じて町会回覧で周知	会議・活動は感染警戒レベル3以下で実施としており、屋外スポーツ交流会の実施のみであった。次年度当初の白板大運動会の実施も含めて検討してゆきたい。	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 次世代育成事業の推進 少子高齢化や人口減少等を背景に、担い手不足や伝統行事の継承困難など問題が顕在化するなか、田川地区では将来地域を担う子どもや若者の郷土への愛着・関心を育むことを目的にコミュニティスクール事業や、子ども会育成会等への協力・支援を通じて、次世代育成の推進に注力した。</p> <p>2 地域の居場所づくりと福祉の充実 地域の高齢化に伴い、高齢者を中心とする住民の居場所づくりの一環として、「田川地区いきいきサロン事業」においては、企画委員の一員として参与した。また、町内公民館活動等への支援を核として、住民が気軽に集うことができる居場所づくりを進め、地域福祉の充実に努めた。</p> <p>3 「地域を知る」学習の充実 身近な地域の自然、歴史文化等に関する学習機会を拡充し、潜在的な地域の魅力の掘り起こしに努めるとともに、郷土への愛着や関心、地域に対する参画意識の醸成を図った。</p> <p>4 住民同士の顔の見える関係づくり 従来の文化・スポーツ事業を通じた交流に加え、新たな仲間づくりの活動を積極的に展開し、住民同士の顔の見える関係づくりを促進した。</p>										<p>・主催事業については、五部門委員会を中心として、コロナ禍における事業開催可否の判断や感染症対策を随時協議しつつ、地域の合意形成を踏まえて可能な範囲で実施することができた。事業自体の規模を縮小せざるを得ない中、文化祭を文化展とするなど、次年度以降の取り組みの礎となるような創意工夫もみられた。</p> <p>・単独学級講座やコミュニティスクールは、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の大半を中止せざるをえなかった。事業はその都度、感染状況を踏まえつつ可能な範囲で開催し、例年通りの参加者数と反響を得られていたため、開催判断や方法について概ね参加者の理解を得られていたものと判断される。</p> <p>・地域学習の機会創出については、地区まちづくり協議会で昨年刊行した『たがわの教科書』を用いた学級支援に向けて検討した。新型コロナウイルスの影響により実施には至らなかったが、次年度以降の重点事項としたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	2	0	7	2	3	3	0	5	1	3	2	2	8
延べ 参加人数	0	560	0	236	74	117	54	0	200	40	100	350	100	571

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康マレットゴルフ大会	5月8日	1回	スポーツ	成人	22人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒ヶ根市のマレットゴルフ場にて実施した。競技後は、周辺の史跡・文化財、社会教育施設等を見学した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気軽に楽しめるマレットゴルフを通じて、住民相互の親睦を深め、地域の健康づくりに役立てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気楽に運動委員会（体育員会）で企画・運営 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気楽に運動委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動委員が任務を分担し、円滑に実施することができた。 ・競技の勝敗よりも、参加者同士の親睦に主眼を置いた大会となっている。 <p>※中止1回</p> <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動委員会で検討する。参加者の減少、固定化が課題 	
田川地区いきいきサロン事業 ※全11回。第4、7、11回については別掲	5月25日 6月29日 7月20日 8月3日 10月26日 11月30日 12月21日 3月22日	8回	福祉健康	高齢者	310人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の健康・福祉分野の関係団体・機関等が連携し、月1回の茶話会（サロン）を通年開催する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民有志の提案により28年度から実施 ・地区内の関係団体・機関等で構成するサロン部会で内容等を検討 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／サロン事業推進部会（町会長会、民生児童委員協議会、健康づくり推進員会、日赤奉仕団、丸の内病院地域連携室、中央西地域包括支援センター、社協、健康づくり課、福祉計画課、中央公民館、田川地区地域づくりセンター、福祉ひろば、公民館）、田川地区人権啓発推進協議会 ・協力／松本協立病院、防犯連絡協議会、子ども会育成会、渚保育園 他 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も関係役員・職員が協力し、滞りなく運営できた。サロンの共同運営を通じて、関係団体、医療・福祉機関等の関係強化につながっている。 ・事業開始から5年が経過し、高齢者の居場所として定着する一方で、参加者の固定化、企画のマンネリ化など課題も見えた。 <p>※中止3回</p> <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン部会で検討する。 ・継続的に取り組めてはいるが、やや前例踏襲に終始している感もある。参加者の声を聞きながら、实际生活に即した内容としていきたい。 	
水辺の生き物観察会	5月29日	1回	環境	青少年	24人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両島川において水生生物を採集し観察する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たがわ水辺を守る会で企画、事前準備等 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホテル学会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街中の当地区において水生生物を観察する貴重な自然体験の機会となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。 	

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
上高地ウォーキング	6月5日	1回	スポーツ	成人	32人	【事業内容】 ・上高地にてコースに分かれてウォーキングを行う。 【ねらい】 ・上高地の美しい自然と周辺の歴史を学ぶとともに、参加者の健康増進を図る。	【共催団体等】 ・体育協会 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・例年よりも早い時期に実施することで、程よい気候の中で行えた。 【今後の方針】 ・次年度も継続を検討し、地区の恒例行事としていきたい。	
青空おはなしの会	7～9月	3回	その他	青少年	30人	【事業内容】 ・地区内の小児を対象とし、屋外での読み聞かせ公演を行う。 【ねらい】 ・物語に親しむことで、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、ボランティア活動を通じた仲間づくりの機会とする。	【準備課程】 ・図書・視聴覚委員で企画運営 【共催団体等】 ・図書・視聴覚委員会	【評価と反省】 ・未就学児童とその保護者、さらに地域住民の参加が見られた。 【今後の方針】 ・活動の周知等、側面的な支援を充実していきたい。	
ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み	7月	中止	地域事業(文化)	青少年	0人	【事業内容】 ・松本の夏の伝統行事「ぼんぼん」「青山様」を地区行事として実施する。 ・第1部「つどい」(ぼんぼん・青山様に関する学習、セレモニー)、第2部「夕涼み」(飲食・ゲームコーナー等)の2部構成で行う。 【ねらい】 ・少子化を背景に単位町会での実施が困難になった、ぼんぼん、青山様を地区事業に位置づけ、伝統行事の継承を図るとともに、地域の絆づくりの機会とする。	【共催団体等】 ・主催/田川地区まちづくり協議会 ・主管/ぼんぼん・青山様実行委員会		
乗鞍ウォーキング	8月28日	1回	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 ・乗鞍畳平のウォーキングコースを散策する。 【ねらい】 ・運動による健康増進と自然環境楽手を兼ねた事業。参加者間の仲間づくりと健康増進を図る。	【準備過程】 ・気楽に運動委員会で企画運営 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会		

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やさしいスマホ講座	9月21日	1回	趣味教養	高齢者	9人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内のドコモショップに講師を依頼し、高齢者向けのスマホ講座を行った。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内におけるデジタルデバイドの解消を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化委員会で企画運営 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため、参加者は多く募れなかったが、民間事業のサービスと提携して充実した内容で実施することができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の要望に鑑みて次年度の企画を検討したい。 	
田川公民館文化委員会文化視察	10月3日	1回	地域文化	成人	34人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化視察として善光寺と長野県立美術館を見学した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化や芸術の学習とともに地域住民の親睦を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化委員会で企画運営 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの見学先も地域住民の関心が高く、参加者に好評であった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の好評を踏まえて、次年度以降の視察先を文化委員会と検討していく。 	
第23回田川ふれあい文化祭	10月17日	中止	地域事業(文化)	成人	0人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用サークル及び個人の作品展示、ステージ発表 ・各種団体による活動紹介(パネル展示) ・田川小金管バンド、丸ノ内中吹奏楽部によるオープニング演奏 ・喫茶、豚汁、綿菓子、ポップコーン等の飲食提供 ・野菜、果物、花の即売会 ・図書委員会による古本市 ・ランチタイムコンサート ・あそびの城(リーダー会企画のゲームコーナー) ・お楽しみ抽選会 ほか <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、住民相互のふれあいと交流の機会として開催する。 	<p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川地区町会連合会、民児協、町内公民館長会、育成会、健康づくり推進員会、日赤、ボランティア部、体協、衛生協、防災部、防犯連絡協、五部門委員会、福祉ひろば、地域づくりセンター 		

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
田川地区文化展	10月16日	1回	地域事業 (文化)	成人	100人	【内容】 ・公民館利用サークル及び個人の作品展示 【ねらい】 ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、住民相互のふれあいと交流の機会として開催する。	【準備課程】 ・公民館運営委員会を中心に文化祭代替行事として企画 【共催団体等】 ・田川地区町会連合会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため、例年行っていた文化祭の代替行事として実施した。 ・例年の文化祭展示部門を超える出展数となり、見ごたえが増したとの声も聞かれた。 【今後の方針】 ・高齢化によるサークルの解散等もあり、出展・出演者が年々減りつつある。呼びかけ方法の工夫やサークル支援の充実など対策を相談していきたい。	
田川健康ウォーキング	10月30日	1回	地域事業 (体育)	成人	40人	【内容】 ・松本城周辺をウォーキングコースとして設定し、ガイドによる解説付きで散策する。 【ねらい】 ・身近な地域を歩くことで、田川地区の自然、歴史文化等への理解を深めるとともに、住民相互の交流や健康増進に役立てる。	【準備過程】 ・福祉ひろばでコース等を設定、公民館で周知、 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため、例年の新そばのふるまいが行えなかった。以前テレビで放映された松本城周辺をガイド付きで散策したため、参加者からは好評であった。 【今後の方針】 ・次年度も実施したい。 ・年々子どもたちの参加が減っているため、周知方法を再考したい。	
エコキューブ講習会・ エコ体験教室 (田川小4年生授業)	11月	中止	環境	青少年	50人	【事業内容】 ・田川小4年生の授業として実施 ・地区住民考案のエコキューブ(平面キューブパズル)やゲームを通じて、松本市のごみの分別を学ぶ。 【ねらい】 ・エコに対する関心を高めるとともに、共同作業を通じて、子どもと大人が互いに学び合う場とする。	【準備過程】 ・ボランティアを対象とした事前講習会を実施 【共催団体等】 ・田川小学校		
松本城見学会 (田川小6年生授業)	11月26日	1回	地域文化	青少年	51人	【内容】 ・田川小6年生の授業として松本城を見学。地区住民が案内役を務める。 【ねらい】 ・松本のシンボルである松本城を地域住民が案内し、子どもたちの郷土愛を育む機会とする。	【準備課程】 ・学校側の要望を受け26年度から継続実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・普段から観光ガイドとして活躍しているメンバーだけあって説明も分かり易く、子どもたちの学習を深めることができた。 【今後の方針】 ・学校側の要望を聞きながら対応したい。	○

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やしょうまづくり講習会・交流会	12月	中止	地域文化	青少年	0人	【事業内容】 ・田川小1年生の授業支援として、信州の郷土食である「やしょうま」づくりをサポートする。 【ねらい】 ・地域の伝統的な食文化を学び、児童と地域の大人とのふれあいの機会とする。	【共催団体等】 ・田川小学校		○
田川もちつき大会	12月12日	1回	地域文化	青少年	30人	【内容】 ・臼、杵を用いた昔ながらのもちつきを体験、実食する。 ・待ち時間を利用し、正月遊び（コマ回し、羽根つきなど）で交流する。 【ねらい】 ・かつては各家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化にふれる機会とする。	【共催団体等】 ・主催／子ども会育成会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため、餅は持ち帰りとした。親子での参加が多く、世代間交流が実施できた。 【今後の方針】 ・次年度も飲食の制限が懸念されるため、感染症対策を検討したうえで継続実施していきたい。	
まゆだまづくり講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	17人	【内容】 ・小正月の伝統行事「三九郎」で焼く団子（まゆだま）を作る。 【ねらい】 ・近年まゆだまをスーパー等で購入する家庭も増えるなか、本来の手作りを体験し、郷土の伝統文化を伝える機会とする。	【準備過程】 ・サロン運営委員に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・地域の「おばあちゃん」たちから、まゆだまづくりを教わることで、世代間交流の場にもなっている。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、例年よりも規模を縮小した。 【今後の方針】 ・まゆだまの作り方だけでなく、行事の意味やいわれを伝える機会としていきたい。	
書き初め講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	24人	【内容】 ・冬休み中の小・中学生を対象とした書き初め講習。各々学校から宿題として出された課題字に取り組む。 【ねらい】 ・日本古来の年中行事である書き初めを通して、表現力や集中力、豊かな感性を養う。	【準備過程】 ・公民館で活動する書道師範に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・講師の丁寧な指導もあり、皆真剣に取り組んでいた。初めて筆を持つ幼児や低学年の参加もあり、書道に親しむ機会づくりができた。 【今後の方針】 ・次年度も継続。正月の恒例行事として定着させたい。	

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
田川地区立志式 「たがわっこ宣言」	1月22日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【内容】 ・卒業を控えた小学6年生、中学3年生の児童・生徒らが、「たがわっこ宣言」を読み上げ、将来の夢や抱負を発表する。 【ねらい】 ・人生の節目を迎える子どもたちの門出を地域で祝い、郷土に対する愛着・誇りを育む。	【共催団体等】 主催/町会連合会 共催/民生児童委員協議会、子ども会育成会、地区福祉ひろば		○
田川小クラブ活動支援	通年	3回	その他	青少年	50人	【事業内容】 ・田川小クラブ活動(卓球・茶道・手芸・料理)の指導者として地域の人材を派遣するもの 【ねらい】 ・クラブ活動支援を通じて、児童と地域住民との交流を深める。	【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・クラブ活動を通して地域住民と児童の交流ができた。 【今後の方針】 ・学校と調整のうえ、今後も継続したい。	○
家庭科支援 (田川小5年生授業)	通年	中止	その他	青少年	0人	【事業内容】 ・田川小5年生の2クラスで、家庭科(裁縫・ミシン)の授業を地域住民がサポートする。 【ねらい】 ・住民のサポートにより学習効果を高めるとともに、大人との交流を通じて子どもたちの社会性を育む。	【共催団体等】 ・田川小学校		○
授業参観日の地域交流	通年	中止	その他	青少年	0人	【事業内容】 ・クラス懇談会の時間帯に低学年の児童を預かり、地域の大人と遊びを通じて交流する。 ・今年度は紙飛行機、ドッチビー、ドミノ倒しを内容とした。 【ねらい】 ・子どもたちと地域の大人との交流の機会とし、「地域で子どもを育てる」気運を醸成する。	【共催団体等】 ・田川小学校		○

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子ども見守り隊	通年	28回	地域事業 (その他)	青少年	350人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 田川小学校の安心・安全支援の一環として、毎週水曜、揃いのベスト・帽子を着用して通学路を巡回、児童の下校を見守る。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体が協力し地区内を定期的に巡回することで、通学路の安心・安全を確保する。 	<p>【準備課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内で不審者情報が相次いだことなどを機に、平成22年度に結成 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 田川地区町会連合会、子ども会育成会、主任児童委員、田川小PTA 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会、育成会、PTA等、関係者らが継続的に取り組み、地域全体で子どもの安全を守る意識が醸成されている。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し、具体的な実施方法等については、子ども安全部会で協議したい。 	○
読み聞かせボランティア	通年	10回	その他	青少年	120人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 田川小学校の朝読書の時間を利用し、地域ボランティアによる読み聞かせを行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを通して、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、ボランティアの仲間づくりや生きがいづくりを図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度当初に当番日の確認等打合せを行う。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書活動を通して地域住民と児童の交流ができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と調整のうえ、今後も継続したい。 	○
気楽に運動しよう	通年	13回	福祉健康	成人	250人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者でも無理なく取り組めるストレッチ体操やニュースポーツ等で気楽に運動する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に体を動かすことで、運動習慣の定着を図り、地域の健康づくりと仲間づくりを推進する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館だよりで周知 運営は気楽に運動委員会が担当 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気楽に運動委員会 スポーツ推進課 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎回笑顔の絶えない講座であり、仲間と楽しみながら、継続的に体を動かす機会づくりができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続。男性の参加が課題 	
パソコン講習会	通年	9回	趣味教養	成人	54人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区在住の講師に依頼 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各々がテーマを持って自主的、意欲的に取り組んでいた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は学習成果を発表する場がなかったため、次年度は何らかの機会を設けたい。 	

令和3年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
かろやか会 (そば打ち講習会)	通年	5回	地域文化	成人	80人	【内容】 ・地域の名人からそば打ちを教わり腕前を磨く。 【ねらい】 ・そば打ちを通じて住民同士の仲間づくりと交流を図る。特に団塊世代の男性の参加をねらうもの。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・年々技術も向上し、地区行事(ウォーキング)でそばをふるまうなど充実している。 ・新しいメンバーも定着し、仲間の輪が広がっている。 【今後の方針】 ・次年度も実施していきたい。	
スマホ教室with Docomo	通年	9回	趣味教養	成人	54人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・各々がテーマを持って自主的、意欲的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・今年度は学習成果を発表する場がなかったため、次年度は何らかの機会を設けたい。	
公民館報の発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	-	【内容】 ・公民館報「田川版」(年6回)を編集・発行する。 【ねらい】 ・住民自らが編集する公民館の機関紙として、公民館活動を記録するとともに、地域を学ぶ学習素材を提供する。	【準備過程】 ・各月の館報編集委員会にて紙面内容を検討 【共催団体等】 ・館報編集委員会	【評価と反省】 ・コロナ禍で記事ネタが不足した1年であったが、その分、地域の身近な情報収集に努めることができた。 【今後の方針】 ・編集委員と協力し、住民の関心に応えられる紙面づくりに努めていきたい。	
五部門委員会	通年	15回	公民館委員会・各種会議等	その他	100人	【事業内容】 ・運営、館報、図書・視聴覚、体育(気楽に運動)、文化の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。	【準備課程】 ・各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 ・コロナ禍における事業の開催可否や方法などについて、綿密に協議し役員の合意を形成することができた。 【今後の方針】 ・従来の枠組みにこだわらず、地域課題や住民の学習要望をふまえながら、より弾力的に活動を展開していきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

庄内地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内地区で活動する様々な団体との連携を重視し、黒子として各事業の実施を支援する。 (講座及び事業は庄内地区公民館独自のものは少なく、大半が地域団体との共催) 地域住民との連携という面を引き続き重視していきたい。 ・庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内”秋のつどい”」は、地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を図っていくイベントである。H28～R1までは防災運動会を4回続けてきたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度は通称「避難所見学会」を実施した。ドリーム庄内が地区に定着するよう継続していく。 ・公民館利用者の要望に沿った講座の開催を行う。 ・庄内地区公民館が、大勢の住民に気軽さを持って利用頂ける場所となるよう、館内の展示や掲示物の管理、事務所においても接遇を意識する等、全体的なよい雰囲気作りに努める。 ・公民館稼働率が高く、貸館申請者も他地区や他自治体の団体も大勢おり、地元住民が「気軽に」、「いつでも」公民館を使える状況ではない。新規利用者等にはパンフレット配布を通じて公民館使用の注意点の周知を徹底すると共に、大勢の利用者が気持ちよく公民館を使えるよう、館内の設備備品等の維持管理の徹底を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成会、庄内ほたと水辺の会といった地区内で活発に活動する団体の支援を行った。地域住民との連携という面を引き続き重視していきたい。 ・ドリーム庄内は、災害対応関係機関から写真やパネル等を借用しての通称「防災パネル展」を実施。アンケートでは災害現場の実情を知れた等の意見が寄せられた。 ・住民から源氏物語を学習したいとの要望を受け、公民館講座「源氏物語の世界」を実施。来年度も継続する。 ・様々な掲示物をジャンルごとにまとめる等、館内の情報閲覧に工夫を凝らした。 ・地区の児童達が気軽に公民館へ来館できるきっかけ作りとして独自事業「公民館自習室」を行った。 ・新規利用者へのきめ細かい説明や利用者懇談会を行い、公民館使用上の注意点等の理解に努めた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	0	5	1	2	3	0	1	4	1	3	2	5	3
延べ 参加人数	0	0	165	800	149	52	0	167	55	30	30	1668	305	0

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
信州小谷村 自然観察講座	5月31日	1回	環境	成人	13人	【内容】 緑広がる大自然の中を散策し、現地ガイドの案内で野草の講習や北アルプスの名前を覚える。 【ねらい】 山に関する学習だけでなく、起伏のある斜面を歩き、運動不足解消も兼ねる。	【準備過程】 小谷村担当者と連絡を取り、当日の打ち合わせを実施。	【評価と反省】 参加者からは、大自然の知識や見聞を深めることができ、山地を歩くことで適度な運動になったとの意見を頂く。講座継続の要望が出るなど好評であった。募集もすぐ定員を満たす等、事業が地域に浸透できている。 【今後の方針】 来年度は小谷村から乗鞍地域に行き先を変更し、継続していく。	
庄内地区 やまび子どもまつり テーマ「(未定)」	7月17日	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	【内容】 庄内地区の子ども達を対象にした夏祭り。子供たちの希望を汲んだ大人の模擬店や様々な体験コーナーを設けるもの。 【ねらい】 模擬店や各種イベントを行い、子ども達に一夏の思い出を残す。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。地域のリーダー的な存在である町会青年会、庄内盛々会等の協力・支援を得て準備を行った。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。	
「タイムカプセル開封」事業 ～「10年後20歳の私」に贈るメッセージ～ (やまび子どもまつり事業)	7月17日	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	【内容】 やまび子どもまつりの一環として、H29年度まで地元小学校（並柳小/筑摩小/源池小）の5年生が「10歳の私から10年後20歳の私へ贈るメッセージ」を作成。H30年度からは、開会式の中で新成人2名に当時のメッセージを朗読してもらう 【ねらい】 子ども達の思い出づくりの一環。地域への愛着を持たせる。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。タイムカプセルは公民館内にて保管。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。	

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ドリーム庄内 “秋のつどい” (実行委員会・企画運営委員会)	10月22日 ～ 10月26日	1回	防災	その他	167人	【内容】 庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内”秋のつどい”」は、その年ごとにテーマを決めて企画を検討し、イベントを開催する。H28年度から「防災運動会」をテーマに4年続けてきたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、内容を再検討した。 結果、災害時に自衛隊や消防署等がどのような活動をしているかといった啓発・広報を目的に、通称「防災展示会」として、関係機関が所有するパネルや写真を掲示しての見学会を実施することした。 【ねらい】 地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を目的とする。 地元消防団の協力も継続し、防災意識の啓発や、消防団員活躍の場をつくる。	【準備過程】 本来であれば町会連合会、町内公民館長会、公民館5部門委員会、育成会、地元の青年会及び盛々会等のメンバーによる企画運営委員会で計画立案を行い、地区の主たる団体で構成される実行委員会で承認を頂く。 今年度はコロナ対策のため会議への参加者数、回数等を大幅に減らした上で計画を立案し、実行に移した。 【共催団体等】 防衛省自衛隊長野地方協力本部松本事務所、松本広域消防局、松本市社会福祉協議会、松本市消防団第6分団、開成中学校	【評価と反省】 ドリーム庄内のマンネリ化防止と事業の定着化（＝事業の定番化）の2つを両立させるためこれまで試行錯誤を続けてきた。 コロナ禍の影響で様々な事業が中止となりうる中、地域防災の啓発を続けてきたドリーム庄内を断ち切らせることなく実施できたことは大きい。ただし、企画が実質事務局主導にならざるを得ず、十分な議論や意見交換ができたとは言いがたい。 【今後の方針】 来年度はポストコロナを見据え、防災運動会の復活を検討していく。また、ドリーム庄内の意義や在り方を改めて探っていく。	
庄内地区 「三九郎講習会」	12月5日	1回	地域事業 (文化)	青少年	30人	【内容】 地域の伝統行事である三九郎を、子ども達（親含む）で実施できるように、三九郎のやぐらの建て方の講習会を開催するもの。 【ねらい】 三九郎が子どもの行事として自らが主体的に運営できるようになることを目的とする。また、親世代にも技術の伝承を図るもの。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。講師の手配、公民館内に保管された三九郎資料を隣接の空き地にセッティングする等の準備に協力した。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 かつては誰でも作れたという三九郎も、現在はしっかりとした講習を行わないと行事が実施できない状況である。 子どもだけでなく、大人も交じり、伝統文化継承のよい機会となった。 今回はコロナ禍のため、参加人数を大幅に削減せざるを得なかった。 【今後の方針】 伝統行事の継承を目的に、今後も継続していくもの。	
庄内地区公民館 新春落語講座	1月18日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 プロの落語家をお招きし、地区住民に新春のお楽しみとして落語に親しんでもらう。 【ねらい】 日本の伝統文化を地区住民に体験してもらい、文化教養の向上を図る	【準備過程】 落語家の世話や段取り等については松本落語会に協力を要請。公民館側は告知や会場準備を行う。 【共催団体等】 松本落語会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。	

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
サークル活動支援 (利用者懇談会)	2月25日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	【内容】 主に庄内地区公民館を利用する団体を対象に懇談会を開催し、相互の意見交換や公民館側からの利用上のお願について説明の場を設けるもの。 【ねらい】 庄内地区公民館は稼働率が高く、非常に大勢の団体に利用頂いている。誰もが気持ちよく公民館を利用して頂くため、使用上の注意や駐車場不足の解消に協力してもらおう等の話し合いの場をつくる。	【準備過程】 利用団体に対して庄内地区公民館利用にあたってのパンフレットを作成した。 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は令和元～2年度に新規に利用料減免登録した団体に絞り、懇談会を実施した。	【評価と反省】 各団体に対して公民館からのお願いについてご理解頂いた。 【今後の方針】 庄内地区公民館を利用する団体は年々増加している。懇談会を継続していくと共に、パンフレット等の説明資料整備に力を注いでいきたい。	
中信にほんごひろば	4月～3月	12回	地域事業 (その他)	その他	468人	【内容】 外国由来の子ども達や大人を対象にした日本語教育を行うもの。 【ねらい】 庄内地区近隣に住む、日本語を母語としない子どもへの日本語学習支援を通して、多文化共生社会の実現に向け、外国籍の方々との交流を図る機会とする。	【準備過程】 NPO法人「中信多文化共生ネットワーク」に所属する「中信にほんごひろば」が運営主体となり、地域（並柳団地町会）とも連携して、2つの会場を設定し取り組む。 【共催団体等】 中信にほんごひろば	【評価と反省】 学習者各々の都合で毎回参加人数にバラツキはあるが、通年多くの参加者があった。 24年度以降、並柳団地町会と連携し、町内公民館を会場に出前講座的に実施しており、団地在住の外国由来の住民を対象とした身近な「にほんごひろば」として取り組みができています。 【今後の方針】 本事業は日本と外国由来の方々とのつながりを生み育てるためのものであるため、継続を図るだけでなく、NPOとの連携も強化していきたい。	
筑摩小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容】 地域住民を講師に招き、様々な学習の場を展開。 例：朗読学習、英会話学習、ダンス体験、畑作、稲作 【ねらい】 様々な分野の体験をさせることで、子供達の可能性を広げる	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする 【共催団体等】 かえでの会、ECメイプル、地域住民等	【評価と反省】 事業内容は概ね定番化しており、安定した教育の場を作ることが出来ている。 【今後の方針等】 現状を維持し、可能であればその年ごとに特色ある学習の場を検討していく	○

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
並柳小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容・ねらい】 あいさつ運動等を通じて児童がいきいきとした学校生活を過ごせるような雰囲気を作っていく。また、様々な事情を抱えた児童らの見守りや教職員の負担を、地域ボランティアの力を借りて支えていく	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする 【共催団体等】 地域住民、民生委員等	【評価と反省】 様々な地域ボランティアとのコーディネートが上手に行われたことで、学校に地域住民が関われる素地ができつつある 【今後の方針等】 引き続き、地域と学校のつながりを維持していく	○
開成中学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容】 生徒が地域での清掃活動を行う「開成タイム」を主に実施している。また、R1年度から地元住民との協同による「避難所開設体験」を実施するもの。 【ねらい】 生徒が地域に出て活動することで、地域住民と関わり合いを持つ場を作っていく。また、防災についての見識を深めることも目的とする【防災】	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。地元団体に対しても、学校と協同での運営について協力を求めたが、準備段階でコロナ警戒レベル上昇に伴い、公民館と学校側のみでの実施となった。	【評価と反省】 これまではいわゆるできる範囲での活動が中心だったが、R1年度から積極的に生徒が地域で活動し、自分たちで体験し、考え、それを発表していく方向性を作っている。特に避難所体験は、子ども達にとって災害や防災について考えるよい機会になったと判断する。 【今後の方針等】 学校側と密接に関わり、生徒が地域に出て学習できる環境が整うよう協力体制を構築していく。特に避難所体験は地元住民との協力体制が不可欠であるので、地元団体等に協力を求めていく。	○
庄内ちびっこひろば (子育て委員会)	5月～2月 (毎月第3火曜)	7回	子育て	青少年	165人	【内容】 地域に住む就園前の子と親を対象に、集い・交流・情報交換・相談等の活動を展開する。 【前期】親子体操、野菜収穫体験他。 【後期】人形劇、クリスマスコンサート 他。 【ねらい】 未就園児の親子を対象に、子育てへの関心と理解、親と子の絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 公民館5部門委員会のひとつである「子育て委員会」が中心となり、地区内在住の子育て関連の有資格者、読み聞かせサークル、子育て経験者等を講師にお招きし、質の高い育児体験が行えるよう企画内容や運営方法を検討した。	【評価と反省】 未就園児と親とのかけがえのない思い出作りができた。 【今後の方針】 現在の実績と効果をそのままに、新たな運営方法を模索していく。	

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
よみかかせ おはなし「ゆめの会」	5月～3月 (毎月第2火曜)	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 図書コーナーを利用した月1回の「おはなし」の会を開催。絵本の読み聞かせの他、手あそび、仕掛け絵本、紙芝居等も用いる。 オープニングとエンディングとして、メンバーで手合わせ歌を実施し、雰囲気盛り上げる。 ※ゆめの会は、図書委員と地元で活動する読み聞かせサークルの有志で結成し、運営しているもの。 【ねらい】 未就園児に対する絵本の読み聞かせの経験は成長の上で重要である。子どもはもちろん、親世代にも重要性を認知してもらおうもの。	【準備過程】 図書コーナーに暗幕を設置したり、大勢の親子が集えるようイスの配置に工夫を凝らしたりして、雰囲気作りに趣向を凝らした。公民館工作室を楽屋とし、メンバーが事前にリハーサルや打ち合わせを行った。 【共催団体等】 おはなしボランティア「ゆめの会」	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。	
マレットゴルフ交流会	5月19日 11月17日	1回	地域事業 (体育)	高齢者	30人	【内容】 誰もが気軽に取り組めるマレットゴルフを通じた運動の場を、主に65歳以上の地区住民を対象に開催。 【ねらい】 健康増進や体力づくりを通じて健康寿命の延伸を図るだけでなく、退職後の男性の社会参画及び退職後の生きがいづくりの一環とするもの。	【準備過程】 複数の町会住民の有志が中心となり、会場選定や事務作業等といった企画立案を全て行う。公民館側はそのサポートに徹する。	【評価と反省】 高齢者の老後の生きがい、趣味、健康増進の場として有効に機能している。特に高齢男性は家に引きこもりがちであるため、この事業をきっかけに外へ出る機会を作ることができている。(5/19はコロナ禍のため中止) 【今後の方針】 今後も継続していくもの。	
弘法山さくら絵画コンクール	コンクール 表彰式 5月30日 作品展 5月28日 ～ 7月1日	1回	地域文化	青少年	800人	【内容】 地域資源(宝)である弘法山の桜を題材にした絵画コンクールを開催。入選作品を公民館内に展示する他、その中から選ばれた特選作品に対しては別途表彰式を設ける。 【ねらい】 弘法山古墳と桜は、県内外にも認知度が広まる地域の宝である。絵画コンクールを通じて児童の郷土愛を育むと共に、複数の学校が関わる地区全体の事業として位置付けていく。	【準備過程】 年度末に各学校へコンクールの案内と画用紙配布を行い、桜開花時期にすぐ対応できる準備を整えた。特選・入選作品の選考は、児童を一番よく知っている学校側に依頼。 この事業はかつて並柳商工会主管による弘法山古墳さくら祭り(H31廃止)の一事業であったため、並柳商工会からも児童への参加賞配布等の事業支援を受けた。 【共催団体等】 筑摩小学校、並柳小学校、中山小学校、並柳商工会	【評価と反省】 学校側からも、全校生徒向けや学校を越えた企画がありがたい旨の話が寄せられた。絵画展示期間中も入選作品に選ばれた児童やその家族、一般来場者が観覧する等、大勢の方々が訪れ、住民のための公民館としての機能が果たせていると考える。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。	

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
庄内ほたると水辺の会 「庄内ほたる観察会」 「生き物観察会」 (庄内ふるさと『ほつと塾』) 「秋のお楽しみ自然勉強会」	7月3日 8月3日 11月7日	3回	環境	その他	136人	【内容】 「ほたる”も”すめるよい自然」をテーマに、動植物の学習会や実地体験や観察会を行うもの。 【ねらい】 かつて、どこにでもいたほたるを保護する活動から、変遷する地域やそこに暮らす人々の暮らし、自然環境を学びながら、地域の状況や課題に目を向けていく機会とする。	【準備過程】 「庄内ほたると水辺の会」が主催。会長である藤山静雄元信州大学名誉教授を中心に、「庄内北公園」内にある水路の維持管理を実施し、ほたるの生息地を守った。 【共催団体等】 庄内ほたると水辺の会	【評価と反省】 親子参加が目立ち、ほたるだけでなく、自然環境全般への関心を深める機会となった。 【今後の方針】 自然環境について考える良い機会であるため、今後も継続していく。庄内ほたると水辺の会の高齢化や後継者の課題が提起されてきたため、対策を講じていく。	
庄内地区子ども食堂 (お弁当配食事業)	7月10日 3月19日	2回	地域事業 (その他)	青少年	1,200人	【内容】 地区内(主に並柳)の店舗が調理したお弁当を子ども達に配食する子ども食堂事業。 【ねらい】 お弁当配食を通じてコロナ禍中の子ども達を元気づけると共に、地域店舗の活性化にもつなげる	【準備過程】 並柳商工会所属の各店舗を中心にバリエーション豊富なお弁当を用意し、当日に各町会へ配達できるよう調整を図った。 【共催団体等】 並柳商工会、庄内地区子ども会育成会、庄内地区PTAの皆さん、庄内地区各青年会、庄内盛々会	【評価と反省】 初の試みのため段取りや準備に課題は残ったが、地区の子ども達からはお弁当配食に喜ぶ声が上がると、事業としては成功を収めたと考える。 【今後の方針】 主催はあくまで地区有志によるもののため、再度開催の機会があった際は引き続き支援していくもの。	
公民館自習室	7~8月 3月	2回	その他	青少年	55人	【内容】 小中学校の長期休業に合わせ、公民館の部屋を児童生徒の自習室として開放し、公民館が気軽に利用できる場であるという認知度の向上を図る。 【ねらい】 庄内地区公民館は複合施設「ゆめひろば庄内」のひとつであるため、地元住民にとっての認知度の低さが課題であった。 児童が利用することで間接的に成人に対する認知度向上にもつなげる。	【準備過程】 公民館側で自習室となる部屋の確保を行う。地元小中学校に対し、自習室開催のお知らせを告知する。	【評価と反省】 コロナ禍ではあったため来場者数自体は伸び悩んだが、参加者からは長期休業時にまた実施してほしいといった声が上がった。利用者もリピーターが目立ち、公民館の活用方法が認知されていると考える。 【今後の方針】 地区住民に対して公民館利用を促す事業なので、今後も継続していく。また、気軽さや利用する児童生徒の自主性を重要視するため、必要以上の事業拡大は行わず、持続性を重視して行っていく。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
源氏物語の世界	9～10月	3回	趣味教養	成人	52人	<p>【内容】 日本の古典「源氏物語」とそれが執筆された平安時代の様子といった深いところまで学ぶことで、参加者の教養を深めていくもの。 なお、当企画は地元住民からの講座開催の声に応じて実施に至った。</p> <p>【ねらい】 源氏物語について深く学ぶと共に、共通の話題から参加者同士の顔の見える関係づくりを進めていく。</p>	<p>【準備過程】 源氏物語について専門的知識を有する講師（現 松本第一高等学校長 今井氏）をお招きした。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍ではあったが、大勢の来場者が訪れ、源氏物語の見識が深まったと考える。また、最終回後に講師を交えての懇親会が行われ、ねらいどおり講座参加者全員の交流を行うこともできた。</p> <p>【今後の方針】 参加者からは継続の声が、講師からも源氏物語の奥深さを語り切れていないとのことで、来年度も継続する。</p>	
子育て委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年	93人	<p>【内容】 地域に住む就園前の子と親を対象とした子育て講座「ちびっこひろば」の企画、運営を行う。 また、図書コーナーの蔵書の充実や、図書関係の啓発等も行っていく。</p> <p>【ねらい】 「ちびっこひろば」を通じて、子育て世代の親子の絆を深めたり、同世代の親通しの交流を育むことを目的とする。</p>	<p>【準備過程】 委員が年10回行われる「ちびっこひろば」の企画を検討し、消耗品の購入や出演者の依頼等を行う。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍ではあったが、委員の「できる範囲」やコロナ蔓延状況でも実施できる内容を考案し、ちびっこひろば実施に結び付けることができた。</p> <p>【今後の方針】 新型コロナウイルスの蔓延状況等を鑑みながら、ちびっこひろばの内容充実や図書部門の活動を模索していく。</p>	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	90人	<p>【内容】 館報庄内版の企画・編集・発行。</p> <p>【ねらい】 単なる「地域で起こったことの報告」で終始するのではなく、常に地域の課題について問題提起を図っていくことを目的とする。</p>	<p>【準備過程】 公民館長の委嘱者、町内公民館長会からの選出者、公民館5部門委員会の長等から選出。偏りのない話題作りができる体制を整えている。</p>	<p>【評価と反省】 自由闊達な意見交換をする上で必要にして十分な委員体制を構築できたため、編集委員からは”楽しかった”、”充実できた”という前向きな意見を頂くことができた。 コロナ禍の中で委員会を継続できたこと、コロナ禍だからこそ掲載すべき記事を制作できたこと等、委員会としては充実したものだ」と判断する。</p> <p>【今後の方針】 あらゆる視点からの情報が集約・交換ができる体制を構築することが課題</p>	

令和3年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	67人	<p>【内容】 公民館1Fロビーに、伝統行事・年中行事など、四季折々を感じる展示を実施。</p> <p>【ねらい】 地域住民がほっとできる場づくりを目指す。</p>	<p>【準備過程】 公民館内に格納されたお雛様、鯉のぼりといった伝統品を季節に合わせて展示する。 地元から竹や松を頂き、七夕飾りや松飾りを作る等の独自の作品も展示する。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍故に来館者が期待できないため、活動を休止することも多少あったが、概ね例年通りの活動に移行することができた。 季節に応じた展示による心安らぐ空間として、公民館が住民にとっての憩いの場となるよう活動を続けていきたい。</p> <p>【今後の方針】 今後も事業を継続していくもの。</p>	
公民館の明日を語る会 (公民館運営委員会)	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	35人	<p>【内容】 公民館の運営や改善、事業内容の企画・立案等、公民館の明日を語る場として、肩の張らない自由な雰囲気です話し合いの場を持つ会議。ドリーム庄内”秋のつどい”の方針も検討する。</p> <p>【ねらい】 庄内地区の各団体・委員会の責任者が集い、公民館運営の充実を図る。</p>	<p>【準備過程】 地域のリーダーとして地区内外で活躍し、かつ公民館活動に意欲・興味を持つ者で構成。</p>	<p>【評価と反省】 近年、ドリーム庄内の企画立案に偏りがちで、委員から改善すべきとの声が上がっていた。今年度議論した結果、来年度からは地域住民らが自由な雰囲気です語り合う場は「庄内地区の明日を語る集い」として、地区全体の行事を実施していく5部門委員会としての機能は「公民館企画委員会」として、今までの機能を2つに分けて再出発する。</p> <p>【今後の方針】 「明日を語る集い」と「企画委員会」の立ち上げと活動を軌道に乗せていくことを進めていく。</p>	
庄内盛々会 (子ども・環境をキーワードにした活動)	通年	中止	その他	成人	0人	<p>【内容】 盛々会とは、縦割りの息苦しさから脱却し、横のつながりを重視した自由な組織である。やまびこ子どもまつりやドリーム庄内等のイベントに積極的に参加し、地域を楽しく盛り上げている。</p> <p>【ねらい】 人と地域をつなげる企画や活動だけでなく、従来の枠にとらわれない新しい視点の地域づくりを目指している。</p>	<p>【準備過程】 不定期で例会を開催し、会員それぞれの思いや提案を出し合い、学習会を経て企画・事業化、実践をしている。</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。</p> <p>【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書コーナーの充実 (図書貸出と整備)	通年		趣味教養	その他		<p>【内容】 児童書・絵本、国際交流、郷土関係などの本を設置し、利用者への一般貸出を行っている。 また、新聞記事の切り抜きや防災や地域情報に関するパネルを設置</p> <p>【ねらい】 本やパネルにより、来館者の学習機会の向上や意識啓発に努める。</p>	<p>【準備過程】 子育て委員会(図書部門)及び地元小学校で活動する読み聞かせグループの協力により整備。 読み聞かせ講座や子育て委員による選書作業により図書の充実を図ってきた。</p>	<p>【評価と反省】 例年であれば、図書コーナーで大型絵本や紙芝居を使っての読み聞かせをしている親子の光景をよく見かけたり、父親の姿も多くみられる微笑ましい空間であったり、地域の井戸端会議的空間となっている。 今年は、新型コロナウイルス感染症対策の影響でほぼ通年図書コーナーの利用は停滞した。</p> <p>【今後の方針】 不特定多数の住民が集う場のため、新型コロナウイルスの状況を鑑みながら、利用再開や在り方を検討していく。</p>	
公民館1Fロビーの充実	通年		その他	その他		<p>【内容】 庄内地区公民館は複合施設「ゆめひろば庄内」の1Fにある。 大勢の人が行き来する1Fロビーに、文化委員会の展示活動とは別に、一般市民による伝統品の展示、ディスプレイを配備してDVDの上映を行う。</p> <p>【ねらい】 入館される方に、展示やDVDを通じた情報発信、啓発活動を行う</p>	<p>【準備過程】 一般市民に対し、所有している伝統品の展示について呼び掛ける。 DVDは、市広報映像や地元有志のチャリティーコンサートの収録映像等を頂く。</p>	<p>【評価と反省】 体育館、トレーニングジム、プールで運動を終えた方々や、子連れの親子等が、ちょっと一息つくロビーにて、映像視聴や作品を観覧している。 ちょっとした情報発信に過ぎないが、市全体の広報手段としても有効であると判断している。 コロナ禍の中訪れる来場者も、ほっと一息ついている風景が見られた。</p> <p>【今後の方針】 今後も情報発信を続けていくもの。</p>	
公民館ニュース	通年	12回	その他	成人		<p>【内容】 毎月の市広報誌の配布に合わせ、庄内地区全戸に公民館事業を周知する。</p> <p>【ねらい】 公民館の情報を広く住民に周知する</p>	<p>【準備過程】 公民館職員にてチラシを作成。</p>	<p>【評価と反省】 講座、行事等の周知に有効であるため、今後も続けていきたい。</p> <p>【今後の方針】 周知活動は今後も継続していくが、配布物の増加は町会の負担につながるため、資料は分かりやすくかつ必要最小限を基本に、配布物削減にも取り組みたい。</p>	

令和3年度 事業報告の概要

鎌田地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針】</p> <p>①公民館は楽しい学びを提供する場でありたい ②公民館は自身の行動や実践を喚起する“きっかけ作り”となる場でありたい ③公民館での講座は、多様な市民の希求に出来るだけ応えられるよう、広く門戸を開放したい</p> <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <p>1 きっかけ作りとなる講座を企画する→住民の継続的な学びができるようサポートする</p> <p>(1) はじめての切り絵教室 (2) やさしいヨガ教室 (3) 松本で『安曇野』を読む会</p> <p>2 参加者の年齢層拡大</p> <p>(1) 松本一本ねぎ食育講座 (2) お父さんのための絵本教室 (3) 認知症を学ぼう！</p>										<p>・コロナのため昨年に引き続き、規模縮小や中止をせざるを得ない事業もあったが、感染症対策を徹底しながらできることを考え、事業運営を行った。</p> <p>・住民の学習の“きっかけ”となる各種講座を開催した。講座終了後も、公民館が参加者と講師をつなぐパイプ役となり、サークル活動化への補助を行った。その結果2つのサークルが結成された。</p> <p>・従来、講座は平日の日中に行われており、参加者（年齢層）が固定化されていた。令和3年度は土曜日に行う講座を増やしたことで、子どもや働き世代など公民館の利用年齢層の拡大につながった。令和4年度も引き続き、幅広い年代の“やりたい”を形にしていきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	4	9	1	2	2	0	3	0	0	2	2	0
延べ 参加人数	254	265	229	243	31	180	42	0	122	0	0	182	245	0

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
はじめての切り絵教室	4月13日 4月20日	2回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 初心者の方を対象に切り絵の基本を学ぶ 【ねらい】 ・趣味や生きがいづくり ・公民館でのサークル活動化	【講師】 立花 久夫 氏	【評価と反省】 2回に分けて実施し、2回目は1回目よりも難易度が上がったものを題材に作成した。 参加者は集中し、切り絵に没頭していた。 【今後の方針】 好評であったが、サークル活動化には至らなかった。要望があれば、実施内容を見直しながら開催したい。	
やさしいヨガ教室	4月21日	1回	スポーツ	成人	15人	【事業内容】 誰でもできるヨガ体験教室 【ねらい】 ・コロナ禍における運動不足とストレス解消 ・公民館でのサークル活動化	【準備過程】 スポーツ委員会にて内容を検討 【講師】 田中 花 氏	【評価と反省】 ゆったりとした動きの中、自分自身の体と向き合ういい機会になった。 また、参加者有志により6月にサークルが発足した。 【今後の方針】 サークル活動が拡大していくよう、PR等を行っていききたい。	
松本で「安曇野」を読む会	5月10日 5月24日	1回	地域文化	成人	18人	【事業内容】 安曇野市出身の作家、臼井吉見の代表作『安曇野』を読む読書会 【ねらい】 ・『安曇野』を読み解きながら、明治から現代までの激動する社会・文化・思想を学ぶ ・公民館でのサークル活動化	【話題提供者】 伊藤 正住 氏	【評価と反省】 参加者有志にから継続を望む声があがり、6月に自発的にサークルが発足した。 【今後の方針】 サークル活動が拡大定着していくよう、PR等を行っていききたい。文化祭等での活動成果発表をお願いしたい。	
お父さんのための絵本教室	6月26日	1回	子育て	成人	20人	【事業内容】 若いお父さんを対象に、絵本の世界の楽しさを学ぶ講座 【ねらい】 ・子どもと一緒に絵本を読むことの大切さを学ぶ ・絵本の読み方を実践する	【講師】 越高 一夫 氏	【評価と反省】 子どもと絵本を読むことの大切さを学んだ。また、講師の実演も見ることができ、今後の読み聞かせのポイントを知ることができた。土曜日に開催したが、ターゲットとしていた若いお父さんの参加は少人数であった。 【今後の方針】 今後開催するのであれば、まずは対象を狭めずに発信していきたい。図書館や保育園等にも協力を仰ぎたい。	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館でからだを動かそう！	6月27日	1回	スポーツ	成人	27人	<p>【事業内容】 町内公民館を活用した運動講座</p> <p>【ねらい】 ・運動不足の解消、筋力低下の予防 ・町内公民館の利用促進</p>	<p>【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検討</p> <p>【講師】 公民館主事</p>	<p>【評価と反省】 町内公民館を活用する良い機会となった。 高齢者の参加が多かった。 ※5月、11月、2月にも開催を予定していたが、コロナのため開催中止となった。</p> <p>【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続したい。</p>	
上高地自然散策	7月14日	1回	環境	成人	31人	<p>【事業内容】 上高地の豊かな自然を散策する講座で、散策前には上高地管理事務所の方から上高地の魅力や課題について講演してもらう</p> <p>【ねらい】 ・散策を通じて上高地の歴史や植物について学ぶ機会とする ・上高地地域の自然環境のための制度づくりや国立公園などについて学ぶ</p>	<p>【準備過程】 文化委員会で内容を検討</p> <p>【ガイド】 丸山 隆 氏 臼井 弥生 氏 村上 さよ子 氏 林 誠吉 氏</p> <p>【講演会講師】 大嶋 達也 氏 (上高地管理事務所職員)</p>	<p>【評価と反省】 自然散策では、体力に合わせて2つのコース(3km・7km)に分かれ行った。 ガイドの方の詳しい説明により、上高地の歴史や植物について学ぶことができた。 講演会では、上高地を違った視点から解説していただいた。</p> <p>【今後の方針】 好評な講座であったため、文化委員会で継続を検討したい。</p>	
松本の七夕まつり	8月6日	1回	地域文化	青少年	46人	<p>【事業内容】 松本地方の七夕行事を題材にした絵本や平和をテーマにした絵本の読み聞かせと七夕人形(紙びな式)作り。 (7月26日～8月6日:短冊コーナー設置)</p> <p>【ねらい】 松本の伝統行事を学ぶ機会としたい。</p>	<p>【準備過程】 図書・視聴覚委員会で内容の検討</p> <p>【共催団体】 子ども会育成会</p>	<p>【評価と反省】 コロナにより行事の開催が中止となる中、子どもたちが松本の伝統行事に触れる良い機会となった。 七夕人形は、令和2年度に実施した内容では、小学校低学年以下には難しい内容であったため改良を行った。令和3年度はスムーズに作業が進んだ。</p> <p>【今後の方針】 絵本の選定や七夕人形の作り方など実施内容を検討し継続したい。</p>	
自然と遊ぼうin国営アルプスあずみの公園	8月7日	1回	子育て	青少年	0人	<p>【事業内容】 国営アルプスあずみの公園でクラフト体験、バーベキュー、すいか割りなどを行い親睦を図る。</p> <p>【ねらい】 地区内の2小学校に通う子供たちの交流を深め、地区としての一体感を高める。</p>	<p>【準備過程】 内容は子ども会育成会で検討</p> <p>【主催団体】 子ども会育成会</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止</p>	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館専門委員会 合同研修・交流会	9月14日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	0人	【事業内容】 委員が他地区のまちづくり協議会の活動を視察する。また、松本市内（考古博物館など）を訪れ研修する。 【ねらい】 ・公民館専門委員会の学びの機会と交流の場	【準備過程】 運営委員会で内容を検討	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止	
図書・視聴覚委員会主催 バス視察研修 in長野県立美術館	9月28日	1回	地域文化	成人	0人	【事業内容】 令和3年4月に新築オープンした長野県立美術館や善光寺周辺を視察する。 【ねらい】 ・参加者の交流の場 ・歴史文化を学ぶ	【準備過程】 図書・視聴覚委員会で内容を検討	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止	
鎌田地区周辺お宝めぐりウォーキング	10月16日	1回	地域文化	青少年	33人	【事業内容】 鎌田地区の歴史について学ぶ 【ねらい】 児童センターの子どもたちに地区内の文化財や歴史に対する興味を持ってもらう。	【ガイド】 公民館長 【共催団体】 鎌田児童センター	【評価と反省】 児童センターの子どもたちに地区内の歴史について興味を持ってもらう良い機会となった。地区住民の交流の場となった。 【今後の方針】 児童センターと連携しながら、実施内容を検討し継続したい。	
松本の伝統工芸 押絵づくり	12月6日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 来年の干支「寅」をテーマに押絵の技法を学ぶ 【ねらい】 松本地域の伝統を学ぶ場とする	【講師】 三村 隆彦 氏	【評価と反省】 松本の伝統工芸を知る良い機会となった。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。	
認知症を学ぼう！	12月18日	1回	福祉健康	青少年	26人	【事業内容】 児童を対象に紙芝居やカルタを通して認知症の基本を学ぶ 【ねらい】 子どもたちに認知症について理解してもらい、自分たちにできることはないか考えてもらう機会とする	【講師】 中央西地域包括支援センター センター長 宮嶋 由佳 氏	【評価と反省】 認知症について子どもにも分かりやすく解説してもらった。一人ひとり、できることを考えるいい機会となった。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
アートフラワーを使って 正月飾りをつくろう！	12月22日	1回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 アートフラワーを使用し正月飾りを制作する 【ねらい】 正月行事に関心を持ってもらうきっかけづくり	【講師】 田中 沙恵子 氏	【評価と反省】 正月行事に関心を持ってもらう良い機会となった。参加者から好評を得た。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。	
鎌田お宝講座⑦ 鎌田地区を知ろうパート2 ～笹部・征矢野・高宮 界隈を歩く～	11月9日	1回	地域文化	成人	0人	【事業内容】 鎌田地区の歴史や文化を実際に文化財を巡りながら学ぶ 【ねらい】 地区内の歴史や文化について学ぶ機会としたい	【準備過程】 テーマや講師について文化委員会で検討 【講師】 小山 淳一 氏	【評価と反省】 雨天のため中止	
鎌田お宝講座⑧ 貞享騒動をたずねて ～義民の一揆とそれに まつわる伝承～	2月15日	1回	人権平和	成人	0人	【事業内容】 江戸時代の貞享3年に松本藩で起きた百姓一揆がテーマの講座 【ねらい】 人として生きる権利や平和の尊さを学ぶ	【講師】 田中 薫 氏	【評価と反省】 新型コロナウイルス拡大のため中止 令和4年度へ延期	
鎌田お宝講座⑨ 草間彌生～少女が水玉 の女王になるまで～	2月22日	1回	地域文化	成人	0人	【事業内容】 世界を舞台に活躍する草間彌生の生い立ちから現在に至るまでの軌跡を学ぶ講座 【ねらい】 鎌田地区出身の草間彌生さんについて学び、関心を持ってもらう	【主催】 松本市美術館	【評価と反省】 新型コロナウイルス拡大のため中止 令和4年度へ延期	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歩こう鎌田ウォーキング	4月19日 5月18日 7月16日 8月23日 9月15日 11月16日 12月21日 1月21日 2月21日 3月15日	10回	福祉健康	高齢者	193人	【事業内容】 通称「歩かま」。 毎月、地区内を異なったルートで歩く。 年に1～2回は、地区を出て、自然の中を歩く。(グリーンエクササイズ) 【ねらい】 歩く習慣を身につけ、健康づくりを促進する。参加者同士の交流を深め、自主的なグループ作りを推進するもの。	【準備過程】 毎月ルートの選定 【共催団体】 鎌田地区福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の中で歩く習慣がついた人がいた。参加者同士の交流を深められた。自主的なグループ結成には至らなかった。 ※8月、12月、1月、2月は室内にてストレッチや筋トレを実施した。 【今後の方針】 参加者の自主性を尊重しながら、継続実施したい。	
歩こう鎌田ウォーキング inスカイパーク	6月28日	1回	福祉健康	高齢者	22人				
歩こう鎌田ウォーキング バスハイク in上高地	10月8日	1回	福祉健康	高齢者	24人				
松本一本ねぎ食育講座	4月24日 5月29日 8月7日 9月25日 11月20日	5回	地域文化	その他	124人	【事業内容】 松本一本ねぎの栽培 苗植え～収穫～料理方法について学ぶ体験型の食育講座 【ねらい】 食育講座の一環として、地域文化を学ぶ場とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 農業体験講師：鎌倉 秀文 料理体験講師：鎌田地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 地区内でも栽培されている伝統野菜を知る良い機会となった。 参加者が固定されていることが課題であったため、令和3年度は土曜日に講座を実施。 未就園児を含む家族での参加が多く、幅広い年代が集まる講座となった。 【今後の方針】 定員を超える申込みがあった。文化委員会で事業の目的を明確にしながら、対象などを検討し継続したい。	
鎌田地区公民館 活動サークル紹介ビデオ制作	5月～7月	1回	地域事業 (その他)	成人	52人	【事業内容】 鎌田地区公民館で活動するサークルの活動内容を写真やビデオに収め編集し、公民館ロビーのテレビで放映する 【ねらい】 サークルの活動拡大と発表の場 サークル間交流のきっかけづくり	【準備過程】 ・鎌田地区公民館活動サークルへビデオ出演依頼 ・パソコンサークル「PC金曜日」との連携	【評価と反省】 令和3年度はビデオを1本制作。ビデオ視聴によりサークル見学や加入を希望する者がいた。サークル間で交流する場面も見られた。 【今後の方針】 未紹介のサークルへ協力依頼をし制作を継続していきたい。	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
陶芸体験教室	6月25日 7月2日 7月9日 7月16日 7月30日 8月6日 9月10日 9月24日 10月1日	9回	趣味教養	成人	163人	【事業内容】 陶芸の基礎を学ぶため、初心者を対象に毎年開催。土練り～成形～釉薬まで一通りの技術を学び、コーヒークップや花器を制作する。 【ねらい】 ・趣味生きがいづくりのきっかけとする ・陶芸サークルへの加入を促進し、陶芸サークルの活性化を図る	【準備過程】 講師との打ち合わせのうえ内容を検討。 陶芸サークルに講座の際にサポートを依頼。 【講師】 木村 岳史 氏 【共催団体】 鎌田地区公民館陶芸サークル	【評価と反省】 参加者からは好評を得ており、陶芸サークルへの見学、加入を希望する者がいた。 令和3年度から陶芸5つのサークルの皆さんにご協力をいただき、講座時にサポートに入っていた。受講者と陶芸サークル間に交流が生まれ、サークル活動の詳細について質問をする場面が見受けられた。 【今後の方針】 講師や陶芸サークルの皆さんと実施内容を検討し継続したい。	
公民館周辺美化作業 公民館年末大掃除	6月20日 10月18日 12月16日	3回	その他	成人	122人	【事業内容】 公民館及び周辺の美化作業。公民館周辺美化作業2回と年末大掃除1回を実施する。 【ねらい】 公民館利用サークルの会員相互交流及び公民館周辺の美化。	【共催団体】 鎌田地区公民館利用サークル	【評価と反省】 公民館周辺の美化や利用団体の相互交流の場となった。 【今後の方針】 公民館利用サークルと連携しながら実施内容を検討し継続したい。	
夏休み学習室開放	7月26日～ 8月12日 (土日除く)	1回	子育て	青少年	189人	【事業内容】 夏休み期間中の学習場所として公民館の会議室を開放し、自由に勉強できる部屋として開放する。 また、学習ボランティアによる学習相談日を設ける。 【ねらい】 小学生・中学生・高校生の学習支援とする。	【準備過程】 公民館だより及び学校配布で周知 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 集中して勉強できる場として好評であった。 【今後の方針】 勉強を相談できる環境を整えるなど実施内容を検討し継続したい。	
人権啓発 「平和を祈る詩」展示	9月6日～ 10月15日 (土日祝日を除く)	1回	人権平和	青少年	254人	【事業内容】 鎌田地区の小学生が書いた「平和を祈る詩」の展示 【ねらい】 平和教育、人権問題を考える機会とする	【準備過程】 松本詩人会から地元の小学生が書いた「平和を祈る詩」を借用 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 平和や人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
美術工芸作品展	11月8日～11月12日	1回	地域事業 (その他)	成人	130人	<p>【事業内容】 鎌田地区公民館活動サークルの作品を公民館に展示する</p> <p>【ねらい】 ・日頃の成果を発表する場 ・地域住民の交流</p>	<p>【準備過程】 鎌田地区利用サークルへ作品応募の呼びかけ</p>	<p>【評価と反省】 例年開催している文化祭を規模を縮小し開催した。活動サークルの発表の機会となった。作品鑑賞者の交流も見られた。</p> <p>【今後の方針】 文化祭の実施も含め内容を検討する。</p>	
鎌田小学校 交通安全マップ制作	11月～3月	1回	子育て	成人	20人	<p>【事業内容】 鎌田小学校区内の危険箇所を学校及びPTAと共に調査・確認し、交通安全マップを最新情報に更新する。制作したものは全校生徒に配布する。</p> <p>【ねらい】 全校生徒に配布することで、危険箇所の認識や意識付けをすることで安全確保につなげる。</p>	<p>【準備過程】 学校やPTAの方との打合せを数回実施</p> <p>【共催団体】 鎌田小学校 鎌田小学校PTA交通安全指導委員会</p>	<p>【評価と反省】 PTA独自に制作していた「危険箇所調査書」と連動したマップを作成することができた。従来よりも、わかりやすいマップに改訂できた。</p> <p>【今後の方針】 学校やPTAの方と連携しながら、細かい部分（目標物の設定や番号等）も修正していきたい。</p>	
5部門委員会	通年	5回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	245人	<p>【事業内容】 ・館報編集委員会 館報の取材・編集 ・図書・視聴覚委員会 図書館展示パネル作成、更新 ・文化委員会 環境、歴史文化、食育講座の開催 ・スポーツ委員会 初心者向けスポーツ講座の開催 ・運営委員会 地区課題を探りながら公民館の在り方を提案、助言を行う</p> <p>【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書・視聴覚委員会 ・スポーツ委員会 ・運営委員会 	<p>【評価と反省】 必要に応じて委員会を開催した。</p> <p>【今後の方針】 講座や公民館活性化のため、積極的に開催する。公民館委員は長年同じ方が担っているため、後任の選出が課題。</p>	
鎌田地区公民館だより 発行	通年	14回	その他	成人		<p>【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて、公民館だよりを全戸回覧し、公民館事業を周知する。</p> <p>【ねらい】 公民館事業や地区情報を広く周知する</p>	<p>【準備過程】 公民館が作成</p>	<p>【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。ただし、紙媒体以外の情報発信も考える必要がある。</p> <p>【今後の方針】 継続したい。</p>	

令和3年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
鎌田地区公民館だよりのホームページ掲載	通年	14回	その他	成人		<p>【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて発行した公民館だよりを市ホームページに掲載する。また、公民館だよりにQRコードを登載し、手軽にホームページにアクセスできるようにする。</p> <p>【ねらい】 回覧の場合は公民館だよりが手元に残らないため、誰もがいつでも簡単に情報を取得できる環境を整える</p>	<p>【準備過程】 公民館が市ホームページに掲載</p>	<p>【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。</p> <p>【今後の方針】 新ホームページでの表示方法など研究しながら継続して掲載したい。</p>	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【重点目標1】松南地区らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連携を育む学習機能の充実を図る。 ア 日常の暮らしで生じる悩みや課題を掘り起こす機会の創設 イ 地域課題の解決に向け、学習機会の充実、関係する多様な主体の連携・協働を支援する取り組み ウ 若い世代を巻き込み、地域づくりの担い手を育成する取り組み</p> <p>【重点目標2】人権、平和、子育て、健康福祉、環境、食と農に至るまで、日常の暮らしの中の悩みや課題を互いに理解しあう「自由な学びの場」機能の充実を図る。 ア 子どもからお年寄りまで、性別、年齢などに関わらず、誰でも自由に学べる場の拡充 イ 日常の暮らしで生じる悩みや課題など、住民の多様な学びのニーズに対する、講座や勉強会の実施、資料の整備 ウ 伝統行事や地域の財産を次代へ継承する取り組み</p> <p>【重点目標3】地区の特性を活かした松本らしいコミュニティスクール事業の進展を目指し、学校、家庭、地域の協働を図る。 ア 子どもたちが地域の行事や活動に参加する機会の創出、地域への帰属意識の醸成 イ 地域住民が主体となった子育ての取り組み支援、地域全体で子どもを育てる意識の向上 ウ 学校の教育目標やビジョンと地域の課題の共有、学校と地域の連携・協働の促進</p>	<p>1. 重点目標1に関して 「子どもケア会議」や「地域学習会」など、住民発で提起された課題から、継続的な取組みにつなげたいという要望が出されている。現在は公民館で様々な仕掛けを検討しているが、来年度以降、自発的な活動に発展するような工夫を考えていきたい。</p> <p>2. 重点目標2に関して 予算減に伴い事業の縮小があった。参加者が全体的に減少していることもあり、多様な内容の講座実施が徐々に困難になっている。参加者が少ないことも課題であり、周知方法の工夫が必要である。</p> <p>3. 重点目標3に関して 授業の一環として福祉ひろば利用者との交流事業が実施できたが、特定の学年発の取組みであり、学校全体の取組みとして、CS事業の中での位置づけを考えていく必要である。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	環境	地域文化	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	6	2	6	4	0	0	0	1	4	1	4	3
延べ参加人数	64	27	490	0	279	513	0	0	0	320	30	0	326	538

令和3年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
奈川バスハイク(春)	5月22日	中止	環境	家庭教育	0人	奈川の金原砂防堰堤(魚道)の見学と周辺の散策、自然豊かな屋外での食事を通して、子どもたちの五感豊かな食育を進める。	共催 子どもが輝く食育ネットワーク松本	警戒レベルの引き上げ、参加申込の低調を理由に中止した。 子どもの自然体験、食育にとって有効な講座内容であるため、来年度も開催を検討したい。	
親子ふれあい体験会	7月頃	中止	地域事業(その他)	家庭教育	0人	子ども会育成会と共催し、松南地区の親子を対象とした体験会を行う。 学年を超えた地区の子どもたち、住民同士の交流	子ども会育成会が主になって行程などを検討	年度の早い段階から実施可能性の高い行先、行程などを検討してきたが、コロナ警戒レベルの引き上げを考慮して中止した。 「体験会」にこだわらず、感染リスクの低い事業の実施検討が必要である。	
信明中学校 地域出前講座	7月	3回	趣味教養	青少年	350人	コミュニティスクール事業の一環として、公民館で紹介した地区住民を講師に、料理、スポーツや絵画工作などを教わる。地域住民とのふれあい、つながり作りの場として実施。	松南地区・鎌田地区住民を中心に講師を依頼	継続して講師を担っている方が多い一方で負担感が大きいと感じる方もおり、新たな講座内容、講師の検討も必要である。今年度はパラリンピックにちなんだ競技を取り入れた。	○
なんぶ未来まつり	9月上旬	中止	地域事業(文化)	その他	0人	神社や仏閣がなく、例大祭のような祭りのない松南地区の地区住民が、他町会の方とも交流ができるようにと始まったすべてが手づくりのお祭り。 町会を超えた地区住民の交流を図る。	未来まつり実行委員会が主催(町会連合会を中心に組織)	地域では、警戒レベルに関わらずコロナ禍でのまつり開催そのものについて様々な意見があり、安全を第一に考えた場合に中止が最善という判断であった。 地域住民の交流機会を確保するため、代替事業などの検討が必要である。	
なんなんフェスタ2021	9月19～日	中止	地域事業(文化)	その他	0人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する文化祭。利用団体の展示及びステージ発表を行い、普段関わることのない他の団体の活動を知る機会、出会う機会としている。	青少年ホームの子ども向け体験事業、南部図書館の本のリサイクル事業などを共催で実施	感染リスクが高い公演部門に広い会場を確保するなど、対策を十分に検討していたが、警戒レベルの引き上げにより中止した。 実行委員会では、「人が集まるイベント」として開催できなければ文化祭の意義が薄れるという意見もあり、コロナ禍での実施方法のさらなる検討が必要である。	
奈川バスハイク(秋)	10月17日	中止	環境	家庭教育	0人	奈川の金原砂防堰堤(魚道)の見学と周辺の散策、自然豊かな屋外での食事を通して、子どもたちの五感豊かな食育を進める。	共催 子どもが輝く食育ネットワーク松本	天候不順を理由に中止した。内容は上記春の事業と同様	
芸術の秋 大町ウォーキング講座	11月6日	1回	趣味教養	成人	12人	大町市街地で北アルプス国際芸術祭を見学して芸術に親しみ、大町温泉郷などで参加者の親睦を深める。	福祉ひろばの共催で、参加者募集の案内や当日の引率に協力してもらった。	街歩きとともに芸術作品を楽しめ、内容の濃い企画となった。温泉郷などで参加者同士の親睦も深まり、満足度が高かった。 公民館だより以外にも宣伝方法の工夫が必要である。	

令和3年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本城学習会	11月	3回	地域文化	成人	19人	文化振興課主導で展開している、各地区での松本城を学ぶ講座。2回の座学と1回の現地見学で構成され、城の歴史や特徴、世界遺産登録を目指す状況を学ぶ。	文化財課、文化振興課、「国宝松本城を世界遺産に」推進委員会共催	地区内からの参加者があまり集まらなかったが、知っているようで知らなかった松本城の話を聞けて、参加者の満足度は高かった。	
カリヨン イルミネーション点灯式	12月16日	1回	地域事業(文化)	その他	30人	カリヨンの鐘イルミネーションを設置し、点灯式として地区の団体にハンドベルの演奏をしていただき、地区住民が参加できる冬のイベントとして実施。	町会連合会が主催で、周知、実施準備の協力などを行う。	地区定例会の開始前の時間に実施したことで例年に比べて参加者が増えたが、全く一般の参加者は依然として少ない。地区住民の集まるイベントとして、会場や式典の内容の検討が必要である。	
繭玉づくり講座	1月	中止	地域文化	家庭教育	0人	児童センターと共催で三九郎用の繭玉を作る。子どもたちに地域文化を根付かせることを目的とし、お母さん世代にも文化を継承していく。	南部児童センター主催、地区民生委員と協力	コロナ禍で親子の参加があまり見込まれない、子どもの安全を考慮し、昨年に引き続き中止とした。文化継承の方法として、コロナ禍でも実施可能なものを検討する必要がある。	
町内公民館長会視察研修	2月12日	中止	地域事業(文化)	成人	0人	「地域学習会」の取組みに関連して、市内の博物館などを見学する。単位町会を超えた地区住民同士の交流、町内公民館事業の活性化、歴史文化を学習がねらい。	地区町内公民館長会が主催、館報編集委員なども参加	警戒レベル引き上げにより中止したが、来年度に再び実施できるように、実施時期を検討する。地域学習会の取組みに波及するような学びの機会としたい。	
開明小学校登下校見守り	4~5月	1回	子育て	青少年	88人	地区住民の有志により開明小学校の児童の登下校を見守る。新一年生は登下校にも不安があるため、地域で登下校の見守りをおこない、学校と地域の結びつきを深めるもの。		かなりの日数で参加してくれる住民がいてありがたいが、人材不足で、小学校からかなり遠くに住む住民に協力していただいている。一人一人の住民の負担を減らせるよう、人材の発掘を進めていきたい。	○
親子の食育講座	4~12月	5回	子育て	家庭教育	51人	畑での苗植えや土寄せから、収穫、調理して食べるまでを体験し、普段口にしている、ねぎやさつまいもなどの作物がどのようにして育てられているのかを学ぶ。	共催・講師 子どもが輝く食育ネットワーク松本	長年継続して実施している事業で、気軽に参加できるよう工夫している。地区内に田畑がなく、身近で農作業を体験する機会がほとんどないため、地区の子どもにとって貴重な機会になると考え、継続して実施していく。	
学習室開放	6~1月	57回	子育て	青少年	161人	これまで、小中学校の夏休み期間中限定で、公民館の一室を学習室として開放していた事業。今年度は6月から、毎月の第1・第3土日に開放を始めた。		夏休み以外の期間の利用率があまり高くなかった。事務室・館入口から離れた部屋であることが、常設できない原因であり、利用率が低い原因ではないか。利用しやすさの面で改善を検討したい。	
体操教室(前期)	7~8月	3回	福祉健康	成人	12人	自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、脳トレを交えたエクササイズやヨガを体験してもらう。楽しみながら健康づくりに取り組んでもらう。	福祉ひろば共催	使い勝手の良さから、福祉ひろばで実施した。参加者の満足度は高いが申込人数が少なく、宣伝・周知方法が課題である。ほかの事業の参加者にも、口コミで宣伝してもらうなどの工夫が必要である。	

令和3年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏の文化祭	7～8月	1回	地域文化	成人	80人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する夏の文化祭。利用団体の活動紹介（展示）とサークルの体験会を開催。利用団体の活動発表の場の充実	公民館利用者の会主催	昨年度はコロナ禍で実施できなかったが、今年度は事前に各団体が対策などを検討することで実施できた。毎年、参加団体がほぼ変わらないため、新たに参加してもらえる団体を募りたい。	
親子料理教室	8～1月	2回	子育て	家庭教育	20人	季節の食材を使って、親子で調理実習をする。子どもたちの五感豊かな食育を進め、家庭での食を大切にしよう。年3回計画したが、1回は警戒レベルの引き上げで中止した。	共催・講師 子どもが輝く食育ネットワーク松本	子どもが楽しく料理に参加しつつ、親も食育について学べる仕組みができていく。昨年度まで、質の高い講座とあってリピーターが多い一方で、新規参加者が少なかったが、今年度は一定数の新規参加者があった。	
スマートフォン教室	10～3月	44回	趣味教養	高齢者	71人	事業者から、デジタル活用支援事業を利用した事業として提案があって10月から事業を開始し、スマートフォンの操作の基本から様々な機能の使い方まで幅広く学べる。	ドコモショップ松本店協力	月によって申込状況にばらつきがあり、申込がなく中止となる回もあった。新聞で地区外にも宣伝された事業には、申し込みが殺到している状況から、周辺地区でも周知を検討したい。	
よくわかる発達障がい講座	10～11月	3回	人権平和	成人	64人	昨年に引き続き、発達障がいについて、1回1時間半の一般向けの講座を3回実施。高齢世代をターゲットとして、発達障がいについて基礎から学ぶ機会を設ける。		新聞での宣伝もあって、地区外からも関心のある方が集まった。参加者が熱心に学び、内容も好評であるが、地区の事業としては2年連続で実施したため、今後の展開方法を検討している。	
開明小学校児童と福祉ひろば利用者の交流	12～1月	2回	子育て	その他	100人	この2年間はコロナ禍で実施できなかったが、2学年の授業の一環で、地区公民館を会場にして児童と福祉ひろば利用者が手遊びなどをして交流した。		児童も利用者も楽しむことができたが、3クラス中1クラスのみ、警戒レベルの引き上げで実施できなかった。2学年独自の取組みであったため、継続的な取組みにできるような仕組みづくり、働きかけをしたい。	○
体操教室（後期）	1～2月	3回	福祉健康	成人	15人	自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、脳トレを交えたエクササイズやヨガを体験してもらう。楽しみながら健康づくりに取り組んでもらう。	福祉ひろば共催	使い勝手の良さから、福祉ひろばで実施した。参加者の満足度は高いが申込人数が少なく、宣伝・周知方法が課題である。ほかの事業の参加者にも、口コミで宣伝してもらうなどの工夫が必要である。	
冬の文化祭	2～3月	1回	地域文化	成人	90人	秋の「なんなんフェスタ」が中止となり、サークルの発表の場が欲しいとの要望に応じて実施した。内容は夏の文化祭と同様。	公民館利用者の会主催	急遽企画したものの、夏の文化祭のノウハウがあり、円滑に実施できた。次年度以降の定例化の要望があれば、「まちかどアート展」との兼ね合いも考慮しながら検討したい。	
まちかどアート展	通年 (不定期)	3回回	地域文化	その他	60人	宮田保育園、南松本保育園の園児、放課後デイサービス事業所の利用者の絵画作品などを展示した。		子どもの自由な発想の作品を展示でき、普段何も飾られていないスペースに活気が出た。利用者がじっくり眺めている姿も見られた。各施設と地域の接点づくりとしても継続して実施したい。	

令和3年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「子どもケア会議」事業	通年 (不定期)	1回	子育て	成人	70人	地域住民が、子どもをめぐる現状を学び、地域で子どもを育てていくために何ができるのか考え取り組んでいくための組織立ち上げに向け、子どもの現状に関する学習の機会、住民の意見交換の機会を設けた。		来年度以降、子どもをめぐる具体的な活動事例を学ぶ機会、より多くの住民に関心を持ってもらえる機会の創出を検討する。どのように子育て世代を巻き込み、継続的に活動していける組織とできるかが課題。	
「地域学習会」事業	通年 (不定期)	1回	地域文化	成人	30人	地区住民が、地域の歴史を学ぶとともに、地域の現在・未来を考えていくための組織を立ち上げ、歴史資料の収集、学習会の企画を始めた。 (地区公民館で、資料提供の呼びかけ、地域の歴史をまとめた資料の展示を実施)	町会連合会、町内公民館長会、館報編集委員会のメンバーで構成	町内公民館などを拠点として、歴史を学び、参加者でいろんな話をして交流する機会を設けたい。ただ昔を懐かしむだけでなく、この地域の現在・未来をどうしていくのか考えるきっかけとなるような取り組みをしたい。	
ソフトバレー なんなんリーグ	通年	8回	地域事業 (体育)	成人	320人	月に一度開催の、地区内ソフトバレーチームによるリーグ戦。地域住民主体による、住民相互の仲間づくり。		リーグ戦の役員が主体的に運営を行っているが、参加チーム数の減少などが課題とされる。役員と連絡を取りながら、課題解決に協力していきたい。	
なんなん日本語講座	通年	20回	趣味教養	成人	80人	毎週月曜日の夜に定期的開催。日本語に限らず日本の文化や慣習についても学習し、また生徒の希望によって日本語検定に向けての勉強も行う。	日本語講座ボランティアなどの協力	昨年度と同様、感染が拡大した時期は活動を自粛した。継続的に実施することが重要だが、受講生が少ないことが課題になるため、地元企業への周知など、市担当課による全市長期的な情報発信を働きかけていきたい。	
松南地区公民館 運営委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	106人	地区公民館の運営委員（委員は各町会から） 地区公民館の運営や事業について、地域住民から意見をいただく。	地区町会連合会	町会連合会と協力して新たな取り組みを行う中で、地域課題に対して地区公民館が果たす役割を期待されている。地域課題に関する新規事業の企画などについて、積極的に運営委員との意見交換を行いたい。	
松南地区公民館 館報編集委員会	通年	13回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	112人	地区公民館報の編集委員（委員は各町会から） 地域情報の発掘・発信、地域課題の投げかけを行う。		コロナ禍でほとんどの地区行事が中止になる中で、内容を工夫して様々な話題を取り上げることができた。今年度立ち上げた「地域学習会」の中核となる団体として、様々な活動を進めていきたい。	
松南地区公民館 体育委員会	通年	7回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	63人	地区公民館の体育委員（スポーツイベント等の企画・開催、） 地区の体育事業について地域住民から意見をいただく。	地区スポーツ協会	感染症の影響でほとんどの事業が中止となった。前年度からの状況では、毎年開催しているイベントも参加者集めに苦労しており、内容や周知方法について検討が必要である。	
松南地区公民館 利用者の会	通年	5回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	45人	公民館利用団体で組織する会であり、展示が中心の夏の文化祭の実行、秋に行う文化祭「なんなんフェスタ」の実行委員会の中心的な役割を担う。利用者同士の交流の促進、利用団体の活動支援		感染症対策を踏まえた、文化祭の開催方法について役員会で早期に検討を始める。コロナ禍での各利用団体の現状を把握し、支援策を検討したい。	

令和3年度 事業報告の概要

島内公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>■島内公民館「5つの基本方針」</p> <p>1 講座の充実 地域住民の声を公民館活動へつなげ、各種団体と積極的に連携し、地域課題解決へ向けた講座を実施します。住民生活に根差した事業（講座）を実施します。講座から発展したグループ活動についても、支援をします。</p> <p>2 芸術文化活動の推進 芸術文化祭や灯籠祭りお話し劇場等既存事業の充実、公民館ギャラリーを活用した島内地区文化の発表・発信・交流を通じて、地域文化の醸成を図ります。</p> <p>3 子どもに魅力のある公民館活動の展開 児童や生徒が、積極的に参加できる公民館活動を展開します。さらに、子育てに奮闘する母親の要望等も取り入れることで、明るく子育てができるような地域へつなげます。</p> <p>4 スポーツの底辺拡大 島内地区の特性を活かし、誰でも参加できる楽しいスポーツ機会の充実を図り、心と体の健康づくりへつなげます(体協スポーツ事業、さわやか健康教室、健康ウォーキング等)。島内地区大運動会では、島内体育協会をはじめとする各種団体と連携するなかで、お互いの顔が見える関係づくりを図ります。</p> <p>5 人権教育の推進 すべての人権が尊重される地域を形成するために、指導者を対象とする視察研修や講演会、人権を考える住民のつどい「ふれ愛コンサート」を通じ、改めて「人権」「平和」「愛」等について考え・意識する機会をつくり、より住みよい地域社会へとつなげます。</p>										<p>島内公民館5つの基本方針に沿って、学習やスポーツ等の社会活動を通じて住民間のつながりを構築し、地域社会での関係性を深めるなかで、互助の関係が根付いた魅力ある地域の形成(人づくり)へつなげた。具体的には、地域資源である山田地籍の登り窯を活用した陶芸講座の実施や、夏休み中の子供向けイベントの充実を図るため、蟻ヶ崎高校書道パフォーマンス&体験会とアメリカンフラワー工作体験会を新規に開催した。また、発足2年目となる平瀬古城会は、整備作業及び学習・周知活動以外に、松本平で初めてとなる狼煙まつりの実施や染物体験会、島内で収穫されたお米を活用したどぶろく酒の製造へも取り組んだ。一方、島内小学校CS(昔の遊び学習・豆腐づくり体験・地域探検)や全ての体育事業が中止となり、次年度以降へ向けて、コロナ禍でも開催できるような方策を検討していく必要性がある。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	1	3	7	0	3	3	0	9	8	2	18	5	13
延べ 参加人数	22	15	890	215	0	61	15	0	278	97	900	5600	310	1607

令和3年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
小谷で交流(ウォーキング・蕎麦打ち体験等)	4月26日(月)	1回	趣味教養	成人	15人	他地域と島内地区住民との交流を図り、仲間づくり等へ繋げるため、ウォーキング・蕎麦打ち等で交流を図る。	健康福祉部門関係者と内容・日程を調整	コロナ禍を考慮し、蕎麦打ちは中止する。地区として2回目の取組みとなり、前回に続いて参加した住民を核に交流の輪が広がった。	
春季スポーツ大会	5月23日(日)	中止	地域事業(体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進のため、町会対抗でバドミントン・グラウンドゴルフで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
健康ウォーキング大会	6月19日(土) ～ 10月16日(土)	2回	地域事業(体育)	その他	97人	健康増進と世代間交流を図るため、地区内健康ウォーキングコース4k&7.5k歩くもの。また、平瀬城跡の周知のため、10月は登城路などを含めた「平瀬城跡特別コース」を歩く。	福祉ひろば・平瀬古城会関係者と日程・運営方法等について調整	6月は通常の健康ウォーキングコースを歩いたが、秋は平瀬城跡の存在を一人でも多くの住民等知ってもらうため、平瀬川東地籍の文化財等を巡りながら平瀬城跡に登るコースで実施する。コロナ対策を講じながらも、円滑な大会となった。	
島内小学校3年生「地域探検」	7月中	中止	地域文化	青少年	-	児童が地域を知り、関心や愛着を高めるため、小学校周辺の施設や史跡等をフィールドワークにより学ぶ。	地区内施設担当者や文化財関係者、学校教諭と日程・コース等について調整	調整過程のなかで、小学校からの申し出により中止	○
ソフトボール・バレーボール大会	7月4日(日)	中止	地域事業(体育)	成人	-	住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗でソフトボールとバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
島内地区指導者研修会	7月20日(火)	1回	その他	その他	21人	町会長・町内公民館長等の地域指導者を対象に、指導者学習会を実施することで、地域づくりへつなげる。	主催者の町会・町内公民館長・地域づくりセンター長と実施内容について検討	白樺川・白樺湖の平瀬の矢島社長から、白樺湖を活用した地域づくりについて学ぶ。研修結果を、公民館報で取り上げ、広く住民へも周知する。	
夏休み子ども講座 ※小学1～6年生対象	7月27日(火) 8月5日(木)	2回	その他	青少年	83人	普段の学校生活では体験できない様々な体験や異年齢交流を通じて、子どもたちの生きる力の醸成へつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	日頃学校では体験できない学年を超えた交流のなかで、子どもたちが主体的に行動する仕掛けを取り入れて実施したことで、人間力醸成へつなげた。次年度も、行先を変更して実施予定。	○
中学生のための島内公民館開放	8月2日 ～8月19日 うち6日間	1回	その他	青少年	70人	夏休み期間中に学習の場として公民館を開放することで、中学生と公民館をつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	中学生が公民館とつながる機会として有効であり、生徒にも好評であった。食事支援・学習支援を地域住民が行い、交流の場にもなった。	○
第35回灯籠まつり「おはなし劇場」	8月8日(日)	中止	その他	その他	-	子どもから大人まで楽しめる、読み聞かせ劇場を実施し、島内伝統行事の灯籠まつりの充実へ寄与する。	公民館図書視聴覚委員会や文化委員会、公民館読み聞かせサークルや総合企画のオフィス蘭と実施有無について検討	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	○
夏季スポーツ大会	8月22日(日)	中止	地域事業(体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で野球とソフトバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	

令和3年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
河西部球技大会	8月29日(日)	中止	地域事業(体育)	成人	-	スポーツを通じて、河西部地区(島内・島立・和田・新村)で交流を図る。(バレー・野球は市長杯争奪大会出場地区選考兼ねる。)	今年は新村が当番地区のため、実施方法を模索し、4地区体協関係者と開催方法について検討する。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
島内公民館子育て講座	9月28日(火)	1回	子育て	家庭教育	36人	就園前の親子を対象に親子参加型の講座を実施し、親子の触れ合いや仲間づくりへつなげるため、人形劇・親子体操・親子ヨガを実施。	福祉ひろば・民生と内容や講師、日程等を検討	年3回の予定がコロナ禍のため、人形劇のみの開催となる。次年度以降は、コロナを考慮した内容等で実施できるように、関係者等と検討を進める方針	
陶芸講座	9月22日(水) ・29日(水)	2回	地域文化	成人	12人	山田地籍の登り窯を会場に、陶芸を切口に地域文化・歴史を学び、作品制作を制作するなかで、地域への愛着醸成や仲間づくりへつなげる。	登り窯を管理する「山田炎の会」と講座内容について調整し、単なる陶芸作品制作に留まらない取組みへつなげる。	公民館にとっては、登り窯で初めての開催となったが、陶芸や地域文化への関心を高められた。また、炎の会への新規登録もつながった。	
第64回市民体育大会	10月10日(日)	1回	スポーツ	成人	15人	市内35地区が、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、野球、ゲートボール種目で競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催(地区対抗は中止)。島内からは卓球のみ参加	
第68回島内地区大運動会	10月17日(日)	中止	地域事業(体育)	その他	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、例年は、16種目で町会対抗対抗競技も設ける。昼食時に、島内小学校4年生と消防団によるアトラクション実施	実行委員会を体協・町会・町内公民館関係者等で組織し、実施有無について検討	役員会で検討し、会場での3密回避や選手集めの難しさ等を考慮の上中止する。地区内へ中止の周知を行う。 ※3年連続中止のため、景品を仕分けして町会へ配布する。	○
第38回松本市市長杯争奪球技大会	10月31日(日)	中止	スポーツ	成人	-	市民体育大会の上位入賞チーム等が、卓球、軟式野球、ゲートボール、ママさんバレーボール、マレットゴルフで競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催。島内は全種目で不参加	
第2回島内文化ふれあいまつり	11月6日(土) 11月7日(日)	1回	地域事業(文化)	その他	600人	地域住民の日頃の文化活動の成果等を一堂に集め、島内地区の文化発信の場として実施。(展示やステージなど)	昨年度から、公民館・福祉ひろば・図書館・社協島内支会で実行委員会を組織し、実施内容等を検討	選挙に伴い中止も検討したが、出演者・出展者からの要望や、住民からの声を活かすために、昨年度から組織された実行委員会で検討の上、実施へつなげる。	○
卓球・バドミントン大会	11月14日(日)	中止	地域事業(体育)	その他	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で卓球とバドミントンで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
公民館委員視察研修	11月11日(木)	1回	その他	その他	16人	公民館委員間の情報交換や交流等を目的に、長野市方面で視察研修するもの	委員会関係者と研修成果を活かせるような視察場所を検討	視察を通じて学習した成果を、各委員会活動へつなげるだけでなく、委員同士の情報共有も図られたことで、公民館活動全体にとって大切な機会となった。次年度も実施予定。	

令和3年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権教育推進視察研修	11月25日 (木)	1回	人権平和	その他	22人	地域内指導者を対象に、人権に対する意識を高め、地域活動へつなげるために実施。今年は島崎藤村記念館等を視察する。	人権推進協関係者と今年度のテーマを決め、視察先・日程等調整する。	今年は、テーマを「生き方」とし、多様化する現代社会のなかで「何を大切に生きていけばよいのか」「相手に対して何を大切にしていけばよいのか」等について学ぶ。参加した指導者からは「主旨等が捉えやすかった」との意見をいただき、次年度も、テーマ設定から視察先を検討する方針。	
刃物研ぎ講座	12月15日 (水) 午前・午後	2回	趣味教養	成人	28人	初心者向けで、刃物の研ぎ方を学ぶことで、仲間づくりや趣味による生きがいづくりへつなげる。	シルバー人材センター刃物研ぎ会員と相談の上実施	今年度も初めての参加者が多く、愛用の刃物を研ぎながら住民間の交流が図れたことで、仲間づくりへもつながった。	
男性のための料理教室	12月16日 (木)	1回	福祉健康	高齢者	15人	高齢の男性を対象に、料理の楽しさや健康的な食事について学ぶなかで、仲間づくり等へつなげる。	食改や健康福祉部門関係者及び地区高齢者クラブと内容・日程を調整	鯖缶を活用した炒め物やスープ、デザートなど、簡単なレシピで調理を行う。食改からのサポートにより、楽しく交流しながら調理することができた。	
島内小学校2年生 「豆腐づくり講習会」	1月中	中止	その他	青少年	-	児童が手作り豆腐体験を行うことで、料理の楽しさや食の大切さを学ぶ。	食生活改善推進協議会島内地区の協力により、手作り豆腐をつくる。	調整過程のなかで、小学校からの申し出により中止	○
島内小学校1年生 「昔の遊び学習会」	1月中	中止	地域文化	青少年	-	児童と住民がつながり、子どもたちの生きる力醸成へつなげる。	地域住民と児童が、こま・お手玉・あやとり・めんこ・竹とんぼ・けん玉などの遊びを通じて交流する。	調整過程のなかで、小学校からの申し出により中止	○
松本市美術館アトリエ 講座「版画の歴史としくみ」	1月21日(金)	1回	趣味教養	成人	18人	美術館改修に伴うアトリエ講座として、収蔵品を中心に版画について学び、各自の文化的教養の醸成へつなげる。	美術館学芸員や公民館文化委員等と内容や日程等を調整	版画の歴史や鉄板・木版画等の素材による差異、草間彌生等の作品の魅力について学び、美術に対する教養が深まった。	
人権を考える住民の集い「島内・島立ふれ愛コンサート」	2月26日(土)	中止	人権平和	その他	-	地元小学生や音楽家によるコンサートを通じて、人権について考える場にするとともに、意識向上の一助へつなげる。島内・島立小学校、松島・高綱中学校の発表の場としても活用する。	人権推進協関係者や学校、出演者等と9月頃から複数回実施内容やコロナ対策について検討	コロナ禍で子どもたちの出演機会が奪われるなか、学校からもステージ開催を望む声が多く、コロナ禍を考慮しながらの開催準備を進めましたが、まん延防止発令により中止。	○
島内歴史講座	3月中	中止	地域文化	成人	-	島内地区の歴史について学習することで、地域への愛着や関心を高めるために、講演会を開催する。	島内史談会と講師・内容・日程等を調整	コロナ禍の影響で、講演会を企画する1月の段階で中止の判断	

令和3年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
こどもの居場所づくり 事業愛ランド島内 「おらんちdeランチ」	4月10日(土) ～3月12日 (土)	11回	子育て	家庭教育	644人	三世代交流とこどもの居場所づくりを目的に、学習支援や囲碁・将棋・書き初め、食事支援等を通じて交流を図る。	住民組織「愛ランド島内実行委員会」を主宰に、公民館と連携する中で実施内容等を検討	子どもたちが集まり、勉強や工作、遊び、食事など、日頃学校では体験できない、学年や世代を超えた交流を図る場として、地域における子どもたちの人間力醸成へもつながった。具体的には、コロナ禍を考慮して食事をテイクアウトにしたり、学習支援の代わりに、七夕人形作成、アマガミ工作、蟻高書道パフォーマンス、防災学習等を行う。後期は松大との連携も進める。	○
お話しのお会 ※うち2回は図書館共催(お話のスペシャル、クリスマススペシャル) ※うち2回は保育園で実施	5月15日(土) ～3月12日 (土)	4回	子育て	家庭教育	210人	親子参加による図書視聴覚委員会を中心とした読み聞かせを行い、小さい頃から本に親しむことへつなげる。絵本・紙芝居・パルシアター・OHP等による読み聞かせや、終了後の工作等の内容を、企画会議で検討の上実施。	読み聞かせの内容は、全て委員会を開催し、図書視聴覚委員会が決定する。	子どものころから本に触れる機会を提供し、豊かな人間力向上や家庭教育へつなげる機会となった。図書館との共催2回は実施できたが、保育園の2回はコロナのため中止。ふれあいまつりでは、鳥居火の紙芝居のお披露目を、委員の読み聞かせで実施。	○
農業文庫講座 第1回 視察研修 「新緑の軽井沢を訪ね	5月25日(火)	1回	その他	成人	23人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	農業文庫運営委員会が中心となって下見等を行い、追分宿や白糸の滝、旧軽井沢通り散策を計画	農業文庫講座は、講座の内容を主に農業文庫運営委員会(公民館・図書館関係者も連携)で企画したことで、住民主体の取組みが進められた。次年度も、同様の手法で進める方針。	
農業文庫講座 第2回 講演会 「島内を飛ぶ」	7月21日(水)	1回	地域文化	成人	40人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	地元の竹内由房さんと農業文庫運営委員とで内容等について調整	今年も、コロナ禍ではあったが、視察研修会ではバスの座席配置を工夫したり、地元の歴史文化学習について学んだり、ロシア・ウクライナの状況からエネルギーについて考える講座を計画したりと、社会情勢も意識した中で企画を進めていた。	
農業文庫講座 第3回 講演会 「拾ヶ堰・勘左衛門堰」	9月30日(木)	1回	地域文化	成人	40人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	島立の佐藤喜久雄さんと農業文庫運営委員とで内容等について調整	一方、「会員の高齢・減少化」を踏まえ、次年度以降の方向性について検討を進めた結果、基本的にはこれまでの農業文庫運営委員会活動を継承しながら、現在の会員ができることを推進していくことで決まる。また、会の名称を「農業文庫友の会」に変更することで、自分たちが活動の主体者であることを意識しながら、できる範囲で地域貢献をしていく意識の共有化が図られた。	
農業文庫講座 第4回 視察研修 「栗のまち小布施を訪ねて」	10月28日 (木)	1回	その他	成人	40人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	農業文庫運営委員会が中心となって下見等を行い、北斎館や岩松院、小布施の街中散策を計画		
農業文庫講座 第5回 世代間交流 「正月の伝統行事と遊び」	12月4日(土)	1回	地域文化	成人	123人	昔の遊びや伝統行事を、高齢者が子どもたちに伝えていくことで、世代間交流を図る。	愛ランド島内運営委員会とも共催し、コロナ禍での実施内容を検討。餅つきや食事は中止する。		
農業文庫講座 第6回 講演会 「IT社会-問題を考える」	3月3日(木)	1回	その他	成人	25人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	信州大学出前講座のため、農業文庫関係者と大学とで調整		
平瀬古城会の活動	4月～3月	1回	地域事業(文化)	その他	300人	平瀬城跡(特別史跡)を中心に、関連史跡・関連文化財群などの整備・保全・活用を、地域全体の取組みとして推進することで、地域文化財を活用した地域づくりへつなげる。	公民館を事務局に、社会教育的な発想で文化財の活用や保全を進めるため、全ての取組みについて会員内で協議・調整を行い、実施へつなげる。	令和2年4月発足。昨年度からの整備・周知・学習活動に加え、初めて平瀬城跡狼煙まつりや染物体験、どぶろく酒製造などを行う。	

令和3年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
さわやか健康スポーツ教室	6月～3月	中止	スポーツ	女性	-	健康維持のための教室として、ニュースポーツ、ストレッチ体操などを行う。	地区体協関係者と内容等調整	毎月1回、女性の健康づくり推進員08を中心に開催し、コミュニティの受け皿としても機能していたが、今年度はコロナのため全日程を中止する。	
ソフトバレーボールリーグ	1月～2月	中止	地域事業(体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進のため、チームによるリーグ戦を行う。	地区体協関係者と内容等調整	島内体協主催事業として、2か月間にわたりリーグ戦が開かれ、毎年楽しみにしている選手も多いが、今年度はコロナのため全日程を中止する。	
公民館ギャラリー“ピアッツァ”への展示	4月	1回	地域事業(その他)	その他	5,600人	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施することで、地域の文化発信を積極的に行うとともに、展示者の生きがいづくり等へもつなげる。	赤廣三郎「甲冑展」	今年度は、2年ぶりに甲冑展(赤廣三郎/島高松)や五月人形展、町会企画として「小宮町会作品展」を行う。また、展示に合わせて、甲冑試着体験会、アメリカンフラワーブローチ製作体験会、羊毛フェルトクリスマスオーナメントづくり、Nゲージミニレイアウト敷設も行ったことで、多くの来場者が訪れる。一方、山田炎の会の陶芸作品展に合わせて実施予定であった「20周年特別展」は、コロナ感染拡大のために中止する(令和4年度実施予定)。	
	5月	1回	地域事業(その他)	その他			五月人形展		
	6月	1回	地域事業(その他)	その他			版画・切り絵仲間展		
		1回	地域事業(その他)	その他			花マルト作品展(ワワ-アレンジ)		
	7月	1回	地域事業(その他)	その他			アメリカンフラワー展		
	8月	1回	地域事業(その他)	その他			水墨画クラブ作品展		
	9月	1回	地域事業(その他)	その他			島内小学校6年生作品展		○
	10月	1回	地域事業(その他)	その他			小宮町会作品展		
	11月	1回	地域事業(その他)	その他			ふわもこの会作品展(羊毛フェルト)		
	12月	1回	地域事業(その他)	その他			松島中美術部作品展		○
		1回	地域事業(その他)	その他			島内書道愛好家書道展		
	1月	1回	地域事業(その他)	その他			陶芸作品展(山田炎の会)		
		1回	地域事業(その他)	その他			稲田隆・林栄司模型展		
	2月	1回	地域事業(その他)	その他			第11回ひな人形展		
3月	1回	地域事業(その他)	その他						
図書視聴覚委員会	5月10日(月)～3月2日(水)	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	35人	・お話し会の企画		定期的な本の読み聞かせを、委員主体により進められた。	
文化委員会	4月6日(火)～3月24日(木)	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	・ギャラリー「ピアッツァ」の企画、作品搬入・搬出 ・ふれあいまつり協力		ギャラリー展示の企画・運営から、ふれあいまつり等への参画まで、委員主体により進められた。	
館報編集委員会	4月13日(火)～3月1日(火)	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	・島内公民館報の企画、編集		館報の企画・編集及について、委員主体により進められた。	

令和3年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地区大運動会役員会議	8月6日(金)	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	15人	第68回地区大運動会の開催有無について検討	役員会(企画)、全体会議(運営方法共有)、反省会	運動会実施有無について、住民主体で検討された。	
町内公民館長会	4月9日(火) ~3月18日(水)	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	140人	町内公民館活動の支援・協力、地区事業運営等について検討		概ね月1回集まり、町内公民館に関係する事業等について検討する。また、地区事業についても検討され、コロナ禍での町会活動についても議論がなされた。	
公民館報発行	奇数月発行	6回	地域事業(その他)	その他	全戸配布	島内地区の情報などについて、住民の視点から発信		偶数月に住民主体で企画会議を行い、掲載内容や取材方法等を検討。奇数月には編集作業を行う。また、広報まつもとデジタル化に伴い、館報についても検討の必要性があったことで、改めて館報の果たす役割を確認する機会となった。	
公民館だより	毎月	12回	地域事業(その他)	その他	全戸回覧	公民館事業の参加者募集・周知について情報発信		毎月公民館事業の周知に活用。	
ホームページ	随時更新	-	地域事業(その他)	その他	年間	島内公民館の活動情報等について発信		毎月①公民館だより②ギャラリー展示の様子③イベントの子について掲載する。	
利用サークルの育成・支援及び、地区関係諸団体の支援・連携	随時	-	地域事業(その他)	その他	-	・貸館及び活動支援 ・関係諸団体の活動支援や連携		窓口及び利用者会議等で利用団体と、活動状況などについて情報交換を行う。	

令和3年度 事業報告の概要

中山公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを育てる仕組みづくり 中山小学校の指導方針のひとつである「地域で子どもを育てる」に倣い、公民館も学校と連携・協働した。具体的には新型コロナ禍ではあるが、手づくり教室（低学年は縄ない、高学年はしめ縄づくりの指導）、手芸、パソコン、美術、縄文時代学習などのクラブ活動の支援に地域の人財を学習の場面に投入するCS事業を展開した。 また、令和2年度に引き続き明善中のCS運営委員会に参加し、やはり新型コロナ禍で地区行事の多くが中止となる中であったが、棚峯町会で実施された「納涼七夕祭り」、コロナが少し落ち着いた12月初旬には中山小学校の体育館を会場に新たに企画した「疫病退散 なかやまライブ」に中学生ボランティアが携わり、地区にとっては「若い人材が地区行事に関わることで、地区行事の一層の盛り上がり」に、また生徒・学校にとっては「地区の中で自分たちが大いに活躍できる場の提供」、そしてその活躍を地区住民が評価することで学校側は「負担軽減」に繋がるなど三方よしの結果となった。 ・高齢者の居場所づくり、仲間づくりの拠点 中山地区は市内でも高齢化率の高い地区である。事業や講座への参加者も高齢者が中心であるが、参加がきっかけとなり、絵画同好会や麻将同好会などその後のサークル活動に発展した好例がいくつもあり、公民館講座が高齢者の居場所づくり、生きがいづくりの一翼を担っている。また、コロナ禍で一部の月は実施を中止したが、毎週火曜日、金曜日に公民館の一室を「公民館カフェ」として開放しており、この取り組みも独居の高齢者の閉じこもりの防止など、居場所づくりのひとつとして寄与している。 										<ul style="list-style-type: none"> ・講座の継続実施による住民の居場所づくり 令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナ禍の一年間であったが、その中でも十分な感染対策を講じることで、令和2年度にスタートした講座を本年度も継続実施した。毎月2回ずつ決まった曜日に木工講座、ウクレレ講座を続けており、木工講座は令和3年度の地区文化祭に作品を出展するなど、活躍の幅を広げてきている。ウクレレ講座についても新型コロナが落ち着いてきたところで文化祭やその他地区内外での発表を目指しており、共に今後の進捗が期待される場所である。 ・小・中学校との連携、協働 令和2年度に引き続き、本年度も明善中CS運営委員会に参加。コロナ禍で当初見込んだほどの地区行事へのボランティア参加には至らなかったものの、新規企画の「疫病退散 なかやまライブ」では中学生ボランティアが地区の文化委員とともに司会を行い、中学生ならではの自由な発想による会場回しで、イベントを大いに盛り上げてくれた。アフターコロナも見据え、今後は各事業の企画段階から中学生に入っていたなど一層連携を強化したい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	3	1	2	0	4	1	0	3	4	4	0	4	2
延べ 参加人数	0	0	100	240	0	776	0	0	0	52	528	0	630	240

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
諏訪湖ウォーキング	4月23日	1回	福祉健康	高齢者	16人	【内容】 地区住民の健康増進、体力アップのため諏訪湖半周（約8km）のウォーキング事業を実施するもの。 【ねらい】 地区住民の健康増進、体力アップ、交流	【準備過程】 館長、主事で下見を実施し、高齢者も歩きやすい平坦なコースを選定した。	【評価と反省】 新型コロナ禍でも野外に出て運動する機会を提供できた。 【今後の方針等】 福祉ひろば事業と重なる部分も多いことから、ひろばと連携し、定期的な運動の機会提供を継続したい。	
高齢者健康のつどい	6月8日	中止	福祉健康	高齢者	0人	【内容】 高齢者対象で、健康相談や軽い体操、アトラクションを楽しみ、食事をして交流する。 【ねらい】 高齢者の健康づくり、親睦を図る。	【準備過程】 地区のボランティア団体と福祉ひろば、公民館とで打ち合わせを実施し、開催内容を決定。 【共催団体等】 白ゆり会、福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 今後も地域高齢者に楽しんでいただけるような内容になるよう関係団体と意見交換し充実させていきたい。	
町会対抗体育大会	7月4日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 軟式野球、ゲートボール、マレットゴルフ、ソフトバレーボール、卓球を中山地区6町会対抗で行う。 【ねらい】 住民の健康増進、親睦を図る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、会議で開催内容を決定し、各町会ごと種目別に選手を集める。 【共催団体等】 中山地区町会連合会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 各町会の人口が違うだけに「町会対抗」として継続していくことが年々難しくなっている。開催趣旨に沿った形で、多くの地区住民が気軽に参加し、健康増進に繋がるような方法について継続して検討していく必要がある。	
夏休み自習室	8月10日 ～ 8月20日		その他	青少年	10名	【事業内容】 小、中学校、高校の夏休み期間中、視聴覚室を学習室として開放するもの。 【ねらい】 家庭では中々身に付きづらい学習習慣の定着。	【準備過程】 新型コロナウイルス感染対策として、机、椅子他室内備品の定期的な消毒を行った。	【評価と反省】 近隣の小、中学校、公民館だよりで呼びかけを行ったが、参加者は10名ほどに留まった。 【今後の方針等】 静かで集中できる環境であるため、活用してもらえるよう、更に周知を強化したい。	
第46回東南ブロック球技大会	8月29日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針等】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中山地区平和式典	9月3日	1回	人権平和	成人	0人	【事業内容】 歴史を振り返ることで戦没者を悼み、平和の尊さについて考え、戦争のない明るく住みよい明日の郷土づくりを目指し、開催するもの。	【共催団体等】 主催は中山地区町会連合会。松本市遺族会中山支部、中山地区人権啓発推進協議会、中山公民館の3者が共催。 中山公民館は講演会を担当し、講師手配等を行った。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区内の平和行政、人権啓発教育のための大事な取り組み事業であり、今後も継続していくことを検討したい。	
なかやま体験フェスタ2021	9月5日	中止	その他	その他	0人	【事業内容】 中山地区は市内でも少子高齢化が進んでいる地区だが、令和元年度に作成した地区紹介カタログを元に地区内外の交流人口の増加を目的に体験型ワークショップのイベントを立ち上げた。 【ねらい】 地区内外の交流人口による地域活性化。	【準備過程】 地域づくり協議会地域活性化部会で準備会、プロジェクト会議を重ね、プログラムの選定を行った。 【共催団体等】 地域づくり協議会地域活性化部会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 公民館研究集会の全体会にも取り上げられるなど、注目されている企画であるため、アフターコロナを見据え準備を進め、実施したい。	
第45回中山地区文化祭	9月5日 ～ 9月18日	1回	地域事業 (文化)	成人	277人	【事業内容】 例年は中山小学校の体育館や駐車場で開催、ステージ発表、お楽しみひろばを行っていたが、コロナ禍で密を避けるため、令和3年度は中山公民館を会場とし、期間を延長し展示部門のみ実施。 【ねらい】 文化の向上を図り、世代を超えた住民相互の触れ合いの場とする。	【準備過程】 公民館文化委員と町内公民館長会が実行委員会を組織し、企画、運営。また、例年は11月初旬に実施していたものを、コロナ対策のため前倒しで実施した。	【評価と反省】 コロナ禍で展示部門のみを実施したが、例年2日間の開催期間しかないところが、今年度は展示期間を約2週間とした。結果、普段文化祭へ足を運んだことのない人達も含め、多くの地区住民に作品を観覧いただき、出展者の満足にも繋がった。 【今後の方針等】 今後も地域文化発展を担う一事業として継続させていきたい。	
第10回泉小太郎祭り		中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 弘法山古墳公園でのセレモニー、文化祭ステージでの中山小4年生による演劇。 【ねらい】 地区ゆかりの民話の内容や思いを地区全体で共有し、後世へ伝承する。	【準備過程】 町会連合会、町内公民館長会、文化委員会、地区内有識者により実行委員会を組織し、検討、準備、運営を行う。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。しかし、学習の成果として小学生に泉小太郎の絵を描いていただき、それを公民館に展示することで、多くの方に地域文化を知っていただくことが出来た。 【今後の方針等】 今後も中山小4年生に関わってもらえるように、実行委員会と連携し、地域に根ざした催しになっていくよう公民館として支援していきたい。	

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第64回市民体育大会秋季大会	10月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	52人	【事業内容】 市民体育大会に際し中山地区団を結成し、軟式野球、男女ゲートボール、卓球、マレットゴルフの種目の試合に出場する。 【ねらい】 地区内における団結力、交流の促進を図る。	【準備過程】 例年実施していた選手団の結団式、本番の応援、解団式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 卓球と男女ゲートボールはともに優勝という好成績を残せた。 【今後の方針等】 地区内にて選手を確保して積極的に参加する体制を継続したい。	
第71回中山地区大運動会	10月17日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 中山小学校グラウンドで開催。子どもから高齢者までが一堂に会す地区最大のイベント。 【ねらい】 スポーツを通じて健康増進を図りながら、地区住民が相互の親睦を深めることにより地域づくりの基礎とする。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、実行委員会を組織。企画、選手集め、運営を行う。 【共催団体等】 町会連合会含め地区の各種団体と共催。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 コロナ禍で、令和2年度に引き続き開催は中止としたが、地域にとってさらに価値のある事業となるように検討を重ね継続していきたい。	
介護予防講座	11月20日	1回	福祉健康	高齢者	20人	【事業内容】 地区内の高齢化が進む中、毎年実施している。本年は歯科医師を講師に招き、簡単にできるオーラルケア講座を行い、介護予防に役立てるもの。 【ねらい】 高齢者の健康増進および身体機能の維持を目的とする。	【準備過程】 中央南包括支援センター職員と打合せをした。	【評価と反省】 中山地区は市内でも特に高齢化率が高く、事前の周知も奏功し多くの方に聴講していただいた。 【今後の方針等】 包括支援センターとは高齢者の相談会等で館を使用いただいている。今回は簡単な運動により身体機能を維持し、高齢となっても介護の必要のない身体づくりを目指すものであり、地区住民の関心の高い内容でもあったため。今後こうした講座の継続実施を検討したい。	
父ちゃんの出番ですよ	11月26日	1回	趣味教養	高齢者	14人	【ねらい】 ふれあい健康教室等の福祉ひろば事業への出席率が低い、男性をターゲットして運動習慣の定着を図るもの。	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催。	【評価と反省】 より多くの男性が気軽に集まれる場にし、健康増進を図れるよう講座を企画。地区住民同士の交流を図った。	

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
姉妹都市交流事業 (おうちで旅にでかけよう～いってみたいな姉妹都市編～)	11/22 ～ 11/30	オンライン	地域事業 (文化)	成人	51人	【事業内容】 姉妹都市・藤沢市の遠藤公民館からの申し出でオンラインによる料理講座を実施するもの。 【ねらい】 コロナ禍で姉妹都市交流が出来ない中だが、オンラインを通じて信州松本とその伝統食「おやき」を広く知ってもらうこと。	【準備過程】 料理の講師として地区ボランティア団体の白ゆり会に協力いただき、試作していただいた。 【共催団体等】 藤沢市遠藤公民館	【評価と反省】 新型コロナ禍の中だからこそそのオンライン講座が実施できた。専門的な機具がなく、撮影には苦勞したが、当日はZOOMを活用し、多くの藤沢市民に松本市をPRできたと思う。 【今後の方針等】 次年度は逆に藤沢市の伝統食を紹介する講座を中山公民館で実施するなど水平展開が見込まれる。	
なかやま史跡ウォーキング2021	11月28日	1回	趣味教養	成人	42人	【事業内容】 中山地区内に点在する古墳群、牛伏寺などの地域内外の旧所・名跡を巡るウォーキング事業。 【ねらい】 参加者の健康増進、地区外の方に中山地区の魅力を知ってもらうために実施しているもの。	【準備過程】 文化財課埋蔵文化財担当、史跡整備担当、考古博物館学芸員と事前の打合せを実施。 【共催団体等】 中山地区地域づくり協議会地域活性化部会と共催。	【評価と反省】 コロナ禍での実施につき、屋外事業ではあるが感染対策のため参加人数を絞った。事務局・スタッフを除いた30人の参加者中、地区外からの参加者は29人おり、中山地区の魅力を知っていただくいい機会となった。 【今後の方針等】 地区外参加者との交流により、今後は地区外の旧所・名跡に中山地区住民が訪れるなど相互の活性化に繋げるため、今後も事業を継続していく。	
マレットゴルフ交流会	11月下旬	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川の各公民館と共催。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。	
人権啓発推進協議会研修	12月7日	1回	人権平和	成人	35人	【事業内容】 中山地区福祉ひろば協議会と共催で地区の人権啓発推進協議会員向けに人権に関わる映画の視聴と障がい者支援を行う地区福祉団体の講演会を開催。 【ねらい】 地区の人権啓発。	【準備過程】 講師の選定、講演の内容について事前に打ち合わせを実施した。 【共催団体等】 中山地区福祉ひろば	【評価と反省】 これまで人権啓発は夏場の平和式典と年度末の視察研修のみであり、本企画はあらたな取り組みであった。周知が不十分であり、地区役員が中心の研修となってしまった。 【今後の方針等】 上記反省を活かし、老若男女問わず地区の多くの方に参加してもらえる研修会とする。	

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
願 疫病退散なかやま ライブ	12月11日	1回	地域事業 (文化)	その他	200人	【事業内容】 例年11月初旬に実施していた文化祭だが、本年度は新型コロナ禍でステージ発表ができなかった。感染者数が落ち着いてきたタイミングで改めてステージ発表を実施した。 【ねらい】 地区サークル、小学校の発表の場として	【準備過程】 中山小学校との打合せ、地区サークルの代表との調整。	【評価と反省】 臨時的な事業ながら、当初用意した100の客席を大きく超える来客があった。 【今後の方針等】 文化祭で出来なかったステージ発表を実現できた。この他地区サークルの発表の場を設けることで、更なる活性化に繋げたい。	
第40回中山小学校手づくり教室	12月17日	中止	地域文化	青少年	120人	【事業内容】 地域で冬季に行われている縄ない、しめ縄つくりを地域住民が講師となって、中山小全学年の児童に教える。 【ねらい】 伝統文化の伝承と世代間の交流を図る。	【準備過程】 子ども会育成会が中心となり講師の手配、調整、小学校との打ち合わせを行った。 【共催団体等】 中山小学校、中山地区福祉ひろば	【評価と反省】 本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、地域講師（地区高齢者）を最小限に絞り、子ども会育成会の理事を講師として実施した。また、1年生から縄ないの経験のある中山小5、6年生対象に事前講習会を行い、講師の担い手の確保に努めた。 【今後の方針等】 引き続き人材育成を進めながら、継続させていきたい。	○
木工講座	月2回ずつ 実施	24回	趣味教養	成人	240人	【事業内容】 木の小物づくりからスタートして木工のスキルを磨き、家庭内の簡単な修繕や趣味のひとつとしてコロナ禍でのおうち時間を充実させることを目的に企画したものの。 【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として木工に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとしました。	【準備過程】 初回～2回目までは全員共通でカッティングボードを製作。その後は力量に応じて、製作するものをアドバイスするなど、館長と二人三脚で事業を実施した。	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でも身の回りで使うものを作ることで地区住民の満足感に繋がった。 【今後の方針等】 参加者は木工が趣味のひとつとして定着しつつあるため、館内での常設展示や地区文化祭等で展示でより多くの人に見て興味をもっていただき、参加者増や地区内でサークルとなるような取り組みに繋げる。	
ウクレレ講座	月2回ずつ 実施	24回	趣味教養	成人	480人	【事業内容】 気軽にはじめられる趣味のひとつとしてウクレレ講座を実施。 【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として音楽に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとしました。	【準備過程】 初心者向け講座であり、楽曲等は公民館で選定。	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でのおうち時間の過ごし方のひとつとして、興味をもって参加してくれている。 【今後の方針等】 地区文化祭やふれあい健康教室などを発表の場とすることで、更に参加者のやりがいが増進するような仕掛けを講じる。	

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
人権視察研修		中止	人権平和	成人	0人	【事業内容】 人権啓発推進協議会員を対象にした視察研修。今年度は阿智村の満蒙開拓平和記念館の見学として企画した。	【共催団体等】 中山地区人権啓発推進協議会が主催。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 施設を視察見学することにより改めて戦争の愚かしさ、人権尊重について多くのことを学べる機会であるため今後も継続していきたい。	
CS事業クラブ活動支援	5月～1月	8回	地域文化	その他	120人	【事業内容】 中山小学校のクラブ活動支援として地域講師に依頼する。 【ねらい】 地域と学校、家庭と積極的に連携して、一体となって子どもを育てる。	【準備過程】 中山小よりニーズをくみ取り、公民館長がコーディネーターとして地区住民を講師として招き実施しているもの。	【評価と反省】 本年度は手芸、パソコン、美術、縄文体験4つのクラブで4～6年生を指導した。 【今後の方針等】 これまでのような講師謝礼という財政的支援のみならず、地域とのつながりを深められるような内容を引き続き検討していきたい。	○
ワイワイ子育て	5月～1月	6回	子育て	家庭教育	100人	【事業内容】 体操、読み聞かせ等の6回の講座を通じて、親同士、子ども同士が楽しみながらふれあう。 【ねらい】 親、子ども同士の交流、地域とのつながりを図る。	【準備過程】 社協中山支会、福祉ひろばとともに企画した。 【共催団体等】 各回ごとに地区内各種団体におやつ作りを依頼。	【評価と反省】 少子化の進行もあり参加者は毎年減少傾向にあるが、参加者同士、地域との交流を促すことはできている。 ママ友などのネットワークから、地区外からも参加を希望する方がおり、積極的に受け入れた。 【今後の方針等】 地域における子育て支援として今後も継続していきたい。	
中山映画会		中止	その他	その他	0人	【事業内容】 公民館の大会議室で映画鑑賞会を実施。 【ねらい】 住民が気軽に集まれる場所としての認識を図る。	【準備過程】 公民館図書視聴覚委員が上映するものから周知まですべて企画、運営した。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 日頃なかなか来館しないような高齢者が、孫を連れて公民館を訪れたり、世代間交流また家族交流をする良い機会になっている。上映する映画作品により来場者の増減はあるものの、地域住民の集い、居場所づくりを促進するため、今後も継続したい。	

令和3年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館専門委員会	通年	22回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	161人	【事業内容】 公民館事業の企画・運営のため開 催。 ①運営委員会 ②館報編集委員会 ③体育委員会 ④文化委員会 ⑤図書視聴覚委員会		【今後の方針等】 引き続き委員会の主体的な活動を促 し、地域の活性化を図っていきたい。	
地域づくり協議会活動 支援	通年	35回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	398人	【事業内容】 地域づくり協議会の活動支援、連携 強化を図る。 ①運営委員会 ②地域活性化部会 ③防災環境保全対策部会 ④福祉対策部会		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進め ていきたい。	
町内公民館長会活動支 援	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	29人	【事業内容】 町内公民館長会の活動支援、連携強 化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進め ていきたい。	
子ども会育成会支援	通年	7回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	42人	【事業内容】 子ども会育成会の活動支援、連携強 化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進め ていきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

島立公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり コロナ禍でも公民館最大のイベントである芸術文化祭を実施できるよう感染症対策の徹底や開催方法の工夫に取り組んだ。</p> <p>2 中央公民館重点施策・推進施策について 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業の一環として、住民が身近な地域でつながり、子どもや若者、高齢者等が地域で役割を持つことで楽しみや生きがいを感じるとともに、地域参画と人材育成（担い手づくり）を促進した。 次代を担う青少年の学習・相談・学習の場の提供と講座・行事の開催を行った。 町内公民館活動の相談や助言等を行い、活動の活性化を促した。</p>										<p>1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、屋内のステージ発表は中止し、作品展示発表会のみを実施した。作品を展示した個人・団体にとっては年に一度の展示発表の機会となった。また、地元小中学校ブラスバンド部、吹奏楽部の活動成果の発表の機会を創出するため、屋外コンサート「あおぞら演奏会」を昨年度に引き続き実施した。子どもたちが生き生きと演奏する姿を保護者をはじめ来場者にも見ていただくことができた。</p> <p>2 中央公民館重点施策・推進施策について ・安曇地区稲核の七夕文化を紹介するとともに、参加型プログラムとして、実際に七夕飾りを体験してもらい、地域独自の風習を学んだ。 ・地区内で発足した子ども食堂を周知や会場手配等で支援し、フードドライブでは不要となった食料品等の回収を行った。 ・学校の長期休業中に学習スペースを開放し、子ども達の居場所づくり支援を行った。 ・毎月開催される町内公民館長会を各町内公民館で実施し、町会独自の特色や課題を共有した。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	8	1	1	2	0	0	1	6	2	1	6	0
延べ参加人数	0	0	1451	50	45	20	0	0	0	0	310	0	306	0

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
塩の道を歩き歴史を学ぶ講座	5月9日(日)	1回	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に小谷村の千国街道(塩の道)をガイドの説明を聞きながら、歴史と自然を感じながら歩く。 【ねらい】 ・地区住民の教養の向上、健康の増進、相互の親睦を図る。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・身近な地区内を歩く手法を検討する。	
町会対抗卓球・ゲートボール・ソフトバレーボール大会	5月23日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボールの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会(スポーツ委員会)、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会(スポーツ委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事であり、感染状況を考慮しながら今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年、一昨年の振り返りを行い見直していく。	
救急救命講習会	5月15日(土)	1回	その他	成人	0人	【内容】 ・町会役員、町内公民館役員、スポーツ協会役員を対象に普通救命講習を行う。 【ねらい】 ・地区のスポーツ大会や公民館事業実施中等における、緊急時人命救助の初動対応力の向上を目的に行うもの。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会(スポーツ委員会)、理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会(スポーツ委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・いざという時のために定期的に手順を確認することが大切であるため、今後も継続して開催する。 ・各町会や団体で行っている講習会との共同開催も検討し、顔合わせや情報交換の場とすることも検討したい。	
トレッキング	6月27日(日)	1回	健康福祉	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に奈川(野麦峠)でトレッキングを行う。 【ねらい】 ・自然と親しみながら楽しく野山を散策し、日頃の疲れを癒すことで、住民の健康づくりを促進する。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会(スポーツ委員会)、理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会(スポーツ委員会)	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。	

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町会対抗 野球・マレットゴルフ大会	7月25日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、野球、マレットゴルフの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（スポ協の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年、一昨年の振り返りを行い見直していく。	
アートレクチャー学芸講座 「染色家・三代澤本寿と松本の民藝運動」	8月3日(火)	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ・松本の民藝運動に三代澤本寿がどう関わっていたか等の歴史的背景を学び、三代澤本寿の作品の見どころを知る。	【共催団体等】 ・松本市美術館	【評価と反省】 ・地区内外から参加者が集まり、専門的な講座となった。松本と民藝運動の深い関わりを学ぶことができた。 【今後の方針】 ・次年度以降も博物館や美術館などと連携した講座を検討したい。	
河西部球技大会	8月29日(日)	1回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・松本市長杯争奪球技大会予選を兼ねて、河西部地区対抗で軟式野球・ママさんバレー・卓球の大会を行う。 【ねらい】 ・河西部4地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・合同打ち合わせ会議にて、内容を検討した。 【共催団体等】 ・河西部4地区公民館 ・河西部4地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 【今後の方針】 ・4地区のスポーツを通じた親睦という点に重点を置いて、コロナ対策を検討しながら、毎年の恒例行事として継続して開催する。	
町会対抗ソフトボール大会	9月12日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、ソフトボールの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年の振り返りを行い見直していく。	

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
ミニミニ運動会	10月15日 (金)	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 ・未就園児の子どもとその親を対象に軽度な運動を取り入れた運動会を実施した。 【ねらい】 ・参加者同士の親睦と交流を図り、子育て世代の情報交換の場とする。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・三密を回避しながら実施した。参加した親子はのびのびと運動を楽しんだ。 【今後の方針】 ・感染状況に注視しながら継続実施できるよう検討する。	
島立スポーツフェスティバル	10月24日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に町会対抗で運動会形式の各種競技、抽選会、ニュースポーツ体験会などを行う。 【ねらい】 ・スポーツを通して地区住民の親睦、健康増進と共に、地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・一昨年の反省を活かした見直しを行い、地区の大イベントとして誰もが参加して楽しめる内容にできるよう引き続き検討していく。	
島立地区作品展示発表会 (島立地区芸術文化祭・島立地区福祉ひろばまつり)	11月13日 (土) 11月14日 (日)	1回	地域事業 (文化)	その他	310人	【内容】 ・地区文化活動者の発表（ステージ発表、展示発表）、公民館活動功労者表彰、各種体験会などを行う。 R2年度参加人数：170人 【ねらい】 ・地区文化活動者や福祉ひろば利用者の発表の場、また住民が一堂に集う場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうこと、その他の参加者が身近な文化・芸能に触れ、新たな文化活動の担い手となること、また住民同士の交流、親睦を深めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・地区内関係団体と内容を検討した。 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会（企画委員会） ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示会場を従来の公民館から体育館へ変更し、ステージ発表を中止し、三密を回避できるレイアウトで作品展示発表のみを行った。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も福祉ひろばと協力しながら継続して開催する。 ・感染症対策を講じながらより良い文化祭となるよう内容を検討する。	
あおぞら演奏会	11月13日 (土)	1回	地域事業 (文化)	青少年	150人	【内容】 ・島立小プラスバンド部、高綱中・松島中両吹奏楽部による活動成果を発表するための屋外コンサート。 R2実績：100人 【ねらい】 ・コロナ禍で吹奏楽の各大会が中止となる中、活動発表の場を設けることで児童生徒の活躍の場を創出するとともに、地域住民との交流を図る。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、内容を検討した。 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会（企画委員会） ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・保護者をはじめ地域住民も多くの参加があった。 ・児童生徒も生き生きと発表されている姿が印象的であった。 【今後の方針】 ・来年度も感染症対策を講じながら内容の見直しも含め実施を検討していきたい。	

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
クリスマス会	12月17日 (金)	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 ・クリスマスの時期に合わせて、主に未就園児の子どもとその親を対象にコンサートを中心としたイベントを開催した。R2年度参加人数：37人 【ねらい】 ・参加した親子にクリスマスにちなんだコンサートなどを楽しんでもらう。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・狙い通り事業実施できた。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら継続開催する。	
島内・島立ふれ愛コンサート	2月26日(土)	1回	人権平和	成人	0人	【内容】 ・島内、島立の2地区合同で人権をテーマとしたコンサートを行う。 【ねらい】 ・人権問題の解決に向けた取組みが重要性を増している中、誰もが幸せな日々を過ごせるよう福祉のまちづくりに精力的な活動を展開している。それに呼応してすべての人の人権が尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域づくりを進めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・両地区の人権啓発推進協議会で実行委員会を組織し、内容を検討した。 【共催団体等】 ・島内・島立ふれ愛コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・開催準備を進めたものの新型コロナウイルス感染急拡大により中止。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら継続開催する。	
島立公民館利用者懇談会	2月28日 (月)	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	35人	【内容】 ・島立公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行う。 【ねらい】 ・利用者同士の意見交換（顔合わせ）やさらなる利用状況の改善を図る。		【評価と反省】 ・新型コロナ感染拡大防止の観点から書面会議とした。 【今後の方針】 ・継続開催する。昨年度から始めた懇談会が形骸化しないよう、こちらからの情報提供（地区のことなど）や利用者同士の交流について工夫しながら開催していきたい。	
バドミントン大会	3月6日(日)	1回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内住民対象のバドミントン大会を行う。 【ねらい】 ・町会、世代を越えた親睦と日頃の運動不足解消を図る。初心者や未経験者が気軽に参加し、楽しんでもらえる大会とする。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続して開催する。	

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
大きくなったね会	3月4日(金)	1回	子育て	青少年	20人	【内容】 ・来年度から保育園に入園する子どもを含めたつどいの広場利用者を対象にコンサートを中心としたイベントを開催する。 【ねらい】 ・参加した親子にコンサートなどを楽しんでもらうとともに、皆で今年度の子どもたちの成長を祝う。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため記念品の配付のみ行った。 【今後の方針】 ・継続して開催する。	
親子フィットネス	5月～3月	7回	子育て	その他	155人	【内容】 ・主に地区住民を対象に親子で仲間と一緒に運動するフィットネスを行う。 【ねらい】 ・親子で仲間と一緒に運動する機会を創出し、地区住民の健康増進と交流を図る。	【共催団体等】 ・つどいの広場	【評価と反省】 ・全11回のうち新型コロナウイルス感染症拡大により、8, 9, 1, 2, 3月は中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例事業として感染症対策を講じながら開催を検討する。 ・子どもにケガが無いように会場の整備を注意深く行う。 ・地区内の未就園児親子の居場所やつながりづくりの事業をさらに検討する。	
公民館で飾ろう！ モミジの七夕	7月21日(水)～8月7日(土)	1回	地域文化	その他	50人	【内容】 ・安曇地区稲核の風習であるモミジの七夕飾りを紹介するとともに、実際に飾りつけを行う。 【ねらい】 ・同じ風習でも地域によって特色があることを紹介しつつ、文化の継承を促す。	【準備過程】 ・モミジの木の提供者を安曇公民館より紹介いただき、実際に提供いただいた。	【評価と反省】 ・来館者に興味を示してもらえ、短冊の記入や七夕飾りの製作など協力頂いた。 ・水差だけでは枯れるのが早く、栄養剤を注入したがモミジが枯れてしまったため2回提供いただいた。モミジの葉を緑に保つことに苦労した。次年度は期間を短くすることも検討したい。	
地域づくりグループ 「～豊かな自然に恵まれた地域へ～自然体験学習」活動支援	7月31日(土) 11月28日(日) 3月31日(木)	3回	子育て	青少年	114人	【内容】 ・地区内の小学生及びその保護者を対象に行う自然体験学習を行う「自然体験学習チーム」の活動を支援した。 【ねらい】 ・児童の自然への畏敬の念を強め、思いやりの心を醸成する。	【準備過程】 ・専門講師を交えて、打合せを行い内容を検討した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地区外に出ての体験学習は行わず、地区内の伝統行事や昔ながらの遊びを実践した。 ・運営側の人数確保、完全ボランティアなど、活動の継続性について検討が必要。 ・活動のさらなる周知方法について検討が必要。 【今後の方針】 ・今後も継続して活動予定であるため、引き続き支援を行う。 ・運営側の人数確保については、子ども会育成会、PTA、小中学校、大学、町会との連携などを視野に検討する。	

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
しまだちフードドライブ	10月22日 (金) 12月18日 (土)	2回	環境	その他	45人	【内容】 ・市内の子ども食堂を応援するためのフードドライブを実施。 ・提供された食材等はNPO法人を通じ、島立地区をはじめ市内の子ども食堂主催者に寄付する。 【ねらい】 ・子ども食堂並びに食品ロスの啓発	【準備過程】 ・NPO法人と共催を検討した。 ・環境地域エネルギー課にフードドライブの実施手法等の詳細を聞き取った。 【共催団体】 ・ゆいま～る子ども食堂 ・NPO法人ホットライン信州	【評価と反省】 ・初めての試みであったが、多くの住民から食料品等の寄付をいただいた。 【今後の方針】 ・不定期開催となるが、次年度も継続実施したい。	
長期休み学習スペース開放	8月2日(月) ～6日(金) 3月21日(月) ～25日(金)	10回	子育て	家庭教育	80人	【内容】 ・小中学校の長期休業に合わせ、学習スペースを開放する。 【ねらい】 ・小中学生の居場所づくりとする。	【準備過程】 ・大学や地区内ボランティア有志の方に協力を仰ぎ、学習支援補助を行った。 【共催団体等】 ・松本大学	【評価と反省】 ・利用者、保護者からも好評であったため、長期休業中の小中学生の居場所支援として今後も継続実施したい。	
ゆいま～る子ども食堂支援 (松本市子どもの居場所づくり推進事業交付金の交付団体支援)	通年	12回	子育て	家庭教育	1,052人	【内容】 ・松本市子どもの居場所づくり推進事業交付金の交付団体支援 【ねらい】 ・同交付団体である「ゆいま～る子ども食堂」の活動を支援し、地域に根差した子どもの居場所づくりを目指す。	【準備過程】 ・地区内協力者の募集 ・開催周知の補助 ・会場手配 【共催団体等】 ・NPO法人ホットライン信州 ・松本大学 ・地区内ボランティア有志	【評価と反省】 ・コロナ課でありながらも、月に1回の開催を継続できた。感染拡大期にはお弁当配付のみを実施した。開催することに地区内にも認知され、利用者も増えてきた。 【今後の方針】 ・地区内ボランティア有志の更なる拡充と組織化に重点を置く。	
コミュニティスクール事業	通年		子育て	青少年	0人	【内容】 ・各学校のCS運営委員会に参画、予算執行管理、クラブ活動等講師紹介などを行う。 【ねらい】 ・地域全体で子どもを育てる。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止により、運営委員会も中止や書面会議が多かった。 【今後の方針】 ・地域と学校の双方向の交流、子どもの主体的なかかわりを意識して取り組んでいく。 ・現在の活動の継続と見直しを行う。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
企画委員会 (町内公民館長会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	101人	【内容】 ・地区内の意見、要望を聴取しながら、公民館事業を企画、運営した。 ・その他、公民館事業推進に必要な研究、提言を行った。 ・各種研修を行った。 【ねらい】 ・地区の公民館活動の一層の充実を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 ・館長同士の有意義な情報交換の機会となった。 ・例年、企画委員会として公民館講座などの事業の企画などにあまり関わっていない面があったが、少しでも企画段階から関わることができるように検討した。 【今後の方針】 ・引き続き地区の公民館活動のより一層の充実を図る。 ・引き続き、各町内公民館で会議を開催する。 ・町内公民館長（副館長も含む）の中での研修の充実を図る。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	88人	【内容・ねらい】 ・公民館報の編集ならびに編集に必要な取材等を行う。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・内容がマンネリ化しないように努める。 ・委員のモチベーションにもつなげるため、より多くの地域住民に館報を読んでもらうためのPR方法を引き続き委員とともに検討する。	
スポーツ委員会 (スポーツ協会三役会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	68人	【内容】 ・各種スポーツ事業を企画及び運営した。 ・芸術文化祭の運営に携わった。 【ねらい】 ・地区のスポーツ・健康の向上を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・引き続き住民が楽しめるスポーツ事業を検討する。 ・スポーツ協会三役と各町会スポーツ協会理事がより一体的に事業を運営できるよう検討する。	

令和3年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	27人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わった。 ・島立公民館図書コーナーの図書の入替え作業を行った。 【ねらい】 ・地域文化の向上を図り、各種文化活動を行う。また、地域住民の知識の向上を図り、書籍ほか各視聴覚手法を活用した事業を行う。		【評価と反省】 ・主な活動となっている図書の入れ替え作業と芸術文化祭の企画運営について予定通り行うことができた。 ・一方で参加できる委員が例年固定化している。また、委員会独自の新たな活動を模索したが、実際の取り組みにはつなげることができなかった。 【今後の方針】 ・活動の継続、見直しと合わせて委員会独自の活動について引き続き模索する。 ・委員の選出方法についても検討する。	
女性委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	22人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わる。 【ねらい】 ・女性の地位向上に努めその活動を通じて地区住民の啓発に努める。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの影響もあったが、昨年度に比べて活動を活性化することができた。 【今後の方針】 ・委員会のねらいを現状に合わせて見直す。 ・委員会での学びをより地域に還元できるよう検討する。	
島立地域だよりの発行	通年	12回	地域事業(その他)	成人		【内容】 ・公民館だより、福祉ひろばだより、体協だよりを統合した島立地域だよりを毎月発行し、地区内全戸配布した。 【ねらい】 ・地域住民が公民館、福祉ひろば他、地域の催しや情報を得る。	【準備過程】 ・福祉ひろば、スポーツ協会と内容について相談の上、決定した。	【評価と反省】 ・見やすい紙面づくりを心がけ、ホームページでも引き続き公開しているが、どのくらいの住民が、どこまで読んでいるのかが不透明。 【今後の方針】 ・紙面の見直しなどにより見やすい紙面づくりを心がけ、地区内の組織団体等と連携しながら多種多様な情報を掲載し、さらなる利便性の向上を図る。	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分配慮した形で、公民館事業への参加者の固定化を改善し、より多くの住民が参加できるような魅力ある事業の企画・運営を行う。 「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、地区住民や関係機関（小学校、中学校、大学、子ども会育成会）と連携・協働し、松本版コミュニティースクール事業の推進を中心に、子ども達の地域に対する愛着形成を図る。 子どもからお年寄りまで幅広い年代の住民対象に、地域の歴史や文化への興味・関心を高めるため、「新村文化財保存会」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、講座等の事業を展開していく。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> あたらしの郷協議会との共催講座の開催 新村地区のゆるやかな協議体である「あたらしの郷協議会」の4部会（いきいき部会・安全安心部会・地域振興部会・学びの友部会）と連携を図り、公民館と各部会の共催という形で講座を複数回開催した。特に安全安心部会の関係では、松本大学地域防災科学研究所の先生方をお招きし、町会長や防災部の方々を対象に座学形式の防災講座を初めて開催した。その後、講座で学んだ内容を発展させた形として、複数の町会で避難誘導訓練等を実施した。定例町会長において事業報告を行い、令和4年度に策定を目指している「地区防災計画」の土台作りの一助となった。 「まつもと文化遺産パンフレット」・「地域学習テキスト」の制作 令和3年3月に新村地区内にある文化財群が市の「まつもと文化遺産」に認定されたことを契機として、まつもと文化遺産パンフレットを初めて製作した。内容は地区内にある文化財や史跡等をダイジェスト版で紹介するもので、航空写真を活用したマップを取り入れるなど、見やすい工夫を加えた。パンフレットの他に、小学5年生以上が地区の歴史や文化などを学べるように「地域学習テキスト」を制作した。制作にあたっては、「新村文化財保存会」や「あたらしの郷協議会」等の団体から委員を選出し、「地域学習テキスト編集委員会」を立ち上げ、委員が担当ごと原稿を執筆したり写真をセレクトするなど協力を図り作り上げた。完成したテキストは全戸配布で各家庭に1冊ずつ配布したほか、小中学校にも寄贈した。令和4年度は、小中学校と連携を図りながら、地域への愛着形成を図るため、コミュニティースクール事業にテキストを活用した学習を取り入れていく予定となっている。 										<p>令和3年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で公民館講座や地域行事等は例年通りに開催できない状況は続いたが、感染症対策を徹底したうえで開催できる行事や講座などを開催した。地域行事については、関係する団体で協議を重ね、開催の可否を慎重に判断した。</p> <p>重点的に取り組んだ事項については左記記載のとおりであるが、地域発展に繋がりそうな内容の講座に関しては「あたらしの郷協議会」との共催という形を積極的に取り入れ、公民館単独ではなく地区全体で取り組めるよう工夫した。</p> <p>特にコロナ禍で地域行事や公民館事業が減少したことを逆手に取り、制作に時間を要する冊子を2種類も制作することができた。制作にあたっては、原稿を執筆いただいた住民の方々に大変なご苦労をかけたが、年度内に無事完成させることができ、新村地区や地区外の多くの方々からお褒めの言葉をいただいた。</p> <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事等が中止を余儀なくされる可能性は高いが、感染症対策を徹底したうえで、開催が可能な行事等については積極的に開催していきたい。そのためには地区住民の理解・協力は欠かせないため、日頃から住民の方々と密にコミュニケーションを図り、連携・協働して事業の展開をしていきたい。</p>				
学級講座・学習会等										地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	6	2	5	1	13	3	2	4	6	1	7	9	1
延べ参加人数	728	16	0	187	12	278	0	20	140	100	0	342	457	0

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ものぐさ大学 おでかけウォーキング	4月9日 5月20日 6月24日 10月27日 1月17日 3月11日	3回	趣味教養	成人	37人	【事業内容】 4月9日 梓川 5月20日 田川・鎌田⇒中止 6月24日 松原・寿台・寿 10月27日 松南・芳川 1月17日 第二・東部⇒中止 3月11日 笹賀・神林⇒中止 【ねらい】 ウォーキングを通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 コロナ禍ではあったが、多くの参加者があり、和気あいあいとした雰囲気の中、ウォーキングを楽しんだ。 【今後の方針】 35地区の制覇に向け、事業の継続をしていきたい。	
ものぐさ大学 美術館巡り	4月22日 9月15日 11月19日 12月7日	2回	趣味教養	成人	55人	【事業内容】 県内の美術館を見学する。 4月22日 県立信濃美術館・中山晋平記念館⇒中止 9月15日 黒姫動物園⇒中止 11月19日 県立信濃美術館・善光寺 12月7日 義仲館・山村代官屋敷 【ねらい】 美術館巡りを通じて、歴史への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた美術館巡りが2回中止となった。開催できた11月19日は県立信濃美術館を訪れ、東谷魁夷展を見学した。12月7日は木曾にある義仲館と山村代官屋敷を見学した。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	
公民館講座 カルトナーージュ講座	4月14日 12月4日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 ≪講師≫ ・高畑 かおり さん 【ねらい】 講座を通じて、カルトナーージュへの関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 カルトナーージュはヨーロッパの伝統工芸で、松本市内で教室を主宰している高畑かおりさんを講師にお招きし、リポントレーを制作した。 【今後の方針】 住民からの要望があれば、次年度も開催を検討したい。	
農村広場整備	5月9日 10月3日	2回	地域事業 (その他)	成人	96人	【事業内容】 連合町会長会、町内公民館長会、新村体育協会が分担して、地区内にある農村広場等の草刈りやゴミ拾いを年2回実施する。 ≪場所≫ ・忠魂碑周辺、ものぐさ自然公園 ・秋葉原古墳周辺 ・新村農村広場周辺	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会	【評価と反省】 各団体が担当場所の草刈りやゴミ拾いなどの清掃を実施した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、農村広場整備を実施していきたい。	
町会対抗球技大会 (ソフトボール、ソフトバレーボール)	5月16日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で球技大会を実施する。 ≪種目≫ ソフトボール・ソフトバレーボール 【ねらい】 球技大会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	

令和3年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
公民館講座 苔テラリウム講座	5月19日 7月14日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 講師を招き、苔テラリウムを作成する。 《講師》 竹下 光重 さん 【ねらい】 講座を通じて、教養の向上を図るとともに、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で、5月19日の講座は延期となり、7月14日に改めて開催された。苔テラリウム作成は細かい作業を要するものであったが、講師の丁寧な説明のおかげで、多くの参加者が無事に完成することができた。 【今後の方針】 好評であったため、次年度も開催を検討したい。	
芝沢小学校3年生 「地域探検」	6月9日	1回	地域文化	青少年	70人	【事業内容】 芝沢小学校3年生が地域を巡り、歴史や文化、地域等について学ぶ。 【ねらい】 地域探検を通じて、地域への愛着形成を図る。	【共催団体】 ・芝沢小学校	【評価と反省】 毎年恒例の行事となっており、今年度は3年生2クラスが新村公民館を訪れた。公民館長から公民館・出張所の職員が普段どのような仕事をしているか、それがどのように住民の生活に役立っているのか説明がされた。 【今後の方針】 次年度も学校から要望があれば、対応するようにしたい。	
公民館講座 美術館アートレクチャー 「上條信山 人と書」	6月15日	1回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 《講師》 ・市美術館 学芸員 大島 武 さん 【ねらい】 講座を通じて、書への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 市美術館から打診があり、今年度初めて講座が開催された。書家の上條信山の生い立ちから、作品の楽しみ方など、資料等を使いながら説明がされた。学芸員の大島さんが上條信山を師事していることもあり、書風を見せる筆のパフォーマンスがあった。 【今後の方針】 住民から要望があれば、次年度も開催を検討したい。	
公民館講座 写経会	6月25日	1	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 地区内にある専称寺で写経会を開催。 【ねらい】 写経会を通じて、歴史や文化に対する関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 昨年度に引き続き3回目の開催となった。専称寺住職より善導大師の「往生礼賛」という経文の意味を解説いただき、1字ずつ丁寧に経文を書き写した。写経の目的について詳しい説明を受け、写経に対する理解がより深まった。 【今後の方針】 公民館講座として定着化を図りたい。	

令和3年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村地区オープン大会 (ワンハンドふらばー るバレー)	7月4日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 町会対抗ではなくオープンで参加者を募り、スポーツ大会を開催する。 ≪種目≫ワンバウンドふらばーるバレー ≪会場≫芝沢体育館 【ねらい】 大会を通して、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	
運動会実行委員会	7月15日 9月 9日 11月11日	中止	公民館委員会・ 各種会議等	成人	0人	【事業内容】 新村地区市民運動会の企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 運動会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	
防災講座	7月16日	1回	防災	成人	20人	【事業内容】 住民主体の地域防災の仕組みづくりの重要性について、講師をお招きし講演いただくもの。 ≪講師≫ ・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽 さん 副所長 尻無浜 博幸 さん 【ねらい】 講座を通じて、地域住民の防災意識の醸成を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 安全安心部会	【評価と反省】 今年度初めて開催した講座であったが、町会長や地区防災部の方々を中心に多くの参加があった。松本大学防災科学研究所の先生方のお話では、災害時には24時間以内の避難が最も生存率を高め、そのためには隣組単位で避難する仕組み作りが必要とのこと。 【今後の方針】 住民の防災意識の醸成は今後も必要であるため、関係各所の連携を図りながら計画していきたい。	
ものぐさ大学 自然観察会	7月21日 8月18日	1回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 7月21日 乗鞍高原豊平周辺 8月18日 車山高原⇒中止 【ねらい】 自然観察会を通じて、自然環境に関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 7月21日の自然観察会は天候に恵まれ、乗鞍高原で登山を楽しんだ。新型コロナウイルス感染症の影響で8月18日の自然観察会は中止となった。 【今後の方針】 次年度は以前行っていたような住民ガイドを地区内の住民に依頼し、自然・環境への理解がより深まるよう内容を工夫していきたい。	
SDGs講座	7月26日 7月27日	2回	環境	青少年	12人	【事業内容】 夏休み中の小学生の子ども達を対象に、SDGsに関する講座を開催した。 ≪講師≫ ・SDGs認定講師 丸山 亜希 さん 【ねらい】 講座を通じて、小学生の子ども達のSDGsへの理解を深める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 近年話題となっているSDGsに関する講座を今年度初めて開催した。講師の方で準備をしっかりと行っていたおかげで、非常に内容の濃い講座となった。 【今後の方針】 感染症対策を徹底し、次年度も開催したい。	

令和3年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
親子料理教室	8月	中止	福祉健康	その他	0人	【事業内容】 夏休み中の子ども達とその親を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 料理教室を通して、親子間の交流と食に対する理解を深める。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
公民館寺子屋	8月5日 8月6日	2回	地域文化	青少年	28人	【事業内容】 夏休み中の小学生を対象に、学習支援ボランティアが宿題等の学習活動を支援。支援以外に、有志団体等により体験活動を実施する。 8月5日 自由学習、工作 8月6日 自由学習、けん玉体験 【ねらい】 「地域の子どもは地域で育てる」を実践するため、公民館を会場として子ども達が地域の方々と交流する場を創出する。交流を通して、お互いが学び合い、地域に対する愛着を深める。	【共催団体】 ・福祉ひろば 【協力団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者数や学習支援ボランティアを調整して開催した。例年は昼食提供やジャグでお茶を提供していたが、今年度も昼食提供なし、水筒持参とした。1日目は松本大学教育学部学生によりプラ板を使ったキーホルダー作り、2日目はグローバルけん玉ネットワークからけん玉プレイヤーを招いた。 【今後の方針】 今年度も松本大学教育学部へ学生の派遣を依頼し、教員1名学生3名が学習指導および体験活動に参加した。参加した小学生に大変好評であったため、次年度も早期段階から松本大学と連携を図り、企画を練っていききたい。	
公民館講座 夏のハーブ寄せ植え講座	8月26日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 講師を招き、ハーブの寄せ植えを作成する。 ≪講師≫ 竹下 光重 さん 【ねらい】 講座を通じて、教養の向上を図るとともに、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 今年度初めて開催した講座であったが、講師の丁寧な説明のおかげで、多くの参加者が無事に完成することができた。 【今後の方針】 好評であったため、次年度も開催を検討したい。	
河西部球技大会	8月29日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 島内、島立、和田、新村的河西部4地区対抗で競技を実施する。 ≪種目≫ 軟式野球、ママさんバレーボール、卓球(硬式・ラージボール) 【ねらい】 河西部4地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・河西部4地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
防災訓練	9月	中止	防災	青少年	0人	【事業内容】 高綱中学校の生徒が放水訓練やAED訓練を行う。 【ねらい】 訓練を通じて、中学生の防災への理解を深め、災害時に活躍できる人材を育成する。	【共催団体】 ・高綱中学校 ・消防団(第11分団) ・松本広域消防署消防署	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	

令和3年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
特別講演 「一汁三菜のすすめ！」	9月11日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 料理研究家の横山タカ子さんをお招きし、講演会を行う。 《講師》 ・料理研究家 横山 タカ子 さん 【ねらい】 講演会を通じて、食文化に対する理解を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・松本大学 地域づくり考房「ゆめ」 ・あたらしの郷協議会 地域振興部会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
文化祭実行委員会	9月14日 10月19日 11月16日	中止	公民館委員会・各種会議等	その他	0人	【事業内容】 新村文化祭・福祉ひろば祭りの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化・芸術等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・新村地区各種団体	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	
公民館講座 スマホレベルアップ講座	9月17日	1回	趣味教養	高齢者	10人	【事業内容】 スマートフォンの操作方法等について、講師を招き講座を開催する。 《講師》 ・信州ソフトウェア協会 【ねらい】 講座を通じて、スマートフォンに対する理解を深め、生活の利便性向上に繋げる。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 昨年度開催できなかったスマートフォンに関する講座を開催、操作方法等を学んだ。 【今後の方針】 住民からの要望があれば、次年度も開催を検討したい。	
ものぐさ大学理事会	10月 1日 3月 4日	2回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 公民館事業を企画・運営する独自の組織として、公民館委員の活動とは別に活動を続けている。各事業の担当に分かれて、企画・運営を担った。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。		【評価と反省】 公民館と福祉ひろばと協働する住民有志の組織であり、人材の確保が課題である。 【今後の方針】 「楽しく学ぶ」をモットーに活動しているが、公民館としては「学ぶ」の部分を大事にしていきたいと考えている。	
女性料理教室	10月	1回	福祉健康	女性	0人	【事業内容】 地区住民の女性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 女性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新の里ウォークラリー2021	10月9日	1	地域文化	その他	70人	【事業内容】 新村地区の子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地区内でウォークラリーを開催。コース内に地区文化財に関するチェックポイントを設け、問題を出題。問題の正解数に応じて、参加記念品を贈呈。 【ねらい】 ウォークラリーを通じて、地区の歴史・文化に触れ、地区への愛着を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものごさ大学理事会 ・子ども会育成会 ・福祉ひろば 【準備過程】 10月8日 前日準備	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた昼食提供や表彰式は今年度も開催せず、参加記念品を贈呈し午前中で終了するように内容を工夫した。今回は松本大学松商短期大学の学生が大勢参加してくれ、地域住民と交流や親睦を図った。 【今後の方針】 長年継続している行事であるため、内容等を工夫しながら、事業を継続していきたい。	
松本市民体育大会	10月10日	出場 辞退	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 市内35地区が、卓球やソフトバレー等の種目で競う。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区として大会への出場を辞退した。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は出場したい。	
下新歴史探訪	10月16日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 地区内を大きく5つのエリア（上新・下新・北新・南新・東新）で分け、エリアごと文化財等について説明を受けながら歩いて巡る。 【ねらい】 歴史探訪を通じて、地区住民の文化財等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 今年度は下新南と下新北を巡る予定で計画を立てたが、時間的都合で下新南のみを歩いて巡った。途中、阿弥陀堂を巡った際には下新南在住の岩間連合会長に説明をいただいた。 【今後の方針】 来年度は今回巡れなかった下新北を巡れるよう計画を練っていきたい。該当地区の町会長や町内公民館長にも参加をお願いする。	
新村地区市民運動会	10月17日	中止	スポーツ	その他	0人	【事業内容】 新村地区全住民を対象に、下記のとおり市民運動会を開催。 《会場・種目》 新村農村広場・15種目 【ねらい】 市民運動会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・運動会実行委員会 （町会連合会、町内公民館長会、新村体育協会など） 【準備過程】 ・町会連合会長、町内公民館長会長、体協会長、公民館で協議をして中止の判断に至った。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
市長杯争奪球技大会	10月30日	出場 辞退	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 松本市スポーツ協会主催行事に地区代表として参加する。 【ねらい】 大会を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区として大会への出場を辞退した。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は出場したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
男性の料理教室	11月	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 地区内の男性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 男性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
新村文化祭・福祉ひろば祭り	11月6日 11月7日	中止	地域事業 (文化)	その他	0人	【事業内容】 公民館や福祉ひろば利用団体等の活動成果の発表の場として2日間開催する。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化活動への関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・文化祭実行委員会 【準備過程】 開催可否について、過去に出演した団体等へアンケート調査を実施。アンケート調査結果を踏まえ、可否について主に運営を担っていたたく町内公民館長会に諮り、最終的に中止とする決定に至った。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
新村地区 人権啓発視察研修	11月9日	1回	人権平和	成人	28人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、県内視察研修を実施する。 <視察先> ・ポール・ラッシュ記念館（北杜市） ・清治芸術村（北杜市） 【ねらい】 視察研修を通じて、地区住民への人権啓発を行う。	【共催団体】 ・新村地区人権啓発推進協議会 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 ポール・ラッシュ記念館を訪れ、第2次世界大戦後の疲弊した日本農村を民主的復興に導いたポール・ラッシュ博士の「他者への奉仕」の理念を学んだ。 【今後の方針】 次年度も引き続き人権啓発視察研修を実施、地区住民への人権啓発を行いたい。	
第7回ニュースポフェスIN新村	11月28日	1回	地域事業 (体育)	その他	50人	【事業内容】 ニュースポーツの体験を行う。 ≪種目≫ ・クッブ ・ウォーキングサッカー ・スカイクロス ・ストラックアウト ・ポッチャ 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽にニュースポーツを楽しみ、健康増進や地区住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、今年度は開催した。種目数を減らし、接触が少ない競技を行った。初めて導入したクッブは好評で、大勢の参加者が楽しむことができた。育成会の協力もあり、コロナ禍であったが大勢の参加があった。 【今後の方針】 感染症対策を徹底し、次年度も開催したい。	
公民館講座 押し絵教室	12月14日 12月21日	2回	趣味教養	成人	14人	【事業内容】 講師を招き、干支の押し絵を作成する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていきたい。	

令和3年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館講座 健康料理教室	12月16日	1回	福祉健康	その他	16人	【事業内容】 地区内の住民を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 住民の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新村地区食生活改善推進協議会の方々が講師となり、健康に配慮した栄養価の高いメニューを調理した。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度も開催したい。	
公民館講座 お正月生け花教室	12月27日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 講師を招き、生け花教室を開催する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていきたい。	
元旦マラソン	1月1日	1回	地域事業 (体育)	その他	50人	【事業内容】 地区内の子どもから大人まで幅広い世代を対象に、新村農村広場の周回コースを走る。 【ねらい】 マラソンを通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止となったが、今年度は開催することができた。天候にも恵まれ、約50人の地区住民が新春の新村地区を走った。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度も開催したい。	
新村地区新年祝賀会	1月8日	中止	地域事業 (その他)	その他	0人	【事業内容】 地区内の関係団体関係者が新年を祝して一同に集まるもの。 【ねらい】 祝賀会を通じて、地区の繁栄や安寧等を願う。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
公民館講座 新村的魅力かるた大会	1月14日 3月10日	1回	地域文化	その他	4人	【事業内容】 松本大学松商短期大学の学生が作成した「新村的魅力かるた」を使い、かるた大会を開催するもの。 【ねらい】 かるた大会を通じて、地域への愛着形成を図るとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・松本大学松商短期大学部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で、かるた大会の開催は中止となった。その後、かるたを作成した松本大学松商短期大学の学生3名と担当教員の非常勤講師の福島明美さんが公民館を訪れ、かるたを寄贈してくれた。 【今後の方針】 寄贈いただいたかるたについては、公民館の展示コーナーに掲示するほか、機会があればかるた大会という形で住民同士の交流を図りたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館講座 健康講座 「コロナ禍 いきいき 健康な毎日を過ごそ う」	1月25日	中止	福祉健康	高齢者	0人	【事業内容】 フレイル予防の一環で、太極拳の動作を活用した体操講座を開催するもの。 《講師》 松本大学健康栄養学部健康栄養学科 平田 治美 さん 【ねらい】 体操講座を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
第34回冬季室内競技大会 (綱引き、卓球)	2月6日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で下記の種目を実施する。 《種目》 午前：綱引き 午後：卓球 【ねらい】 室内競技を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
公民館講座 特殊詐欺防止啓発高座	2月25日	中止	その他	高齢者	0人	【事業内容】 消費者被害被害防止のため、落語を開催し啓発を図るもの。 《出演》 ・立川 さん光 さん(日本落語協会) 【ねらい】 落語を通じて、消費者被害防止の啓発を図るとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 地域振興部会 ・松本市消費生活センター	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
利用者懇談会	3月	中止	公民館委員会・ 各種会議等	成人	0人	【事業内容】 公民館利用者団体の各代表者から利用に関する要望等を聞き取り、次年度の公民館等の運営の参考とする。 【ねらい】 利用者懇談会を通じて、公民館等の運営の改善を図る。	【共催団体】 ・新村公民館利用団体	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
公民館講座 「おらほの村に電車が やってきた」	3月25日	1回	その他	その他	30人	【事業内容】 上高地線開通100周年を記念して、上高地線に関する講座を開催した。 《講師》 ・しましま本店実行委員会 代表 太田 岳 さん 《ゲスト》 ・松本大学初代学長 中野 和朗 さん ・上高地線応援隊 山口 茂 さん 【ねらい】 講座を通じて、上高地線や沿線の地域への理解を深めるもの。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 上高地線開通100周年の節目の日である3月25日に講座を開催することができた。上高地線の歴史や現状について、太田岳さんから貴重な写真資料を紹介しながら説明がされた。太田さんの協力でSNSで講座開催を周知していただいたことで、他の市町村や、遠くは東京都からの参加者もいた。 【今後の方針】 好評であったため、次年度も上高地線関係の講座を開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
コミュニティースクール事業（高綱中学校）	通年	—	子育て	青少年	—	【事業内容】 各学校（R3担当：高綱中学校）のCS運営委員会に参画、予算執行管理や授業等への住民講師の紹介などを行った。 【ねらい】 事業を通じて、子ども達の健全育成を図る。	【共催団体】 ・高綱中学校	【評価と反省】 今年度はキャリア学習として、島立・和田・新村地区の住民を講師にお招きし、「働く」ということに関して、中学生に講義を行った。人材の紹介については、地区公民館を介して紹介していただいた。 【今後の方針】 次年度も学校と連携を図りながら、事業を継続していきたい。	○
町会別人権啓発懇談会	2～3月	14回	人権平和	その他	700人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、新村14地区で懇談会を開催し、人権啓発チラシ等を配布。 【ねらい】 懇談会を通じて、地区住民の人権に対する関心や意識を高める。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの町会で総会は開催はせず、隣組長単位などの小規模で開催した。そのため多くの町会で人権啓発のチラシ（法務省作成）を配布した。 【今後の方針】 次年度は人権啓発チラシの配布だけではなく、DVDの放映や出前講座等が実施できるよう、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、周知していきたい。	
町内公民館活性化事業	通年	2回	その他	成人	50人	【事業内容】 町内公民館活動の支援を実施する。 【ねらい】 地区住民がいそいそと明るく張り合いを持って生活ができるよう、町内公民館活動の活性化支援を図る。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は2町会で活性化事業が実施された。事前の周知を念入りに行ったが、コロナ禍もあり実施数は例年並となった。 【今後の方針】 事業の周知を行い、町内公民館の活性化に寄与していきたい。	
育児講座	通年	—	子育て	家庭教育	—	【事業内容】 子育て支援の一環として、未就園児とその母親を対象に、月2回講座を実施。 【ねらい】 親子の交流の場や、母親同士の情報交換の場を創出し、未就園児の健全育成を図る。	【共催団体】 ・ひよこの会	【今後の方針】 ひよこの会は入園前の未満児をもつ親子が対象となっているため、育児講座の開催については慎重に判断したい。団体への加入者や育児講座への参加者が少ないため、周知を工夫していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館長会 (文化委員会)	4月 7日 9月14日 2月17日 3月 8日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	52人	【事業内容】 町内公民館館長会の活動支援、連携強化を図る。 【ねらい】 町内公民館長会の活動を通じて、町内公民館の活性化を図る。		【評価と反省】 今年度も新型コロナウイルス感染症のため、文化祭や市民体育大会等の行事が中止となったため、それに伴い館長会の会議も例年に比べると大幅に回数が少なくなった。 【今後の方針】 次年度もコロナの感染拡大状況を考慮しつつ、文化祭等の行事について実施を検討していきたい。館長全員が行事を経験していない状態となるため、OB館長にも協力を仰ぎながら、運営をしていきたい。	
新村体育協会 (体育委員会)	4月 2日 4月 8日 5月20日 6月 3日 8月18日 9月16日 10月14日 10月21日 2月25日 3月10日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	250人	【事業内容】 地区内で行われる体育行事の企画・運営を行う。 【ねらい】 体育行事を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度も地区内で行われる予定であった体育行事はほとんど中止となった。 【今後の方針】 来年度は感染症対策を講じ、全てではなく、行える可能性がある行事については、積極的に開催していきたい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	【事業内容】 公民館報（新の里）の原稿執筆、編集等を行う。 【ねらい】 公民館報の発行を通じて、公民館活動や地区内の諸活動、歴史・文化等に関心を持ってもらう。	【準備過程】 奇数月（1、3、5、7、9、11月）に発行する公民館報の原稿執筆や編集を行う。 会議は毎月第1火曜日に開催され、掲載する内容等を検討する。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動が減少し、掲載記事の検討に苦慮した。シリーズ形式の記事を執筆し、地区にまつわる七不思議や地区内で活躍する住民の紹介などを行った。 【今後の方針】 今後も引き続き、編集委員発信で取材・原稿執筆等の活動を行ってもらう。	
図書委員会	7月15日 1月19日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	女性	11人	【事業内容】 公民館の図書コーナーにある書籍の入れ替え作業を年2回行う。 必要に応じて、公民館やその他施設へ出向き、本の読み聞かせ等を行う。 【ねらい】 図書委員会の活動を通じて、本への関心を高める。	【準備過程】 図書の入れ替えについては、中央図書館へ出向き、図書委員の判断で本の選定を行う。ジャンルは限定せず、子どもからお年寄りまで幅広い年代に向けた本を選定する。	【評価と反省】 図書の入れ替えは例年通りを行えた。本の読み聞かせは、コロナ禍ということもあり実施できなかった。委員会活動が図書入れ替えのみとなっており、活動のマンネリ化が懸念される。 【今後の方針】 図書入れ替え以外で活動を行う。例えば、図書委員会主催で県内にある著名な図書館を視察し、本の魅力や図書館運営等を学ぶという企画なども実施検討していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
視聴覚委員会	7月19日 10月14日 10月23日 12月20日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	24人	【事業内容】 地区内に残る文化財や古い町並み、農作業風景などの生活の様子を記録として保存し、後世に残す活動を行う。 【ねらい】 地区内の街並みや文化財等を写真等で記録・保存し、若い世代に伝えていくことで、地区への愛着を育む。		【評価と反省】 今年度は地区内の農作業風景、火の見櫓、専称寺晋山式の撮影を行い、記録の保存を行った。 【今後の方針】 委員の高齢化や人材確保が課題となっている。人材確保については、公民館事業に関心が高い住民に声を掛け、加入を促していきたい。	
地区支援企画会議	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【事業内容】 社会福祉協議会、河西部西包括支援センター、西部保健センター、西部福祉課、地域づくり課、地域づくりセンターの職員が参加し、各部署の事業や地域課題等について話し合いを行う。	【共催団体】 ・松本市社会福祉協議会 ・河西部西包括支援センター ・松本市西部保健センター ・松本市西部福祉課 ・松本市地域づくり課	【評価と反省】 各部署での取り組みや事業内容、地域課題について、広い視野での話し合いができる場となっている。 【今後の方針】 地域課題の解決に向け、関係機関で情報共有を図っていきたい。	
子ども会育成会の運営・支援	4月13日 4月20日 6月22日 7月7日 11月9日 3月9日	1回	地域事業(その他)	成人	120人	【事業内容】 新村地区子ども会育成会の運営・支援を行う。 【ねらい】 育成会の活動を通じて、地区内の子ども達の健全育成を図る。		【評価と反省】 今年度もちびっ子夏季スポーツ大会は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催が中止となった。その代替行事として、「ぬり絵コンテスト」を初めて開催し、多くの子ども達から作品の応募があった。応募者全員にクオカードを贈呈し、入賞者は記念品を贈呈した。クオカードと贈呈品について、役員に協力いただき戸別に配布した。 【今後の方針】 感染症対策を徹底したうえで、関係機関と連携を図りながら、各行事を実施したい。	
新村文化財保存会の運営・支援	6月8日 11月11日 12月14日 3月18日	1回	地域事業(その他)	その他	60人	【事業内容】 新村文化財保存会の運営・支援を行う。 【ねらい】 保存会の活動を通じて、地区内にある文化財の保存・整備を行い、地区内外の住民の文化財への理解を深める。		【評価と反省】 保存会の活動としては、梓川堤防に設置されているケシヨウヤナギの案内板を改修した。地区内を巡る歴史探訪や「まつもと文化遺産保存活用委員会」や「新村地域学習テキスト編集委員会」への支援を行った。 【今後の方針】 次年度は感染症対策を徹底したうえで、事業を実施していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村地区地域学習テキスト編集委員会の運営・支援	4月28日 5月18日 6月 8日 6月23日 7月29日 8月30日 9月28日 11月18日 12月14日 1月18日 3月23日	1回	地域事業 (その他)	その他	110人	【事業内容】 新村地区地域学習テキスト編集委員会の運営・支援を行う。 【ねらい】 編集委員会の活動を通じて、地域学習テキストの完成を目指す。		【評価と反省】 年度内の完成を目指し、会議を複数回開催した。ページ数が限られているため、文章を出来る限り簡略化し、小学生でも理解できるように平易な言葉で文章を作成した。 【今後の方針】 完成したテキストは全戸配布したほか、小中学校にも寄贈した。次年度はテキストを活用した講座等を計画していきたい。	
まつもと文化遺産保存活用委員会の運営・支援	6月 8日 8月24日 10月 8日 12月14日	1回	地域事業 (その他)	その他	52人	【事業内容】 まつもと文化遺産保存活用委員会の運営・支援を行う。 【ねらい】 活用委員会の活動を通じて、地区内にある関連文化財群を地区内外にPRする。		【評価と反省】 まつもと文化遺産に認定されたことに伴い、地区にある文化財群をダイジェストで紹介するパンフレットを作成した。航空写真を活用したマップを掲載し、一目でどこにどの文化財があるの分かるように工夫した。 【今後の方針】 次年度はパンフレットを活用した講座等を企画していきたい。	
新村ホタルを育む会の運営・支援	4月23日 5月13日 9月 8日 12月 8日 2月21日 3月18日	1回	その他	その他	60人	【事業内容】 新村ホタルを育む会の運営・支援を行う。 【ねらい】 ホタルを育む会の活動を通じて、生態系の保全活動への関心を高める。		【評価と反省】 せせらぎの清掃やカワナナの放流等を例年通り実施した。 【今後の方針】 会員の高齢化が深刻な課題となっているため、活動に理解のある若い人材の確保に努めていきたい。	
プチ送迎ボランティア事業への協力	通年	—	福祉健康	高齢者	—	【事業内容】 地域福祉の推進を目的として、住民主体のボランティア組織である「プチ送迎ボランティア」への支援を実施。 【ねらい】 地区内の高齢者の交通弱者を減らし、住民相互の助け合い精神を助長する。	【共催団体】 ・プチ送迎ボランティア	【評価と反省】 運転手の高齢化が深刻で、人材の確保が大きな課題となっている。また、会員数が減少傾向にあり、団体の収入源である会費が思うように集まっていない。 【今後の方針】 団体の存続のためにも、地区内外に団体の活動をPRしていき、会員確保に努めていきたい。	
ものぐさだよりの発行 (公民館だよりの)	毎月	12回	地域事業 (その他)	その他	全戸配布	【事業内容】 毎月の広報配布に合わせて、公民館講座等の情報を掲載する広報として発行。 【ねらい】 公民館講座等への参加者増加を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 A3判サイズで毎月発行しており、公民館以外にあたらしの郷協議会と福祉ひろばの広報も一緒に掲載している。 【今後の方針】 住民の関心が向くような紙面作りを心掛けていきたい。	

令和3年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
ホームページ	随時更新	年間	地域事業 (その他)	その他	—	<p>【事業内容】 新村地区の公民館活動について発信を行う。</p> <p>【ねらい】 地区内外に対して新村地区のPRを行い、観光客等呼び込み、地区内の活性化を図る。</p>		<p>【評価と反省】 地域情報や貸館情報などを載せ、内容の充実を図った。全戸配布している公民館だよりによりホームページのQRコードを載せていることで、ホームページのアクセス数が増加した。</p> <p>【今後の方針】 引き続きホームページの更新作業を行っていきたい。</p>	

令和3年度 事業報告の概要

和田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>・継続開催事業の内容の充実 事業のマンネリ化や参加者の減少・固定を軽減するため、継続事業の内容を講師等と相談し充実するよう検討した。従来取り組んできた事業をコロナ禍でもできる実施ができるよう再検討。</p> <p>・新規公民館講座 新型コロナウイルスの影響で、地区全体事業の実施が難しいため、代替になるものや地域住民の要望を取り入れた新規講座を行った。</p> <p>・世代間交流の促進 役員等、地域づくりに関心のある住民へ積極的に声掛けを行い、小学校や児童センターの児童との交流の機会を創出した。（夏休み学習支援、映画と語りの会等）</p>										<p>・継続開催事業の内容の充実 一部事業で、内容の変更等により参加者の増加や、好評の声を得られた。一方で、内容や効果の検討が必要な事業もあり、引き続き、継続する事業については内容・周知方法等を十分検討したい。新型コロナウイルス感染拡大のため、やむを得ず中止とした事業もあった。</p> <p>・新規公民館講座の開催 初めて公民館の講座に参加するという方が何人か見られた。今後も今まで参加したことがないという方にも参加していただけるような事業を検討したい。</p> <p>・世代間交流の促進 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、規模縮小または中止となってしまった事業がほとんどではあった。児童センターの行事と重なることもあり、参加人数が少ないこともあった。大人の参加者は限られてしまっているため、より多くの大人が参加できるように周知方法等見直し、呼びかけたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	0	3	0	10	4	0	1	5	2	0	8	2
延べ 参加人数	25	0	0	21	0	168	126	0	41	23	100	0	314	41

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寄せ植え講座	6月17日	1回	趣味教養	成人	14人	【事業内容】 講師（地区住民）による初夏～秋頃までの寄せ植え講座。 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環として、住民の趣味教養の養成、参加者同士の交流。	【準備過程】 講師と相談し準備。 【共催団体等】	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加した方もいて、交流を深めることができました。 【今後の方針等】 引き続き検討していきたい。	
第17回和田ウォークラリー （第41回ふれあいスポーツ大会）	6月20日	中止	地域事業 （体育）	成人	0人	【事業内容】 地区内の文化財等につまわるクイズを解きながら約6kmのコースをグループごとに歩く。 【ねらい】 ウォーキングを通じた健康増進と共に、毎年コースを変えながら、地区内の文化財等を学ぶ機会とする。	【準備過程】 協力団体と実行委員会を組織し実施。 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会 地域づくり協議会 健康づくり推進員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区住民も、より充実したイベントへと成長させる意欲があるため、継続の方針。	
スカイパークウォーキング	6月22日	1回	スポーツ	成人	4人	【事業内容】 信州スカイパークハーフコースのウォーキング。 【ねらい】 ウォーキングを通じた健康増進、参加者同士の交流。	【準備過程】 実施時期、ウォーキングコースの選定。 【共催団体等】	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加した方もいて、交流を深めることができました。 【今後の方針等】 時期や内容について、更なる検討が必要。	
ファミリーコンサート	6月27日	中止	地域事業 （文化）	成人	0人	【事業内容】 世代を超えて楽しめるコンサートの開催。 【ねらい】 音楽を通じた交流及び情操教育	【準備過程】 共催団体との打ち合わせにより出演者等を決める 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区内の演奏者も掘り起こす等内容を検討し継続したい。	
第40回 夏季スポーツ大会	7月11日	中止	地域事業 （体育）	成人	0人	【事業内容】 男子ソフトボール（雨天時はワンバウンドふらばーバレー）、女子トリムバレーボールの町会対抗球技大会 【ねらい】 町会内や、町会を越えた親睦の機会、スポーツの振興、健康の増進等	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に企画運営。 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大会として継続したい。	

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み勉強会 (小学生学習支援)	7月27日、28日、29日	3回	その他	青少年	41人	【事業内容】 夏休みの宿題を中心に小学生の学習支援。 【ねらい】 子どもと公民館・地域住民をつなぐ行事	【準備過程】 公民館が準備。 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス対策として、学年ごと日程を分けて実施した。集中して勉強する時間をつくれた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○
映画と語りの会	7月30日	1回	趣味教養	青少年	17人	【事業内容】 映画の上映。 【ねらい】 地区の子どもに人形劇や映画を見せる情操教育を図書視聴覚委員会の主催で行う	【準備過程】 内容等は図書視聴覚委員会で協議し決定する。 【共催団体等】 和田保育園 和田児童センター	【評価と反省】 保育園や児童センターでも、公民館との交流事業と位置付けていただき、多くの子どもたちが参加してくれる。今年度は新型コロナウイルスの関係で保育園・児童センターと相談した結果、映画を上映、児童センターの子どもたちのみとなった。 【今後の方針等】 図書委員会主催の事業として、委員の関わりを大切にし複数回開催も考えたい。	
刃物の研ぎ方教室	8月22日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 刃物の研ぎ方の講座 【ねらい】 地域人材の活用、刃物について知識と研ぎ方技術の学習	【準備過程】 和田商工親和会と相談し実施 【共催団体等】 和田商工親和会	【評価と反省】 和田商工親和会主催、公民館は事務的な補助を行った。 【今後の方針等】 和田商工親和会と相談し、検討したい。	
和田地区 マレットゴルフ大会	8月26日	1回	スポーツ	成人	14人	【事業内容】 市民体育大会の地区内予選を兼ねた男女別マレットゴルフ大会。 【ねらい】 地区内の交流、マレットゴルフの振興	【準備過程】 マレットゴルフクラブと相談し実施 【共催団体等】 和田地区マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 マレットゴルフクラブの主導で開催できているが参加者が減少傾向にある。 【今後の方針等】 マレットゴルフクラブが主管する地域行事として継続していきたい。	
河西部球技大会	8月29日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 和田・島内・島立・新村地区による対抗球技大会。軟式野球・卓球・ママさんバレーボール。 【ねらい】 市民体育大会の予選、選手や応援の住民の交流とスポーツの振興	【準備過程】 担当地区が主体となり準備 【共催団体等】 島内・島立・新村・和田の4地区公民館及び体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となった。 【今後の方針等】 継続開催予定。次年度担当は和田地区となる。	

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化財臨地学習会	8月31日	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 長年続く視察学習会。県内外各地の文化財等を巡り、学習する。 【ねらい】 各地の歴史や文化財を学び、地元の文化財について考える機会ともする	【準備過程】 公民館で行先等検討	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 行先やプラン等を練り、参加者のニーズを満たせるよう考えたい。	
ハワイアンフラ体験会	9月12日	1回	趣味教養	成人	24人	【事業内容】 初心者向けハワイアンフラ講座。 【ねらい】 ハワイの伝統的な舞踏に触れる、参加者同士の交流。	【準備過程】 講師と出演団体（地区住民）と調整 【共催団体等】	【評価と反省】 地区で活動しているサークルに出演していただき、講師と参加者、参加者同士の交流を深めることができました。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。	
第64回松本市市民体育大会	10月10日	1回	地域事業（体育）	成人	23人	【事業内容】 全市的な地区対抗体育大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 出場チームの補助を体育委員が行うため委員会で確認する。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から規模縮小での実施となり、出場した各運動部ごと対応していただいた。	
和田地区市民大運動会	10月18日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【事業内容】 町会対抗の運動会。子どもから大人までが20種目程度の競技を行う。 【ねらい】 地区住民の世代を越えた交流及び町会の結束の強化	【準備過程】 体育委員会・町内公民館長会を中心に実行委員を組織し準備 【共催団体等】 地区内の各種団体の協力を得ている	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 開催予定。	
椅子ヨガ講座	10月16日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 初心者向けヨガ講座 【ねらい】 家でもできる簡単なヨガを教わり、運動不足の解消に繋げる、参加者同士の交流。	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加する方もいて、交流を深めることができました。 【今後の方針等】 引き続き検討していきたい。	

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
秋の寄せ植え講座	10月22日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 講師（地区住民）による秋～春頃までの寄せ植え講座。 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環として、住民の趣味教養の養成、参加者同士の交流。	【準備過程】 講師と相談し準備。 【共催団体等】	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加した方もいて、交流を深めることができました。 【今後の方針等】 引き続き検討していきたい。	
市長杯争奪球技大会	10月31日	1回	スポーツ	成人	4人	【事業内容】 全市的な地区対抗球技大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 公民館は出場する運動部の事務的な補助を行う。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から規模縮小して実施。マレットゴルフのみ参加。	
第49回芸術文化祭	11月14日	1回	地域事業（文化）	成人	100人	【事業内容】 地区住民全体の文化祭。ステージ発表、展示発表を行う。 【ねらい】 文化的活動の発信の場とし、地区内の文化的交流を図る。	【準備過程】 文化委員を中心に実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 女性役員会 窪田空穂記念館	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から例年とは違い、半日で実施。 【今後の方針等】 ステージ発表、展示発表ともにしりすばみにならないよう積極的な取り組みをしたい。	
健康スポーツ教室	11月15日～	5回	スポーツ	成人	104人	【事業内容】 ラジボール卓球とバドミントンを通じた交流及び体の重心バランス測定等も合わせて実施。 【ねらい】 冬場の運動不足を解消しつつ、世代を問わず交流を深める。	【準備過程】 保健師や健康運動指導士と相談し準備 【共催団体等】 有志の体育委員	【評価と反省】 子どもから大人まで幅広い世代が集まりスポーツを楽しむことができた。 【今後の方針等】 新たな参加者の呼び込みや、継続参加者の積極的な参加を呼び込む工夫を考えたい。	
スマホ入門講座	11月27日～	3回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 初心者向けスマートフォン講座。 【ねらい】 スマートフォンの基礎知識、電話以外の活用方法を学ぶ。	【準備過程】 講師と相談し内容を決定	【評価と反省】 スマートフォンの基礎知識や活用方法を学ぶことができた。 【今後の方針等】 実施の内容や方法を検討したい。	

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
手芸講座	12月15日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 クラフトバンドを使った手芸作品の制作講座 【ねらい】 地区内の人材活用、手芸を通じた交流	【準備過程】 講師(地区住民)と調整 【共催団体等】	【評価と反省】 地域住民を講師として交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。	
しめなわ作り教室	12月19日	1回	地域文化	成人	11人	【事業内容】 しめ縄の文化的背景を学びながら、しめ縄の基本や応用のわら細工を学んだ。 【ねらい】 伝統文化の学習と継承	【準備過程】 講師(地区住民)と相談し準備	【評価と反省】 講師が工夫を凝らしたわら細工が好評となっている。参加者の希望を取り入れながら開催。 【今後の方針等】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。	
クリスマス会	12月25日	1回	趣味教養	青少年	21人	【事業内容】 活動サークルによる歌とおはなしの会 【ねらい】 情操の育成を図るとともに、子どもの公民館利用の促進。サークルの発表の機会の創出	【準備過程】 各サークル(地区住民)と相談し準備	【評価と反省】 普段あまり公民館に来ない子どもたちの参加が多かった。 【今後の方針等】 内容を検討しながら実施していきたい。	
白菜キムチ漬け講座	2月5日	1回	趣味教養	成人	7人	【事業内容】 近隣の韓国料理店の方を講師に招き、本格的なキムチを作りながら交流を深める。 【ねらい】 食文化を実際に体験し学びながら交流する。	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 感染症対策のため、募集人員を昨年度の半分とした。キムチの評判もよく、テーブルごとの交流も促進できた。 【今後の方針】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。	
スマートフォン活用講座	2月23日、 2月26日	2回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 中級者向けスマートフォン講座。 【ねらい】 スマートフォンの地図アプリ、防災アプリの活用方法を学ぶ。	【準備過程】 講師と相談し内容を決定	【評価と反省】 スマートフォンの活用方法を学ぶことができた。また、参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針等】 実施の内容や方法を検討したい。	

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
運営委員会	4月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	39人	【事業内容】 事業報告・事業計画・決算・予算案の審議 【ねらい】 公民館運営への住民参加の機会の担保	【準備過程】 町会長・町内公民館長のほか地区内の主要組織の役員で組織	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とし、書面表決を行った。 【今後の方針等】 地区の他団体と公民館をつなぐ貴重な機会として、有効活用したい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	102人	【事業内容】 公民館報和田版の取材や編集作業 【ねらい】 住民主体の情報発信の場として公民館報和田版の発行	【準備過程】 取材や記事の作成を分担し、校正や割付は全体で行う。	【評価と反省】 記事の発案や取材等、委員が前向きに取り組むことができた。 【今後の方針等】 委員が交代になるが、主体性を持った活動を推進したい。	
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	98人	【事業内容】 公民館図書の管理、図書だよりの発行、「映画と語りの会」の主催 【ねらい】 図書室の管理及び有効活用、読書啓発に係る委員主体の活動	【準備過程】 毎月定例の委員会を開催し、協議と図書の整理を行う	【評価と反省】 図書の整理以外の活動の充実が課題 【今後の方針】 図書室利用の促進、新規購入図書、除籍本等協議したい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	52人	【事業内容】 地区全体の体育事業について、企画・検討する。また事業当日の運営にも中心的な役割を担う。 【ねらい】 体育事業を通じた地区内の交流促進、スポーツの振興	【準備過程】 三役会で原案を審議し、事業運営の中心となる体育委員と町内公民館長の合同会議で決定する。	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、体育事業はほぼ中止となった。 【今後の方針等】 引き続き、住民の意見を聞く機会を増やししながら、三役を中心に改善できるところは改善していきたい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【事業内容】 夏休み行事や文化祭等原案ほか公民館事業全般を協議する 【ねらい】 公民館事業全般の協議	【準備過程】 委員は町内公民館長が兼ねている。	【評価と反省】 地区事業の原案協議の中心となり、事業運営でも町会内の取りまとめとして関わっている。 【今後の方針等】 より良い地区事業の実施のため、充実した協議の場としたい。	

令和3年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化財調査委員会編集委員会	通年	中止	公民館委員会・各種会議等	成人		【事業内容】 地区内の文化財の保護活用、文化財学習 【ねらい】 文化財の保護・活用の方策を検討する	【準備過程】 町内公民館長と町会選出の役員で組織	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 文化財の学習講座等、委員の活動を広げていきたい。	
信州型コミュニティー スクール事業（学校運営委員会へ参加）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年		【事業内容】 芝沢小学校・高綱中学校の学校運営委員会へ参加。必要に応じて学校と連携。 【ねらい】 学校と地域の相互連携を強め、子どもへの思いを共有しながら地域の子どもを育てる。	【準備過程】 運営委員会の中では、公民館長がコーディネーターとして関わる。	【評価と反省】 学校側の判断で中止。 【今後の方針】 学校との連絡を密にしながら連携を図っていきたい。	○
地域づくり協議会 (総会・理事会・部会)	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	【事業内容】 公民館は文化教養部会に属し、部会を開催した。 【ねらい】 地域づくり協議会のなかで、住民が楽しめる行事の企画運営等を担う。	【準備過程】 公民館長が部会長となり、部会を招集する。	【評価と反省】 公民館事業等について協議できた。 【今後の方針等】 必要に応じて地域づくりに係る行事や取り組みについて協議していく。	
人権啓発事業	6月11日 2月19日	2回	人権平和	成人	25人	【事業内容】 ・人権視察研修 ・コンサートを通じたノーマライゼーション学習 【ねらい】 人権啓発意識の向上、人権啓発学習指導者の養成	【準備過程】 地区人権啓発推進協議会長と相談し準備 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 2回の講座を通じて、平和の尊さ、障がい者の自立活動への理解等を学ぶことができた。 【今後の方針等】 人権課題に関する地区内の関心を探り継続していきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

神林公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 神林みんなの幸せ計画のもと、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、誰でもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。</p> <p>2 各公民館委員の自主的な活動を促し、地域リーダーの育成を図る。</p> <p>3 神林の文化・芸術を学び、地域愛を育み、「神林の歌」を通して地域の高揚を図る。</p>										<p>・今年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、多く事業が中止を余儀なくされたが、それぞれの委員会ではコロナ禍でもできる事業方法について熟議を重ねることができた。来年度以降も感染拡大状況を考慮しながら、事業実施に向けて前向きに協議を重ねていきたい。</p> <p>・講座申込みにQRコードを取入れ、若い世代の参加を促すことができた。また、デジタルデバイス対策としてスマホ教室を開講。今後も、加速するデジタル化に遅れないようデジタルデバイス対策を積極的に取り組んでいきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	2	3	3	6	2	1	1	5	2	0	6	0
延べ 参加人数	29	31	165	135	35	242	100	0	50	0	228	0	255	0

令和3年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
今井財産区自然観察会	5月9日	中止	環境	成人	0人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策及び山菜を採取し、調理と会食を行う。 【ねらい】 ・今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・今井公民館が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・今井公民館 ・笹賀公民館		
地震体験車がやって来る！ 防災講座	5月10日	中止	防災	成人	0人	【内容】 ・地震体験車にて、地震に近い揺れを体験する。 【ねらい】 ・いつ発生するか分からない地震の恐ろしさを体験することで、日頃の防災意識を高める。	【準備過程】 ・芳川消防署神林出張所と打合せし、内容決定。 【共催団体】 ・神林地区防災部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止。	
西南ブロック球技大会	7月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・市長杯争奪球技大会の予選会を兼ねた球技大会。 種目：軟式野球、家庭婦人バレーボール 【ねらい】 ・西南ブロック3地区（神林・笹賀・今井）の親睦交流。	【準備過程】 ・当番地区を中心に準備・運営。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	
第12回神林地区スポーツ協会長杯争奪マレットゴルフ大会	7月3日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・男性の部・女性の部それぞれ個人戦にて行うマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康づくり	【準備過程】 ・神林地区スポーツ協会役員会にて内容決定。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 【協力団体】 ・神林マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	
アートレクチャー学芸講座 「版画の歴史としくみ」	7月14日	1回	趣味教養	成人	7人	【内容】 ・松本市美術館学芸員による版画の特徴や歴史の解説。 【ねらい】 ・芸術に親しむ。	【準備過程】 ・松本市美術館学芸員と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・普段あまり取扱わない分野の講座を実施できた。	
自然観察会	7月21日	1回	環境	成人	18人	【内容】 ・霧ヶ峰で自然観察。 【ねらい】 ・自然散策しながら、健康増進、仲間づくりを図る。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて行先決定。	【評価と反省】 ・車山や八島ヶ原湿原を歩きながら自然観察することで、健康増進、仲間づくりを図ることができた。 【今後の方針】 ・様々な行先を検討しながら、継続して開催したい。	

令和3年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
神林スポーツフェスティバル	9月5日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・ニュースポーツ、パラスポーツ体験。 【ねらい】 ・スポーツの楽しさを広め、健康で明るく生き生きと暮らせる神林地区を目指し、住民の交流と絆を深める。	【準備過程】 ・体育委員会にて実施種目などの検討。 【主管】 ・神林スポーツフェスティバル実行委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染急拡大で急遽中止としたが、体育委員会では実施に向けて熟議することができた。 【今後の方針】 ・実施に向けて体育委員会で継続して協議していきたい。	
星空観察会	10月9日	1回	環境	成人	17人	【内容】 ・天体望遠鏡で火星・土星・木星・月などの星空観察を行う。 【ねらい】 ・この観察会で星に興味を持った子が将来宇宙飛行士になったら嬉しい。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて内容決定。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・昨年は大勢の方にご参加いただけましたが、今年度は参加人数が少なかった。 【今後の方針】 ・星空をただ見るだけでなく、星に興味を持ってもらう他の方法も検討したい。	
第50回神林ふれあい文化祭	10月17日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【内容】 ・作品展示、地区団体やサークルなどによるステージ発表、公民館利用者による出店やイベントコーナーの実施。 ・50回記念事業 ◎ステージ発表 波田少年少女合唱団 蟻ヶ崎高校書道部 ◎特別展示 ◎記念誌発行 【ねらい】 ・地区の芸術・文化及び交流の1年間の集大成の場とし、個人・サークル活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定。 【主管】 ・神林ふれあい文化祭実行委員会	【評価と反省】 ・文化委員会にて開催に向けて検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。代替行事として令和3年度神林作品展示会を実施。 【今後の方針】 ・50回の節目となる文化祭を盛大に執り行えるよう、新型コロナウイルスの状況を見ながら判断していきたい。	
神林作品展示会	10月17日	1回	地域事業 (文化)	成人	228人	【内容】 ・個人・サークル・活動団体などによる作品展示。 【ねらい】 ・個人・サークル・活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定。 【主管】 ・神林作品展示会実行委員会	【評価と反省】 ・多くの作品展示があり、多くの方にご来場いただいた。	

令和3年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地域ケア会議 「第24回神林地区の福祉を考える集い」	12月7日	1回	福祉健康	成人	31人	【内容】 ・講演「老後の安心～成年後見制度を中心として～」 【ねらい】 ・神林みんなの幸せ計画に基づき、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしに関わらず、だれでもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。	【準備過程】 ・神林地区地域ケア会議にて内容決定。	【評価と反省】 ・成年後見制度について、理解を深めることができた。 【今後の方針】 ・神林みんなの幸せ計画のもと、今後も地域の課題を正確に捉え、だれもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指したい。	
正月飾りづくり講習会	12月19日	1回	地域文化	成人	36人	【内容】 ・正月飾りづくり（しめ縄など）の講習会 【ねらい】 ・正月飾りづくりを体験する機会を設け、地域文化の大切さを学ぶ。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、多世代交流事業となっている。 【今後の方針】 ・地域文化継承のためにも継続して開催したい。	
超人気店「スープカレーのハンジロー」直伝！おうちで作るスープカレー講習会	12月22日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 ・スープカレーのハンジロー店主からおうちで出来るスープカレーの作り方を教わる。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・人気店店主から直接教えていただけることもあり、定員を超える応募があり、大変好評だった。 【今後の方針】 ・参加できなかった方もいるので、来年度も実施したい。	
写真がもっと楽しくなる♪写真教室	1月21日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・デジタルカメラの基礎知識と撮影技術をお互い学び合う。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いている時期に開催を検討したい。	
今日から実践！楽しく減塩生活	2月24日	中止	福祉健康	成人	0人	【内容】 ・減塩のコツを学ぶ 【ねらい】 ・減塩のコツを学ぶことで、健康増進を図る。	【準備過程】 ・神林地区食生活改善推進員と打合せし、内容決定。 【共催団体】 ・神林地区食生活改善推進員 ・神林福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いている時期に開催を検討したい。	
神林地区球技大会	2月27日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・町会対抗の球技大会。 競技種目：ラージボール卓球、ソフトバレーボール 【ねらい】 ・住民同士の親睦、スポーツ振興、冬季の運動不足解消。	【主管】 ・神林地区球技大会実行委員会 【協力団体】 ・神林卓球クラブ ・神林ソフトバレー協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、判断していきたい。	

令和3年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロック地区 ゲートボール大会	3月8日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・西南ブロック3地区(笹賀・今井・神林)によるゲートボール大会。 【ねらい】 ・西南ブロック3地区の親睦交流。	【準備過程】 ・当番地区を中心に準備・運営。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止。	
神林ソフトバレーボール リーグ戦	4月~7月	15回	スポーツ	成人	100人	【内容】 ・神林地区内を主としたソフトバレーボールチームのリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【共催団体】 ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、相互の親睦と交流が図れている。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら引き続き開催予定。	
ボールペン字講座	4月~11月	8回	趣味教養	成人	127人	【内容】 ・綺麗な文字の特徴を学び、模写した文字を講師が添削する。 【ねらい】 ・ボールペンを使用して、綺麗な文字の習得を目指す。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・参加者の学習意識が高く、真剣に受講されている。長年続いていた人気講座であったが、講師の都合があり、終了となってしまったのが残念。	
婦人バレーボールリーグ 戦	5月5日 5月12日 5月19日 5月26日	中止	スポーツ	女性	0人	【内容】 ・神林在住の婦人で構成する町会別チームによる総当たりリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【主管】 ・神林婦人バレーボール大会運営委員会	【評価と反省】 ・新柄コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	
史跡めぐり	5月19日 12月1日	2回	地域文化	成人	43人	【内容】 ・身近な郷土の史跡を訪れる。 行き先：5月妻籠宿、12月富士見 【ねらい】 ・身近な郷土の史跡について学ぶとともに、仲間づくりを目指して開催。	【準備過程】 ・文化委員会にて行先決定。	【評価と反省】 ・大勢の参加申込みがあり、大変好評だった。 【今後の方針】 ・毎回応募者が定員を超え、参加者を抽選で決定しているが、なるべく多くの方が公民館事業に参加できるよう抽選方法などを検討したい。	
ポスターコンクール	7月~9月		地域文化	成人	56人	【内容】 ・画題を神林ふれあい文化祭とし、神林の素晴らしいところ、素敵などころを表現した作品を募集。応募作品は審査会で審査し、入賞者を神林作品展示会にて表彰。 【ねらい】 ・地域の魅力再発見と併せて神林作品展示会の周知を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定。	【評価と反省】 ・神林の素晴らしいところ、素敵などころを表現した作品を募集することで、地域の魅力の再発見と入賞作品を地区内各所に掲示することで神林作品展示会の周知を図ることができた。 【今後の方針】 ・自分たちの住む地域の関心を高めるため、また、神林ふれあい文化祭の周知のためにも継続して開催したい。	

令和3年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
夏休みわくわく子ども広場 「あづみの公園わくわく体験」	7月30日 8月3日	2回	子育て	青少年	35人	【内容】 ・国営アルプスあづみの公園大町・松川地区へ行き、クラフト体験と自由遊びを行う。 【ねらい】 ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。また、夏休み中の親の負担軽減も図る。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会・主任児童員が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会	【評価と反省】 ・密を避けるため2回に分けて開催するなど工夫して実施することができた。 【今後の方針】 ・子ども達に貴重な体験してもらうためにも継続して開催したい。	
バスdeおぶ～	9月から毎月	9回	その他	成人	50人	【内容】 ・西部コミュニティバスを利用しておぶ～を訪れる。 【ねらい】 ・西部地域コミュニティバスの利用促進。	【共催団体】 ・神林地区地域ケア会議	【評価と反省】 ・参加者から大変好評だったが、参加者の固定化も見られた。2月は新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・高齢者の運転免許返納後の移動の一つとして定着するよう今後も継続して開催したい。	
人権啓発推進研修	11月26日 12月17日	2回	人権平和	成人	29人	【内容】 ・11月 松代大本堂の施設見学 ・12月 無言館の施設見学 【ねらい】 ・人権施設の見学を通して、平和について考える機会とする。	【共催団体】 ・神林地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権施設見学を通して、改めて平和について考える良い機会となった。 【今後の方針】 ・施設見学以外の人権啓発事業も実施したい。	
スマホ教室	12月～3月	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 ・スマートフォンの基本的な使い方から日常よく使う機能を中心に解説。 【ねらい】 ・高齢者のデジタルデバイド対策。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・高齢者のスマホに関する関心の高さを感じた。1月、2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
パソコン喫茶	通年	8回	趣味教養	成人	77人	【内容】 ・ワード・エクセルの使い方を学ぶ。講座終了後は参加者とコーヒーを飲みながら交流する。 【ねらい】 ・初心者から中級者まで、気軽にパソコンに触れられる機会を作りながら、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・学習をしながら住民同士の交流を深めることができた。9月、1月、2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
ぼんぼこりんのひろば	通年	11回	子育て	家庭教育	130人	【内容】 ・パネルシアター、人形劇、工作、クリスマス会など親子のふれあい事業 【ねらい】 ・未就園児の親子のふれあいと親同士の親睦・交流。	【準備過程】 ・主任児童員と打合せし、内容決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幼少期における仲間とのふれあいや親同士の親睦を図れた。2月は新型コロナウイルス感染拡大により、中止。 【今後の方針】 ・サークル化を目標に、継続して開催したい。	

令和3年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
運営委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	58人	【内容】 ・事業計画・予算の審議、事業報告・決算の審議。地区行事開催可否の審議。		【評価と反省】 ・より一層公民館活動の充実を図りたい。	
館報編集委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	73人	【内容】 ・松本市公民館報神林版の企画編集。 ・神林公民館だよりの企画編集。		【評価と反省】 ・アンケートの実施・集計すること館報の現状やニーズを把握することができた。 【今後の方針】 ・親しみやすい館報の紙面づくり心がけていきたい。	
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	43人	【内容】 ・神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会の内容検討及びスポーツ振興。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により多くの事業が中止を余儀なくされたが、新しい生活様式に即した事業となるよう協議はすることができた。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら事業実施に向けて協議を続けていきたい。	
文化委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	69人	【内容】 ・神林ふれあい文化祭、史跡巡り、ポスターコンクールの企画実施及び文化、芸術の向上を図る。		【評価と反省】 ・神林ふれあい文化祭は中止としたが、代替として神林作品展示会の実施ができた。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら事業実施に向けて協議を続けていきたい。	
図書視聴覚委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 ・自然観察会・星空観察会などの図書視聴覚活動の実施、図書コーナーの整頓。		【評価と反省】 ・コロナ禍でも概ね予定していた事業を計画的に実施できた。 【今後の方針】 ・恒例となっている活動以外にも新たな活動などを実施していきたい。	
地区内関係諸団体と事業共催及び活動支援	随時		公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 ・神林地区スポーツ協会、神林地区こども会育成会、神林地区人権啓発推進協議会などとの事業共催及び活動支援。		【評価と反省】 ・各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めた活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続き各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めていきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

笹賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の幅広い要望や課題を反映した地域づくりに活かされる学習活動を展開し、住民自治力の向上を図る。 ・町内公民館および地区内関係団体、学校との連携協力を図る。 ・地域づくりや地域の人材育成の機会となるような事業の運営を図る。 ・地域住民の要望に合わせて、地域の歴史・文化の伝承の機会となるような事業の運営を図る。 <p>【重点的に取組んだ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における事業の開催可否について、笹賀地区各町会の意向をできるだけ尊重した。地域住民や関係役員の健康面、安全面を第一に考え、事業等について無理に開催することのないよう慎重に検討した。 ・各事業について規模縮小や代替企画などによる開催方法の検討を行った。文化祭特別企画として、各学校の合唱部や吹奏楽部などのステージ発表をビデオ撮影し、地域の方と協力しながら編集した映像を公民館で上映するなどの新たな取り組みも行った。 ・事業の多くが中止となる中で、地域への還元方法として公民館内の共用備品の更新を行った。多目的ホール利用団体の備品使用状況と更新希望を調査し、必要備品の更新および器具庫内の整理を行った。 										<ul style="list-style-type: none"> ・規模縮小案等で参加者募集した事業も、開催までに感染の波が来てしまい、直前で中止となってしまうことが数回あった。地域住民が少しでも安心して参加できる事業を企画し、開催判断については今後も慎重に行っていきたい。そのような状況のなかでも、町内公民館対抗球技大会などのように数十年に渡り地域住民の交流に大きな役割を果たしてきた恒例事業や、地域の伝統行事がコロナの影響で潰れてしまわないよう配慮もしていきたい。 ・多目的ホール器具庫内の備品更新と不用品の廃棄や整理整頓について、コロナ禍で公民館登録団体の利用頻度が少ないこともあり、利用団体の希望調査をしながら時間を掛けて行うことができた。支柱やネット等の競技用品に加え、収納ラックや清掃ロッカーも設置したため、今後も利用団体自身で整理整頓しながら気持ちよく使っていただけるよう促していきたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	5	4	1	1	1	0	0	7	2	0	4	1
延べ参加人数	0	0	198	40	0	0	0	0	0	0	500	0	116	40

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区ウォーキング大会	5月30日 (日)		地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 地区事業として例年実施しているウォーキング大会。地区内のウォーキングに合わせて史跡巡りを実施している。 【ねらい】 地区住民の交流と健康維持を図るとともに、地区の文化財について学ぶ機会とする。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区交通安全協会	【評価と反省】 例年多くの参加申し込みがあり、地区住民の健康づくりにつながるとともに、地区内の文化財等を知っていただく良い機会となっている。 今年度は、検討段階から新型コロナの拡大状況により事前に中止決定とし、公民館二ユースにて周知した。 【今後の方針等】 地区内でコースを検討し、継続実施していきたい。	
里山観察会と山菜の調理実習	5月		環境	成人		【事業内容】 今井、神林、笹賀の3地区の共催事業として例年実施している鉢盛山の今井財産区有林の散策と山菜の調理実習。 【ねらい】 今井、神林、笹賀地区の住民同士の交流と財産区の歴史や自然について学ぶ。	【準備過程】 今井公民館が中心となり、企画運営。 【共催団体等】 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 恒例の事業として、3地区の交流にもつながっている。新型コロナ感染拡大状況に加え、歩道内に倒木が確認されたこともあり事前中止とした。 【今後の方針等】 継続実施するとともに笹賀、神林の特色を活かした共催事業についても検討していきたい。	
笹賀地区町内公民館対抗球技大会	7月4日 (日)		地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の球技大会。 ソフトバレーボール、ソフトボールの2種目。 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、多くの町会から若年層から高齢者までの幅広い年齢層の参加があり、地区住民の親睦を深め、世代間交流にもつながっている。観客も含め参加者が多いため、菅野中学校体育館会場で密を避けることは困難との判断から事前中止とした。 【今後の方針等】 数十年続いている恒例行事が潰れてしまうことのないよう、体育委員とともに開催方法について検討していきたい。	
笹賀地区マレットゴルフ選手選考会	7月		地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 市民体育大会の選手選考会を兼ねたマレットゴルフ大会 【ねらい】 地区住民の健康維持を図る。	【準備過程】 地区スポーツ協会を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 市民体育大会の選手選考を兼ねて行っているが、感染症対策として開催中止とした。市民体育大会の選手選考はスポーツ協会に一任した。 【今後の方針等】 周辺施設を活用し、多くの方が参加できるように内容の企画を検討したい。	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
西南ブロック球技大会	7月		地域事業 (体育)	成人		<p>【事業内容】 市長杯争奪球技大会のブロック予選を兼ねた今井、神林、笹賀の3地区による球技大会 軟式野球とママさんバレーボールの2種目</p> <p>【ねらい】 3地区の交流事業として実施</p>	<p>【準備過程】 当番地区を中心に準備、運営を行う。今年度は今井地区が当番地区</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林公民館 今井公民館</p>	<p>【評価と反省】 市長杯争奪球技大会の予選も兼ねて毎年実施しており、3地区の交流にもつながっている。 感染対策として西南ブロック球技大会は中止としたが、市長杯争奪球技大会の代表は3地区の協議により決定した。</p> <p>【今後の方針等】 3地区の交流事業として今後も継続実施したい。できるだけ多くの選手が参加できるように開催時期を調整していきたい。</p>	
子ども会育成会夏休み事業	7、8月		子育て	青少年		<p>【事業内容】 地区内小中学生親子を対象とした公演会や体験教室等。例年2事業を行う。 市内で活動する人形劇団やジャグリングクラブ等から講師を派遣。</p> <p>【ねらい】 公演会や体験教室を通して子どもたちの豊かな心を育てることを図る。</p>	<p>【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会</p>	<p>【評価と反省】 例年は、夏休み中に2事業を行っている。ここ数年は継続して人形劇公演を開催していることで参加対象者への認知も少しずつ広まってきたところだったが、今年度もコロナ対策により開催中止とした。学校からPTAに対して地区行事等への自粛要望もあったとのこと。</p> <p>【今後の方針等】 小中学生、PTA、育成会の声を聞きながら、子どもたちにとって良い経験となる行事を行っていきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
子ども会お楽しみ会	8月		子育て	青少年		<p>【事業内容】 子どもたちの企画運営によるお楽しみ会。 小学生から中学生までみんなが楽しめるような競技を子どもたちが主となり検討。</p> <p>【ねらい】 地区内小中学生の交流の場として実施。 企画段階から子どもたちが運営に参加することで、キャリア教育の場とする。</p>	<p>【準備過程】 各町会子ども会の会長を中心に企画内容を決定。 当日は、中学生を中心に運営。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会</p>	<p>【評価と反省】 子どもたち自身の企画運営によるお楽しみ会として毎年実施しているが、新型コロナウイルス対策のため中止となった。例年、中学生が積極的に意見を出し、下級生たちをうまくまとめている姿が印象的。子どもたちにとって良い経験の機会がなくなってしまうことは非常に残念に思う。</p> <p>【今後の方針】 毎年、子どもたちの企画で実施している。 子どもたちの自主的な企画・運営を尊重する中で、適切にフォロー、アドバイスしていきたい。 安全面はもちろん、低学年の子どもも飽きないような企画を意識していきたい。</p>	
笹賀地区親睦グラウンドゴルフ大会	9月12日(日)		地域事業(体育)	成人		<p>【事業内容】 運動会に代わる地区事業として例年実施している親睦グラウンドゴルフ大会。</p> <p>【ねらい】 年齢を問わず誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を行い、地区住民の親睦と交流を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館、体育委員を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区町会連合会 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会</p>	<p>【評価と反省】 例年、幅広い年齢から多くの参加があり、町会を越えた地区住民の交流につながっている。感染対策を行った規模縮小での開催案を提案し、周知、募集を行った。結果、12町会40名からの申込があったが、直前で感染の波が来てしまい中止の判断となった。しかしながら、地域住民の積極的な参加姿勢を感じることができ、次年度以降への企画に反映させていきたい。 また、初の試みとして行った電子メールでの参加受付についても数件の申込があった。</p> <p>【今後の方針等】 地区住民の親睦、交流の場として今後も実施していきたい。暑さ対策について特に注意したい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
笹賀地区文化祭	10月31日 (日)		地域事業 (文化)	成人		<p>【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示会、ステージ発表会を実施。 その他にも、各種団体による催し物や抽選会などを実施。</p> <p>【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。</p>	<p>【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて文化祭実行委員を組織し、実行委員を中心に企画運営。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区各種団体 笹賀地区内企業</p>	<p>【評価と反省】 例年、日頃の文化活動の発表の場としてステージ発表、作品展示会ともに多くの参加がある。作品展示会のみ開催することも検討されたが、従来の形式での文化祭は中止となった。代わりに文化祭特別企画を行うこととした。(次項参照)</p> <p>【今後の方針等】 地区の一大事業として継続実施していくが、新たな出品者や出演者の掘りおこしや新しい企画等について、実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。</p>	
笹賀地区文化祭 特別企画	10月25日 ~31日		地域事業 (文化)	成人	500人	<p>【事業内容】 中止となった笹賀地区文化祭の代替企画。小中学生合唱部や吹奏楽部などのステージ発表映像を撮影、編集し、公民館で一週間上映した。あわせて本のリサイクルひろば、福祉ひろば作品展示会、菅野小タイムカプセル展示などの企画を小規模ながらも行った。</p> <p>【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。</p>	<p>【準備過程】 小中学校や地域住民と連携し、演奏映像の撮影、編集、上映を行った。 空港図書館とも連携し、リサイクル用の図書館除籍本を準備した。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 空港図書館</p>	<p>【評価と反省】 中止となった文化祭作品展示会の代替企画。密を避けるため、小規模企画のみ行った。図らずも選挙日程と重なったため、選挙会場隣で開催された当企画が多くの方の目に触れる結果となった。展示配置の工夫などにより、大きな混乱もなく開催期間を終えることができた。</p> <p>【今後の方針等】 地域住民の日頃の活動発表の場として文化祭は継続実施していきたいが、感染対策との両立等について実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。</p>	
もちつき大会	12月		地域文化	青少年		<p>【事業内容】 小中学生、幼児親子を対象とした杵と臼を使ったもちつき大会。</p> <p>【ねらい】 各家庭では少なくなった「もちつき」を体験し、日本の伝統文化・食文化への理解を深める。</p>	<p>【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画・実施</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会</p>	<p>【評価と反省】 例年多くの参加があり、家族で伝統文化に触れる機会となっている。もちつきは屋外で行うため、感染症対策をしたうえで開催に向け、役員で検討した。調理会場などでの密を避けられない場面が想定されたため、結局中止の判断となった。育成会で最も人数が集まる事業であるため、来年度以降も継続できるよう検討していきたい。</p> <p>【今後の方針等】 親子共に伝統文化に触れる良い機会があるので、継続実施していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区町内公民館対抗卓球大会	1月30日 (日)		地域事業 (体育)	成人		<p>【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の卓球大会。</p> <p>【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会</p>	<p>【評価と反省】 未経験者でもラリーが続き、皆が楽しめるように平成28年度からラージボール卓球に変更している。 感染症対策として、参加チーム構成の変更や大会時間の縮小などについて体育委員会で提案、11町会の参加申込があった。しかしながら直前で感染の波が来てしまい、残念ながら中止の判断となった。</p> <p>【今後の方針等】 体育委員とともにより良い形での開催を検討していきたい。</p>	
ふるさとの伝統行事と郷土食	1月		地域文化	青少年		<p>【事業内容】 小中学生親子を対象に郷土食の調理実習と郷土食に関わる伝統行事についての学習を実施。 「三九郎のまゆ玉」</p> <p>【ねらい】 郷土食の調理実習を通して、郷土の食文化、伝統文化の次世代への継承を図る。</p>	<p>【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員</p>	<p>【評価と反省】 親子で郷土食や伝統行事に触れる良い機会となっている。例年、三九郎に合わせたまゆ玉づくりが好評だが、食生活改善推進員の調理実習自粛の方針と、三九郎を中止とする町会もあるため、中止の判断とした。</p> <p>【今後の方針等】 地区には様々な伝統行事や郷土食があるので、内容を検討し、継続実施していきたい。</p>	
男の料理教室	2月		趣味教養	成人		<p>【事業内容】 男性を対象とした料理教室と会食。毎年、健康に関するテーマを設定し開催。調理実習の前には管理栄養士から食事バランスについての講義も行う。</p> <p>【ねらい】 調理実習を通して食生活の改善を図るとともに、退職後の男性などに対して地域での交流の機会をつくることもねらって実施。</p>	<p>【準備過程】 地区食生活改善推進員を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員</p>	<p>【評価と反省】 例年、参加者の交流の場になるとともに、管理栄養士からの講義の時間も設け、普段の食生活を見直す良い機会となっている。しかしながら、食生活改善推進員の調理実習自粛の方針により今年度も中止。前回の参加者から参加したいとの声をいただいていたため残念だった。</p> <p>【今後の方針等】 今後も定期的実施していきたいが、地元産食材を取り入れる等の工夫もしていきたい。 また、参加者同士の交流も進んできており、今後その繋がりを活かした地域での活動も模索していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
楽団ケ・セラ人権コンサート	3月5日 (土)		人権平和	成人		<p>【事業内容】 例年行っている人権講座、人権視察研修、人権コンサート等の代替企画。</p> <p>【ねらい】 障がいをもった楽団員たちの演奏を鑑賞し、人権課題について地域住民に啓発することを目的とした。</p>	<p>【準備過程】 人権啓発推進協議会を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区人権啓発推進協議会</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた際に企画をしたが、開催直前に感染の波が来てしまい、中止の判断とした。楽団ケ・セラの演奏会は地域住民に大変評判が良く、来年度以降ぜひあらためて企画したい。</p> <p>【今後の方針等】 様々な人権課題の中から、地域・時代に合った内容で事業を企画実施していきたい。</p>	
育成会3地区合同会議	3月17日 (木)		公民館委員会・各種会議等	成人	11人	<p>【事業内容】 笹賀、今井、神林の3地区の子ども育成会事業についての情報交換会。</p> <p>【ねらい】 3地区の子ども育成会事業について情報交換することで、課題の共有や解決策を探る。</p>	<p>【準備過程】 当番地区子ども育成会が中心となり企画実施。今年度は笹賀地区が当番地区。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区子ども育成会 今井地区子ども育成会 神林地区子ども育成会 今井公民館 神林公民館</p>	<p>【評価と反省】 各地区で育成会事業の多くが中止となっていたが、コロナ禍での対応を中心に情報交換を行った。事業を開催したい気持ちと子どもたちや保護者の健康を守りたい気持ちのバランスに各地区苦慮していた。</p> <p>【今後の方針等】 地区により状況が異なるため、共有が難しい面も多少あるが、各地区の育成会が盛り上がっていくよう今後も情報交換を継続していきたい。</p>	
西南ブロックゲートボール大会	3月		地域事業(体育)	成人		<p>【事業内容】 今井・神林・笹賀の3地区によるゲートボール大会</p> <p>【ねらい】 今井、神林、笹賀3地区の親睦と交流を図る。</p>	<p>【準備過程】 当番地区スポーツ協会が中心となり企画実施。今年度は今井地区が当番地区。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井公民館 神林公民館</p>	<p>【評価と反省】 毎年恒例の行事として実施しているが、競技人口の減少もあり、参加チームが減少傾向となっている。高齢者を中心に多人数が集まる屋内競技場での開催のため、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策により中止の判断となった。</p> <p>【今後の方針等】 競技団体、各地区の意向を聞きながら、継続して開催していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
笹賀地区子ども会育成会だよりの発行	3月		子育て	青少年		<p>【事業内容】子ども会育成会で開催した事業内容の記事を中心に育成会だよりの発行、町会全戸配布。</p> <p>【ねらい】子ども会育成会で実施した事業の報告および来年度以降の参加を促す。また、事業の感想について子どもに原稿依頼することで、参加したことへの思いを深めてもらうとともに、地区住民へ行事の楽しさを伝える。</p>	<p>【準備過程】育成会教養部を中心に事業に参加した子どもへの原稿依頼、編集会議の開催。</p>	<p>【評価と反省】例年、子どもたちの個性が良くでている文章が集まり、カラー写真も多く掲載し、行事の楽しさの伝わる内容になっている。新型コロナウイルス感染症対策のため事業がほぼ開催できず、今年度の発行も見送りとなった。</p> <p>【今後の方針等】育成会役員は1年任期の方が多いため、来年度以降も継続して発行できるように、事前説明などの準備をしていきたい。また、原稿依頼について特定の町会に偏らないようにしていきたい。</p>	
町会親睦ソフトバレー	5月 ～ 11月		スポーツ	成人		<p>【事業内容】長年開催されてきた町会対抗ママさんバレーボールリーグの代替企画。町会親睦ソフトバレーとして令和元年度から開催。</p> <p>【ねらい】地区住民の健康増進、町会を越えた交流の場として町会親睦ソフトバレーを開催し、継続実施を目指す。</p>	<p>【準備過程】町会親睦ソフトバレー運営委員会を中心に企画実施</p>	<p>【評価と反省】コロナ禍により令和2年度途中から中断。体を動かしたいとの声もあったが、ボール等による接触もあるスポーツのため開催再開については慎重な判断とした。</p> <p>【今後の方針等】コロナ禍のなかで運営委員会を開催することができていない。感染状況が安定して落ち着いてきた頃に、再開に向けて計画を立てていきたい。</p>	
地域の畑で大豆の栽培・味噌づくり	通年		地域文化	青少年	40人	<p>【事業内容】菅野小学校2年2組が総合学習の時間で日本に味噌づくりを伝えたお坊さんが地域にいたことを知り、自分たちも大豆を育て味噌づくりをしてみたいという想いが生まれ、地域が協力して実現した大豆栽培と味噌づくり。</p> <p>【ねらい】子どもたちの学びを深め、成長へとつなげるとともに、地域住民との交流により地域への親近感や帰属意識を育む。</p>	<p>【準備過程】地域住民の畑を借用、地域の花き農家からの指導、松本山雅から緑の大豆（あやみどり）の提供、地域住民で水やり等の協力</p> <p>【共催団体等】菅野小学校 地域の花き農家 松本山雅 味噌醸造会社和泉屋商店 地域住民</p>	<p>【評価と反省】子どもたちの学びと成長のため、大豆の栽培から味噌づくりまで長期に渡り学校からの要望に応えながらサポートすることができた。地域住民と子どもたちが協力することにより、地域にとっても良い交流の場となった。</p> <p>【今後の方針等】畑の借用や栽培指導等について他のクラスからも要望が広がっている。地域と学校の仲介役として引き続き協力していきたい。</p>	○

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
子どもと本の集い	通年	7回	子育て	家庭教育	159人	<p>【事業内容】 地区内未就園児親子を対象にした絵本を介した子育て支援事業。えほんの読み聞かせのほか、季節の行事に合わせた工作等を実施。</p> <p>【ねらい】 地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間作りの場として実施</p>	<p>【準備過程】 おはなしの会「すがのつくる」が中心となり企画・運営。</p> <p>【共催団体等】 おはなしの会「すがのつくる」 笹賀地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場になっている。 また、季節の伝統行事に合わせて工作等を実施するなかで、親が伝統文化について学ぶ機会にもなっている。 新型コロナウイルス感染症対策により11回企画のうち4回が中止の判断となった。</p> <p>【今後の方針等】 「すがのつくる」の自立した活動ではあるが、子育て、親育ちの場として、継続して支援していきたい。</p>	
笹賀おやこ教室	通年	2回	子育て	家庭教育	39人	<p>【事業内容】 地区内未就園児親子を対象とした奇数月実施の親子講座。お話会、夏まつりの開催、おもちゃ工作、調理実習、施設見学等を実施。</p> <p>【ねらい】 様々な体験を通して、親子でともに成長する場として実施。また、地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間づくりの場としても期待。</p>	<p>【準備過程】 地区内親子サークル「笹賀おやこクラブ」を中心に企画運営</p> <p>【共催団体等】 笹賀おやこクラブ 笹賀地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。 新型コロナウイルス感染症対策のため、思うように開催できなかったが、感染状況が比較的落ち着いていた時期に2事業を開催。感染対策の徹底や事前予約等により、運営役員も含めた親子皆で楽しむ姿を見ることができた。</p> <p>【今後の方針等】 令和3年度をもって「笹賀おやこクラブ」が活動終了。形は変わるが、後継として新規立ち上げされる「おやこクラブてるてる」と引き続き協力していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
公民館ニュースの発行	通年		地域文化	成人		<p>【事業内容】 毎月公民館ニュースを発行、地区内全戸配布している。松本市公式ホームページに同内容のPDFデータを公開している。</p> <p>【ねらい】 公民館事業等の地区内への周知を図る</p>	<p>【準備過程】 公民館で紙面を考え、発行</p>	<p>【評価と反省】 毎月全戸配布で発行しており、公民館事業の周知方法の一つとなっている。沢山ある配布物の中で埋もれてしまったり、町会未加入者等の配布物が届かない方の増加などの課題もある。ホームページへの掲載も行っているが、周知方法の更なる充実を検討していきたい。</p> <p>【今後の方針等】 一つの周知方法として継続発行していきたい。情報をどんな方に伝えたいのかを考え、事業により対象にあった周知方法を検討していく必要があると感じる。</p>	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	63人	<p>【事業内容】 館報編集委員会を開催し、笹賀公民館紙面の企画、校正を行う。</p> <p>【ねらい】 地域の問題を掘り出し地区住民に知ってもらうことで、地域に興味や親近感を持ってもらう。あわせて公民館事業の報告等も行う。</p>	<p>【準備過程】 館報編集委員を中心に、紙面の企画および校正を行う。</p>	<p>【評価と反省】 館報編集委員の自主性により、紙面の企画校正を行った。編集委員は一本釣りをお願いしており、幅広い情報収集のためにも各町会から新規委員の勧誘が必要。</p> <p>【今後の方針等】 地域の情報を積極的に入手し、紙面のマンネリ化が起きないように心掛けていきたい。また新編集委員の掘り出しも継続して行っていきたい。</p>	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	16人	<p>【事業内容】 体育委員会を開催し、地区体育行事の企画、運営を行う。ウォーキング大会、球技大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会等。</p> <p>【ねらい】 体育委員で地区スポーツ大会の要項や参加申し込み方法等について確認および協議し、当日運営がスムーズに進むよう準備する。</p>	<p>【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍における体育事業の開催可否について検討した。すべての体育事業について対面の会議を行うことはできなかったが、必要に応じて書面等により町会の意向確認を行った。</p> <p>【今後の方針等】 引き続き体育委員会を開催し、各事業の運営を円滑に行えるようにしたい。また公民館ニュースの内容変更に余裕をもって対応できるよう、委員会の開催日に注意したい。</p>	

令和3年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化祭実行委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	26人	<p>【事業内容】 文化祭実行委員会を開催し、笹賀地区文化祭の企画、運営を行う。</p> <p>【ねらい】 文化祭実行委員で協力しあいながら、ステージ発表、作品展示、抽選会などの係分担により、地区住民の力でより良い文化祭を開催する。</p>	<p>【準備過程】 公民館文化委員、図書視聴覚委員を中心に企画実施。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍での文化祭開催可否等について、委員を集めて検討を行うことができなかった。文化祭の中止および文化祭特別企画の実施については、公民館主体で企画運営を行い、実行委員会には事後承認の形となってしまった。事業自体は成功だったが、コロナ禍であったとはいえ、地域全体で作り上げていく意識をもっと大切にすべきだった。</p> <p>【今後の方針等】 多くの地区住民が楽しみにしている文化祭を絶やすことなく継続していけるように、地区住民が協力しあい運営できるよう助力していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告の概要

芳川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、人気講座・新規講座を考え、通常の生活を取り戻せるような工夫をし、事業を展開する。 ・土地区画整理事業等による人口増を始め、松本国際高等学校開校や村井駅再整備など地域が様変わりしてきている現状と合わせ、子どもが多いという特色がある。 ・地域住民が1万7000人を超えるため、マスコミ等も活用した地区の活動の周知等情報の発信に力を入れる。 ・地域で子どもを育てることに力を入れ、学校・地域と連携し、長期休暇の居場所づくりとして夏休みの体験講座や公民館の開放事業を行う。 ・次世代や新住民に公民館や地域を知ってもらう活動をする。 ・小学校での活動を地域に知ってもらうため、文化祭での展示を充実する。 ・既存の住民と新しい住民が一体となれるような事業の展開や、芳川地区をより深く知る講座の開催をし、自分の住む地域に愛着を持ってもらうことを目指す。 										<ul style="list-style-type: none"> ・事業や講座など、経常的なものについては、三密を回避する工夫をし、展開ができた。一方で、感染者の急増による中止や人数制限を設けた講座もあり、学習の意欲をそいでしまった。 ・地区内小学生向けの夏休み講座を展開した。申込はQRコードを活用し、保護者の同伴も伴わない講座にし、公民館の活動に気軽に参加できるものとした。 ・筑摩野中学校との連携事業で長期休暇の公民館開放を行った。自主学習の場として継続的に参加する生徒もおり、公民館が学校に根付いた活動ができている。 ・小中学校との連携で、地区内の歴史を伝える事業を実施した。座学だけではなく、まちあるきやタブレットを用いたものとし、対話を心掛けるものとした。 ・主体性を大事にし、地域からの声を逃さず、黒子となり、地域の力を活かしていきたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	6	5	7	0	3	12	0	3	4	1	3	8	6
延べ 参加人数	13	185	460	297	0	292	600	0	124	127	300	227	587	684

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
さくらと歴史ウォーキング	4月 7日 4月12日 4月14日	3回	福祉健康	成人	58人	【内容】 季節を感じながら、市街地のウォーキングを実施 【ねらい】 歩きながら松本市の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。マンネリ気味のウォーキングイベントの改善	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 目的を桜観賞としたウォーキングとしたことで、参加者多数の申込があり、好評いただいた。 【今後の方針】 異動の時期と重なるため、毎年開催が難しい。マンネリ化しないウォーキングイベントの実施を考える。	
第24回ソフトバレーボール祭	4月11日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとおり、交流を深める。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。	
第17回芳川公民館長杯ソフトバレーボール大会	4月25日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 生涯スポーツであるソフトバレーボールを楽しめる機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内外の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会ソフトバレーボール役員と芳川ソフトバレーリーグ戦参加チームの協力により資料や景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 松本平広域公園内の駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。	
ニューススポーツ体験会	5月9日	中止	スポーツ	その他	0人	【内容】 ニューススポーツの体験会 【ねらい】 気軽にできるニューススポーツを地区の方々に知ってもらう。地区の体育大会で正式種目として導入をしたため、各町会の研鑽の場としても活用してもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 気軽に身体を動かす機会としてニューススポーツを取り入れたい。	
あじさいと歴史ウォーキング	6月29日 7月 7日	2回	福祉健康	成人	36人	【内容】 季節を感じながら、市街地のウォーキングを実施 【ねらい】 歩きながら松本市の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。マンネリ気味のウォーキングイベントの改善		【評価と反省】 目的をあじさい観賞としたウォーキングとしたことで、参加者多数の申込があり、好評いただいた。 【今後の方針】 マンネリ化しないウォーキングイベントの実施を考える。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
よしかわスポーツひろば	7月4日	1回	地域事業(体育)	その他	85人	【内容】 芳川地区住民のオープン参加競技 【ねらい】 コロナ禍においても、できる事業として地区住民体力向上及び交流の場と考える。	【準備過程】 体育協会および体育委員会で内容を協議 【共催団体】 芳川町会連合会 芳川体育協会	【評価と反省】 町会対抗体育大会という形ではなく、コロナ禍でもできる事業として、参加者からは好評いただいた。 ※マレットゴルフは会場不良のため中止とした。 【今後の方針】 町会対抗で親睦を深めることもよいが、オープン参加による交流も踏まえ、今後の事業を考える。	
おたのしみ会 「あつまれ！よしかわKIDS」	8月7日	1回	子育て	青少年	82人	【内容】 園児や小学校低学年向けのお楽しみ会 長野県拠点のにじいろ工場さんのパフォーマンスショー 【ねらい】 園児や小学校低学年を対象に、親子で一緒に楽しんでもらうおたのしみ会	【準備過程】 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川各保育園 芳川各幼稚園	【評価と反省】 夏休み中のおたのしみ会として、毎年開催している。参加型のパントマイムで会場は大盛況でした。 【今後の方針】 人気もあり、次年度も実施したい。	
第45回東南ブロック球技大会	8月29日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
LINE講座	8月31日	1回	趣味教養	成人	4人	【内容】 美芳町町会スマホ講座の代替講座 町会長へLINEの使い方を教えるもの 【ねらい】 デジタル化を推進し、町会でのデジタル化を図るもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 大勢が集まる場は設けられないが、代わりに少人数でマンツーマンの講座を開催した。 【今後の方針】 地域の拠点として、地域のデジタル化を推進していく。	
第28回芳川地区マレットゴルフ大会	9月12日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 芳川地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【ねらい】 地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 交流、親睦の場として、次年度も実施したい。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ふれあいウォーク	10月2日	1回	福祉健康	その他	31人	【内容】 笹賀の南涯館へのウォーキングを実施 【ねらい】 歩きながら松本市の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 毎年恒例の芳川ふれあいウォーキングを少人数で実施した。南涯館の館主から館の説明をいただいた。 【今後の方針】 マンネリ化しないウォーキングイベントの実施を考える。	
第3回芳川公民館長杯野溝緑地オープン・マレットゴルフ大会	10月15日	1回	スポーツ	成人	35人	【内容】 生涯スポーツであるマレットゴルフを楽しめる機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会マレットゴルフ役員と野溝緑地マレットゴルフ愛好会の協力により景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。	
子育て応援 孫育てのおはなし	10月18日	1回	子育て	成人	16人	【内容】 孫を育てているまたはこれから育てる予定のある祖父母を対象とした講座 【ねらい】 子育て世代のお手伝いをする祖父母を応援し、今と昔の子育ての変化を伝える。	【準備過程】 【共催団体】 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 孫育てに不安のある方などもおり、講座の中で解消できていた。 【今後の方針】 芳川地区は子育て世代が多いため、支援できるような講座を考えたい。	
芳川児童センター まちあるき	10月23日	1回	地域文化	青少年	30人	【内容】 芳川児童センターの児童と村井宿のまちあるきを実施 【ねらい】 児童に地域の歴史を知ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 まちあるきをしながら解説をすることでより身近に地域を感じてもらうことができた。センターからも好評であった。 【今後の方針】 地域に興味を持つ事業を展開していきたい。	
レギオンちくまの	10月27日	1回	地域文化	青少年	5人	【内容】 筑摩野中学校生徒を対象とした、村井宿まちあるき・デジタル化推進事業 【ねらい】 地域の歴史を知ってもらう。ギガスクール構想の一人一台端末の有効活用	【準備過程】 【共催団体】 筑摩野中学校	【評価と反省】 コロナ禍であり、少人数の開催となった。宿場町の説明とリモートで地域の歴史スポットの説明を行った。公民館としても活動の幅が広がった。 【今後の方針】 筑摩野中学校と連携し、生徒に興味を持ってもらえる事業を展開する。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
VS芳川マッチ	10月31日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【内容】 芳川地区の芳川っ子が一堂に集まり、中学生の指導のもと、レクリエーション遊びを行う。 【ねらい】 地区内で3つの小学校に通う子どもの交流の場として考える。	【準備過程】 筑摩野中学校生徒と町別児童会の子ども達が自分たちで遊ぶ内容等を決める。 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会 芳川小学校PTA 開明小学校PTA CSふたむら	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 コロナ禍でも子どもたちが楽しめる事業を考えていく。	○
令和3年度芳川地区活動発表会	11月1日～6日 (3日は除く)	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【内容】 芳川地区文化祭の代替事業 【ねらい】 各サークルや小中学校の日頃の活動の成果発表の場とする。文化活動を通して地区住民の輪を広げ絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 文化委員と協力して計画 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会 芳川地区福祉ひろば 芳川公民館利用団体 CSふたむら	【評価と反省】 実行委員会を開き、3密を避けつつ、文化活動を実施した。 【今後の方針】 引き続き、コロナ禍における文化祭を考えていきたい。	○
楽笑レクゲーム	11月21日	1回	地域事業 (体育)	その他	42人	【内容】 地区の皆さんが気軽に参加できる軽運動の集い 【ねらい】 楽しく笑いながら気軽に参加できるレクリエーションで健康・体力作りを目指す。	【準備過程】 芳川地域づくり協議会の健康と福祉部会が内容等を検討 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川体育協会	【評価と反省】 レクリエーションを通じ、参加者同士での親睦を深めるものとなった。 【今後の方針】 多世代参加イベントとして、一般参加者を増やせるような声かけや取組を行っていきたい。	
芳川地区人権啓発推進協議会 視察研修	11月29日	1回	人権平和	成人	13人	【内容】 人権学習の視察 【ねらい】 人権問題を考えていただく機会とした視察研修	【準備過程】 視察先について協議会と事前打合せを行い視察先を決定 【共催団体】 芳川地区男女共進を進める会と共催	【評価と反省】 小諸市の藤村記念館・上田市無言館を視察。藤村記念館では館長のお話を熱心に聞く姿が見受けられた。 【今後の方針】 人権学習は視察が恒例となっているが、視察にこだわらず、時代に即した内容を行っていきたい。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄づくり事前講習	11月30日	1回	地域文化	成人	18人	【内容】 地域の伝統であるしめ縄作りを体験してもらおう。コロナ禍のため、今まで参加した方に限定し、実施。 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。また、参加者には芳川小学校のしめ縄作り講習会のボランティアを担ってもらおう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 地区内に呼びかけを行い、公民館活動へ初めて参加する方もいた。 【今後の方針】 ボランティアの養成だけではなく、新たな公民館活動参加者を増やすものになりたい。	
マレットゴルフ交流会	11月	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。	
ソフトバレーボール交流会	12月5日	1回	スポーツ	成人	32人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による交流試合 【ねらい】 試合をとおり、交流を深める。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナ禍で通常の活動ができない中、チームを制限し開催した。 【今後の方針】 アフターコロナを見据えた事業を行う。	
しめ縄づくり講習会	12月9日	1回	地域文化	青少年	141人	【内容】 毎年芳川小学校5年生を対象に行っているしめ縄作り教室 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 クラスごとに地域ボランティアが実演をし、子ども達がしゃもじを作成した。しめ縄作りに興味を持ってもらった。 【今後の方針】 伝統文化の敬称は地域の課題のため、次年度も実施していきたい。	○
第25回ソフトバレーボール祭	12月12日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとおり、交流を深める。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ほうきづくり体験会	12月16日	1回	地域文化	成人	22人	【内容】 地区内で育てたほうききびを使い、手ぼうきを作る。 【ねらい】 地区伝統の野溝ほうき復活に向けた体験事業	【準備過程】 ほうききびの播種・草取り・収穫 【共催団体】 芳川地区農村女性委員会	【評価と反省】 野溝ほうき復活への足掛かりとなった。 【今後の方針】 伝統の野溝ほうき復活に向けた取り組みを展開していく。	
脳トレと睡眠講座	1月28日 2月3日 2月10日 2月25日	中止	福祉健康	成人	0人	【内容】 脳トレの講座と睡眠の講座を合わせた複合講座 【ねらい】 脳の体操をしつつ、睡眠について正しい知識を身に付け、健康的な毎日を送るもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 住民のための講座の展開を考える。	
もちつき大会	1月	中止	子育て	家庭教育	0人	【内容】 毎年恒例のもちつき大会 【ねらい】 地区住民を対象に公民館工作室で餅つき。伝統文化の継承・また住民間の交流を目的として行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 毎年好評をいただいているため、次年度は実施したい。	
芳川小学校6年3組 リモートSDGs授業	2月17日	1回	その他	青少年	30人	【内容】 リモートによる身近なSDGsについて教える事業 【ねらい】 児童たちにSDGsは身近なものであり、今後の生活でも考えてもらうきっかけとする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川小学校	【評価と反省】 コロナ禍で始まった事業。児童たちのSDGsへの関心は高かった。 【今後の方針】 SDGsを踏まえた講座等の事業を展開していく。	
芳川地区人権啓発ふれあいコンサート	3月13日	中止	人権平和	その他	0人	【内容】 人権啓発ふれあいコンサートと題し、楽団ケ・セラの皆さんを招いてコンサートを実施 【ねらい】 障がいを持つ方々が音楽を通じて自立を目指すケ・セラの活動を通じて、障がいを持つ人への理解と人権問題を身近に感じてもらう。	【準備過程】 楽団ケ・セラと協力して計画 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば NPO法人ケ・セラ	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度はやってほしいという意見が多かったので、人権啓発事業として考えたい。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川小学校6年3組 歴史授業	3月15日	1回	地域文化	青少年	30人	【内容】 芳川の歴史をまとめた副読本わたしたちの芳川を使った事業 【ねらい】 地域のことを知ってもらい、興味を持ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川小学校	【評価と反省】 コロナ禍で始まった事業。地域・歴史を伝えていくツールの初事業となった。 【今後の方針】 副読本を用いた事業を展開していく。	
春休みファミスポDAY	3月27日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 春休みの期間に家族や仲間ですポーツを楽しんでもらう。 【ねらい】 親子のふれあいや友人の交流を通じて地域の絆作りと健康増進を図る。	【準備過程】 公民館にて企画、運営。 【共催団体】 芳川体育協会	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和4年度にあらためて実施予定。	
芳川地区 セーフティマップ作成	3月	1回	その他	青少年	20人	【内容】 芳川小学校の通学路や安心の家の情報を載せたマップの作成 【ねらい】 子どもを守る安心の家の通学路マップを作成し、小学校1年生や転入生に配布する。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区防災防犯協会 芳川小学校 芳川小学校PTA	【評価と反省】 今年も各種協力団体と連携してスムーズにマップが作成できた。 【今後の方針】 1年生の保護者からも好評なので、次年度も作成していきたい。	○
食育学級	4月～12月	7回	子育て	家庭教育	219人	【内容】 食についての思いを深め、家庭での手作りの大切さに気付いてもらう 【ねらい】 じゃがいもや野沢菜等を植える、育てる、収穫、調理を通して、食文化への関心を高め、自分で収穫した野菜を使い地元の伝統食の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 コロナ禍でも17組の参加となった。食育と農育の両面を持ち、参加者から好評であった。 ※8・9月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も内容の更なる充実を図り、実施していく。畑で土に触れ合う機会として、作業を子どもたちと保護者にやってもらうことを増やし、より興味を持ってもらうようにする。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川シニア短期大学	5月～3月	14回	趣味教養	高齢者	208人	<p>【内容】 高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを求めた学習講座</p> <p>5月～3月 毎月2回 (木曜日の午後に実施) 分散型開催、同じ内容を2日程</p>	<p>【準備過程】 参加者のアンケート結果を元に講師を決定</p> <p>【共催団体】</p>	<p>【評価と反省】 新しい参加者が増え高齢者の生きがいづくりとして定着。また男性の参加者も多く、人気の講座となっている。</p> <p>※9、1～3月計8回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>【今後の方針】 内容を考え、次年度も実施していきたい。</p>	
健康体操教室	5月～10月	3回	福祉健康	高齢者	14人	<p>【内容】 芳川地区住民の健康増進を目的とした講座を開催</p> <p>5月～10月 (金曜日の午前に実施)</p>	<p>【準備過程】 参加者のアンケート結果を元に講師を決定</p> <p>【共催団体】</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍において、フレイル予防のため、高齢者が運動できる機会となった。参加者が大幅に減ってしまった。</p> <p>※5、8、9月計3回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>【今後の方針】 参加者数が維持できるような方策も考えたい。</p>	
プレイスクールぽかぽか	5月～3月	6回	子育て	家庭教育	143人	<p>【内容】 未就園児を対象とした親子の講座</p> <p>【ねらい】 体を動かしたり、読み聞かせを聞いたり、あらゆる経験を通し、感性豊かな成長を目的とすると同時に、親同士の交流・情報交換の場を提供している。</p>	<p>【準備過程】</p> <p>【共催団体】 芳川民生児童委員協議会 芳川保育ゆりかご会</p>	<p>【評価と反省】 人数制限を設けたため、昨年度より参加する親子の数が減少したが、一人ひとりの距離が近く、講座を通して繋がりが生まれた。芳川地区の親子の居場所となるような講座を展開したい。</p> <p>※8・9・1～3月計5回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>【今後の方針】 次年度も継続実施したい。工夫をして、参加者が増える取組みをしたい。</p>	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川バレーボール交流親睦試合	6月～12月	5回	スポーツ	女性	238人	【内容】 バレーボールのリーグ戦の代替として実施。 【ねらい】 芳川地区内外のバレーボール愛好家3チームによる交流親睦試合	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナ禍において、リーグ戦の開催を断念し、交流親睦試合とした。途中中断もあり、参加チームの士気が下がった。 ※8・9月計2回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦のため、次年度以降も継続していきたい。	
芳川ソフトバレーボール交流親睦試合	5月～11月	3回	スポーツ	成人	87人	【内容】 ソフトバレーボールのリーグ戦の代替として実施。 【ねらい】 芳川地区内外のソフトバレーボール愛好6チームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナ禍において、リーグ戦の開催を断念し、交流親睦試合とした。けが人等なく、スムーズな運営ができた。 ※8～11月計9回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦のため、次年度以降も継続していきたい。	
夏休み特別講座	7月～8月	7回	地域事業(その他)	青少年	78人	【内容】 LEDソーラーライト作成・プロジェクターのお話・まが玉づくり・SDGsの4つの講座 【ねらい】 夏休みに地区内の小学4～6年生に様々な体験をしてみよう。	【準備過程】 講師との日程調整 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 QRコードを活用した申込にし、働き世代の保護者が気軽に申し込めるものとした。申込者多数で定員になった講座もあった。 【今後の方針】 子どもの居場所づくりや新体験をとおり、視野を広げる取り組みを継続的にしていきたい。	
第44回ソフトボールリーグ戦	7月～9月	4回	スポーツ	成人	208人	【内容】 ソフトボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区5町会のソフトボールチームによる交流戦。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 昨年1周りでの実施となったが、例年の2周り10試合のリーグ戦に戻した。しかし、けが人等なかったが、雨天中止等で全日程を消化できなかった。 ※6回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止や雨天で中止 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦なので継続していきたい。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川地区イメージキャラクター事業	7月～1月	1回	地域文化	青少年	51人	【内容】 地区内小学生（4～6年生）に芳川地区のイメージキャラクターを募集 【ねらい】 公民館活動を知ってもらうため、地区への親しみを高めてもらうための事業 スポーツ系のイベントは多いが、文科系のイベントが少ないという課題を解決するもの	【準備過程】 日程調整 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 応募が33件あり、選考委員会を経て、最優秀作品をデータ化し、イメージキャラクターを地区内へ周知した。 【今後の方針】 地区を知ってもらうための親しみやすいキャラクターをとおして、新住民へ芳川地区のアピールをしていきたい。	
出張たいそう講座&芳川公民館長講話	10月～12月	2回	福祉健康	成人	46人	【内容】 運動不足解消と地域の話 【ねらい】 新型コロナウイルス感染症の影響で身体を動かす機会の減少、人とのコミュニケーションをとる機会の減少を危惧し、少人数で集まる機会を作る。	【準備過程】 場所・講師の日程調整、内容確認 【共催団体】 芳川地域づくり協議会健康・福祉部会	【評価と反省】 住民からは地区公民館に行くのは遠いが町内公民館なら歩いて行ける、館長の話はためになると好評いただいた。 ※10月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 地区公民館だけではない活動を継続して行いたい。	
シニア向けはじめてのスマホ講座&活用講座	11～12月	5回	趣味教養	高齢者	80人	【内容】 スマートフォンの操作説明 【ねらい】 地域のデジタル化の推進	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 スマホの使い方を覚えたい住民は多数おり、講師だけでは対応できなく、職員が教えることが多かった。 【今後の方針】 ニーズが高いスマホの講座は次年度以降も定期的に続けていく。	
百歳体操とレクゲーム	1月～3月	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 運動不足解消と参加者同士のコミュニケーション 【ねらい】 新型コロナウイルス感染症の影響で身体を動かす機会の減少、人とのコミュニケーションをとる機会の減少を危惧し、少人数で集まる機会を作る。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 コロナ禍の新規事業。運動不足とコミュニケーション不足の解消の場となった。 【今後の方針】 好評のため、体操講座を定期的で開催したい。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館開放 (夏・冬・春)	通年	36回	地域事業 (その他)	青少年	149人	【内容】 筑摩野中学校生徒が学習をするために芳川公民館の会議室を提供した。 【ねらい】 WiFi環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施 【共催団体】 C Sふたむら運営委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、生徒の学習する場を提供できた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	○
日本語講座	毎週木曜日	22回	その他	その他	74人	【内容】 外国人向けの日本語教室 【ねらい】 毎週1回、芳川地区在住の外国籍の方を対象に日本語教室を開催。地域内での外国籍の方の人材発掘と交流を目的としている。	【準備過程】 芳川地区のボランティアの方に講師をお願いしている 【共催団体】	【評価と反省】 松本市内での日本語教室の数が少なく、最近では地区外の方も来ている。ボランティアの数が増えたが、受講者の方が減っている。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止期間あり。(計12回) 【今後の方針】 今後も地区内外を問わず、外国籍の方の学習補助の教室として行っていきたい。また受講者・ボランティア募集にも力をいれていきたい。	○
あいさつ3・3運動	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	青少年		【内容】 あいさつ運動 【ねらい】 毎月3のつく日に、水色のサポーターベストを着て小学生の通学時にあいさつをすることによって、世代間を超えた交流を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 サポーターの高齢化により、発足当時よりサポーター数が減少してしまった。 【今後の方針】 今後は地区内の回覧など積極的にサポーターを募集し、活動を推進したいと考えている。	
芳川公民館運営委員会	5月20日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	24人	【内容】 地区役員へ芳川公民館の2年度の事業報告と3年度の事業計画案を説明 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・芳川町会連合会 ・町内公民館長 ・芳川小学校校長 ・芳川小学校PTA ・筑摩野中学校校長 ・筑摩野中学校PTA ・芳川地区子ども会育成会長 ・民生児童委員協議会長 ・健康づくり推進員会長 ・交通安全協会支部長 ・農村女性委員長 ・体育協合理事長 ・館報編集委員長	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ、開催。 【今後の方針】 次年度以降も今回の反省を踏まえ、講座や公民館運営を円滑に行うため必要に応じ開催する。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館長会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	8人	【内容】 町内公民館の活動報告等 【ねらい】 芳川地区の町内公民館活動への助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 町内公民館との連携については、情報交換・交流等積極的に連携を心掛けているが、連携が不足している部分が多い。 【今後の方針】 次年度は連携を強化できるよう、町内公民館長会の回数を増やすなど交流の場を増やしたい。	
文化・図書視聴覚委員	8月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	40人	【内容】 文化祭準備 【ねらい】 文化祭実行委員会と協力して、芳川地区文化祭の準備を行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 文化祭を新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から活動発表会に変更したため、1回の開催とした。 【今後の方針】 コロナ禍における文化祭を考えていきたい。	
館報編集委員会	毎月1回	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	68人	【内容】 館報芳川版の発行。毎月1回開催	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区館報編集委員会	【評価と反省】 編集委員がなかなか都合が合わず、取材に行けないケースが目立ち、1人の負担が大きくなってしまった。 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から縮小開催期間あり（9・2・3月） 【今後の方針】 全ての編集委員に楽しみながら活動を行ってもらえるような体制を築いていきたい。	
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	97人	【内容】 各種体育事業の企画・運営 【ねらい】 体育委員会活動の活性化を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からイベントやそれに伴う会議が中止となり、例年よりも活動が減った。 【今後の方針】 コロナ禍におけるスポーツについて考える期間となり、次年度以降に活かしたい。	

令和3年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
サークル活動支援	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	150人	【内容】 公民館利用サークルの活動支援 【ねらい】 公民館利用サークルへの運営補助・ 助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 本年度は活動するにあたって、公民館 の不足品や故障しているものを整備 し、利用しやすいように準備した。 【今後の方針】 利用者が利用しやすいように館内の整 備につとめ、利用サークル間の交流も 深められるよう配慮したい。	
芳川地区関係団体活動 の支援	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	200人	【内容】 芳川地区関係団体活動支援 【ねらい】 芳川地区関係団体の活動が、円滑に 行えるように支援する。	芳川地区人権啓発推進協議会 芳川地区男女共進を進める会 芳川地区福祉ひろば推進協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 関係団体の活動支援をスムーズに行え た。 【今後の方針】 これからも関係団体が円滑に活動でき るよう支援する。	

令和3年度 事業報告の概要

寿公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 誰もが親しみやすく、気軽に訪れることができる公民館にする。</p> <p>2 利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にする（公共の施設であるという認識）。</p> <p>3 サークル活動ばかりでなく、文化祭など公民館の全体行事に、利用者自らが積極的に参加してもらう体制作りを進める。</p> <p>4 情報文化の発信基地としての機能をさらに充実させる。</p> <p>5 公民館の持つ学習機能を発揮し、寿地区地域づくり協議会専門部会で抽出した地域課題に対して、講座や講演会など学習につなげていく。</p> <p>6 地域住民の絆を深め、顔の見える地域づくりを目指す。</p> <p>7 学校応援団、CSふたむらの活動を通じて、地域の子どもを中心とした地域づくりを推進する。</p>										<p>1 気軽に利用できる公民館として多くの住民に利用いただけた。</p> <p>2 コロナ禍であっても変わらず公民館のルールを守っていただき、利用いただけた。</p> <p>3 コロナ禍の中、内容及び方法を工夫しながら利用者の皆さんには作品展示・動画放映という形で文化祭に参加いただけた。</p> <p>4 次年度も公民館だよりや公民館報等情報を引き続き発信していくと共にデジタル化を進めて、地区住民全土に届く機能を充実させたい。</p> <p>5 専門部会や地域づくり学習会等にて部会員同士で地域課題に関する学習、情報共有、意見交換を行えた。</p> <p>6 講座や事業をきっかけに住民同士の交流を促進できた。さまざまなニーズを汲み取りながら、次年度以降も地域住民の幅広い交流につながっていくような計画を進めていきたい。</p> <p>7 コロナ禍のため運営委員会等情報共有できる場が少なかった。学校や福祉ひろば、その他関係団体との連携を密に行い、充実したCS活動につなげていきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	2	4	0	8	4	0	7	3	3	4	4	6
延べ 参加人数	24	296	212	221	0	30	675	0	1588	0	474	4585	415	6314

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
公民館運営委員会	4月21日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	34人	【事業内容】 寿公民館事業における前年度事業報告及び新年度事業計画の検討を実施。 【ねらい】 寿公民館活動の推進を図る。	【組織構成】 地区役員に委嘱	【評価と反省】 現在は報告が中心となっている。 【今後の方針】 地区内の多くの役員が集まる機会であるため有効活用できるような内容を検討する。	
ウォーキング講座 「春の諏訪ウォーキング」	5月27日	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 体育委員長を講師として県内でウォーキングを開催。 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 例年人気の講座であるため、健康づくりの一環として年1、2回程度企画していきたい。	
第1回寿地区ウォーキング大会	5月22日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 最大30名でのウォーキング大会を実施する。 【ねらい】 寿地区を歩くことで体力向上に努め、地区内をより良く知り、地区住民相互の親睦と融和を図る。	【主管】 寿地区ウォーキング大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【協力】CSふたむら 【準備過程】 寿スポーツ協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度はコロナ対策をした上でウォーキング大会を開催したい。	○
寿地区地域づくり学習会	6月9日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	60人	【事業内容】 講師の方から寿地区や地域づくりについて学ぶ勉強会を開催した。 【ねらい】 町会長、町内公民館長、民生児童委員等の方々にご参加いただき、地域づくりについての理解を深める。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会にて企画	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策を行いながら開催することができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き情報共有・課題解決に向けて開催したい。	
牛伏寺断層について学ぶ	6月11日 7月11日	2回	福祉健康	成人	56人	【事業内容】 地域防災の中心的な存在となる町会長、町内公民館長や防災部長を主な対象として、身近な存在である「牛伏寺断層」について学ぶ。 【ねらい】 地震災害に対処する方法について知識を深める。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館にて企画、実施	【評価と反省】 活断層と共存している環境で、被害を減らす減災について深く学んでいただけた。 【今後の方針】 新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
寿地区地域づくり協議会 専門部会	6月16日 8月25日 9月22日 1月19日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	134人	【事業内容】 寿地区地域づくり協議会において総務・福祉・子どもの専門部会をつくり、実践的な取り組みを行う。 【ねらい】 各部会ごとに意見交換や学習会を通じて、地区内の課題解決を推進する。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会等で企画	【評価と反省】 地区の役員住民が地域についての学び、意見交換を行う貴重な機会となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、各部会毎に実践的な取り組みができるよう情報共有・課題解決に向けての意見交換を図る。	
託児ボランティア養成講座	6月29日 7月7日	2回	その他	成人	16人	【事業内容】 子どもの事故防止、救命救急を内容としたボランティア養成講座を実施。 【ねらい】 地区内で託児ボランティアとして活動してくれる人材を養成するとともに、こどもに対する幅広い知識を多くの人に身に付けてもらう。	【主催】 寿地区地域づくり協議会子ども部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 寿ペンギンの会で企画、寿地区福祉ひろばで実施	【評価と課題】 寿ペンギンの会に新規加入者1名が入り、託児の人材育成につなげることができた。 【今後の方針】 次年度以降はボランティアの養成だけでなく、子育て世代の住民も対象に実施したい。	
第74回寿地区球技大会	7月4日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【事業内容】 野球、排球、ソフトバレーボール（39歳以下、40歳以上）、ソフトボール、卓球の5種目による12町会対抗の球技大会を実施。 【ねらい】 地区住民相互の親睦及び健康増進を図る。	【主管】 寿地区球技大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 寿スポーツ協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	○
令和3年度公民館利用者 一斉清掃	7月24日 3月5日	1回	その他	成人	31人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館内や敷地の清掃を実施。 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催し、サークル同士の顔合わせをすることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催したい。	
鷹の渡り観察会	8月中旬	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 講師指導のもと、鷹の渡りを観察して学ぶ。 【ねらい】 観察や学習を通して自然や環境に対する関心を高めていただく。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
寿ナイターソフトボールリーグ	8月4日 8月11日 8月18日	1回	スポーツ	成人	20人	【事業内容】 今年で40年目となる、寿地区内の町会対抗ナイターソフトボールリーグ戦を実施。 【ねらい】 ソフトボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ナイターソフトボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 通年で行わず8月のみ開催したが、後半は雨天中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	
第14回寿地区子連れコンサート	8月28日	中止	地域事業(文化)	家庭教育	0人	【事業内容】 子育て中の親子を対象に大会議室にてコンサートを実施。 【ねらい】 子育て中の親子に本物の音楽に触れてもらう機会の提供。	【主催】 192サロン運営委員会 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 マリンバ奏者とバイオリニストに出演依頼をしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	
第46回東南ブロック球技大会	8月29日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	
第10回寿地区福祉の文化祭 福祉の絆 作品展示・交換	9月～10月	1回	地域事業(文化)	その他	284人	【事業内容】 7つの障がい者福祉施設の利用者と、寿小学校7クラスの児童が展示作品を交換し合う。 【ねらい】 障がい者との作品交換を通じてお互いを理解し合い、誰もが住みやすいまちづくりを目指す。	【主管】 寿地区福祉の文化祭実行委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 寿地区社会福祉協議会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 互いの作品展示を通じて相互理解を図ることにつながった。 【今後の方針】 次年度も障がい者と住民、児童がコロナ禍の中出来る形で交流できるように計画していきたい。	○
ウォーキング講座 「秋の入笠山ウォーキング」	9月24日	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 体育委員長を講師として入笠山周辺を巡るウォーキングを開催。 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
令和3年度寿地区住民運動会	10月24日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 世代を超えた多くの住民が参加できる社会体育事業として住民運動会を実施。 【ねらい】 住民相互の親睦及び団結、健康の増進を図る。	【主管】 寿地区運動会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員会にて企画、寿スポーツ協会が主に準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は、内容を精査して寿スポーツフェスティバルとして開催したい。	○
秋の撮影講座	10月13日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 市外で撮影講座を実施し、撮影後は参加者の撮影写真を公民館に展示する。 【ねらい】 技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	
文化祭協賛事業「第5回ニューススポーツ体験会」	10月17日	1回	スポーツ	成人	30人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、ニューススポーツを楽しむ会協力による体験会を実施した。 【ねらい】 ニューススポーツを広く知ってもらうとともに、健康増進を図る。	【主催】 体育委員会、ニューススポーツを楽しむ会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会と連携して企画、実施	【評価と反省】 ニューススポーツをとおり住民同士が親睦する場になった。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス対策を行いながら開催したい。	
町会別人権懇談会	10月30日	1回	人権平和	成人	24人	【事業内容】 町会単位で町内公民館を会場とした人権懇談会を実施(白川町会) 【ねらい】 人権をテーマに語り合う場をつくる。	【共催】 人権啓発推進協議会 町内公民館長会 【準備過程】 町会で企画し公民館で実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策をした上で、人権に関するDVD鑑賞会を行った。地域住民の人が集まり、身近な人権について共有する機会となった。 【今後の方針】 引き続き、対象町会に対して人権懇談会の場を設けてもらいたい。	
文化祭協賛事業「第33回寿地区史跡めぐり」	10月30日	1回	地域文化	成人	65人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、寿史談会による解説つきで、寿地区の史跡(赤木コース)を巡った。 【ねらい】 地区の歴史や史跡を知ってもらい、地域に愛着をもってもらう。	【主催】 寿子ども会育成会、寿史談会、寿公民館 【準備過程】 史談会、育成会と連携して企画、実施	【評価と反省】 子どもを対象に認定証を授与し、楽しんでもらいながら地区の歴史について学んでもらえた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第44回寿地区文化祭	11月7日 ～ 11月12日	6回	地域事業 (文化)	その他	190人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示及び各団体発表の動画放映を実施。 【ねらい】 寿地区における文化向上と、世代を超えた住民相互のふれあいの場とする。	【主管】 寿地区文化祭実行委員会 【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館 【準備過程】 実行員会で企画、公民館、町内公民館長会で準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大を受け、作品展示・動画放映のみを開催し、やれることをやれる形で行うことができました。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら、工夫して開催できるよう内容を検討したい。	○
クリスマスリースを作ろう講座	12月14日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、クリスマスリースをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	
水墨画講座	12月14日 12月17日	2回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 講師指導のもと、水墨画を描く。 【ねらい】 趣味を通して参加者同士の親睦や仲間づくりを図る。水墨画墨遊会の新規加入者を増やすきっかけとする。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 参加者に水墨画に関心をもっていただき、講師を依頼した墨遊会の会員増加にもつながった。 【今後の方針】 公民館利用登録サークルに講師を依頼することも視野に入れながら、講座の計画をしていきたい。	
お正月飾りを作ろう講座	12月22日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、お正月飾りをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	
スマホ講座 ～インターネットを使おう～	1月25日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 講師指導のもと、スマホの使い方について学ぶ。 【ねらい】 スマホについて学ぶことでコロナ禍での交流の幅を広げたり、生活をより豊かにしていただく。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 スマホ講座については住民からの要望が多かったため、次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
美味しいコーヒーの淹れ方講座	2月8日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 ドリップコーヒーがおいしくなる淹れ方を学びます。 【ねらい】 食文化や技術について学ぶことでより食生活を豊かにしていただく。コーヒーを通じて住民同士の親睦を図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	
生け花教室	2月22日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 講師指導のもと、花を生ける。 【ねらい】 日本の伝統文化を学び、趣味を通して参加者同士の親睦や仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	
寿地区人権学習講座 「今年は落語で笑おう」	3月4日	中止	人権平和	成人	0人	【事業内容】 ※ 人権をテーマとした落語を聴き、笑うことをとおして人権について学ぶ。 【ねらい】 落語をとおして平和や人権について考え、理解を深める。	【主催】 寿地区人権啓発推進協議会（寿公民館）、寿地区福祉ひろば 【準備過程】 福祉ひろば、寿公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	
令和3年度公民館利用者懇談会	3月5日	中止	その他	成人	0人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館への要望の聞き取りを実施。 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、要望の集計を通じた公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度はコロナ感染対策しながら公民館を気持ちよく利用してもらえるよう、サークル利用者からの要望や意見を聞いていきたい。	
子育て支援192サロン	5月～2月	8回	子育て	家庭教育	201人	【事業内容】 子育て中の親同士の交流の場の提供、子育てのヒントとなる講座、行政情報の提供などを行った。 【ねらい】 地域の中で、子育て家庭同士がつながり必要な情報を得ることが出来る支援を行う。	【組織構成】 民生児童委員協議会・食生活改善推進協議会・健康づくり推進委員会・福祉ひろば 【協力】 つどいの広場 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 一部新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。コロナ対策しながら寿児童センターと協力・情報を共有して集客、内容の充実を図れた。 【今後の方針】 引き続きコロナ感染対策を行った上で、ビデオ配信も利用した講座を計画していきたい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
寿古文書基礎講座	6月～3月	10回	地域文化	成人	76人	【事業内容】 歴史講座のひとつとして、古文書の読み方を学ぶ。今年度のテーマは寿の幕末の出来事を読み解く。 【ねらい】 古文書の読解を通じて、歴史文化、教養の向上を図る。	【主催】 寿史談会、寿公民館 【準備過程】 公民館で実施	【評価と反省】 一部は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。最終回で修業式を実施し、修業証書の授与や記念品を用意することでモチベーションの向上を図った。 【今後の方針】 根強いリピーターがいるため次年度も継続し、内容について検討して新規参入を図りたい。	
ウォーキング講座	6月9日 6月16日 6月28日 9月1日 9月16日 9月29日	4回	スポーツ	成人	25人	【事業内容】 正しい準備運動や歩き方を学び、寿地区内をウォーキングする。 【ねらい】 運動することで健康増進と住民同士の親睦を深める。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 一部中止となったが、新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	
松本歳時記	7月14日 9月14日 11月10日	3回	地域文化	成人	80人	【事業内容】 松本地方に伝わる行事の姿や由来、四季折々に伝承されている行事の内容について学ぶ。 【ねらい】 地域行事、伝統について学び、伝統の継承を促す。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら地区住民に松本の伝統について学んでもらえた。 【今後の方針】 次年度も引き続き計画し、開催したい。	
地元サポーター養成講座	9月24日 10月22日 11月26日 12月24日	4回	福祉健康	成人	240人	【事業内容】 ボランティアや高齢者との交流などについて学ぶ。 【ねらい】 ボランティアについて学んで関心を高めていただき、寿の地元サポーター（ボランティア）として今後活動していただく。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 ボランティア活動について関心を持っていただき、寿地区の有償ボランティアサービス事業の協力会員の増加につながられた。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催し、地元で活躍するボランティアを増やしていきたい。	
公民館報の発行	隔月	6回	その他	その他	84人	【事業内容】 地区内の情報や、公民館の活動報告などの発信。 【ねらい】 館報による情報発信を通じて、地区内の情報を多くの人に周知する。	【主体組織】 館報編集委員会 【準備過程】 館報編集委員会で企画会議及び編集会議を実施	【評価と反省】 会議では内容について委員から意見が集まり、計画通り円滑に運営することができた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルス感染対策を徹底して開催したい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
寿小学校にこにこルーム応援隊	通年	12回	その他	その他	1,445人	【事業内容】 寿小学校の教室をにこにこルームと名付け、2時間目の休み時間に児童と地域住民の昔遊びを通じた交流を実施。 【ねらい】 寿小学校内に当たり前のように地域住民が出入りしているような、地域に開かれた学校づくりを目指す。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と企画、調整、実施	【評価と課題】 新型コロナウイルス対策を行いながらにこにこルームを開催し、地域住民と児童が交流をすることができた。 【今後の方針】 学校と連携し、十分にコロナ対策を行った上で工夫しながらにこにこルームを行いたい。	○
学校応援団事業	通年	25回	地域事業(その他)	その他	1,721人	【事業内容】 地域と学校が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組む事業。公共施設見学、歴史学習、ミシン学習、田植え体験、農業体験など。 【ねらい】 地域の伝統、歴史、くらしを子どもたちに伝える。またそこに関わる人たちの生きがいづくり、生涯学習の成果を発揮する場としての側面も持つ。	【組織】 寿地区学校応援団 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして学校の要望を集約し地域住民との調整を実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった事業もあったが、小学生たちとさまざまな年代の地域ボランティアが交流でき、地域の伝統や学びを教える場となった。 【今後の方針】 引き続き関係団体から意見及び要望を聞き連携をとって、感染対策を行いながら地域住民と子どもが交流できる場づくりをしていきたい。	○
CSふたむら「筑中応援団」	通年	85	地域事業(その他)	青少年	2,742人	【事業内容】 地域住民の方をお呼びして農業体験、絵本の読み聞かせ、放課後学習等を実施した。 【ねらい】 生徒の学力向上につなげる他、地域住民との世代間交流を深める。	【組織】 CSふたむら運営委員会 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施	【評価と反省】 一部の事業が中止となったが、コロナ対策を行いながら開催することができた。 【今後の方針】 引き続き中学校と相談しながら、地域住民と生徒が交流できる場づくりをしていきたい。	○
CSふたむら(中学生による地域事業への参加)	通年	1回	地域事業(その他)	青少年	2人	【事業内容】 中学生に地区・町会・福祉施設行事(ウォーキング大会、運動会、文化祭など)ハススタッフとして参加をしてもらう。 【ねらい】 地域行事への参加や地区住民との交流を通じて、学校の中だけでは学ぶことの出来ない社会教育を地域、学校が連携のもと推進する。	【組織】 CSふたむら運営委員会 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの事業が中止になった。 【今後の方針】 内容を工夫しながら事業を開催し、コロナ対策をした上でふたむらに協力いただきたい。	○
公民館開放(夏・冬・春)	通年	34回	地域事業(その他)	青少年	120人	【事業内容】 筑摩野中学校生徒が学習をするために寿公民館の会議室を提供した。 【ねらい】 Wifi環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【組織】 CSふたむら運営委員会 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、生徒の学習する場を提供できた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	○

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
寿地区ソフトバレーボールリーグ	通年	42回	スポーツ	成人	600人	【事業内容】 寿地区内の8チーム対抗のソフトバレーボールリーグ戦や練習を実施。 【ねらい】 ソフトバレーボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【主催】 寿公民館 【運営】 寿地区ソフトバレーボールリーグ理事会 【準備過程】 上記理事会在が企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら自主練習を行った。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	
公民館図書コーナーの運営	通年	13回	その他	成人	12人	【事業内容】 図書委員会主体による寿公民館図書コーナーを運営し、図書委員会によるコーナーの定期清掃、図書入れ替え作業を実施。 【ねらい】 地域住民に図書を身近に感じてもらう。	【主体組織】 図書委員会 【準備過程】 図書委員で月1回掃除 図書委員で年2回図書入替	【評価と反省】 図書の入れ替えを行い、運営する図書委員にも図書に対する関心を深めてもらった。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	
地区行事写真展示	通年	中止	その他	その他	0人	【事業内容】 地区行事（体育行事や文化祭など）写真の公民館ロビー展示及び販売を実施。 【ねらい】 地区住民が多く出入りするロビーに写真を掲示することで、地区事業を知ってもらう機会とする。	【主体組織】 視聴覚委員会 【準備過程】 視聴覚委員会が展示及び写真の入れ替えを実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業が中止となった。 【今後の方針】 公民館利用者が多く見る場であるため、地区主要事業に拘らず、写真等が展示できるよう検討したい。	
五部門委員会	通年	23回	公民館委員会・各種会議等	成人	247人	【事業内容】 文化企画、館報編集、図書、視聴覚、体育委員会の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営を行う。 【ねらい】 公民館事業への主体的参加及び意識付けをはかる。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大のため活動は制限されてしまったが、感染対策をして、内容を工夫した上で開催ができた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	
寿史談会及び視察研修	通年	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 地区内有志により地区の歴史・文化の保存・活用をはかる団体として活動し定例会と2回の視察研修を実施。 【ねらい】 寿地区における歴史文化の活用や保存について考える機会とする。	【主催】 寿史談会 【準備過程】 公民館事務局となり会議の実施及び視察研修の企画	【評価と反省】 視察研修は全て、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	

令和3年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
寿ペンギンの会	通年	4回	子育て	家庭教育	11人	<p>【事業内容】 託児ボランティア組織寿ペンギンの会による192サロン、PTA作業、保育園事業、小学校事業における託児活動を実施。 【ねらい】 託児を通じた子育て支援及びボランティアの生きがいづくりを図る。</p>	<p>【実施組織】 寿ペンギンの会 【準備過程】 公民館が事務局として託児調整及び連絡を行い寿ペンギンの会が実施</p>	<p>【評価と反省】 今年度の実地は限られてしまったが、ボランティアの方々と地域住民の親子が触れ合う貴重な機会となった。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの状況を確認しながら依頼に応じて託児活動を行いたい。</p>	

令和3年度 事業報告の概要

寿台公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も引き続きコロナ禍で中止となった事業が多くあったが、住民の外出・運動機会を少しでも多く確保するため、撮影会や視察研修、ウォーキングイベント等の事業は特に対策を徹底して実施した。今後も状況に応じた取り組みを行っていききたい。 ・少子高齢化が進む中、特に地区行事の運営が困難な状況において、今年度も中学生の主体的な参加・協力により、スムーズな運営を行うことが出来た。 										<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も中学生が積極的に運動会や文化祭などの地区行事に参加・協力してくれた。若い力が地区の活性化において欠かせない力となっていることを互いに再認識することができた。感染症の影響により、以前は定番となっていた地域住民と中学生の交流会が実施できていないため、行事当日以外にも交流できる場を設けていきたい。 ・引き続き町会連合会をはじめとする地域関係団体と連携を密に取り、積極的に事業を行っていききたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	3	7	4	0	2	4	0	1	5	2	0	7	7
延べ 参加人数	52	17	105	335	0	7	110	0	0	164	372	0	452	756

令和3年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
上高地ウォーキング講座	5月26日	1回	福祉健康	高齢者	17人	高齢で普段遠出できない方を対象に、上高地での自然観察およびウォーキング講座を実施し、健康意識を高めると共に、参加者同士の交流を深める。【環境】		トレッキングをしながら上高地の自然環境について学ぶことができた。また、高齢で普段遠出の出来ない方々に非常に喜ばれ、参加者同士の親睦が図られた。	
第48回寿台町会連合球技大会	5月30日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	球技・軽スポーツを通して、スポーツ振興、住民相互の親睦と結束をはかる。	寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
寿台地区人権啓発推進協議会総会・学習会	5月7日	1回	人権平和	成人	24人	人権啓発推進協議会総会において、近隣地区交番の所長を講師に学習会「特殊詐欺を防ぐには」を開催。	寿台地区人権啓発推進協議会	誰もが安心して暮らせる地域の実現に向け、継続していきたい。	
学校サポート事業 明善小学校川遊び支援	6月29日	中止	子育て	青少年	0人	明善小学校課外授業支援として、1・2年生の川遊び引率支援と授業中の児童みまもり支援	明善小学校	前日の雨により、川が増水し中止。	○
夏休みスペシャルおはなし会		中止	子育て	青少年	0人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、大型紙芝居等によるおはなし会を開催。また、寿台地区食生活改善推進協議会の皆さんから、家庭で親子が一緒に作れるおやつ作りとして、七夕の郷土料理である「ほうとう」作りを学び、親子で楽しみながら食生活の改善についても、触れてもらう機会とする。	寿台図書館	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
夏休み親子教室 「植物のお手紙を作ろう！」	8月8日	1回	子育て	その他	10人	少子化により夏休み中の町会の子ども行事が少なくなっているため、親子で共同作業ができる場とする。また、デジタル化社会の中であるからこそ、手書きの手紙の良さを感じてもらおう機会とする。	寿台図書館	公民館敷地内で植物を採取し、子どもの創造性豊かな手紙が作られた。アイロンを使用する作業は親が中心となっていたが、時間がかかり子どもに空き時間ができてしまったため改善を図りたい。	
第46回東南ブロック球技大会	8月29日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
第3回 寿台秋の体育祭	9月26日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	運動会を通して、楽しく地区住民同士の親睦をはかる。	寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	

令和3年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第64回松本市市民体育大会秋季大会	10月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	22人	スポーツ大会への参加を通し、スポーツ振興・健康寿命の延伸につなげると共に、住民同士の親睦と結束をはかる。	寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	選手の人数が揃わず、一部種目が出場できなかった。多くの種目に参加できるように、通年を通して若い世代を取り込む工夫等を考えたい。	
寿台秋のウォーキングクイズラリー	11月6日 11月7日	1回	地域事業 (体育)	成人	142人	新型コロナウイルス感染症により外出・運動の機会が減少したことから、密にならず楽しく運動する機会とする。	寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	時間・スタート場所を自由にしたことで、昨年より多くの方にご参加いただけた。継続してほしいとの要望も多いため、コースやクイズについて改善しながら来年度も実施したい。	
マレットゴルフ交流会	11月	中止	スポーツ	成人	0人	6地区合同でマレットゴルフ大会を開催し、他地区との交流を深める。	寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
第45回寿台文化祭	10月25日	1回	地域事業 (文化)	成人	372人	地域で文化活動を行っている団体・個人の発表の場、住民相互の親睦をはかる場とする。	寿台町会連合会・寿台文化祭実行委員会	参加者が多く、寿台地区の大きな行事として根付いている。昨年に引き続き感染症対策のため規模を縮小しての開催となったが、中学生の手伝いによって検温・消毒等を徹底して開催することができた。今後も、内容を精査しながら継続実施していきたい。	○
人権啓発先進地視察研修（小布施町）	11月24日	1回	人権平和	成人	28人	厳しい身分制度や部落差別があった江戸時代を生き抜き、世界の芸術家に影響を与えた葛飾北斎の生涯と苦悩を学ぶことで、地域住民の人権意識の向上を図る。	寿台地区人権啓発推進協議会	人権は多岐にわたる問題なので、継続して取り組みたい。	
学校サポート事業 音の花束コンサート	11月26日	1回	地域文化	青少年	300人	地区の様々な行事に協力してくれた明善中学校の生徒の皆さんに、音楽を通じて感謝の気持ちをお伝えすると共に、普段学校ではあまり触れる機会がないプロの演奏や話しにふれてもらう機会とする。また、例年地域住民の方々も生徒の皆さんと一緒に時間を共有していたが、今年度は感染症対策のため、来場者の募集は行わなかった。 フルート：丸山 貴菜 ピアノ：井垣 里沙	内田公民館・松原地区公民館	明善学区3地区公民館共催事業として、今後も継続実施していきたい。	○
工作講座「多肉植物の寄せ植え作り」	11月30日	1回	趣味教養	成人	7人	コロナ禍でも楽しめる趣味として人気のある多肉植物について学ぶ機会とする。	寿台図書館	参加者も自分好みの寄せ植えが作れるとあって、とても楽しまれていた。普段公民館を利用しない方も参加され、公民館事業に親しみを持っていただいた。	

令和3年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
クリスマス スペシャルおはなし会	12月11日	中止	子育て	青少年	0人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、大型紙芝居等によるおはなし会を開催。	寿台図書館	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
正月飾り作り講座	12月27日	1回	地域文化	成人	7人	しめ縄飾りの作り方を学ぶことで、伝統文化の継承を図る。		親子の参加もあり、楽しんで作業が出来る機会となった。地区外からの参加もあり、伝統文化に触れる良い機会となった。	
まゆ玉を作ろう！	1月8日	1回	地域文化	成人	28人	松本の民俗行事である三九郎で自分の作ったまゆだまを焼いて食べられる機会を設ける。親子で一緒に作り、未経験の保護者にも作り方を学んでもらい、食文化の伝承を図る。	寿台地区食生活改善推進協議会	今年度は生地作りから参加してもらったが、予定よりも大幅に時間がかかってしまったため、来年度は作業内容を再度検討していきたい。	
人権啓発研修会	1月16日	中止	人権平和	成人	0人	寿台町会連合会役員研修を兼ねて「新春落語会」を開催。	寿台地区人権啓発推進協議会・寿台町会連合会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
はじめてのスマホ体験講座	2月7日	中止	その他	高齢者	0人	スマホを持っていない人を対象に使い方を学び、デジタルデバイドの解消を図る。 講師：ソフトバンク（株）スマホアドバイザー		新型コロナウイルス感染症対策のため延期となったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
やしょうまを作ろう！	2月14日	中止	地域文化	成人	0人	郷土料理の「やしょうま」を講師である食改さんが、若い世代に食の伝統を伝える機会とする。	寿台地区食生活改善推進協議会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
福祉講座 地域包括ケア会議	2月	中止	福祉健康	高齢者	0人	寿台の高齢化率は市内でも5番目に高い地区であり、老々世帯や独居老人も多いことから、高齢者が必要な知識・情報を総合的に学ぶことを目的とする。	寿台地区福祉協議会・寿台地区健康づくり推進委員会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
学校サポート事業 寿台みまもり隊2021	通年		子育て	成人	41人	学校サポート事業として、子ども見守り隊（寿台みまもり隊）による見守り活動を実施。	寿台地区子どもを守る連絡協議会	「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、来年度以降も継続していきたい。少子高齢化による子どもの減少と、子どもをみまもる隊員の高齢化が進んでいる。	
子どもテニス教室	4月～10月	中止	スポーツ	青少年	0人	寿台テニスクラブ会員の指導による教室。	寿台スポーツ協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
デジタル講座・中級編	4月～3月	8回	趣味教養	成人	80人	デジカメで撮った写真をそのまま保存しておくのではなく、パソコンを使って補正に挑戦する。また動画撮影機能を用いて動画の撮影・編集を行う。		新型コロナウイルス感染症対策のため12回中3回、天候不良により1回中止。撮影会2回、座学6回開催。来年度も継続して開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
学校サポート事業 明善小学校クラブ活動 支援	5月～ 8月	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	学校サポート事業として、小学校から依頼のあったクラブの支援を地域住民が行い、生徒と地域の交流を図る。【地域事業(スポーツ)】		来年度も学校から依頼があれば対応したい。	○
地域づくり担当職員会議	5月～12月	6回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	60人	地域づくり推進にむけて、関係行政機関職員による課題共有、課題把握を目的に毎月1回開催。(行事等により、不開催月あり)	地域づくりセンター・公民館・福祉ひろば・健康づくり課・包括支援センター・社会福祉協議会・児童館	「地域づくりセンター」を中心に、地域づくりの一環として引き続き関係職員との会議を継続していきたい。	
双葉会軽スポーツ大会	6月2日 11月2日	2回	スポーツ	高齢者	50人	例年高齢者の健康増進のためニュースポーツなどを楽しむ集い。感染症対策のため体力測定及び保健師による講話のみ実施。	寿台高齢者クラブ連合会双葉会・寿台地区福祉ひろば・体力づくりサポーター	感染症対策のため体力測定及び保健師による講話のみ実施した。高齢者クラブの大きな事業となっており、今後も継続実施していきたい。	
フットサル講座	6月～3月	6回	スポーツ	成人	60人	【事業内容】 若い社会人を対象としたフットサル講座。 【ねらい】 公民館事業として高齢者向けの健康教室等はあるが、20代～30代の若い社会人向けの教室等が少ないため、フットサル講座を通して、若い世代にも親しまれる公民館づくりを目指す。また、スポーツを通じて地域間交流を深めてもらう場とする。	【準備過程】 寿台地区での募集回覧及び共催他地区でのチラシ設置。 【共催団体】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	新型コロナウイルス感染症対策のため、10回中6回中止。普段は仕事等で公民館に来る機会が少ない、公民館への関心も比較的薄いとされる若い世代の方々に、公民館事業を身近に感じていただくことが出来た。また、フットサルを通じて参加者同士の地区を越えた交流の場となった。	
男子の厨房・楽しく！	6月～ 11月	中止	福祉健康	高齢者	0人	高齢化に伴い、老々世帯や独居老人が多い寿台地区において、男性も食の自立をと、楽しく料理を学ぶ。	寿台地区食生活改善推進協議会・寿台地区福祉協議会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
学校サポート事業 中学生への学習スペース 開放	7月～ 8月	18回	子育て	青少年	27人	寿台図書館には学習スペースが無い ため、夏休み期間中、中学生に集中して勉強できる場を提供。		新型コロナウイルス感染症対策のため、席数を減らして実施した。今後も継続していきたい。	○
明善中学校地域交流・ ボランティア	通年	3回	子育て	青少年	27人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。		新型コロナウイルス感染症対策のため、5回中2回中止。夏祭り、文化祭、三九郎にボランティアとして参加してもらい、行事運営に大きく貢献していただいた。また、地域住民からは中学生の働きぶりに関心の声が多く寄せられた。	○
松本版信州型コミュニ ティースクール運営委 員会	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	30人	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進のため、学校と地域が連携をし、子どもを支える。	明善小・明善中・学区内3地区(町会連合会・子ども会育成会・地域づくりセンター・公民館)・関係団体	小学校の運営委員会は新型コロナウイルス感染症対策のため2回中1回中止。中学校の運営委員会は規模を縮小して実施。	○
運営委員会	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	34人	公民館の事業計画案の検討・活動への提言など。		ご提言・助言をいただきながら、公民館事業に活かしていきたい。	

令和3年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	その他	74人	松本市公民館報(寿台版)の編集・発行。		委員は町内公民館長を兼務しているため、毎月町内公民館長会を兼ねて開催している。新型コロナウイルス感染症対策のため、10回中2回は書面開催。	
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	4人	公民館の図書視聴覚事業への提言、図書リサイクル作業、おはなし会スペシャルの企画運営。館報への写真素材提供。		今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が中止となり会議数が少なかったが、来年度は実施できるよう内容を調整していきたい。	
文化委員会 (文化祭実行委員会)	通年	11回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	寿台文化祭の企画・運営。		高齢化により昨年度より組織を効率化し、少人数での文化祭企画検討委員会を開催することで、各文化部長の負担を軽減することが出来た。また、文化祭の運営以外の文化活動について、今後検討していきたい。	
体育委員会 (寿台スポーツ協会役員会)	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	130人	町会連合球技大会、体育祭等の企画・運営。		高齢化が進んでいるので、各大会での種目等の見直しを検討していきたい。	
町会連合会支援	通年					・地域づくり推進にむけての支援 ・町会連合会理事会への出席		「地域づくりセンター」と連携し取り組んでいきたい。	
町内公民館支援	通年					各町会の公民館活動の活発化をはかる。		毎月館報編集委員会を兼ねて開催している会議の中で、お互いの町会の様子を情報交換し、いい刺激となっている様子である。	
寿台地区人権啓発推進協議会支援	通年					事務局担当			
寿台地区食生活改善推進協議会支援	通年					活動の活性化を図る。			
その他、諸団体との連携による活動支援	通年					双葉会、子ども会育成会、児童館など。			
サークル活動支援	通年					サークル活動活性化に向けた支援。公民館利用サークルに館の適正利用の周知徹底をはかる。2月利用者懇談会の実施、要望に対する速やかな対応。		利用者懇談会は新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催とした。サークル活動内容および、会員募集を、公民館だよりに掲載。また、サークル会員募集冊子を作成した。	
広報活動	通年					「寿台公民館だより」の発行(毎月1回地区内回覧と窓口配布) 「今月の寿台公民館」コーナー設置 地区福祉ひろば・寿台ふれあいセンターへの事業周知ポスター掲示			

令和3年度 事業報告の概要

松原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>【方針】 松原地区の生涯学習の拠点として、住民要求や地域課題をテーマとし、満足度の高い学習活動を地区の町会連合会、福祉ひろば、地域づくりセンターなどの団体と連携して行う。さらにサークルおよび町会活動が地域づくりに直接的または間接的に寄与できるように支援する。</p> <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <p>① 共に学ぶことから、思いやりの輪を広げる ② 生きる力となる学びや、遊びを提供する ③ 学習成果の発表機会提供と地域人材の発掘 ④ 町内公民館活動の支援 ⑤ 子育ておよびコミュニティスクール事業の充実 ⑥ オンラインコミュニケーションの可能性追求</p>										<p>今年度もコロナ禍で活動に制約がある1年だったが、その中で出来ることや新しい事業にも取り組むことができた。</p> <p>昨年度中止した文化祭は、規模を縮小しながらも開催することができた。作品展示や事前録画したステージ発表など、ささやかながらも参加者・出展者から好評だった。</p> <p>今年度は各町会の町内公民館活動が全て実施できない状況であった。感染拡大防止の観点から無理な活動を強いることはできないが、来年度に向けて対策を講じた上で出来る活動の提案などをしていきたい。</p> <p>引き続き力を入れている子育て事業については、コロナ禍で学校行事が減ったり行動に制限の多い子どもたちに感染症対策を講じた上で非日常を味わえるような体験活動を多く実施することができた。</p> <p>来年度も引き続き制約の多い中での事業実施となるが、その時々々の感染状況を考慮しつつ臨機応変に講座を実施していきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	5	10	0	3	13	1	3	2	1	2	0	1	15
延べ 参加人数	13	1168	525	0	45	293	14	21	43	35	114	0	143	363

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
仕上りをイメージしてシャッターを切ろう！-カメラマンから学ぶ写真撮影- (春・秋)	春5回 秋6回	11回	趣味教養	成人	110人	デジカメ操作の基本、写真の撮り方等を学ぶとともに、現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う目的で実施。文化祭に向けた作品を制作。 また、現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う。	住民の要望により引き続き実施。 【講師】 En 1.2.3 (エンカウト) 市川 まど香	長年務めていただいた講師が今年度をもって退任され、新しい講師を迎えての講座となった。 2分割構図や日の丸構図など、撮影するに当たってのポイントを解説してもらった。また、撮影会後の座学ではそれぞれの作品を発表し合い、作品がより良くなるアドバイスをもらったりと、参加者にも刺激となった。 今年度は文化祭での作品展示をすることができ、参加者のモチベーションに繋がった。 参加者からのニーズもあるため、継続して実施したい。	
池田クラフトパークを歩こう！	4月22日 4月28日	2回	福祉健康	成人	22人	Covid19対応での運動不足を地域の仲間とウォーキングすることで解消する。	【共催】 松原地区福祉ひろば	新型コロナウイルス感染症対策として、日にちを2日分確保し人数を分散しながらウォーキングを行った。 桜や新緑を眺めながらウォーキングをすることでコロナ禍の鬱々とした気分を解消することができた。	
畑プロジェクト 夏野菜の苗を植えよう！	5月2日	1回	趣味教養	その他	9人	公民館の畑を活用して、日常生活では体験できない野菜の栽培体験を行う。		昨年度の収穫祭の参加者を中心に、少ないながらもメンバーが集まった。 近隣のお店に歩いて向かい、自分たちで苗を選ぶところから始めた。野菜栽培の本の目利きのポイントを確認しながら主体的に買い物することができた。 地区内の障害者施設の利用者も一緒に苗植え体験をすることができ、普段関わらない人たちとの交流の機会となった。	○
防災視察研修 被害を最小限に食い止めるには！	5月10日	1回	防災	成人	8人	令和3年度の防災・防犯部会のメンバーを対象に疑似地震体験と救助法等を学ぶ。 山梨県立防災安全センター、甲府地方気象台の施設見学その他、気象業務や防災情報について専門家から学ぶ。	【共催】 松原地区防災防犯部	気象台では5月20日から改定される避難指示の考え方や気象庁の災害情報提供システムのキック等の最新情報を得た。防災安全センターでは、隊員の体験談の他、地震体験装置や煙体験などでの講義を受け、現実的な災害対策の必要性を共有できた。	

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
体験！背骨コンディショニング	5月20日 5月28日 6月10日 6月18日	4回	福祉健康	成人	21人	身体の不調をストレッチを通して自分で治す方法を知ること、地区住民の健康を増進するきっかけとする。 2回連続講座として実施し、講師の指導のもと、「背骨コンディショニング」を勉強する。1回目を腰痛改善、2回目を肩こり改善として実施する。	【講師】 加藤 百合子	講師からの持ち込みの企画として実施した。ヨガやピラティスといった健康増進のためのメソッドのひとつとして地区住民に提案し、体験してもらう機会とした。 講座終了後は2グループサークル化し、継続して健康増進に励んでいる。	
歩いてめぐる学都松本の近代史（明治・大正）	6月4日	1回	趣味教養	成人	8人	資料館として保存されている開智学校、山辺学校を学芸員と共に歩いて訪れ、明治・大正期の教育史を学ぶ。	【講師】 旧開智学校 学芸員 遠藤正隆	各訪問先への移動は残念ながら雨天のためバスで行った。各施設の学芸員の解説には、今回の目的に合わせた創意と工夫があり、松本町と山辺村の学校に対する考え方や取り組み方の違い、さらに現在の小学校の授業内容の違いなどを体験して学ぶことが出来た。	
教えて！スマホの使い方	6月15日 8月3日 8月6日 12月3日 12月10日 12月17日 1月17日	7回	趣味教養	成人	18人	スマホの悩みを抱えている地区住民を対象に、スマホの相談会を開催する。 デジタルデバイドの解消を目的とする。	【講師】 公民館主事	スマホの悩みを抱える地区住民向けに開催したが、多岐にわたる質問が寄せられ一定のニーズを得ていることが分かった。 新型コロナの感染拡大期中に中止したこともあったが、今後も継続して実施していきたい。また、松本市のDX推進本部が進めている支援員の育成も活用し、公民館主事以外の人材の確保も検討したい。	
天竜峡ウォーキング	6月22日 11月23日	2回	福祉健康	その他	26人	Covid19対応での運動不足を地域の仲間とウォーキングすることで解消する。 開催日を平日と週末の2日設定する。それにより、人員集中を回避し、平日参加が難しい住民の参加を可能にする。		6月に2回実施予定だったが、荒天のため1日程を延期した。 距離の違う2つのコースを用意し、参加者のレベルに合わせてウォーキングをすることができた。 休日開催にしたことで普段公民館講座に参加されない方や小学生が数名参加してくれた。市のバス予約の都合上、来年度以降休日の開催とすることは難しいが、様々なニーズにこたえられるような事業計画を立てたい。	
ホタル学習観察会	6月25日	1回	環境	その他	30人	研究者からホタルや生息環境について講義を受け、隣接する内田地区の塩沢川でホタル観察を行なう。	【共催】 内田公民館 【講師】 藤山 静雄	住宅地である地区内にはない自然環境について学習する機会となっている。 また夜間に観察するため、学校教育の中での実現は難しいことから、今後も公民館事業として開催していきたい。	○

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
東京オリンピックを 110倍楽しむ方法	7月9日	1回	スポーツ	その他	14人	オリンピック参加者と地区内の薬剤師をゲストスピーカーとして招き、参加体験談やドーピングのお話しをしてもらう。	【共催】 シドニーオリンピックMTBクロスカントリー日本代表／東京五輪MTB日本代表監督／鈴木 雷太 スポーツファーマシスト（アンチ・ドーピング薬剤師） 平林薬局 平林 弘幸	あまり馴染みのないMTB競技について写真や動画を交えた解説を受け、メジャーでないスポーツでも真剣に取り組んでいる選手の実態を知ることが出来、オリンピックへの関心を一層高めることが出来た。また、オリンピックで使用したMTBの実車を持ち込んでいただいたことで、参加した自転車者愛好家達の興味を十分満たすことが出来た。	
夏休み小学生自然体験会	7月31日	1回	環境	青少年	15人	夏休みの小学生を対象に、市内の公共施設を使用した自然学習を開催し、市内であっても馴染みのない奈川地区を訪れ親しむとともに、松原地区内では体験することの難しい自然体験をする機会を創出するもの。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 寿さと山クラブ	奈川の高ソメキャンプ場を訪れ、自然観察、釣り体験、山遊びを行った。参加児童の満足度は非常に高く、自然体験のニーズが高かったことが分かった。来年度も継続して実施したい。参加人数に対するスタッフの人数が不足していたため、地区住民のボランティア等の協力を得ながら運営したい。	○
夏休みこども学習室	7月26日 ～ 8月20日	17回	子育て	青少年	215人	夏休み期間の子どもの居場所づくりとするため。また、普段公民館を利用しない子どもに公民館を身近に感じてもらい、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとするため。	R1年度より新規事業。	今年度も学習だけでなく遊びの場としても利用されており、夏休みの子どもたちの居場所づくりとして貢献できた。普段公民館に来ない子どもが友達に誘われて来ることもあり、使い方やマナーの徹底が難しかった。守ってほしいことを明確にしてあらかじめ伝えられるようにしたい。	○
収穫祭～夏～ みんなでバッククッキング！	8月4日	1回	子育て	青少年	16人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。収穫後の野菜を使ってバッククッキング（ビニール袋に材料を入れて湯せんで加熱処理する調理法）を行い、災害時の調理方法を学習する。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 食生活改善推進委員協議会	集まった子どもたちはボランティアの地区住民の助けを受けながら協力して収穫作業ができた。食生活改善推進委員協議会のメンバーの教えを受けながら、バッククッキングで調理した。野菜嫌いの子どもが残さず全部食べられるなど、調理の楽しさや食材を大事にする心を養うことができた。	○
上高地さんぽ	8月10日	1回	環境	青少年		夏休みの小学生を対象に、「特別名勝」と「特別天然記念物」に指定されている上高地で松原地区内では体験することの難しい自然体験の機会を創出するもの。	【共催】 松原地区町会連合会	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	○

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第2ふれあい健康教室 ～焼きそば作り&世代 間交流ミニ夏祭り～	8月18日	1回	福祉健康	その他		世代間交流の場の創出として、高齢者向け福祉ひろば事業の「第2ふれあい健康教室」とコラボし、ミニ夏祭りを行う。	【共催】 松原地区福祉ひろば	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	○
時計台コンサート／第 8回「お出かけオルガ ン」	9月25日	1回	趣味教養	その他	18人	美しい音楽をライブで体験し、感動を地区住民で共有する。特に、パイプオルガンは特殊な楽器であり、それを直接見聞かせる機会を提供する。	【主催】 松本市音楽文化ホール、松原モ－ ルぷろじえくと	演奏の合間でパイプオルガンの内部構造や仕掛けを、実物を見せながら解説してもらい、演奏以外でも楽しむことが出来た。コロナ感染症対策で、参加定員を絞って実施したが、今後も工夫しながらコンサートを実施していきたい。	
ミニつぐら作り講座	10月 4日 10月11日 10月18日 10月25日	4回	趣味教養	成人	22人	長野県北部の工芸品である「つぐら」作りを通して、県内の伝統文化について学ぶ。 手仕事で物を作ることで、文化祭への作品出展のきっかけとする。	【講師】 洞澤 典子	文化祭への出展作品の一つとするため、中山地区で活動している松本つぐら同好会の会員を講師に講座を実施した。 元々工芸に親しんでいる参加者が多かったため、早い段階で完成させて2個目、3個目の作品を作る人もいた。物づくりの講座は一定のニーズがあるため、ひろばとの共催などの手法を検討しながら今後も企画していきたい。	
絵画講座① 作者のメッセージを読み 取り取る～いい絵を見 分ける方法とは～	10月22日	1回	趣味教養	成人	14人	絵画鑑賞のポイントについて専門の学芸員から話を聞く。個人での絵画鑑賞やグループでの鑑賞時の、より深い楽しみ方を学ぶ。	【講師】 梅野記念絵画館 館長 大竹 永 明	教科書的な絵画理論ではなく、作家の生い立ちや芸術感から作品を自分なりに評価する手法を教わった。それは、美術館学芸員として実践しながら培ったものとのこと。参加者たちにとっては新しい視点での鑑賞法であり、とても興味深く聴講することが出来た。	
レッツ手づくり ハー バリウムをつくろう！	10月23日	1回	子育て	その他	17人	ハーバリウムづくりを通して、こどもの手づくり体験機会を創出する。また、文化祭への作品出展のきっかけとする。	【講師】 酒井 紀子	子どもや親子を対象としてハーバリウム製作を行った。 参加者同士和気あいあい製作する姿が見られた。 小1から中3までの幅広い児童生徒が参加してくれた。参加者は女子のみとなっていたため、男女の垣根なく参加してもらえるような講座を企画したい。	○

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化祭	10月29日 10月30日	1回	地域事業 (文化)	その他	93人	地区の日頃の文化活動・学習活動の成果の発表機会とする。また、成果の発表を通して今後の交流・コミュニケーションのきっかけとする。	【共催】 松原地区町会連合会	新型コロナ対策として、ステージ発表は事前録画したものを放映とした。また、展示作品をホームページにアップすることで現地に来られない人にも作品を見てもらう機会を作ることができた。展示作品は従来よりも多くの作品を集めることができ、ステイホーム期間の地区住民の創作活動をうかがい知ることができた。	
時計台コンサート 伊藤ひよりさん弾き語りライブ	10月30日	1回	趣味教養	その他	17人	地区の人達に対してLGBTQに関する知識や理解を深めてもらう。その手段として、講義的な講座ではなく、実際の当事者である歌手の苦悩や生き様を、本人の歌を通じて感じ取ってもらう。	【主催】 松原モールぷろじえくと 【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	どの程度、目的とすることが達成できたかは確認できないが、不定期でよいので継続的な情報発信や課題提起を行っていく。	
収穫祭～秋～ 芋ようかんづくり	11月3日	1回	子育て	青少年	11人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。収穫後のさつまいもを使って芋ようかんを作る。	【共催】 松原地区町会連合会 【協力】 松原地区住民	サツマイモを収穫して芋ようかんを作った。地区住民にもご協力いただき、収穫作業や調理の補助してもらった。初めて参加してくれた子どももあり、それぞれの子どもの特性に合わせた指導や声かけの必要性を感じた。	○
防災・地学研修フオッサマグナミュージアム訪問	11月8日	1回	防災	成人	13人	フオッサマグナミュージアムを訪問し、地球上の大陸や日本列島の成り立ちや動きを学び、大地が動いていることを再確認する。 (副次効果として、参加者の防災意識の向上を図る。)	【共催】 松原地区防災防犯部	地球上の大陸は常に動いており、特に日本列島の動きは顕著であり、火山活動も活発であり、それに対する備えが必須であることを理解してもらえた。今後は、自分たちの地域の防災と災害対応のシステム作りにはドライブを掛けていきたい。	
絵画講座② アートレクチャー学芸講座「池上百竹亭コレクションのはなし」	11月12日	1回	趣味教養	成人	13人	休館中の松本市美術館の収蔵品である「池上百竹亭コレクション」について学芸員から学ぶ。身近な美術館について学ぶことで、教養をより深めるきっかけとする。	【共催】 松本市美術館	池上喜作は、美術館を作るために正岡子規などの近代文芸資料を収集したのではなく、作家や作品への思い入れが、収集という行為になった。コレクションがどの様に収集され、美術館収蔵品としてどう位置づけられたかを理解することで、今までとは違った思いで作品を鑑賞する心眼を得ることが出来た。	

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権講座 領民の命を選択した女城主岩村城址を訪ねて～	11月29日	1回	人権平和	成人	13人	岩村城址と城下町を訪問し、女城主の生きざまの軌跡をたどるとともに、街の人たちが今も大切にしている、おつやの方の思いに触れる。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	戦国時代の女性に対する差別的な扱いにさらされながらも、夫や家臣、領民を守り抜こうとした”おつたの方”の逞しい生き方を学んだ。また、戦国大名やそれを取り巻く武将達の振舞いから、人類の持つ負のさを感じる事が出来た。	
第7回ニュースポーツ体験会	11月28日	1回	地域事業 (体育)	その他	35人	ゲーム感覚の軽スポーツを通じた健康づくり、さらに、参加者間の交流と絆づくりや健康状態の確認と記録の機会とする。	【共催】 松原地区体育協会	令和2年度は実施できなかったニュースポーツ体験会を感染症対策を講じながら実施した。 体育委員会の委員の中でも行事の開催の是非について考え方の違いがあり、例年以上に多くの議論を交わすこととなった。 参加人数は例年よりも少なかったが、参加された方々は役員も含め大いに楽しんでくれている姿を見ることができた。 地元の身近な場所でのイベントは、特に高齢者や子どもたちの生きがいや楽しみの一つとなるので、今後も実施機会を設けていきたい。	
収穫祭～冬～ すいとんづくり	12月4日	1回	子育て	青少年	17人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 松原地区食生活改善推進員	冬野菜を収穫し、調理実習を行った。地区の食生活改善推進員に講師を依頼しすいとんづくりをしたが、職員のみで運営するよりも段取り良く進めることができた。 来年度は作りたい野菜や作りたいメニューを子どもたちで考え、植え方なども自分たちで調べたうえで実施したい。	○

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄づくり講習会	12月11日	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	21人	伝統文化である“しめ縄づくり”を通じて、文化の継承、環境や暮らしという視点の育成とともに、高齢者・親世代・子どもたちの顔の見え関係づくりを図る。	【経過】 町会連合会総会の席で、こども世代との交流をしたいという要望が出されたことを受け、こども会育成会長と公民館で、世代間交流に向けた打ち合わせを実施。その中で、新しい行事を行うよりも、毎年実施するしめ縄づくりを世代間交流事業として位置づけ実施することとした。 【準備過程】 子ども会育成会で稲わらの手配。前日、講師、育成会、公民館でわらの下準備 【共催】 子ども会育成会 【講師】 小池 春隆	他地区と違い、高齢者から親世代に、親世代から子どもに、という文化伝承的な流れがないこと、また農家出身者も少ない地区であることから、親子での参加も含め、より多くの世代の参加を促した。しめ縄づくりだけでなく、他の事業にも世代間交流の要素を強めていくことが大切だと考えている。今年度も地区住民に講師を依頼した。子ども会育成会と共催としているが、役員の子どもの参加がほとんどなく、周知の仕方や共催のあり方を検討していく必要がある。今年度は飾り方のサンプルを掲示することで、初めての参加者にも説明することができた。	○
絵画講座③ 長野県立美術館～絵画鑑賞の実践～	12月14日	1回	趣味教養	成人	18人	前2回の絵画講座で学んだことを踏まえて、絵画を各自の視点で鑑賞する。 本年の4月に新しくなった長野県立美術館を訪問し、常設展示の他、特別展で「唐招提寺御影堂 障壁画」を観賞する。	【共催】 松原地区町会連合会	参加者の多くが、作品制作時の作者の年齢や環境、さらに作者の生い立ちなどの情報を確認しながら時間をかけて鑑賞する様子が伺えた。	
手づくりの会 アルコールインクアート	12月15日	1回	趣味教養	成人	8人	普段馴染みのない「アルコールインクアート」の技法を学び、地区住民の趣味の幅を広げる一助とする。	【共催】 松原地区福祉ひろば 【講師】 酒井 紀子	「アルコールインクアート」という馴染みのない技法でアート作品を作った。 聞きなれない技法のため、参加者が思ったように集まらなかったが、参加された方たちはとても満足して帰られた。 作った作品を公民館内に飾っていると興味を示している方が多くいたため、サンプル作品を飾るなどの周知をすればよかった。	

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
時計台イルミネーション/時計台コンサート	12月18日	1回	趣味教養	その他	38人	松原ショッピングモールにある時計台の修復やモールを通じた地域活性化の支援を行う。 12月はショッピングモールをイルミネーションで装飾し、時計台前でコンサートを実施した。	【主催】 松原モールぱろじえくと	恒例となったイルミネーションイベントでは、設置作業を地元住民と協力して実施することができ、地域の賑わいを創出することができた。 時計台修復の恩恵として、からくり時計の稼働時間に合わせて日常的に人がショッピングモールに集まるようになってきた。今後も地域を活性化する活動に対する支援を行っていきたい。	
新春！大書初め大会	1月4日	1回	子育て	青少年	12人	冬休みの宿題の書初めを書道の先生に教わりながら仕上げる。 地域の中の達人の存在を知るきっかけとする。	【講師】 一之瀬 進	初めての試みとして、冬休みの宿題の書初めを地区住民の先生に教わりながら進めた。 参加された子どもたちは集中して取り組み、積極的に先生に質問するなど活発な姿が見られた。 参加された子どもの作品が入賞するなどの実績も挙げられた。	○
防災講座 高めよう！地域の防災力	2月8日	1回	防災	成人		過去の松本地域における地震被害や風水害被害の様子と現状の行政の支援体制を学び、地域における自助・共助のあり方を考える。	【主催】 松原地区町会連合会 【講師】 松本市危機管理課 宮坂防災専門官	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	
レッツ手づくり パンティンスイーツをつくらう	2月13日	1回	子育て	青少年		手作りを通して料理の楽しさを知るきっかけとする。	R1年度から実施。	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	○
城下町ナイトツアー～松本城レーザーマッピングを見に行こう！～	2月24日	1回	趣味教養	その他		12月1月(水)～2月28日(月)まで実施している松本城のレーザーマッピングを見物し、併せて城下町のイルミネーションを見ながら街歩きをする。 夜に出歩く機会の少ない高齢者を中心に新しい冬の風物詩を楽しむ機会を作る。		新型コロナの影響で一度延期したが、多くの参加者を集めることができた。 免許を返納していたり夜間の外出を避けている高齢世代の住民を中心に夜の街歩きを楽しむことができた。 普段見ることができないライトアップされた松本城や夜の街を見ることができ、参加者の満足度も高い講座となった。	
春休み子ども体験学習/山梨県庁見学&ジュエリストラップ作り	3月23日	1回	子育て	青少年		春休みの子ども達を対象に山梨県庁を訪問し、警察の指令課や防災対策本部など山梨県民の安全を支えている職場の様子を学ぶ。また甲府の特産である宝石について、歴史や加工技術を学び、工作体験ではジュエリストラップ作りに挑戦する。		春休みの体験学習・施設見学の機会として山梨県を訪問した。 普段見ることができない施設の見学や、体験活動を通して春休みの思い出を作ることができた。 子ども向けの講座は大人以上にトイレ休憩や食事時間を確保することが必要だと感じられた。なるべくゆとりを持った行程にできるよう心掛けたい。	○

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中学生が教える！春の小学生卓球教室	3月26日	1回	子育て	その他		明善中学校の卓球部員が講師を務め、地区スポーツクラブの卓球部員が指導サポートする。小学生と中学生が卓球を通じた楽しみや学びを共有するとともに、地区住民との三者間交流の機会を提供する。	【共催】明善中学校卓球部	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	○
運動習慣啓発：ラジオ体操	通年 (月木)	90回	福祉健康	その他	1,099人	新型コロナウイルス流行に伴う外出自粛による運動不足解消として、感染リスクの少ない屋外でのラジオ体操と簡単なストレッチを企画した。	高齢者は新型コロナウイルス感染による影響が大きいとの情報から、集会などの行事の参加を控え、さらに人的交流の機会が著しく減少しており、身体的にも精神的にも不健康な状態を強いられている。 【共催】松原地区福祉ひろば、地域づくりセンター、地区生活支援員	コロナ禍の運動不足解消のため元年度の3月から継続して実施している。通年を通して実施でき、地域の方の中で習慣化することができた。感染状況が落ち着いていた時期には感染症対策を取りながら体操後のお茶のみの時間を設け、住民同士の交流の場とすることもできた。今後も継続して実施していきたい。	
公民館委員会	通年	16回	公民館委員会・各種会議等	成人	143人	松本市公民館条例施行規則第8条に基づく委員会。地区の実情に合わせ以下の委員会を実施。 ○公民館・福祉ひろば事業推進協議会 ○館報編集委員会 ○体育委員会 ○文化委員会	地区公民館開館に向け、地区関係団体等の実情に合わせ、H21年度に地区町会連合会に素案を提示。H22年度よりスタートを切った。(ただし、館報編集委員会はH17年度より実施)	体育委員会、文化委員会とも委員が主体的に運営し、活発な議論が生まれている。コロナ禍で地域の行事のほぼすべてが中止となり、会議数も大幅に減少した。中止となってしまった行事についても、開催の是非を検討する会議の中でそれぞれの委員から忌憚のない意見が出され、熟議した結果結論を出すことができたのは有意義だった。館報編集委員会は、公民館と協力しながら、地域の問題を取り上げるなど社会面記事を扱うことができています。委員が主体的に記事の執筆を行い、会議の運営もスムーズに行うことができました。	

令和3年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館だよりの発行	通年	13回	その他	その他		公民館事業等の周知と参加募集、利用団体の情報提供として毎月1回（1日付）発行	H18年度より不定期に発行していたが、H22年度より月1回発行。	公民館側からのお知らせなので、今後も継続。 松原地区の講座の周知方法は公民館だよりのみだが、目新しい講座を実施すると今まで参加のなかった方からの申込をいただくことができることから、一定数の方は毎回公民館だよりを読んでくれていることが分かった。 より内容がわかりやすく伝えられるよう工夫していきたい。 また、講座の電子申込などを活用するなど、地区住民からより利用しやすい公民館と感じてもらえるよう工夫したい。	
公民館報の発行	通年	6回	その他	その他	43人	地区の情報誌、記録誌であり、地域の課題等を紙面を通じて投げかける場としての公民館報の発行	館報編集委員会で、地域の話の掘り起こしなどを中心に話し合い、制作。全市版については7名の編集委員（各町会1名選出）以外の地区住民に委嘱している。	コロナ禍で行事や公民館講座も少なく、記事内容の選定に苦労したが、委員長中心に新しい特集記事などを組むことができた。 委員長を中心に記事内容やレイアウトなど新しいアイデアを多く取り入れることができた。 今年度唯一通年で活動ができたことは非常に価値のあることだと思う。	
カンガルーの会	通年	10回	子育て	家庭教育	237人	乳幼児とその親を対象にした子育て支援事業。親子体操、食育、救急法、コミュニケーション等多彩な内容。実施時には住民有志が託児保育を担う。	【主催】 民生児童委員協議会 【協力】 松原地区福祉ひろば、公民館	今年度は新型コロナウイルスの影響で中止する回がありながらも、感染状況に合わせた事業を続けることができた。 主任児童委員をはじめ、民児協が主体的に進めており、引き続きサポートしたい。	

令和3年度 事業報告の概要

岡田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても感染対策を徹底して事業を実施し、地区住民の学びの場を確保する。 ・地区内の一体感を持たせるための事業を展開し、地域コミュニティの推進を図る。特に地区の三大事業である夏まつり、町会対抗球技大会、新春サークル発表会については、新型コロナウイルス感染対策を講じつつ、内容変更等も念頭に実施可能な方策を探る。 ・地区内の学校（岡田小学校、女鳥羽中学校）と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行う。 ・地区関係団体と連携して、地区の文化・福祉の向上を図る。 ・公民館委員は町会持ち回り選出の委員も多く、積極性に欠ける面がある。地域の各種団体も含め、地域づくりの根幹を担っているという意識を持ってもらい、自主的・主体的に事業に取り組むことができるような仕掛けづくり（体制づくり、動機付け）を引き続き検討していく必要がある。 										<ul style="list-style-type: none"> ・常に新型コロナウイルス感染防止を念頭に置き事業実施を検討した。住民が集い、会って話をするところこそが公民館活動、地域づくりの原点であると考え、感染対策を徹底し、可能な限り対面での会議、事業を実施した。しかし、やむを得ず中止した事業・活動もあり、前年に引き続きコロナの影響を大きく受けた1年となった。 ・コロナ禍においても何とか事業実施したいという積極的な意見が少なく、感染防止のため中止という議論が多くなったことが残念であった。地区の三大事業もすべて中止となり、かろうじて代替事業を1つ実施できたのみとなった。 ・他団体との共催事業は、共催団体の意思決定プロセスにより、中止・実施が分かれる結果となった。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	4	4	0	3	0	1	2	1	2	1	1	1
延べ 参加人数	21	101	10	100	0	86	0	0	1127	0	68	0	200	1100

令和3年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
植林&駒打ち体験	4月18日	1回	地域文化	青少年	46人	地域の子もたちが、植林体験を通じて森林と触れ合い、地域への理解を深める機会を創出することを目的に、岡田財産区有林で地元の小中学生等を対象とした植林及びキノコの駒打ち体験を実施したものの。	子ども会育成会 岡田財産区	地区の財産である森林を活用した取り組みであり、子どもたちを中心に地域の歴史や風土、伝統文化を学習する機会を提供することができた。地区の自然を生かした体験型事業であり、伝統文化（三九郎）の継承にもつながるため、継続実施していく予定。	
おかだ七夕会	7月3日	中止	地域文化	青少年	0人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施するもの。	図書委員 児童センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
おかだ夏まつり	7月31日	中止	地域事業 (その他)	その他	0人	岡田地区で活動している地区関係団体が連携し、地区住民のつながりや連帯感の醸成を図ることを目的に、夏まつりを開催するもの。	夏まつり実行委員会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
自然体験キャンプ	8月3日～4日	中止	子育て	青少年	0人	芥子坊主農村公園でキャンプ地の設営から薪集め、自炊等、野外活動を体験することを通して、仲間づくりや集団生活での社会性を身に付けることを目的に、1泊2日のキャンプを実施するもの。	子ども会育成会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
川で遊ぼう	8月22日	中止	子育て	青少年	0人	地元の自然を活用した自然体験活動として、女鳥羽川で魚のつかみ取りを行い、実際に焼いて食べる事業を実施するもの。	子ども会育成会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
町内公民館対抗球技大会	9月5日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	スポーツによる地域住民の生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に、軟式野球・ソフトバレー・卓球・ゲートボール・マレットゴルフの5種目による町会対抗球技大会を開催するもの。	地区町内公民館長会 地区スポーツ協会 地区町会連合会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
親子なぞときウォークラリー	10月17日	中止	地域文化	その他	54人	岡田地区やその周辺の名所旧跡にチェックポイントを配置し、親子または子ども同士でウォーキングを行いながら、楽しく地域について学習するもの。	子ども会育成会	当日の天候不良により中止。代替事業としてゲーム・レクリエーションを実施した。 地区内在住者でも知らない歴史や名所旧跡を親子でウォーキングしながら学習することができる、例年人気の事業である。地域について学習できる貴重な機会であることから、次年度も継続実施予定。	

令和3年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
つながり講演会	11月19日	1回	福祉健康	成人	37人	厚生労働省から認知症「希望大使」として任命されている認知症当事者の体験や活動内容を知ること、認知症になってもできることがあることを知り、誰もが自分らしく暮らせる地域を目指すことを目的に実施したもの。	地域づくりセンター 社協地区支会 包括支援センター	アルツハイマー型認知症の診断を受けた当事者及びその支援者の体験談を聞くことにより、より身近なものとして認知症への関心、理解を深めることができた。次年度も地区関係団体と協力しながら、ニーズや課題に合わせて柔軟な事業展開を図り、地域づくりの一助としたい。	
あかちゃんのタッチケア講座	12月14日	1回	子育て	家庭教育	10人	子育て支援の一環としてスキンシップの方法を学ぶとともに、相談先や外出先がないという子育ての孤立状態を予防・解消し、行政機関や支援体制の認知度を上げることを目的に実施したもの。	地区福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で、参加者から高評価を得ることができた。また、参加者と保健師・福祉ひろば職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加や講座企画にもつながったため、意図した成果も得られた。子育て世代のニーズ把握を行いながら、次年度以降も継続実施したい。	
おかだクリスマス会	12月18日	中止	地域文化	青少年	0人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施するもの。	図書委員 児童センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
地区新成人記念撮影	1月9日	1回	その他	成人	27人	同級生と交流できる機会を通じて、地域への愛着心や帰郷意識や醸成することを目的に、岡田地区出身の新成人を対象とする記念撮影を実施したもの。	町会連合会 子ども会育成会	総合体育館で行う市成人式を前に岡田地区出身者で記念撮影出来ることが特徴であり、新成人同士の旧交を温める場となっている。公民館報にも写真と記事を掲載するなど、地域としてこれからの時代を担う新成人の新たな門出を祝う貴重な機会となっているため、今後も継続実施していく予定である。	
新春サークル発表会	2月6日 ～ 7日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	地域の生涯学習活動の推進を図ることを目的として、主に岡田公民館、町内公民館、農林漁業体験実習館を拠点に活動しているサークルに関する活動成果の発表会と作品展示会を開催するもの。	文化委員 町内公民館長会 福祉ひろば 公民館利用団体 農林漁業体験実習館利用団体	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
作品展示会	2月5日 ～ 7日	1回	地域事業 (文化)	成人	68人	地域の生涯学習活動の推進を図ることを目的として、主に岡田公民館、町内公民館、農林漁業体験実習館を拠点に活動しているサークルに関する活動成果の発表の場として作品展示会を開催したもの。		地区の文化祭である「新春サークル発表会」の中止決定を受け、コロナ禍でも開催可能な代替事業として実施した。出展者、観覧者ともに好評であったが、次年度以降は「新春サークル発表会」として盛大に開催したい。	

令和3年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
離乳食講座	2月25日	中止	子育て	家庭教育	0人	子育て支援の一環として離乳食について学ぶとともに、相談先や外出先がないという子育ての孤立状態を予防・解消し、行政機関や支援体制の認知度を上げることを目的に実施するもの。	地区福祉ひろば 市健康づくり課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
アートレクチャー学芸講座	2月26日	中止	趣味教養	成人	0人	松本市美術館に馴染みの薄い方を対象に、収蔵作品の紹介等を通じ、松本市美術館へ関心を持ってもらうとともに、芸術文化に触れる機会の足がかりとすることを目的に実施するもの。	市美術館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
防災訓練	3月6日	中止	防災	成人	0人	地区住民の自主防災意識の向上を図ることを目的に、避難所開設訓練、応急救護訓練等を住民主体で実施するもの。	岡田地区自主防災連合会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 コロナ禍での実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。	
写真撮影講座	5月22日 6月12日 11月13日 11月24日	4回	趣味教養	成人	27人	岡田地区には趣味の域を超えた写真愛好家が多く、サークル活動も盛んである。また、小学生のクラブ活動支援に「写真撮影」の種目を導入したところ熱心な児童の参加が得られた経過もある。写真撮影のスキルをもった人材の底辺を広げ、同時に写真を媒介にした人とのつながりづくり（子どもから大人まで）を目指し実施したものの。	地域在住の写真クラブ・プロの写真家	前年の反省から、小・中学生や初心者に参加しやすい講座（土曜日）と、経験者がスキルアップをめざす講座（平日）との二本立てで実施した。コロナ禍のためか、小・中学生の参加がほとんどなく、各回の参加者も少なめであった。次年度は写真愛好家の裾野を広げるため、座学を中心に初心者向けの講座を開催したい。	
自然と歴史に親しむ講座	5月31日 9月22日 10月7日 10月27日	4回	福祉健康	成人	64人	岡田地区及び近隣の自然、歴史について学習する講座。地域への郷土愛を育むとともに住民の生きがいづくりを目的に実施したものの。 ①上高地探索 その1 ②小谷村真木集落 ③上高地探索 その2 ④善光寺街道を歩く		地域住民の健康増進と歴史学習（①、③）、健康増進と人権学習（②）及び昨年度からの継続事業として岡田地区に縁のある善光寺街道に関する歴史学習（④）を目的にウォーキングを実施した。地域づくりの基盤である人と人とのつながりを構築するとともに地域学習による教養の向上を図ることもできた。地域住民の地域学習及び健康づくりの推進が期待できることから次年度以降も継続予定。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権学習会	9月22日 10月18日	1回	人権平和	成人	21人	人権学習・啓発を行ったもの。 ①現地研修 「基本的人権としての自立生活」をテーマに、障がいのある方やその支援者が自給自足の生活を営む信州協働学舎（小谷村真木集落）について学習したもの。 ②研修会 多様性が尊重される社会を目指し、パートナーシップ宣誓制度及び多様な性について、正しく理解することを目的に学習したもの。	地区人権啓発推進協議会	①前年の講演会（事前学習）に引き続き、現地研修を実施したもの。山道を数時間かけて歩いた先の現地を見、空気を肌で感じることで、生きることの根本を考え、多様なひと・生き方への理解を深めることができた。 ②パートナーシップ宣誓制度及び多様な性（SOJ IとLGBTQ）について学習することができた。それを自分事としてとらえ、当事者を含め一人ひとりが尊重される社会を作っていくためには継続した学習・啓発が必要だと感じられた。 （①は「自然と歴史に親しむ講座②」を兼ねたため、回数・参加人数はそちらで計上）	
スマホ体験講座	2月22日 3月 1日 3月 8日	3回	趣味教養	成人	59人	社会のデジタル化が急速に進む中で、生活により身近になってきたスマホの講習会を通して、デジタル弱者の支援を行ったもの。		参加者の半数以上がスマホ未所持者または使用歴1年未満であり、様々な機能を体験してもらうよい機会となった。デジタル弱者の支援を行うため、内容を精査し、次年度以降も継続して実施したい。	
コミュニティスクール事業（岡田小学校）	通年	4回	その他	青少年	1,100人	学校、家庭、地域が連携しながら、地域の宝である子どもたちを育てていくことを目的に以下の事業を実施するもの。 ①小学校読み聞かせ（4月～翌年2月まで計11回開催）中止。 ②夏休みチャレンジタイム（7月末～8月初に複数回開催）中止。 ③クラブ活動支援（4～6年生を対象にして年3回開催）中止。 ④中学校強歩大会の見守り：女鳥羽中学校の伝統的行事である強歩大会（10月7日）の見守りとして、ボランティアが要所のチェックポイントに待機して協力した。生徒の参加者数は330名。 ⑤中学校読み聞かせ（10月27～29日に計3回開催）対象者は330名 ⑥小学校6年生の総合学習支援（地域探検。9月14～15日に2回実施）参加者は70名 ⑦小学校縦割り班遠足の見守り（10月20日に実施）参加者は370名	岡田小学校 女鳥羽中学校	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業が中止となった。小・中学校での読み聞かせについては、地域の子どもの豊かな心を育むため、次年度以降も継続して実施する予定。 夏休み中に子どもたちの学習支援を行うチャレンジタイムについては、学校の意向により次年度以降の中止が決定。代替事業等を検討したい。 クラブ活動支援は、学校側のニーズもあり、また、地域指導者の人材発掘も兼ねることから、次年度以降も実施する予定。 小・中学校行事に付随する講師や見守り的なボランティア人材の確保については、教職員の負担軽減につながる方向で、要請に応じて地域の有識者や有志に依頼する方針で臨みたい。	○

令和3年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
5部門委員会運営	通年	7回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	200人	公民館事業への協力を依頼し、事業への主体的な参加を促すため開催したものです。		各委員とも、町会推薦による選任がほとんどであるが、参加意識の低い委員や事業実施に後ろ向きな委員もおり対応に苦慮している。2年任期で改選される委員が多いことから、年度当初に開催する運営委員会等で、改めて地域づくりの重要性を説明するとともに、個別の会議等でも継続的に意識啓発を実施していくこととする。	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、大人と子どもが共に学べる講座を展開し、公民館利用者のすそ野を広げる。 ・「学ぶ」「集う」「繋げる」を実現するために、地域住民が気軽に集える場、仲間づくりの場づくりに積極的に取り組む。 ・地域の課題把握、解決に向けた学習機会を提供し、地域住民による主体的な地域づくりを推進するための支援を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動が制限される中、安易に中止にするのではなく、「どうすれば実施できるか」を地域住民とともに考え、事業展開していく。 ・よりよい公民館講座を企画していくため、アンケート調査を実施し、地区住民が公民館講座に対し、どれくらい興味関心があるのか、また、どのような講座を望んでいるのか等、住民の意識とニーズを今後の公民館講座へ反映させる。 										<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により主要事業の多くが中止となった。コロナ禍において、消極的になるのではなく、「どのようにすれば開催できるか」に焦点を当て事業の企画検討を進めることができた。結果的には、公民館講座のほとんどは中止にすることなく実施することができた。地区住民からは、「外出ができなかったけど、公民館に集い、話す機会を作ってくれて嬉しい」と喜ぶ声も多く聞かれた。コロナ禍における公民館の必要性を認識するとともに、住民の身近な存在となれるよう、公民館の存在意義を改めて見つめ直す機会としたい。 ・公民館講座に関わるアンケートを実施。調査の結果、公民館講座への参加理由として、「講座の内容に興味があった」と回答の方が半数以上いた。そのため、住民の興味関心が高いものを講座に反映させていく必要がある。なかでも、スマホの使い方が分からないと回答の方が多かったため、スマホ講座を開催。定員以上の申し込みがあり、好評だったため、次年度もスマホ講座を開催し、住民ニーズの高い講座を企画していきたい。 ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、親子ひろばや通学合宿をこれまで実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で子ども向けの事業が中止となった。そのため、青少年向けの講座を新規に企画し、大勢の大人と子どもが共に学び体験する機会を作ることができた。青少年が地域の活力であることを意識し、引き続き青少年育成の観点から公民館事業を展開していきたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	1	4	0	6	12	3	0	0	4	3	1	8	4
延べ参加人数	24	80	34	0	132	227	20	0	0	42	120	48	567	48

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第17回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月17日	1回	地域文化	その他	中止	【内容】 ・自然と文化財の宝庫である山辺の郷をウォークラリーで満喫してもらう。 【ねらい】 ・子どもから大人まで幅広い世代を対象に、健康づくり、世代間交流、地域の魅力再発見を促す。	実行委員会 (入山辺・里山辺子ども会育成会、入山辺・里山辺健康づくり推進委員会、入山辺・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団、里山辺公民館)	【評価と反省】 ・当日天候不良により中止。 【今後の方針】 ・継続開催	
山辺小学校草刈り	5月22日	1回	地域事業(その他)	成人	48人	【内容】 ・山辺小学校校庭及びその周辺環境の整備を行った。 【ねらい】 ・山辺小学校運動会に向けてグラウンドの整備をし、運動会で子どもたちが活発に競技できるようサポートする。	町内公民館長会(里山辺、入山辺) 里山辺公民館	【評価と反省】 ・里・入山辺の町内公民館町会で協力してスムーズに作業が行えた。 【今後の方針】 ・山辺小学校の運動会が6月の第1週のため、来年度も同様の時期に作業したい。	○
町会対抗球技大会	5月23日	1回	地域事業(体育)	成人	中止	【内容】 ・男性はソフトボール、女性はソフトバレーボール 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	
文化委員会(町内公民館長会)視察研修	6月5日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【内容】 ・松本城、城下町水巡り、善哉酒造 【ねらい】 ・文化委員の資質向上、相互交流を図る。	文化委員会(町内公民館長会)	【評価と反省】 委員同士の交流を深めることができた。その後の各種事業でも円滑に取り組むことができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
子ども会育成会スポーツ大会	6月13日	1回	地域事業(体育)	青少年	中止	【内容】 ・ドッジボールやドッジビー 【ねらい】 ・地域の子どもたちや保護者同士のつながり強化を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ひろばまつり	7月3日	1回	地域事業 (文化)	成人	120人	【内容】 ・ひろばサークル活動紹介、発表会、作品展示等 【ねらい】 ・住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 例年福祉ひろばで開催していたが、新型コロナウイルス感染対策のため、公民館講堂へ会場変更した。ひろばサークルを多くの人に知ってもらえる機会となり、同時に多くの人が集い、交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
人権啓発推進協議会総会	7月8日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	27人	【内容】 ・事業計画、予算の審議、映像鑑賞 【ねらい】 ・地域の指導者として多様化している人権問題を正しく理解し、すべての人々の人権が公平に尊重される地域づくりの推進に向けて地域住民に対して適切な助言ができる体制を確立する。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権に関する映像を総会で放映し、啓発活動を行った。来年度以降も映像の放映を継続実施していきたい。 【今後の方針】 ・内容を変えながら継続開催していきたい。	
スポーツ協会東山部ブロック親睦大会	7月11日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 ・スポーツ協会東山部ブロック（入山辺・里山辺・本郷・岡田・四賀）5地区の親睦を目的に美鈴湖もりの国にてマレットゴルフを開催。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流促進を図る。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 ・東山部ブロック各スポーツ協会同士の交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
薄川で魚つかみ体験	7月30日	1回	趣味教養	青少年	45人	【内容】 ・薄川で魚つかみ体験と水生生物の観察をする。 【ねらい】 ・薄川の生態や自然を観察するとともに、生きた魚に触れ人と自然の共生を学ぶ。	里山辺公民館 エクセラン高校	【評価と反省】 ・子どもが自然と触れ合えるだけでなく、小学生と高校生が水生生物の観察を通じて、相互に交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
スライムを作ろう	8月5日	1回	子育て	青少年	34人	【内容】 ・スライム作り 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・スライムを通して、子ども同士だけでなく、その保護者同士のふれあいもあり、世代を越えた交流ができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第33回親子ひろば	8月7日	1回	地域事業 (文化)	成人	中止	【内容】 ・地区の夏祭り。スライムづくり、流しそうめん、魚のつかみ取り、綿あめ配布、ポップコーン配布、映画鑑賞会 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	・実行委員会 J A山辺支所 子ども会育成会 スポーツ協会 社会福祉協議会 入山辺記念林協議会 町内公民館長会 健康づくり推進員会 交通安全協会 民生児童委員協議会 民謡サークル	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。	
乗鞍ウォーキング	8月21日	1回	趣味教養	その他	15人	【内容】 ・乗鞍岳登山。 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。		【評価と反省】 ・標高は高かったものの、小さい子どもも上りやすいコースで好評だった。参加者の健康増進に寄与した。 【今後の方針】 ・場所を変えてウォーキングを行いたい。	
第6回入山辺地区 通学合宿	9月8日～ 11日	1回	子育て	青少年	中止	【内容】 ・小学校高学年を対象に、異年齢の子ども達が3泊4日の共同生活を営むことで、主体性や自立心を育むとともに、「社会力」や「生きる力の向上」を図るもの。 【ねらい】 ・共同生活を通して「社会力」や「生きる力」等を育むとともに、「地域の子どもは地域で育てる」という地域循環型の取組みを構築していく。	実行委員会（子ども会育成会、山辺小学校、松本大学、農村女性委員会、食生活改善推進員、J A女性部入山辺支部等）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	○
第38回松本市長杯争奪 球技大会東山部ブロッ ク予選大会	9月12日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・スポーツ協会東山部ブロックから軟式野球とバレーボールの松本市長杯争奪球技大会への代表チームを選出する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流を図りながら、ブロック代表チームを決める。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で松本市長杯争奪球技大会が中止となったため、予選も中止となった。 【今後の方針】 ・継続開催	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
きのこを楽しむ日	9月24日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 ・地元の山へ行き、きのこ狩りをする。 【ねらい】 ・健康促進と地域住民の交流を図る。	福祉ひろば	【評価と反省】 ・きのこの生態を学び、知識向上を図るとともに、きのこを目指し山道を歩くことで、健康増進と地域住民の相互交流ができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
探検いりやまバ	9月26日	1回	趣味教養	青少年	中止	【内容】 ・家族単位で地区内を歩いてウォッチング（自然観察、建造物等） 【ねらい】 ・家族内にとどまらず、家族同士で交流し、住民同士の繋がりの機会を提供する。また、健康増進を図る。	子ども会育成会 山辺歴史研究会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	
第63回松本市市民体育大会秋季大会	10月10日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・地区より5競技（軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトボール）に出場するとともに住民が応援に参加 【ねらい】 ・交流促進及び健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ・入山辺の軟式野球チームのみ出場予定であったが、新型コロナウイルス拡大に伴い、出場辞退した。 【今後の方針】 ・継続開催	
農村女性委員会視察研修	10月11日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	17人	【内容】 ・諏訪大社上社本宮、カゴメ野菜生活ファーム富士見見学、道の駅信州鷲木宿 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
第91回入山辺地区大運動会	10月17日	1回	地域事業（体育）	その他	中止	【内容】 ・各種競技で町会ごと得点を競う。（半日開催） 【ねらい】 ・健康増進や地域の団結力の向上を図る。	実行委員会（スポーツ協会、町会連合会、町内公民館長会等地区内各種団体）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、来年度以降の運動会の在り方について検討会議を開催し、来年度開催する方向となった。 【今後の方針】 ・開催に向け、実行委員会を中心に準備を進めていく。	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ講座	11月1日 12月1日	2回	趣味教養	高齢者	36人	【内容】 ・スマホの使い方が分からない高齢者向けの教室 【ねらい】 ・スマホ普及に伴う高齢者世代のデジタル弱者増加への対策とDX推進	DX推進本部、ソフトバンク	【評価と反省】 ・スマホの基礎的な操作を学び、今までできなかったことができるようになり、スマホを使いこなし楽しんでいった。なかには、さらに発展した内容を学びたいという声や、個人的な相談等をした方が多く見受けられた。 【今後の方針】 ・スマホを持っているが使い方が分からず困っている方が多くいることが分かったため、来年度以降も継続して開催する。	
第44回入山辺地区文化祭	11月7日	1回	地域事業(文化)	その他	中止	【内容】 ・ステージ発表、展示作品発表 【ねらい】 ・地区住民の文化活動発表の場を設け、文化力向上や地域活性化を図る。JA山辺支所の収穫祭と同時開催し、多くの集客を呼び込む。	実行委員会(町内公民館長会、健康づくり推進員会、農村女性委員会、体育協会、子ども会育成会、ゲートボール愛好会、交通安全協会、JA山辺支所、入山辺福祉ひろば、こんな山辺にするじゃん会)	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。	
町会対抗ゲートボール大会	11月7日	1回	地域事業(体育)	成人	42人	【内容】 ・町会対抗のゲートボール大会 【ねらい】 ・健康増進。仲間づくりや親睦を深める。	ゲートボール愛好会 スポーツ協会	【評価と反省】 ・天候に恵まれ開催。地区住民同士の相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
刃物研ぎ講座	11月19日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 ・刃物研ぎ 【ねらい】 ・刃物の研ぎ方を学び、家庭で使いやすい刃物にする。	シルバー人材センター	【評価と反省】 ・研ぎ方を学び、切れ味の良い包丁になったと参加者から好評だった。その包丁を使い、家庭での調理を通じて家族同士が交流する機会の一助となった。 【今後の方針】 ・継続開催	
そば打ち講座	11月27日	1回	趣味教養	その他	11人	【内容】 ・地区の蕎麦打ちサークルの方を講師に迎え、そば打ちのノウハウを学ぶ。 【ねらい】 ・子どもと大人と一緒にそば打ちを学ぶ世代間の交流として実施。	こんな山辺にするじゃん会 地域住民	【評価と反省】 ・種まきから脱穀まで行った入山辺産のそば粉を使用し、そば打ちを行った。地区外からの参加者も多く、好評だった。 【今後の方針】 ・継続実施	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
科学体験 わくわくミュージアム	1月22日	1回	子育て	青少年	中止	【内容】 ・身近に潜む不思議を科学を使って体験する。 【ねらい】 「あそびながら」「体験しながら」地球や環境のことを考える機会を作る。	NPO法人チルドレンズミュージアム	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	
男の健康料理教室	2月12日 2月25日	1回	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・コンニャク作り、けんちん汁作り ・ソーセージ作り 【ねらい】 ・健康について考える機会の提供と、男性の家事参加促進。仲間づくりや親睦を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 ・男性の参加人数を増やしていきたい。 【今後の方針】 ・地区の関係団体と共催していきながら参加者の裾野を広げたい。	
山辺地区立志式	2月5日	1回	子育て	青少年	中止	【内容】 ・山辺地区に住む中学2年生を対象とした「立志」の式典。 【ねらい】 ・中学生に町会の組織や機能を知ってもらい機会とし、地域の一員であるという意識を持ってもらう。	山辺地区立志式実行委員会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典は中止としたが、資料や贈呈品の配布を行った。 【今後の方針】 ・継続開催	○
しいたけコマ打ち体験 講座	3月5日	1回	趣味教養	その他	20人	【内容】 ・入山辺里山辺財産区の山から切り出した原木を使用しいたけのコマ打ちを行う。 【ねらい】 ・入山辺里山辺財産区を知っていただくこと。また、世代を越えた交流を図る機会とするもの。	子ども会育成会 入山辺里山辺財産区	【評価と反省】 ・子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まって交流することができた。また、地区住民の方に入山辺里山辺財産区を知っていただく機会を作ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
人権講座視察研修	3月12日	1回	人権平和	成人	24人	【内容】 ・富山県立イタイイタイ病資料館見学、新湊きつときと市場、道の駅カモンパーク新湊 【ねらい】 ・イタイイタイ病を通じ、健康と環境について考える機会とする。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・コロナ禍ではあったが、例年同様多くの方にご参加いただき、環境問題について考えるとともに、参加者同士の交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
味噌づくり講座	3月13日	1回	趣味教養	その他	11人	【内容】 ・地元産の大豆を使ったキッチンで簡単にできる味噌づくり。 【ねらい】 ・大人と子どもが交流できる世代間交流として実施。	地区団体	【評価と反省】 ・今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者数が少なかったものの、世代を越えた地区住民同士の交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
中学生と語る会	3月21日	1回	地域文化	青少年	中止	【内容】 ・山辺中学校卒業生（入山辺地区在住者）が一堂に会し、そばクッキー作りや昼食会を交えながら地域住民との意見交換会を行う。 【ねらい】 ・小学生の頃は育成会行事等で地域とのつながりは比較的深いのが、中学生になると一転希薄化する。地域の良さに気づき愛着を深める。	町会連合会 民生児童委員協議会 子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。	○
寄せ植えとフラワーアレンジメント講座	6月17日 11月4日	2回	趣味教養	成人	34人	【内容】 ・花の寄せ植えと、ペットボトルを使用したフラワーアレンジメントを実施。 【ねらい】 ・仲間づくりや生きがいづくりの場とする。また、松風園と連携しながら、入所者と地域住民の交流促進の場とする。	地区住民 松風園	【評価と反省】 ・地区住民だけでなく、松風園の入所者の方も多くご参加いただき、相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい	
みんなのそばで楽し味隊 SOBA講座	7月31日 10月9日 10月23日 11月27日	4回	趣味教養	成人	25人	【内容】 ・そばの種まきから、刈取り・脱穀まで関わり、収穫した新そばで蕎麦打ちをし、自分で作ったそば猪口でそばを味わう。 【ねらい】 ・そば栽培を通じ農業と自然に親しむことで、入山辺の魅力を再発見し、世代・地域を越えた交流を図る。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 そば栽培を通じて、入山辺の魅力を知らせてもらってよかった。また、他地区からの参加者も多く、地区住民と他地区の方の相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・関係団体と検討しながら継続実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
ウォーキング講座	通年	10回	福祉健康	成人	80人	【内容】 ・入山辺地区ウォーキングコースを中心に歩く。 【ねらい】 ・健康意識の高揚、仲間づくり	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・四季折々の季節感を満喫でき、入山辺の魅力再発見につながった。それと同時に地区住民の健康増進に寄与した。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
入山辺地区カレンダー発行	毎月1回 全12回	12回	地域文化	成人	0人	【内容】 ・地区内の行事や各種団体の会議予定などを幅広く掲載するように努めている。 【ねらい】 ・全戸配布して幅広く住民に周知する		【評価と反省】 ・学校、保育園だけでなく、地区関係団体の様々な情報を盛り込むことができ、地区住民に対し、入山辺地区情報発信することができた。 【今後の方針】 ・各種団体等に情報提供を呼びかけ、引き続き掲載内容の充実化を図りたい。	
山辺ファイナリー掲示板写真貼り替え	毎月1回 全12回	1回	地域文化	成人	60人	【内容】 ・こんな山辺にするじゃん会「観光と魅力発信Gr」の活動の一環であるファイナリー写真の貼り替え作業 【ねらい】 ・ファイナリーに足を運んでいただいた方へ、地区の魅力を発信する。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 ・入山辺地区で行われたイベント・行事等の情報を掲載し、ファイナリーを訪れた方々へ入山辺の魅力を発信することができた。 【今後の方針】 ・引き続き、地区情報発信を継続しながら、各町会ごと写真を掲載する等、今まで以上に入山辺の魅力を発信できるよう、さらに内容の充実を図ってきたい。	
福祉ひろば事業推進協議会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地区公民館長、センター長、公民館主事が推進委員として参画している。 【ねらい】 ・公民館活動との連携強化、地域づくり政策の一翼を担うため継続的な支援を行う。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・地域づくりセンター、公民館からの情報伝達の機会ともなっている。 【今後の方針】 ・引き続き連携を密にして、支援を継続していきたい。	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
入山辺地区の将来ビジョンを考える会（こんな山辺にするじゃん会）	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	250人	【内容】 ・地域の課題解決に向けて会を4グループ（観光と魅力発信・食農振興・住みやすい地域づくり・DIY）に分けて、それぞれの課題に沿った解決に向けて活動を展開している。 【ねらい】 ・将来の入山辺地区のあり方を地域住民皆で考え、地域課題の解決に向けて具体的に行動していくため。	町会連合会 各種団体長	【評価と反省】 ・コロナ禍でもできることは何か、コロナ禍だからできることは何か、常に考えながら、各グループごと活動を進めてきた。引き続き、入山辺の地域課題の解決に向けた取り組みを住民主体で検討していく。 【今後の方針】 ・地域住民が主体的に会を進めていけるよう、職員の間取り方、支援のあり方を模索していきたい。	
5部門委員会支援	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	220人	【内容】 ・各委員会の自主性を大切にしながら、各種事業の立案や開催のための側面支援を行う。 【ねらい】 ・住民主体の地域活動の促進を図る。	運営委員会 館報編集委員会 図書委員会 体育委員会 文化委員会	【評価と反省】 ・各委員会の自主性、自立性をさらに促したい。 【今後の方針】 ・委員の人数が減ってきているので新たな人材発掘を行いたい。	
公民館使用団体等支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・公民館を使用する団体やサークルを後方支援する。 【ねらい】 ・各団体等の活動内容を地区内に還元できる機会を設けながら、地区の活性化や文化力の向上を図る。		【評価と反省】 ・団体やサークルの自主性を損なわないよう十分配慮しながら、必要に応じて支援していきたい。	
公民館だより発行	通年	12回	地域文化	成人	0人	【内容】 ・公民館講座の開催周知を図るため、月1回の広報まつもとの配布に合わせて発行する。 【ねらい】 ・公民館活動や事業の周知。		【評価と反省】 ・講座の開催周知に終始している。 【今後の方針】 ・読みやすい、読みたくなるような紙面となるよう工夫していきたい。	

令和3年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書貸し出し	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	44人	【内容】 ・図書室に中央図書館から貸出を受けた本を中心に約700冊を配架している。図書委員が年2回入替作業を実施している。 【ねらい】 ・子どもから高齢者まで幅広い年代層が興味を持てる様々なジャンルの本を備えており、読書活動の推進を図っている。	図書委員会	【評価と反省】 ・周知方法を工夫して、さらなる利用促進を図りたい。	
公民館報「いりやま」 発行	年6回	6回	地域文化	成人	72人	【内容】 ・毎月1回編集委員会を開催し、松本市公民館報の入山辺版として発行する。 【ねらい】 ・地区内の様々な情報提供	館報編集委員会	【評価と反省】 ・地区内の出来事、イベント、行事を中心に情報を載せることができた。また、地区住民の多くの方にご寄稿いただき、直接的な声を館報に反映することができた。 【今後の方針】 ・読みやすい、面白い館報を作れるよう工夫する。 ・館報編集委員会が主体的に取り組めるようサポートしていきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

里山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【地域課題】</p> <p>○里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が2割弱であり、潜在的な該当者も合わせると2割を超すと予想され、高齢化率も高い。また、一人暮らし家庭も多いことからコロナ禍は家に閉じこもり、人と人との繋がりが希薄になることで様々な弊害を生じさせている。</p> <p>○小中学生の地域との関わりが希薄であり、地区の行事等への参加が低調である。</p> <p>【活動方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校、地域および保護者が子どもたちをどのように育てたいかについて子どもを取り巻く状況から意見を交わし、そこから学校や保護者が地域に求めることを明確にする。コミュニティスクール運営委員会をもとにそれぞれの主体で活動を展開する。 2 町内公民館長会との研修を重ね、住民が参加しやすく、住民の生きがいづくりから住民同士のつながりの創出を図る公民館活動のあり方について議論を深める。 3 専門委員会で委員同士が自らアイデアを出し合い、地域の実情に合った活動の展開を促進する。 4 多世代の住民が気軽に参加できる講座を企画し、住民の要望や意見を聴きながら実施内容を見直していく。 5 地区内の小・中学生が地域活動に参加できるきっかけをつくる。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <p>○山辺ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通して、これまで地域と学校が連携して取り組んでいった。特に今年度新たに起こした、1学年ドリーム大学に於いて「山辺の地域再発見」として、積極的に地域に関心を持つよう取り組んだ。</p> <p>○コロナ禍の中で、地域住民特に高齢者が交流する機会が減ってきたことで、生き甲斐を失いそれに伴う様々な心身への問題が生じている現状を鑑み、公民館として一昨年から取り組んできた「週一ウォーク」は通年通して実施した。</p>	<p>○ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通して、自分も山辺の一員で地域で成長しているという意識を持ってきている。また、これまで知らなかった地域の素晴らしさを自らの調査活動によって知ることができたことは、改めて地域愛を深めるきっかけとなった。</p> <p>○コロナ禍の中で、地域住民特に高齢者が交流する機会が減ってきたことで、生き甲斐を失いそれに伴う様々な心身への問題が生じている現状を鑑み、公民館として一昨年から取り組んできた「週一ウォーク」は通年通して実施する盛況ぶりであった。現在は高齢者のみならず子育て中のお母さんや、年齢層の若い世代の参加もあり、多世代交流と地域住民の生き甲斐づくりに寄与できている。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	4	8	7	1	4	0	1	3	9	3	1	5	0
延べ 参加人数	30	1505	336	281	50	70	0	50	5	123	0	0	398	0

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第18回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月17日	中止回	地域文化	その他	0人	レクリエーション、健康づくり、地域の魅力再発見などを目的に実施している。 山辺地域の名所・旧跡を結んだコースをめぐり、地元の歴史や文化、地名の謂れなどに因んだ問題を出題する。時間得点（ゴール時間と標準時間の差）と課題得点（問題の正答数）で順位を競う。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成団体は、入・里山辺公民館、入・里山辺健康づくり推進委員会、入・里山辺子ども会育成会、入・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団。	新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し実施する予定であったが、当日降雨のため中止とした。	
第6回里山辺地区親睦ゴルフ大会	5月19日	中止回	地域事業（体育）	成人	0人	個人競技の地区大会として、町会のゴルフ同好会や一般募集で参加者を募っている。競技終了後に、表彰式および懇親会を公民館にて実施している。	里山辺親睦ゴルフ大会実行委員会（町会のゴルフクラブ等を中心に各町会から1名ずつ選出）と共催。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 今後は、実行委員会で開催内容を十分に検討して実施していく。	
山辺小学校校庭の草刈り作業	5月22日	1回	環境	成人	50人	小学校の運動会の2週間前に、校庭および校舎周辺の草刈りを「地域の子どもは地域で育てる」ための活動として実施している。	里山辺地区町内公民館長および入山辺地区町内公民館長のご協力で、各町会関係者等に声を掛けてもらい、実施している。ピーバー等では時間がかかる芝生部分は乗用モアでの作業とし、若手の農業者の方々に協力してもらっている。	山辺小学校校庭の草刈り作業	
第51回ソフトボール・ソフトバレーボール大会	5月30日	中止回	地域事業（体育）	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 ソフトボール競技は4月1日の満年齢で49歳以上の男性を中心にチームを編成し、2会場を使用してA・Bブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトバレーボール競技はAブロック（4月1日の満年齢で39歳以上の男女でチーム編成）、Bブロック（4月1日の満年齢で38歳以下の男女でチーム編成）の2ブロックトーナメント方式で実施。	本部体育委員会で企画・実施。 町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 競技内容は町会の実情に合わせて本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。	
ね曲がり竹狩り	6月28日	1回	その他	成人	5人	食育事業として信州食文化でもある山菜に特化し、植生、採取方法、調理方法、郷土食等を講師から学ぶ。	計画段階で地元の関係者から根曲がり竹の植生についてのレクチャーを受ける。募集案内には現地の写真を掲載し、参加者の植生についての理解を深める。	根曲がり竹については中信地域には馴染みが薄く、参加者の殆どは未経験者であった。植生については雪深い山奥に育っていることが理解でき、改めて自然保護の重要性を学ぶことができ、好評であった。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
塩の道ウォーク	6月30日 9月20日 10月6日 11月23日	3回	地域文化	成人	41人	公民館と福祉ひろばの共催事業で「週一ウォーク」を年間43回実施しており、歩いた距離を明確にするため、千国街道「塩の道」120kmを踏破する目標を立てる。その発展として実際に「塩の道」を歩く事業を起こす。	塩の道が整備されている白馬村からの出発するコースにする。全行程を3年間かけて踏破する計画。①千国越えコース②石坂越えコース③天神道コース④大網峠越えコース⑤養老坂コース等を計画。	糸魚川と松本を結ぶ命の道でもある「塩の道」を実際に歩いて見聞することを通して、往時の人々の暮らしや文化をガイドから学ばまたない機会となっており、最も人気があり好評である。	
里山辺カルタウォーク	5月25日 7月13日 10月19日	3回	地域文化	その他	95人	里山辺地区の名所・旧跡・文化等を読んだ「里山辺カルタ」に合わせて3コースを設定し、絵札と読み札と解説を入れてパンフレットを作成、歩きながら学ぶ地域学習。	福祉ひろばとの共催事業。「里山辺カルタウォークマップ」を活用し、事前に所要時間等を見下し、確認する。絵札・読み札・解説を入れたパンフレットを作成する。	地域住民にあって里山辺の歴史・文化・産業についてはよく知らない人が多いので勉強になったと好評であった。	
体育協会東山部ブロック親睦球技大会	7月11日	1回	地域事業(体育)	成人	13人	松本市体育協会第一ブロックの⑤地区(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)の親睦球技大会。今年度は本郷地区が計画し、美鈴湖まわりの国マレットゴルフコースに於いて、マレットゴルフを行う。	松本市体育協会第一ブロックの5地区の体育協会(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)で共催。本年度本郷地区が当番で企画を行った。	例年、ニュースポーツ・ウォーキングや球技を内容とした企画が続いていたが、球技では参加者の人数の確保が困難な状況があり、少人数でも開催できる内容となっている。	
夏休み親子魚つかみ体験	7月30日	1回	子育て	青少年	50人	薄川の生態や自然を観察するとともに、生きたニジマスを手で捕まえて自分の獲った魚を家で食べることで自然の中で生きていることを感じる講座。今年度は小松橋上流200m位の浅瀬で実施した。犀川漁協(河川使用の許可)、(有)カワグチ(ニジマスの購入)に協力してもらい実施。	入山辺公民館と共催。両地区で参加を呼び掛け、当日の準備や運営も連携して行っている。エクセラン高校環境科学コースの生徒に、参加する子どもたちへ水生生物の観察指導を行ってもらっている。	夏休みに近くの川で自然と触れ合える貴重な体験となっており、新型コロナウイルスのため夏休みに遊びに行けなかった子どもたちと保護者の皆さんから、好評である。	
フォレストキャンプin山辺	8月7日 8月8日	1回	子育て	その他	5人	夏休みの期間に親子で自然と触れ合い自然の中で生活する楽しさを学ぶとともに、キャンプを通じて共同生活の体験をする。自然体験学習に活用できる施設である「美ヶ原少年自然の家」を拠点に実施。 (1日目) ・周辺散策(三城周辺コース) ・クラフト制作(樹木、木の実を使ったクラフトの制作) ・キャンプ体験(家族ごとで飯盒炊飯) (2日目) ・美ヶ原高原ハイキング	施設管理者の下平先生と日程および内容の調整を行い、必要に応じて下見を行っている。	今年度は新型コロナウイルス感染防止のため「美ヶ原少年自然の家」での宿泊体験ができなかったため、日帰りによる事業とした。参加家族もコロナ対策として3家族にして実施した。宿泊体験ができない場合を考慮した内容を検討する必要がある。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第17回マレットゴルフ大会	8月24日	1回	地域事業 (体育)	成人	26人	個人競技の地区大会。 中山霊園マレットゴルフ場で開催し、今年は芝・林間・桜の全コースで競技を実施。	里山辺マレットゴルフ同好会と共催。	個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行ってもらっている。 全コースをめぐるのが参加者に好評であり、いかに参加者がプレーを満足できるか考えていきたい。	
第68回野排球大会	8月22日	中止回	地域事業 (体育)	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 軟式野球競技は地区居住の男性を中心に各町会1チームを編成し、A・B・Cの3ブロックでのトーナメント方式で実施。ソフト排球競技は地区居住の女性を中心に各町会1チームを編成し、A・Bの2ブロック(予選リーグと決勝トーナメント)方式で実施。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 競技内容は町会の実情に合わせて本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。	
ガーデニング講習会	5月17日 11月22日	2回	趣味教養	成人	41人	春と冬の年2回開催。 季節に合った花を自分なりにプランターに敷き詰め、寄せ植えを行う講座。春は庭先で楽しめるものを、冬は花が少なくなる時期に向けて玄関先で楽しめるものをテーマとした。 講師：塩原園芸 塩原 文夫さん、塩原 幸子さん	里山辺花いっぱいボランティアと共催。	自分なりの作品をつくる毎年好評の講座。 花のない冬の時期にも開催し、長く咲き続けるための保存方法を学ぶなどプロが教えるコツも講座の目玉となっている。	
町内公民館町会・里山辺公民館合同研修会	9月23日	中止回	その他	成人	0人	里山辺地区町内公民館長会と里山辺公民館とが連携し「両輪の輪」として公民館活動を推進する上で地域に密着した公民館のあり方を模索する機会とする。 今回は、「神々の郷遠山郷と秋葉街道」をテーマに、南の塩の道である秋葉街道と国の重要無形文化財で知られる遠山郷の霜月祭りの関連施設を見学し、長野県内の歴史文化について研修を深める計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。	里山辺地区町内公民館長会と合同で実施。	内容については町内公民館事業での研修に参考になる県内の歴史・文化・産業関連の施設及び事業所等を視察先として選定し、相互に連携を図るためどのようなことが必要か考える場としたい。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
市民体育大会	10月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	42人	軟式野球、卓球、ゲートボール男女、ソフトバレーボール、マレットゴルフの5種目で、地区代表チームを選出し、他地区との対抗競技を行う。	各種目に本部体育委員が分担して張り付き、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収をお願いしている。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、軟式野球・ゲートボール男女・マレットゴルフ男女の3競技で実施。	
第66回大運動会	10月17日	中止回	地域事業 (体育)	その他	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。	地区関係団体（町会連合会、町内公民館長会、交通安全協会里山辺支部、消防団第19分団）と共催。本部体育委員会で開催要項およびプログラムを策定し、町内公民館長会との打ち合わせ、共催団体会議、全体会議において協議し、開催内容を決定している。準備および運営は、町会等から選任した競技役員と本部体育委員が中心に行う。競技は町会対抗または自由参加の形式をとる。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 松本市の体育行事が10月～11月初旬に集中するため、現在の時期となっている。入山辺地区運動会と同日開催であり、両地区に関係する方々には時間をずらして参加いただいている。しかし、別の時期の検討は現状難しい。 開催内容については、令和2年に実施したアンケートの結果を踏まえ、検討・改善したが新型コロナウイルス感染拡大により中止とする。	
秋の山城ウォーク	10月24日	1回	地域文化	成人	14人	講師：澤柳 秀利さん（松本市学芸員） 平成29年2月に国史跡に指定された林城跡と関連の深い小笠原氏の築城した山城群を順々にめぐる講座。今回は林大城・小城跡（里山辺地区）をめぐる。講師の研究資料や当時の文献と紐づけて城の歴史等を紹介してもらい、今話題の登山と歴史探訪を掛け合わせた内容である。	講師とともにコースを確認し（下見）、行程を組むようになっている。 説明資料は講師に作成をお願いしている。	市内の山間部に点在する山城群の形成はその地域の生活様式や文化にも影響しており、歴史と共に深く学ぶことで、地域の魅力を発見できる講座と考えている。山辺地区7城と中山地区1城と近隣の山城は全て歩いたので、今後は小笠原氏に関連の山城を継続して学ぶ講座としたい。	
第65回卓球・第42回ゲートボール大会	11月14日	中止回	地域事業 (体育)	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 平成30年度から卓球大会では個人戦をオープン競技としている。 平成29年度からゲートボール大会では、山辺中学校ドリーム大学ゲートボール学科のチームがエントリーしている。	本部体育委員会で企画・実施。 町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 卓球競技がオープン参加となり、参加できる人の範囲が制度上拡大した。 また、中学生の参加でゲートボールを通じての世代間交流が図られている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止とする。	
親子そば打ち講習会	11月13日	1回	子育て	その他	17人	親子で信州の伝統文化と食を学び、文化の継承と食育につなげている。地域住民をが講師となり、親子にそば打ちを教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子餅つき大会	12月18日	1回	子育て	その他	60人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域のボランティアに協力いただき、親子を対象に杵と臼を使って餅つきを体験する講座である。	地域ボランティアに準備および当日のお手伝いをお願いしている。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、会場できたてのお餅を食べることがかなわないため、ついたお餅はボランティアの方に丸めて頂き、持ち帰る工夫をした。	
親子しめ縄教室	12月25日	1回	子育て	その他	30人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。地域住民をが講師となり、親子にしめ縄づくりを教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
防災講演会	7月4日	1回	防災	成人	50人	平成30年度から、里山辺地区ハザードマップで予想される災害やこれまで取り組んできた防災活動について、公民館、まちづくり協議会で話し合いの場をつくってきた。 今年度は、「防災減災のための心の科学 リスク社会をいかに生きるか」と題して、信州大学地域防災減災センターの菊池聡先生の講演会を実施する。	里山辺地区自主防災連合会、里山辺地区防犯協会防災部と共催。	昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止としたが、本年度感染状況が減少したことを踏まえ実施する。折しも直前に熱海の集中豪雨により発生した土石流災害もあったので参加者の関心は極めて高いものであった。	
山辺地区立志式	2月5日	中止回	地域事業(その他)	青少年	0人	参加者が地域の先輩の話を聴き今後の進路決定の一助とするとともに、地域の一員として地域活動に参加する契機をつくる目的で、山辺に住む中学2年生を対象とした「立志」を祝う式典。3/4成人式。 式典は中止としたが、実行委員会で内容を協議し、当日資料冊子および記念品、地域在住で東京オリンピックマウンテンバイク代表の山本幸平さんの「夢を持つこと」の演題で中学生への応援メッセージをYouTubeで配信した。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成員は、山辺中学校長、里山辺地区町内公民館長、里山辺公民館図書視聴覚委員長、里山辺地区子ども会育成会長、山辺中学校PTA、入山辺公民館	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止としたが、参加を予定してくれた子どもたちへ地域からのお祝いの気持ちとメッセージを発信する工夫をした。 来年度も入・里山辺の行事として関係者と連携の上、継続して実施していきたい。	
やしゅうま作り教室	2月12日	中止回	地域文化	青少年	0人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域住民をが講師となり、親子に「やしゅうまづくり」を教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子スキー教室	3月5日	中止回	子育て	その他	0人	地域在住のスキーインストラクターに講師を依頼し、子どもたちの覚えに応じたコース設定やカリキュラムで指導してもらう講座。	地域のスキーインストラクターと調整しながら、会場や指導内容を検討している。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。 冬でも外でスポーツを楽しむ習慣を子どもたちに身につけてもらうことを目的として、地域の講師に企画内容や実施時期を調整しながら、毎年継続して開催したい。	
わいわいカレー事業	4月18日 5月16日 6月20日 7月17日 9月11日 9月25日	3回	子育て	その他	91人	小学生以下の子どもたちを対象に、地域のボランティアの指導を受けながら農作業を体験し、地域の自然や営みに関心をもってもらう講座。子どもたちには、自分たちが育てた野菜・米の収穫まで継続して参加してもらう。 地域づくり推進交付金の交付金を財源とし、地域での多世代交流を促進する。	まちづくり協議会と共催。 (有)ファームワーク山辺、地域ボランティア(農作業支援、調理支援)、JA松本ハイランド山辺支所に協力をいただいている。	子どもたちが、食について学習するとともに、家族ぐるみで多くの住民(ボランティアや他の参加家族)と関わることで、幅広い世代の交流の場として、住民同士のつながりが深まっている。 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、3回中止したが、「我が家のカレー」という企画をし、自らが育てた米、野菜を材料にカレーを自宅で親子で作って頂き、完成写真をまとめた。	
美ヶ原ウォーク	7月18日 9月29日	2回	趣味教養	成人	21人	美ヶ原ロングトレイルのコースを活用し、市の庁用バスを使って日帰りで巡る講座。①地域在住者も意外と行ったことがない美ヶ原の魅力を歩いて知ってもらうこと、②参加者同士で楽しくふれあいながら歩いて山の散策に興味をもってもらうことを目的とする。7/18は扉峠ドライブインから茶臼山を経由して山本小屋をめざすコース、9/29は三才山ドライブインから烏帽子岩を経由して武石峠・思い出の丘めざすコースで実施した。	講座開催の広報をする前に、コースの下見を実施して、危険箇所や休憩箇所(トイレ・昼食)を確認している。 バスへの乗り降りを行う地点をバスの運転手と確認し、行程をあらかじめ知らせておく。	松本の代表的な観光地である美ヶ原高原に整備されたコースを歩く貴重な講座である。幅広い世代の方が参加できる講座にする工夫をさらに検討したい。 6年間継続してきた講座であり、美ヶ原高原ロングトレイルのコースをほぼ網羅してきたが住民の意向等を聞きながら、これまで挑戦したコースももう一度採用しても良いと考える。	
市長杯争奪球技大会 第一ブロック予選・本戦	9月12日 10月31日	1回	地域事業(体育)	成人	42人	ブロック予選は新型コロナウイルス感染拡大により中止となる。抽選の結果軟式野球が本戦出場となった。 本戦では新型コロナウイルス感染拡大により軟式野球、ゲートボール、マレットゴルフに地区として出場した。	地区体育協会で必要物品・用具の準備や当日のチームの支援を行った。 ブロック予選については5地区(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)の体育協会と実施日程と競技内容を検討し、年度初めの会議で決定する。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、競技によって中止となった。 各競技ともに地区選抜としてチームを組み、地区の総力をもって大会に臨んでいる。 当日は、本部体育委員に各種目に張り付けて対応してもらい、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収等に協力してもらう。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
楽しく歩こう講座	4月8日 5月21日 10月14日 11月25日	4回	福祉健康	成人	79人	春や秋の歩きやすい時期に、里山辺地区内の名所をめぐり、そこに関わるエピソードを講師（花岡 豪 元里山辺公民館長）から聞き、地域の魅力を発見する講座。	福祉ひろばと共催。	講師ならではの情報や人脈を生かし、コースを決めている。そのため、普段何気なく通う道に新たな発見や気づきがあり、より一層地域に親しめる講座となっている。	
里山辺公民館健康講座	11月15日 12月9日 1月13日 1月20日 2月17日 3月3日	4回	福祉健康	成人	29人	歌で健康力アップ講座 全1回8名 ボールウォーキング講座 全3回21名	開催日程の調整、講師への依頼、必要な用具の準備は公民館で行う。	冬の時期は運動不足になりがちのため、室内で簡単にできる講座として継続して開催している。講座で学んだことを個人で実践することから参加者へ伝えながらも、可能な限りでサークル活動や町会での仲間づくりにつなげるように参加者の傾向も見ながら内容等を検討していきたい。 予定していた「リンパマッサージ講座」は講師と調整がつかず、中止とした。 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、「歌で健康力アップ講座」は1回を中止とした。	
さとのわファーム	5月8日 6月12日 7月31日 9月4日 10月30日	4回	子育て	その他	83人	地区に住む子どもが里山辺地区に住んでいることに誇りをもち、地域の方々に見守られて育っていく温かいコミュニティづくりを目指す事業。事業内容は①休耕地を利用した農作物（さつまいも、トウモロコシ、スイカ、大根）栽培と収穫祭②プランター栽培で環境美化	まちづくり協議会と連携して、子ども向けの企画を検討し、地域の住民にできるだけ協力を仰ぎながら実施する。	新型コロナウイルスで集う場所がない現状を考慮して、感染の心配が少ない野外での活動に工夫した。 事業終了後にアンケートを実施し、地域での活動について一定の関心をもってもらうことができたので、より一層地域のことを知ってもらう機会にしていきたい。	
知る知るやまべ探検隊	4月24日 5月22日	2回	地域文化	成人	23人	「私たちの身近な地域を探索しよう！」というコンセプトを設定し、地域の歴史と文化全般について学ぶ講座である。内容は、これまでの成り立ちと保存継承活動の沿革、そして時代の移り変わりや人々の考え方の変化が歴史・文化とどのように結びついているのかについて、地域の歴史文化、民族等に詳しい方々から学ぶというものである。2回のテーマは以下のとおり。 第3回、「里山辺のお船祭りとお船祭」 第4回、「入山辺のお祭りとお船祭」	入山辺公民館と共催。 講師を山辺歴史研究会の方々に依頼した。 公民館と山辺歴史研究会の方々と打ち合わせを行っている。そこで、テーマの設定、講義の分担と内容の割り振り、資料の作成の分担を決めて、準備および当日の運営を打ち合わせる。	講座の立ち上げにおいて、入山辺地区・里山辺地区に住む中学生へ地域の歴史や文化に関心をもってもらい、地域の伝統の継承を世代を越えて考える機会にしたいと発案したが中学生の参加者は得られなかった経緯がある。そこで、まずは地域の方で地域の歴史・文化を知り、学び深めたい方を募集して、大人でも意外と知られていないことを学び、中学生など次世代を担う者へ語ることを今年度の趣旨とした。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
山辺の地域再発見	5月31日 7月26日 8月2日	3回	地域文化	青少年	108人	入山辺地区・里山辺地区に住む中学生へ地域の歴史や文化に関心をもってもらい、地域の伝統の継承を世代を越えて考える機会にしたいと発案したが中学生の参加者は得られな「知る知る山辺探検隊」の発展として、地域住民と共に学び合う「山辺ドリーム大学」の中に1年生対象に「地域再発見」という講座を設け、中学生が自らテーマを設定し、追求学習をすることになった。	入・里山辺公民館・山辺歴史研究会・山辺中学校の三者共催	中学生が興味を持ち、意欲的に追求学習ができるような話題提供が重要であると考え、「山辺のここがすごいところ」のパワーポイント作成し、オリエンテーションを行う。更に追求段階でつまづいている生徒を対象に夏休み中に学習会を実施し、質問に答えた。公民館では資料提供に最大限の努力をし、追求学習のサポートを行う。今後も中学校の総合的な学習の時間に於いて継続した活動ができるよう働きかけをしていく。	
男の料理教室	6月18日 8月13日 10月21日	中止回	趣味教養	成人	0人	料理の楽しさ、自分で作った料理を味わいながら、地域における人と人との関係づくりになることを期待し続けて開催している。対象者は男性。 講師：久保田一さん（兔川寺町会）	福祉ひろばと共催。 メニューは講師に考えてもらい、季節の食材を使うように知恵を出してもらっている。	新しいメニューにも挑戦し、地区内外から新しい参加者も受講しているが、決まった参加者のみが参加することも多い。参加者に周囲の仲間を気軽に誘ってもらうように工夫したい。 令和3年度で開講から20周年を迎えるたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とする。	
公民館だよりの発行	通年	12回	地域事業 (文化)	成人	0人	広報まつもとの配布にあわせて公民館事業の広報として配布。 地区公民館の主催・共催行事、講座案内等を掲載。毎月発行。	開催日までに十分な申込期間を設定して、事業の募集について記事を掲載している。 公民館が立上げに関わった団体や事業を共催する団体の活動報告もできるだけ取り上げて掲載している。	紙面のデザインや内容について見やすく、公民館の開催事業や住民の活動内容に興味をもってもらえるように、工夫をしていきたい。	
図書コーナー管理	通年	200回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	・返却本の整理作業 ・図書の入れ替え（中央図書館所管本、年2回） ・新刊図書の貸出準備、紹介文の掲示 ・未返却図書の返却促進の掲示	図書視聴覚委員会で分担して作業にあたってもらっている。	図書の返却・整理に負担がかかるため、間隔をあけて委員の都合の良い日にまとめて整理する方法をとっている。 未返却本ゼロを目指し、利用者に掲示やお知らせ、催促ハガキ等の対応をとっている。	
まちづくり協議会	通年	中止回	その他	成人	0人	町会長や地区関係団体の代表者などで組織する協議体であり、地域全体に関わる課題や今後へ向けての展望について話し合っている。話し合いで確認されたことを地域住民や各種団体へ発信したり、協力してもらえる方とどんな活動につなげられるか協議するなど、住民が自由に意見を交わす場とする。	里山辺公民館はまちづくり協議会事務局と連携して、住民や各種団体との連絡調整を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。地区や町内、サークルによる公民活動が具体的なまちづくりの取り組みにつながるように、連絡調整を進めていきたい。 また、公民館独自の学習会や講座にも生かせる内容や意見を参考にしていきたい。	

令和3年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
さと健 (里山辺健康教室)	通年	10回	福祉健康	成人	150人	毎月第2金曜日に開催。地区体力づくりサポーターに指導してもらい、無理なくできるストレッチや筋トレ、脳トレなど、気軽に体を動かす講座。	福祉ひろばと共催。	里山辺体育館を主な会場とするが、夏の暑い時期にはバスハイク等を実施し、冬の厳寒期には福祉ひろば教養娯楽室で開催するなど、工夫をしている。	
体育委員会	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	105人	地区体育事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会。本部体育委員が事業の企画を行い、町内体育委員が町会への事業内容の周知と町会対抗競技等のチーム編成を行う	本部体育委員の選出(各町会より委員を選出→公民館長から委嘱) 体育委員会を本部体育委員長が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	本部体育委員と町内体育委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の体育事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらうことが大切である。 体育委員会の所管する事業は大がかりなで、かつ休日開催であるため、会議の数など、できる限り役員の負担を軽減する必要がある。また、特定の競技に偏らずに、住民が気軽に参加でき、楽しめる内容を企画するように委員会で協議する必要がある。	
スマホ講座	6月21日	2回	趣味教養	成人	8人	住民同士のコミュニケーションの手段を増やし、住民の生活の質を向上する目的で、スマホの普及率が3/4程度となるシニア世代がスマホの機能のメリット・デメリットを学び、操作の熟達につなげる講座である。 毎回テーマを変えて実施した。テーマについては以下のとおり。 第一回、スマートフォンでマイナンバーカードを申請しよう 第二回、「LINEを使ってみよう」	NTTドコモの出張スマホ教室と連携して、講師を派遣してもらい、スマホを実際に使い、テキストと講師のレクチャーで学ぶ形式である。開催日時、参加定員、テーマと進め方は、出張スマホ教室担当者と打ち合わせて決めている。	スマホが多機能化する昨今、手軽なコミュニケーション手段であるとともに、様々なサービスのデジタル申請や各種問い合わせを利用するためにスマホは不可欠である。反面、消費者問題や身に覚えのないトラブルなどに、使う側が巻き込まれる恐れがある。 スマホに対する正しい知識と利用方法を身につけて、手軽に活用できるように、住民のニーズと日々更新される機能とをマッチングした内容で講座を計画していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第47回文化祭	11月6日 11月7日	中止回	地域事業 (文化)	その他	0人	<p>日頃から取り組む地区住民の芸術文化活動を地区の一般の方へ発表・展示するステージ発表会および作品展示会を開催している。1日目は作品展示会のみ開催、2日目はそれに加えてステージ発表や販売・体験のコーナーを開催する。</p> <p>また、大勢の方に来場してもらうため、地区福祉ひろば事業推進協議会で主催する「福祉ふれあいフェスティバル」と合同で開催し、家族で参加できるアトラクションを設けるなど多世代交流となるように工夫している。</p> <p>作品展示では、保育園児や小学生、中学生、高校生（エクセラン高等学校）から町会で推薦を受けた住民まで、多彩な作品を展示する。</p> <p>ステージ発表では、山辺小学校合唱団およびブリーズウィンズ（金管バンド）、山辺中学校ドリーム大学、公民館・福祉ひろばの各サークルなどが出演する。</p>	<p>本部文化委員会で企画し、町会ごとの作品の取りまとめは町内文化委員が行う。</p> <p>開催要項について、実行委員会（福祉ひろば事業推進協議会、福祉ひろばコーディネーター、本部文化委員会）で検討し、決定している。文化祭の準備と当日の運営については、本部文化委員および町内文化委員で担う。</p> <p>ステージ発表の出演団体や販売・喫茶コーナーの出店団体は公民館で呼び掛けて、当日の分担について打ち合わせを行う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。</p>	
本の読み聞かせと工作	11月7日	中止回	地域事業 (文化)	青少年	0人	<p>地区文化祭に合わせて実施する講座である。</p>	<p>図書視聴覚委員会で企画、準備、当日の運営を行っている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。</p>	
里山辺人権の集い	8月9日	1回	人権平和	その他	30人	<p>終戦の日を間近に控えるこの時期に「海軍特別少年兵」の映画を視聴することで、当時の日本の置かれた状況の中で戦争に身を投じた若き少年兵の思いや、家族の思いに触れることで平和の尊さを知る機会とした。</p>	<p>新井地区人権啓発推進協議会と共催。公民館だよりおよび小中学校へのお知らせで開催周知を行った。</p>	<p>昨年の人権講演会の様に実際の戦争体験者からのお話と比べると、平和教育として訴える点に於いてはやや弱い感じは否めないが、当時の実話を映画化したものであるため、映像を通しての平和への感性を醸成できると考える。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
週一ウォーク	通年	42回	福祉健康	その他	1,247人	里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が2割弱であり、潜在的な該当者も合わせると2割を超すと予想される。生活習慣においても、国民保健加入者における「1日に1時間以上の運動をしない人」の割合は4割超である。このような状況を踏まえて、年齢を問わず、住民が運動習慣を身につけてもらうために、週1回の頻度でウォーキングをする講座を実施するものである。	里山辺地区福祉ひろばと共催。地区住民誰でも、ご都合が合う時に参加できる方へ向けて、公民館だよりおよび福祉ひろばだよりで周知している。ウォーキングの結果を記録できるように、福祉ひろばでスタンプカードをつくり、月2回以上参加した参加者へプレゼントを用意している。	ウォーキングの習慣を身につけてもらうための講座であり、講座に参加するだけが目的でなく、参加者が日常生活で運動する習慣を身に付けてもらうことを目的としているが、通年通して実施したことで定着してきた。また、赤ちゃんを連れのお母さんから、若い世代、高齢者世代まで多世代が参加する事業に発展している。 雨天・降雪により3回中止。通年を通して歩いた距離は200kmを越える。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	72人	隔月の奇数月の30日付けで発行している「館報さとやまべ」の編集を行う公民館委員会。	館報編集委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 館報編集委員会を館報編集委員長が招集し、委員の合議で館報の掲載内容を決定し、入稿記事を整える。記事および紙面割り付けレイアウトを印刷業者へ入稿し、校正確認を行い、最終紙面を確定する。	地区や町会の公民館活動の内容はもとより、携わった関係者や参加者が活動を通じてどんな学びや気づきを得たのかを地区全体に向け発信している。また、時代や環境で変化する地域の民俗や文化、生活環境などを取り上げ、地域の記録を残すための館報づくりを行っている。 館報への掲載内容は委員の意見やアイデアをもとに委員会で決定しており、委員自身の学びにつながるという効果も大切にしている。 今年度は平成年間の館報をまとめた合冊版の作製し、希望販売した。	
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	公民館の図書コーナーの整理、返却本の管理、未返却本の督促状の送付、図書の入れ替え作業（中央図書館蔵書）、図書の購入（新刊本等）、地区行事への協力を行う。	保育園や小学校での保護者同士のつながり、読み聞かせサークルでのつながりを活かし、公民館の図書視聴覚活動に興味のある方を委員として選出し、公民館館長より委嘱している。 会の運営は委員による自主運営を基本とする。	子どもから高齢者まで幅広い世代の方が自由に利用できる図書コーナーは住民の知識の形成や学びに大いに寄与している。 現状、職員が常駐していないため、委員のみで本の整理するには人手が必要である。地域の作家や製作者の図書視聴覚資料を地域に積極的に発信するなど公民館の図書の利活用を促すとともに、地区行事で図書視聴覚委員会の活動に関心を持ってもらう機会を充実させたい。	
図書の購入	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	・新刊図書の購入（年3回程度） ・立志式でのおすすめ本の購入と紹介 ・中央図書館廃棄本の譲り受け	図書視聴覚委員会で作業にあたってもらっている。	今話題の新刊図書や山辺地区立志式で紹介する「15歳のきみへ」おすすめ本を購入。新刊図書の紹介文の作成と掲載。	

令和3年度 事業報告の概要

今井公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の親睦を深め、交流の輪を広げる。 ・地区住民が、自分達の暮らす地域や生活を見つめ直す事業を推進する。 ・事業の企画運営に住民が参画する。 <p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公害対策委員会、空港対策委員会が設置されている農村地区であるため、環境や公害問題に関心が高い。 ・地区役員が1年で交代するため、継続して地域づくりを担う人材の発掘・育成が求められている。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育講座を実施し、地域の伝統文化や異文化を理解した。 										<ul style="list-style-type: none"> ・7月の支部対抗球技大会、8月の今井ドンパン夏祭り、10月のいまいスポーツ健康フェスティバルはそれぞれ開催に向け検討したが、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、中止とした。来年度は関係団体と検討し、できるだけ実施していきたい。 ・11月の文化祭は、屋外での発表、受付の設置、持ち帰りのみの出店など、感染症対策をしながら実施することができた。特に屋外での発表がとても賑やかでよかった。来年度も方法を工夫、検討して開催したい。 ・地域の伝統文化を引き継ぐ取り組みとしてそば打ち講座、異文化理解を深めるためカレー料理教室を開催した。楽しく学べ、参加者同士も交流できた。来年度も食育講座を実施したい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	4	2	5	6	1	0	4	0	2	3	2	0	5	2
延べ 参加人数	81	49	140	219	0	0	317	0	8	0	300	0	222	100

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春の自然観察会	5月9日	中止	環境	成人	0人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策、山菜採取、山菜料理の試食を行う。 【ねらい】 ・住民同士が親睦、交流を深めながら今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井財産区	【評価と反省】 ・林道土砂崩落復旧工事のため入山できないため安全を考慮し、中止とした。 【今後の方針】 ・安全対策、感染対策をしながら継続開催したい。	
塩の道古道ウォーキング	5月24日	1回	福祉健康	成人	23人	【内容】 ・小谷村塩の道古道をウォーキングして往事を偲ぶ。 【ねらい】 ・自粛期間で閉じこもりがちであった地区住民に自然と歴史ロマンを満喫してもらい健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・視察先ガイドとの調整 【共催団体】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・予想以上に起伏が厳しかったが、脱落者もなく完歩できた。昔の人の苦勞が偲ばれた。 【今後の方針】 ・塩の道は他に数コースあり、今後もコースを変えて継続したい。	
未就園児応急救護講座	5月26日	中止	子育て	家庭教育	0人	【内容】 ・未就園児の保護者向けに乳幼児期の子どもに起こりがちなケースに対する応急救護講座 ・講師は芳川消防署神林出張所職員 【ねらい】 ・適切な応急救護を学ぶ。	【準備過程】 ・未就園児サークルのりんごサークル代表者と内容及び日時を検討 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体】 ・りんごサークル（育児サークル）	【評価と反省】 ・感染警戒レベル4の状況下で、講師（消防署）の派遣対応が不可とのことでやむなく中止とした。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら可能な時期に、実践的な内容の講習を継続していきたい。	
命のお話 人形劇 (人権啓発推進事業)	7月8日	1回	人権平和	青少年	40人	【内容】 ・人形劇団「がらくた座」による命をテーマにした人形劇を鑑賞する。 【ねらい】 ・子どもからお年寄りまで、人形劇を通して命の大切さを学ぶとともに、障がい者への理解を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュース、福祉ひろばおよび周知 ・保育園への参加呼びかけ 【共催団体】 ・今井地区人権啓発推進協議会 ・今井福祉ひろば ・今井保育園	【評価と反省】 ・福祉ひろば事業のふれあい健康教室にあわせて開催したため、保育園年中さんを含め多くの参加をいただいた。 【今後の方針】 ・子どもから大人まで広い年代層に人権について考える機会を提供していきたい。	
支部対抗球技大会	7月11日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・支部(町会)対抗の球技大会(バレーボール、ソフトボール、マレットゴルフ、ゲートボール)を行う。 【ねらい】 ・地区住民の親睦交流	【準備過程】 ・スポーツ協会の役員と支部長合同会議にて協議 【共催団体】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・協議の結果、感染症対策のため中止となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら開催に向け検討したい。	

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロック地区球技大会（兼市長杯争奪球技大会予選）	7月	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・西南ブロック3地区（今井・笹賀・神林）で軟式野球とバレーボールの大会を行う （当番地区：今井） 【ねらい】 ・市長杯の予選を兼ねた西南ブロック3地区の親睦交流	【準備過程】 ・3地区の体協役員、公民館職員 の合同会議により内容を検討 【共催団体等】 ・笹賀公民館・スポーツ協会 ・神林公民館・スポーツ協会	【評価と反省】 ・3地区の意見集約の結果、コロナの感染拡大状況を考慮して大会は中止とし、10月の市長杯大会への出場は次のとおりとした。 軟式野球・・・神林地区 バレーボール・・・笹賀地区 【今後の方針】 ・3地区で連携し、感染状況をみながら開催に向け検討したい。	
平和への願いを込めたお話（人権啓発推進事業）	8月11日	1回	人権平和	成人	17人	【内容】 ・歩兵松本50連隊に所属され、奇跡的に生還された方から直接聞き取られたお話を聞く。 【ねらい】 ・平和と命の尊さを学ぶ	【準備過程】 ・公民館ニュース、福祉ひろば よりにて周知、参加者の募集 ・講師との打ち合わせ 【共催団体】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・終戦記念日を前に、戦争の悲惨さ、愚かさを改めて考えさせられる良い機会となった。 【今後の方針】 ・今後も平和と命の大切さを学ぶ機会を設けていきたい。	
今井ドンパン夏祭り	8月14日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	【内容】 ・花火の打ち上げとバンドのコラボによる地区の夏祭り 【ねらい】 ・地域の活性化 ・子どもたちの思い出作り	【準備過程】 ・実行委員会を開催し実施の可否について協議 【共催団体等】 ・今井ドンパン夏祭り実行委員会	【評価と反省】 ・実行委員会で協議の結果、来場者の把握や整理など感染予防対策が十分にとることが困難との判断から中止となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら可能な規模での開催に向け検討したい。	
人権視察研修	8月19日	中止	人権平和	成人	0人	【内容】 ・戦争遺跡の「松代象山地下壕」と県立歴史館の企画展「青少年義勇軍が見た満州」を見学する。 【ねらい】 ・平和と人権、命の尊さを学ぶ	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・参加申込者への中止連絡 【共催団体】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・参加申込み受付をしていたが、感染警戒レベルが高まったため急遽中止とした。 【今後の方針】 ・今後も人権学習ができる視察先を選定し継続したい。	

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
育児サークルバスハイク	9月15日	中止	子育て	家庭教育	0人	【内容】 ・ハヶ岳アルパカ牧場他での動物とのふれあい 【ねらい】 ・未就園児の子どもとその親を対象とし、親同士、子ども同士の交流を深めるとともに、子どもの情操教育に役立てる。	【準備過程】 ・育児サークル及び見学先との調整 【共催団体】 ・りんごサークル（育児サークル）	【評価と反省】 ・計画した時期（当初9月、延期3月）が感染警戒レベル引上げの時期と重なり中止とした。 【今後の方針】 ・安全に考慮しながら、育児サークルの交流の場、リフレッシュの場として継続したい。	
松本市市民体育大会	10月10日	1回	スポーツ	成人	6人	【内容】 ・軟式野球、ソフトバレー、卓球、マレットゴルフ、ゲートボールに参加 【ねらい】 ・競技を通じた住民同士の親睦と交流	【準備過程】 ・各団体代表へ参加の意向を確認 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・ゲートボールのみ参加し、第3位入賞 ・他の競技はコロナ禍もありチーム編成ができず不参加となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら、全競技に参加できるようチーム編成に取り組んでい	
いまいスポーツ健康フェスティバル	10月24日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・ニュースポーツ、健康測定を中心とした自由参加のイベント 【ねらい】 ・地区住民の親睦及び交流 ・子どもたちの思い出づくり	【準備過程】 ・スポーツ協会の役員会にて協議 ・支部長からの意見集約 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・役員会にて開催方法複数案を検討し、支部長（町内公民館長）にアンケートとった結果慎重な意見が多数を占め、中止とした。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら可能な規模での開催に向け検討したい。	
篠ノ井線廃線敷ウォーキング	10月27日	1回	福祉健康	成人	26人	【内容】 ・廃線となった旧国鉄篠ノ井線を歩き鉄道の歴史を学びながら約2時間のウォーキングで心身をリフレッシュする。 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった地区住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・視察先、ガイドとの連絡調整 【共催団体等】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・林間の廃線敷をガイドの説明を受けながら無理なくウォーキングを行うことができた。 ・参加者の多くはリフレッシュできたようだった。 【今後の方針】 ・屋外のウォーキング事業は今後も継続したい。	

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
市長杯争奪球技大会	10月31日	1回	スポーツ	成人	6人	【内容】 ・ゲートボールに加え、西南ブロックでの予選で優勝した場合は野球とバレーボールに参加 【ねらい】 ・競技を通じた住民同士の親睦と交流	【準備過程】 ・西南ブロック予選大会は中止 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・感染症対策により、野球とバレーボールの西南ブロック予選会は中止となり、ゲートボールのみの参加となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら、大会に参加できるようにチーム編成に取り組んでいく。	
今井地区文化祭	11月6日 11月7日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【内容】 ・地区全体の文化芸術に関する展示、発表を行う。 ・地区内の団体により、出店を行う。 【ねらい】 ・地域の文化芸術に携わる人、団体の活動を通して、人材発掘や諸団体等の活動について相互理解を促す。	【準備過程】 ・地区内活動団体に発表、展示の希望調査 ・調査結果を踏まえ、実施の方向で実行委員会を2回開催 【共催団体等】 ・今井地区文化祭実行委員会 ・今井福祉ひろば ・今井小学校 ・鉢盛中学校 他	【評価と反省】 ・昨年同様感染予防対策のため、受付の設置や屋外での発表など、新たな試みも多かったが、大きな混乱もなく無事に開催できた。 ・出店は、そばの持ち帰りに加えて、持ち帰りの焼き芋、焼きそばを復活させ地区住民に喜んでいただけた。 ・小中学生の発表で文化祭を大いに盛り上げることができた。 【今後の方針】 ・今年度の実施方法を参考としながら、事業の開催を目指したい。	
若妻そば打ち講座	1月12日	1回	地域文化	女性	15人	【内容】 ・そば打ちの技術を身につける(平日) ・地区のそば打ち名人に講師を依頼 ・平日開催を望む子育て世代の主婦層を対象に開催 【ねらい】 ・若い女性へのそば打ち技術の伝承と交流を深め、将来の地域貢献へと繋げる。	【準備過程】 ・講師と講座日程と内容を検討 ・公民館ニュース等で周知 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・全6回を計画したが、感染警戒レベル上昇のため、5回を中止とした。 ・参加者の声掛けにより、初心者申し込みも多かった。 ・感染予防対策として、前半、後半の2グループに分けて実施した。 【今後の方針】 ・受講生同士で繋がりが深まっており、アレンジ料理等講座の幅を広げたいとの希望もあり、要望に応えられるよう継続していきたい。	
図書視聴覚委員会主催 鬼探しくロスワードラリー	2月6日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・節分の時季、鬼に因んだ本を探してそのタイトル中の文字からクロスワードを完成させる。 【ねらい】 ・小学生を中心とした子どもに本への関心を高めてもらう。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会で内容を検討 ・「みんなの図書館」を作成、全戸配布により周知 【共催団体等】 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・参加者を募集したが、感染レベル上昇を踏まえ中止とした。 【今後の方針】 ・今後も本に因んだイベントにより本への関心を高めていきたい。	

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化系委員会合同視察	3月12日	1回	地域文化	成人	9人	【内容】 ・今井地区内の文化系委員会で長野県立美術館と北斎館等を視察する。 【ねらい】 ・他地区の文化施設に学び今井地区の文化振興に寄与する。 ・視察により視野を広め、教養を高め文化事業に資する	【準備過程】 ・視察先との連絡調整 【共催団体】 ・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・委員に行程を作成していただいた。 ・視察先では、美術鑑賞により、教養を深めた。 ・委員同士も交流できた。 ・コロナの感染状況により、参加者が少なかった。 【今後の方針】 ・委員から要望を聞き、視察先を決めたい。	
文化委員会主催 郷土の作家・作品から学ぶ近代史	3月18日	1回	地域文化	成人	11人	【内容】 ・木下尚江、島崎藤村らの郷土の作家と作品から近代史を学ぶ。 ・令和4年度にかけて全12回の学習会を行う。 【ねらい】 ・郷土の作家が生きた時代背景や作品の中から近代日本の歴史を学ぶ。	【準備過程】 ・講師との日程、内容の打合せ 【共催団体】 ・文化委員会	【評価と反省】 ・参加者は積極的に意見・質問を行い学んでいた。 【今後の方針】 ・講師と相談して内容を決めていきたい。	
こだわりのそば打ち講座	3月20日 3月21日	2回	地域文化	成人	15人	【内容】 ・そば打ちの技術を身につける（休日） ・地区のそば打ち名人に講師を依頼 【ねらい】 ・今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。	【準備過程】 ・講師代表との連絡調整 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体】 ・道の駅今井そばの会	【評価と反省】 ・全5回を計画したが、感染警戒レベル上昇のため、3回を中止としたが、感染症対策を講じ、3月後半に2回実施した。 【今後の方針】 ・恒例の講座であり、毎年楽しみに参加してくれる方に加え、初心者にも受講申し込みもあるため、感染症対策を行いながら継続したい。	
マレットゴルフ教室	4月～11月	13回	スポーツ	成人	128人	【内容】 ・鎖川親水公園マレットゴルフ場でマレットゴルフ教室を行う。 ・ルール、技術は参加者同士で教える。 【ねらい】 ・高齢者同士の親睦交流、仲間づくり ・健康増進、閉じこもり予防	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・開催時の飲料の準備 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・熱中症対策として8月の2回を中止としたが、それ以外は開催できた。 【今後の方針】 ・屋外であることや他者との接触がないことから、感染症の影響を受けにくいため、今後も新規参加促進を図りたい。	

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
小学校米作り	5月～10月	5回	地域文化	青少年	100人	【内容】 ・道の駅今井恵みの里に講師を依頼し、今井小学校5年生が米作りを体験する。 【ねらい】 ・児童と地域との「顔の見える関係」を構築する。	【準備過程】 ・小学校・道の駅との調整 【共催団体等】 ・道の駅今井恵みの里 ・今井小学校	【評価と反省】 ・田植え、稲刈り等を行い、今井地区の特色である農業に親しんでもらった。 【今後の方針】 ・今後も引き続き実施したい。	○
親子すくすく教室	5月～3月	7回	子育て	家庭教育	140人	【内容】 ・健康運動指導士に講師を依頼し、親子体操等のレクレーションを行う。 【ねらい】 ・子どもの健やかな成長を促すため、親子で楽しく体を動かせる親子体操を学ぶ。 ・未就園児同士、保護者同士の交流、親睦のきっかけづくりを目指す。	【準備過程】 ・公民館ニュースで通年の事業概要を周知、以後毎月の公民館ニュースで当月の開催日を周知 【共催団体等】 ・りんごサークル (子育てサークル)	【評価と反省】 ・感染レベルの引上げにより4回中止せざるを得なかったが、参加者は楽しみながら自発的・積極的に取り組んでいる様子が伺えた。 ・この教室参加がきっかけで子育てサークルへの加入者もあった。 【今後の方針】 ・地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。	
卓球教室	6月～10月	20回	スポーツ	成人	177人	【内容】 ・今井体育館を会場に卓球教室を開催 ・参加者同士で技術を高めあう 【ねらい】 ・地区住民の親睦交流を図る ・市民体育大会への参加を目標とする	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・開催時の飲料の準備 【共催団体】 ・今井地区スポーツ協会 ・今井卓球クラブ	【評価と反省】 ・今井卓球クラブの協力もあり、感染症対策をしながら活動が継続できた。 【今後の方針】 ・感染症対策を行いつつ、引き続き幅広い年代に周知したい。	
小学校クラブ活動支援	6月～11月	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・今井小学校の放課後クラブ活動に住民が講師として参加する。 【ねらい】 ・児童と地域との「顔の見える関係」を構築する。	【準備過程】 ・小学校との調整 【共催団体】 ・今井小学校	【評価と反省】 ・小学校でクラブ活動は行っていたが、学校と相談し地域の方を講師とする支援は中止とした。 【今後の方針】 ・感染症の状況をみながら、小学校と連携し進めていきたい。	○

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休みは公民館で勉強しよう	7月26日～ 8月20日	19回	その他	青少年	8人	【内容】 ・夏休み期間中に公民館の会議室を開放し、自由に勉強できる場を提供する。 【ねらい】 ・子どもたちの居場所づくり	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・学校へチラシの配布依頼 【共催団体等】 ・今井小学校 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・2年目の企画であったが、コロナの感染レベル引き上げの影響か利用者が少なかった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。 ・来年度は勉強を教えてくれる地域の方を募り、学習補助の日を設定したい。	
本場インドカレー料理教室 (人権啓発推進事業)	8月 8日 3月27日	2回	人権平和	成人	24人	【内容】 ・インド出身のシェフからインドの家庭料理としてのカレーの作り方を教わる。 【ねらい】 ・異国の料理を学びながら、多文化共生の理解を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 【共催団体】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・定員(12人)を上回る応募があり、参加者から好評をいただいた。 【今後の方針】 ・今後も文化、習慣の違いを学ぶ機会を設け、多文化共生社会を目指したい。	
今井地区文化財委員会	通年	8回	地域文化	成人	69人	【内容】 ・地区内の文化財の案内板建替、設置作業 ・地区内の歴史に関する学習会 ・文化財ニュース(会報)の発行 ・文化財活用事業の実施 【ねらい】 ・今井地区の歴史文化の伝承者の人材育成 ・地区内の文化財の保存、活用	【準備過程】 ・毎月の会議開催通知 【共催団体等】 ・今井ふるさと歌留多の会 ・松本市文化財課	【評価と反省】 ・全12回を予定していたが、感染症対策として5月、8月、1月、2月の会議、活動を休会した。 ・委員同士が親睦、交流しながら地区内の文化財の案内板建替、設置を行うことができた。 【今後の方針】 ・老朽化した案内板の立替え、新たな設置等を継続したい ・感染症対策を行いながら、学習会など文化財活用事業を行っていききたい。	
運営委員会	4月26日 3月25日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	25人	【内容】 ・公民館事業計画、事業報告、予算、決算の審議	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会 ・体育委員会	【評価と反省】 ・運営委員会は人数が多いため、感染症対策として1回(3月開催)は書面会議とした。	

令和3年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	通年	13回	公民館委員会・各種会議等	成人	96人	【内容】 ・隔月発行の館報いまい版の取材、編集 ・文化祭での展示	【準備過程】 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・委員がアイデアを出しあい、工夫しながら紙面構成をした。 ・文化祭では、昔の文化祭を館報で振り返る展示を行った。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
体育委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	37人	【内容】 ・スポーツ事業の企画運営、スポーツ協会ニュース発行（主催事業の募集） ・文化祭での出店	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・例年の事業ができないときは、委員がアイデアを出しあい、工夫しながら事業を行うことができた。 ・文化祭では、焼きそばの出店をした。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
文化委員会	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	40人	【内容】 ・地区の歴史、文化の学習及び発表	【準備過程】 ・会議連絡 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・文化祭では、大正から戦前までの学校教育について展示した。 【今後の方針】 ・戦後の教育について学び、文化祭でまとめて展示したい。	
図書視聴覚委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	【内容】 年2回の図書入替、主催事業の企画運営、みんなの図書館発行（図書入替周知、おすすめ本の紹介、主催事業の募集）	【準備過程】 ・会議連絡 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・協力し図書入替を行った。 ・事業は新型コロナウイルス感染状況を考慮し、中止となった。 【今後の方針】 ・来年度に今年度企画した事業を実施したい。 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
公民館ニュース発行	通年	12回	その他	成人	全戸	【内容】 ・毎月の市広報誌の配布に合わせ、全戸に公民館事業等を周知 【ねらい】 ・公民館事業の周知、募集	【準備過程】 ・編集、印刷 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・紙面内容を工夫しながら発行することができた。 【今後の方針】 ・全戸配布だけでは見てもらえないことも多いため、HPの更新などを行っていく。	

令和3年度 事業報告の概要

内田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの観点から事業の実行委員会等の会議では、実施か中止かの議論にならないよう、どうしたら実施できるのかを皆で考えるという方向性で取り組んだ。 ・ササラまつり、運動会が中止となり、子どもが地域や公民館に親しむ機会が減ったため、機会創出を図った。 ・健康づくり講座「PPK（ポジティブ・パワフル・健康づくり）スクール」への参加者の固定化、男性参加者が少ないことが課題だったため、全4回の募集を各回ごとに分けた。毎回アンケート調査を実施し、結果を踏まえて次回の内容を決めた。 										<ul style="list-style-type: none"> ・地区三大大行事のうち、ササラまつり（盆祭り）と運動会は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、文化祭は実行委員で感染対策を検討、徹底して開催することができた。実行委員から積極的な意見が出されたり、工夫している様子が見受けられ、主体的な地域づくりが機能している。 ・当館で初めて夏休み期間に会議室を自習室として開放し、小中学生の利用があった。また、公民館図書コーナーを整備し、子ども向けの図書を充実させた。文化祭、しめ縄・蒸かし饅頭づくり、ササラ踊り学習講座に子どもの参加があり、世代交流ができた。 ・PPKスクールの広報（公民館だより、市民タイムスへの記事掲載）により、初めての参加者を取り込むことができた。地区福祉ひろば事業の際に広報したことで、男性の参加者が増えた。アンケートにより、ニーズを把握したことで参加者から高い満足度を得られた。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	1	4	3	3	2	1	1	4	1	2	2	2
延べ 参加人数	11	76	27	109	72	34	29	0	300	26	224	0	303	371

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田スポーツDay	5月9日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 ウォークラリー、なわとび大会及びニュースポーツの体験。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 体協役員と実施の可否を検討し、中止を決定。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 内容と手法を検討し、参加者を増やしたい。	
自然観察会	5月22日	1回	環境	成人	15人	【事業内容】 阿寺溪谷でウォーキングをしながら自然観察を行う。 【ねらい】 自然環境への理解を深めるとともに、住民同士の交流を促進することにより町会や公民館活動の活性化を図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 自然環境への理解、住民同士の仲をより深めることができた。 【今後の方針】 単なるサービスに終わらないよう、毎年手法を検討していきたい。	
内田親睦ゴルフコンペ	6月23日	1回	スポーツ	成人	29人	【事業内容】 個人対抗による親睦ゴルフ大会。会場は地区内の松本カントリークラブ。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。新規の参加者の発掘。	【準備過程】 町会連合会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区町会連合会	【評価と反省】 ゴルフを通じて交流を深めることができた。また、普段あまり公民館事業に参加しない方の参加もあった。 【今後の方針】 住民の交流を深める機会となっているため、継続して実施したい。	
ホタル学習と観察会	6月25日	1回	環境	青少年	33人	【事業内容】 信州大学教授を講師にホタルと環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川でホタルを観察。 【ねらい】 ホタルを切り口に自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 松原地区公民館、松本ホタル学会、内田児童館	【評価と反省】 ホタルを通して自然環境を考える良いきっかけとなった。 【今後の方針】 子どもの参加が多く、参加者の評判も良いので継続したい。	
街めぐりウォーキング	6月29日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 路線バスで市街地まで出かけ、中央図書館等を歩いて巡る。 【ねらい】 1日1往復の内田線を利用することで、地域の交通についても考えるきっかけとする。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 普段市街地へ出かけない方の参加があり、評判も良かった。地域交通を考えるきっかけにもなった。 【今後の方針】 参加者が少ないので、手法の検討が必要。	

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田地区球技大会	7月11日	1回	地域事業 (体育)	成人	26人	【事業内容】 町会対抗による軟式野球、ゲートボール、ソフトバレーの大会。今年度はゲートボールのみ実施。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 実行委員会（町内公民館長、主事、町会長、体協役員等）で内容の検討を行い、ゲートボールのみ実施。公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため軟式野球とソフトバレーが中止になったが、ゲートボールは大変盛り上がり住民の交流が深まった。各競技の可否は各町会の意見に基づいた。 【今後の方針】 お年寄りもスポーツに参加する貴重な機会となっているため継続したい。	
子ども防災合宿	7月30日	中止	防災	青少年	0人	【事業内容】 災害救助用炊飯袋(ハイゼックス)を使ったカレーライス作り、救急救命講習、避難所の宿泊体験。 【ねらい】 災害時を想定した食事作りや避難所となる公民館での宿泊体験により子どもたちが防災について考えるきっかけとする。	【準備過程】 実行委員会役員（町内公民館長、町会長、子ども会育成会役員、民生・児童委員等）と実施の可否を検討し、中止を決定。 【共催団体等】 芳川消防署、南部保健センター	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 子どもが防災について考える機会となっているため継続したい。	
内田ササラまつり	8月14日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 子ども向けのイベント、打ち上げ花火、参加者によるササラ踊りなど。 【ねらい】 地域の伝統文化であるササラ踊りの継承と子どもからお年寄りまで楽しめる行事として実施。	【準備過程】 実行委員会役員（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員等）と実施の可否を検討し、ササラ踊り、子ども向けのイベントの中止を決定。 当日大雨の影響で打ち上げ花火も中止となった。	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策、大雨の影響のため中止。 【今後の方針】 ササラ踊りの継承と地域の交流の場として定着していることから継続して実施したい。	
水生昆虫観察会	8月20日	1回	環境	青少年	24人	【事業内容】 信州大学の先生を講師に水辺環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川で水生昆虫を採取し公民館で観察。 【ねらい】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 大雨の影響で、採取場所をクネノウチ八幡宮へ変更。 【共催団体等】 NPO法人 川の自然と文化研究所、内田児童館	【評価と反省】 昆虫採取を通して自然環境を考えるきっかけとなった。講師との質疑応答の中で子どもの考える力を養えた。 【今後の方針】 今後も児童館と連携して実施したい。	

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第46回東南ブロック球技大会	8月29日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6種目による6地区対抗競技。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で検討し中止を決定。	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
明善小学校2年生 ササラ踊り学習講座	8月31日 9月10日	2回	地域文化	青少年	71人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財である「内田のササラ踊り」の学習及び体験。 【ねらい】 子ども頃からササラ踊りに親しむことで伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 学校から要請があり、授業の中で実施。 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 学習後、児童によりササラ踊りが体育参観で披露され、他学年、保護者、他地区の住民にササラ踊りを知ってもらう機会となった。 【今後の方針】 ササラ踊りに親しむ貴重な機会となっているため、学校と連携して実施したい。	○
第58回内田地区大運動会	9月5日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 町会対抗による大玉おくりやラリー、自由参加のマラソンなど。 【ねらい】 地区住民が一堂に会し、伝統にもなっている競技を通じて、子どもからお年寄りまで参加できる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会役員（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、健康づくり推進員等）と実施の可否を検討し、中止を決定。	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 子どもからお年寄りまで参加できる貴重な機会となっているため継続したい。暑い時期の開催のため、熱中症対策に気を配りたい。	
内田ナイトウォーキング	9月24日	1回	福祉健康	成人	19人	【事業内容】 地区の夜景を見ながらウォーキングする。 【ねらい】 地区住民の交流促進、運動機会の創出、地域の魅力を再発見する。	【準備過程】 福祉ひろば職員と内容の検討を行い、公民館だより、福祉ひろばだよりで周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 ウォーキングを通して住民同士の交流が活発に行われた。市民タイムスで取り上げられ、地区内外に内田の魅力が発信された。 【今後の方針】 ナイトウォーキングに限らず、様々な内容のウォーキングを検討する。	

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
悪疫退散打ち上げ花火	11月6日	1回	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 文化祭の前段として、地区内で打ち上げ花火をあげた。 【ねらい】 内田ササラまつりの打ち上げ花火が中止となった代替行事。三密を避ける行事として、地区の住民共通の思い出作りを図る。文化祭の宣伝。	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等）で実施を検討。公民館だよりを作成して周知。 【共催団体等】 内田地区公民館運営委員会、内田地区町会連合会	【評価と反省】 近隣住民とのトラブルもなく、来年も実施してほしいと好評だった。事前周知により打ち上げ場所に人が集まることはなかった。 【今後の方針】 継続の方向で実施時期含め、検討したい。	
第44回内田地区文化祭・第23回内田地区福祉ひろばまつり	11月7日	1回	地域事業 (文化)	成人	224人	【事業内容】 サークルによるステージ発表や個人作品などの展示、くじびき、農産物の直売。 【ねらい】 子どもからお年寄りまで楽しむことができる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等）で内容を検討。プログラムを作成して周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 飛沫が生じやすい合唱などは発表をご遠慮いただくなど感染対策を踏まえた内容とすることで実施することができた。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっており、また、子どもからお年寄りまで参加する機会にもなっているため継続したい。	
文化芸術視察研修	11月14日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 長野県立美術館鑑賞、善行寺参拝、精進料理の体験。 【ねらい】 美術品・文化財の鑑賞を通して芸術意識の向上を図るとともに、住民同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 優れた美術品・文化財の鑑賞で得る感動を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 芸術作品・文化財に触れることができる貴重な機会であることから今後も継続したい。	
音の花束コンサート	11月26日	1回	その他	青少年	300人	【事業内容】 明善中学校の体育館にプロの演奏者を招いてのコンサート。今年はピアノとフルートの協演。 【ねらい】 生徒の地区行事等への参加のお礼として開催。公民館活動について、生徒の理解を深める。【趣味教養、地域文化】	【準備過程】 公民館と中学校が連携して準備を進めた。 【共催団体等】 寿台公民館、松原地区公民館	【評価と反省】 普段触れる機会の少ないプロの演奏を聴ける貴重な機会となった。中学生の公民館に対する認識を広げることができた。 【今後の方針】 CS運営委員会に中山公民館も出席していることから、同館を加えての開催を検討したい。	○

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄・ふかし饅頭づくり	12月4日	1回	地域文化	家庭教育	17人	【事業内容】 しめ縄づくりとふかし饅頭の調理。 【ねらい】 地区在住の講師から作り方を教わりながら世代間交流を図るとともに、伝統文化を学ぶ。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価】 地区在住の講師ということもあり、世代間交流をより深めるとともに伝統文化に対する理解を深めることができた。子ども会育成会のクリスマス会と同日で開催したこともあり、育成会役員の協力を得られた。 【今後の反省】 今年度同様、子ども会育成会と連携して実施したい。	
ニュースポーツ体験会	1月30日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 ワンバウンドふらばーるバレー、バスケットピンポン、ポッチャの体験。 【ねらい】 ニュースポーツを通して冬場の運動不足解消と世代間交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 感染警戒レベルがあがり中止を決定。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 参加者が少ないので内容と手法の検討が必要。	
人権啓発視察研修	2月11日	中止	人権平和	成人	0人	【事業内容】 富岡製糸場の視察。 【ねらい】 人権尊重の理念に関する理解と普及・高揚を図るとともに、住民同士の交流を深めることにより町会や公民館活動の活性化を図るもの。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 感染警戒レベルがあがり中止を決定。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	
内田地区ウォーキング	3月5日	1回	地域文化	成人	11人	【事業内容】 地区内の神社仏閣や旧跡などを歩いて巡る。内田かるたも使用。 【ねらい】 内田かるたの活用、地区の文化財等への理解を深めるとともに、健康づくりを通して住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 福祉ひろば職員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 講師の解説から昔を振り返り、住民同士の親睦を深めることができた。ウォーキングで健康づくりにつながった。 【今後の方針】 内田かるたの活用のため来年度も実施したい。	

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
異文化料理教室 (人権啓発学習講座)	3月17日	1回	人権平和	成人	11人	【事業内容】 プロの講師による異文化料理（中華料理）の実習及び試食会。 【ねらい】 料理を通して異文化に対する理解を深めるとともに外国文化に触れ、多文化共生を考えるきっかけとする。	【準備過程】 人権啓発推進連絡協議会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 料理を通して、また、レシピに豆知識を載せたことで異文化への理解を深めることができた。 【今後の方針】 参加者の関心も高かったことから今後も実施を検討したい。	
内田公民館図書コーナー整備	3月17日 3月18日	2回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 図書視聴覚委員による、公民館図書コーナーの整備。地区の読み聞かせ団体による中央図書館団体貸出資料の借受。 【ねらい】 図書を利用した地区住民への学びのきっかけづくり、図書視聴覚委員の活動促進、図書コーナーの充実をきっかけとした地域人材の発掘を図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い実施。 【共催団体等】 内田地区図書視聴覚委員、ひなたぼっこ会	【評価と反省】 未整備のコーナーが利用しやすくなった。 共同作業により委員同士のコミュニケーションが取れた。 地区住民の協力が得られた。 【今後の方針】 団体貸出資料の借受への協力を継続して依頼する。	
ササラ踊り演奏学習講座	3月25日	1回	地域文化	青少年	10人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財「内田のササラ踊り」の唄と演奏の学習。 【ねらい】 ササラ踊りの歌い手や演奏者が少なくなってきたため、次代の担い手の育成を図る。	【準備過程】 中学校で参加募集のチラシを配ってもらった。 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 中学生のみの参加となったが、演奏（三味線）に興味を持つ中学生が多かった。 【今後の方針】 引き続き実施して担い手の育成につなげたい。	
自習室開放	8月	19回	子育て	家庭教育	27人	【事業内容】 夏休み期間に公民館の会議室を自習室として開放し、地区の住民が勉強できる場を提供。 【ねらい】 市民への学習場所の提供、公民館への来館機会の増進を図る。	【準備過程】 公民館だよりを全戸配布、小中学校で配布し周知。	【評価と反省】 対象年齢を定めなかったが、小中学生の利用が主だった。 【今後の方針】 初めての実施だったが、利用はあったため今後も継続したい。	

令和3年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康づくり講座 「PPKスクール」	12月～3月	4回	福祉健康	成人	57人	【事業内容】 理学療法士による健康に関するミニ講座と筋トレと有酸素運動を組み合わせた運動の実施。 【ねらい】 介護予防の啓発と運動習慣のきっかけづくり。	【準備過程】 講師、共催団体と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 健康づくり課、南東部地域包括支援センター、地区生活支援員、介護事業所	【評価と反省】 介護予防の知識を深めるとともに運動習慣のきっかけとすることができた。 【今後の方針】 引き続き、専門職の講師を招いて実施したい。	
公民館委員会・各種地区事業実行委員会	通年	23回	公民館委員会・各種会議等	成人	248人	【事業内容】 公民館事業、地区事業の企画運営。 【ねらい】 公民館事業、地区事業を効果的に行う。	【準備過程】 年度の始め、事業の前後等に随時開催。	【評価と反省】 各委員会、実行委員会で事業の企画運営が行われ、効果的な活動を行うことができた。 【今後の方針】 住民主体で事業が行われるよう、継続して支援したい。	
公民館報「はちぶせ」	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	55人	【事業内容】 公民館事業や地区・町会行事等の記録、地区の出来事や課題等の記録。 【ねらい】 公民館事業や地区の出来事、課題等の周知。	【準備過程】 館報編集委員会において、記事の検討、推敲。	【評価と反省】 公民館事業や地区事業等を住民の視点で記録することができた。 【今後の方針】 事業の記録だけでなく、地区の事に興味を持ってもらえる記事を掲載したい。	

令和3年度 事業報告の概要

本郷公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>地区住民による、より自主的な活動ができるよう意識し、主に次の事業に取り組んだ</p> <p>1 公民館委員会 地区公民館主導の活動から脱却し、より自主的な活動となるよう心掛けた。コロナ禍で地区行事等が少ない中、館報編集委員では、令和6年に迎える本郷地区合併50周年に併せて記事を考えてり、状況に応じた自主的な判断で取り組んだ。</p> <p>2 地区文化祭 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、文化委員会等で検討を重ね、中止した。また、文化祭中止に伴い、例年行っていた図書委員会の除籍本配布等を密を避ける工夫をし、実施した。文化祭の代替として、サークル展示会を公民館主導で開催したが、公民館活動サークルにより展示発表を実施できた。</p> <p>3 講座 毎年行っている講座に加え、シリーズ開催で「心理学講座」を開催したが、コロナ禍により最終回の4回目を中止した。他複数講座を感染症対策を考え実施した。</p> <p>4 貸館 本郷公民館利用者説明会を午後・夜間の1日2回オンライン開催をした。感染症対策をして利用者との意見交換、公民館を利用するうえでの基本事項の確認を行った。公民館設備の老朽化への対応を求める意見も多く聞かれる。</p> <p>5 コミュニティスクール 本郷小学校に対し、授業サポートや各種ボランティア紹介、学校登山へのサポート随行を実施した。また、女鳥羽中学校生徒のボランティアとしての受入、強歩大会への支援等行った。</p>	<p>従来の活動に加え、なにか一つでも付け加えることができるよう意識し、各事業に取り組んだ。力の及ばなかった点はあるが、ある程度の成果を上げられたと感じている。</p> <p>1 公民館委員会 各公民館委員会の自主的な発案等により事業が継続できているが、新型コロナウイルス感染症等により中止を余儀なくされ、実施できなかったものが多く、残念に感じる。</p> <p>2 貸館 新型コロナウイルス感染症等に配慮し、十分な指導と適切な物品提供が出来た。また利用者からの施設に対する要望が多数あげられているが、特に床の不陸、故障した暖房設備の更新、寒冷時に明滅を繰り返す照明器具等に多くの意見が寄せられた。引き続き、所管課へ改善要望を提出したい。</p> <p>3 新しい仕組みづくり 従来からの生涯学習の場として、物理的な場所を提供することに加え、新しい技術（インターネット等）の取り込みにより、今までのやり方を大事にしつつ新たな取り組みが必要と考える。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	1	1	1	1	1	3	1	2	2	8	0	7	9
延べ 参加人数	42	47	27	18	12	12	23	81	28	23	80	0	310	121

令和3年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
アートレクチャー学芸講座	6月22日	1回	趣味教養	成人	12人	・地区に縁のある美術家の足跡から戦後美術について学習する。	【共催団体等】 ・松本市美術館	・本郷国民学校臨時教師を務めた藤松博について、地区住民に新たな知見が得られた。 ・地区縁の窪田畔夫（松門）の作品についても紹介され、松門文庫の保存活用の機運を高められた	
大音寺山ウォーキング	6月26日	1回	スポーツ	青少年	7人	・親子で地区公民館から地元の里山を歩き、地元の自然に親しむとともに、ルート上にある文化財等にも関心を持ってもらう。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・本年度は行き先変更し、新たな参加者をターゲットに募集したが、集まらなかった。 ・次年度以降も行程を変更するなど、継続して開催したい。	○
親子でホテルを見よう	6月28日	1回	環境	青少年	12人	・ホテルの観察会を通じ、自然環境について考える	【共催団体等】 ・浅間温泉ホテルの里づくりの会	・申し込みがあった参加者の他に、温泉の宿泊客などの参加もあり、賑やかな会となった。 ・今後も開催していく予定だが、ホテルの発生時期のピークを予想するのが困難。 ・今年は数多くのホテルが見られ、参加者の満足度は高かった。	○
人権啓発推進講演会	6月30日	1回	人権平和	成人	34人	・地区人権啓発推進協議会の総会に併せ、「在住外国人の差別と共生」をテーマに講師を招き、講演会を行った。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会	・今後もテーマを考えながら開催していく。	
PayPayのギモン答えます！	7月9日 7月13日	2回	その他	高齢者	10人	・松本市のPayPayキャッシュバックに併せて、普段QRコード決済を行えない高齢者対象として実施した。		・急な申し出であったが、市の委託先によって講座を開催できた。 ・受講者からの評判も良く、実際に決済に使われた方からも好評だった。	
美ヶ原を歩こう	7月31日	1回	スポーツ	その他	11人	親子、仲間で参加するウォーキングイベント。楽しみながらの健康増進を目的とする。		・親子や仲間同士など、様々な参加者。年齢層も幅広く、多世代交流が見込めるため、今後も継続。	
七夕飾りを作ろう	8月4日	1回	地域事業 (文化)	青少年	25人	・例年親子料理教室としているものをコロナ対策から調理した七夕料理を持ち帰り、七夕飾りづくりとしたもの。 ・季節の文化を知り、親子で伝統文化に触れる機会を作る。	【共催団体等】 ・本郷地区女性3団体（JA本郷女性部、本郷地区農村女性協議会、食生活改善推進協議会）	・夏休み期間中であったため、予定組数を超える参加であった。 ・今後も継続して開催していく。	○
親子で化石を掘ろう	中止	1回	地域事業 (文化)	青少年	0人	・四賀化石館を見学した後、自分でも実際に化石を採取してみる体験学習の講座。	四賀化石館	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。	○
伝統的建造物群保存地区視察	中止	1回	地域事業 (文化)	その他	0人	・伝統的建造物保存地域である白馬村青鬼地区の見学等、文化委員会主催の文化施設視察研修。	文化委員会主催	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。	

令和3年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
親子ニュースポーツ大会	中止	1回	地域事業(体育)	青少年	0人	・5種類ほどのニュースポーツ体験講習会。	【共催団体等】 ・本郷地区体育協会 ・本郷地区子ども会育成会 ・本郷公民館体育委員会	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。	○
浅間温泉と芸者文化Part3	10月12日	1回	地域事業(文化)	成人	27人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・図書委員からの発案により昨年に引き続き開催。 ・常に定員以上の参加があり、次年度開催の要望もあるため、令和4年度も開催する予定。	
地区親睦マレットゴルフ大会	10月21日	1回	地域事業(体育)	成人	23人	・健康づくり、体力増進とともに、町会の結束と住民の親睦の向上を図る。	体育委員会主催	・参加者からは好評を頂いている。 ・不参加の町会もあり、参加町会の増加が課題。	
文化施設視察(文化祭特別企画)	10月31日	1回	地域事業(文化)	その他	14人	・長野県立歴史館の見学。文化、歴史について造詣を深める機会。	文化委員会主催	・県立歴史館にて地元古墳を含めた古代史について学習でき、新しくなった県立美術館は非常に好評であった。 ・今後も学習内容を吟味し、継続したい。	
本郷公民館サークル展示会	10月25日 ～ 11月14日	20回	地域事業(文化)	その他	0人	・地区文化活動者の発表(ステージ発表、展示発表)、地区に関係する学校(本郷小学校、女鳥羽中学校、第一高校、信州大学)の吹奏楽部等による音楽祭の開催など。 ・地区文化活動者の発表の場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうことを期待し、またその他の参加者が身近な文化・芸能に触れることで、新たな文化活動の担い手となることを目的とする。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、開催可否・内容を検討した。 ・福祉ひろばまつり、児童センターまつりも同時開催のため、福祉ひろばコーディネーター、児童センター長も実行委員として参加。	・新型コロナウイルス感染症への配慮から文化祭の内容変更を行い実施。 ・開催日程・期間・発表方法等について、感染症対策に限らず幅広く検討し、来年度実施したい。	
三九郎作り講習会	12月5日	1回	地域文化	青少年	18人	・地域の伝統行事である三九郎の作り方を子ども達に教え、行事の持つ意味や、手法を次の世代に伝えていく。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・子ども向けの講習会だったが、父兄も参加。 ・好評であり、伝統行事を次世代へ受け継ぐためにも今後も開催する予定。 ・本郷小学校以外の学校へ通う子どもたちの参加が難しい。日程も含め課題が残る。	○

令和3年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権ふれあいDVDコンサート	12/13 ～ 12/27	11回	人権平和	その他	0人	・音楽活動を行っている障害者支援団体のコンサートをを行い、人権について考える機会とする。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会 出演 楽団ケ・セラ	・新型コロナウイルス感染症への配慮からDVDへ収録した映像によるコンサートとして実施。 ・長年同じ出演者で開催しているが、視聴者からは「またやって欲しい」との声が聞かれる。 ・出演団体からの要望もあるため、今後も開催していく予定。	
親子そば打ち教室	12月18日	1回	その他	青少年	18人	・地元のそば粉を使い、親子でそば打ちの体験学習。 ・食べ物への関心向上と共に、親子のコミュニケーション向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・毎年、ほぼ定員一杯の申し込みがある。 ・人気講座であり、今後も継続して開催する予定。 ・新型コロナウイルス感染症へ配慮し、そば打ちのみで持ち帰りとした。	○
書き初め講座	1月5日	1回	地域事業 (文化)	青少年	14人	・地区内の小中学生を対象に開催。 ・伝統文化の継承、技術の向上を図り、子どもの学習支援に繋げる。		・申し込みのあった参加者の他に、当日参加もあった。 ・今後も開催予定。	○
図書委員会主催講演会 浅間温泉よもやま話 Part10	中止	0回	地域事業 (文化)	成人	0人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。 ・毎年行っているが常に定員以上の参加があるが、令和2年に引き続き中止となったため、開催方法を工夫したい。	
里山トレッキング	3月12日	1回	スポーツ	成人	5人	・地元の里山を歩き、健康増進、体力向上の機会とすると共に、地元の里山に親しんでもらう機会とする。		・参加者からは好評をいただいているが、参加者が固定化する傾向にある。 ・講師の高齢化が進みつつあり、今後の開催に不安な面もある。	
本郷山林火災20周年 防災・減災講座	3月19日	1回	防災	成人	81人	・平成14年3月21日の本郷山林火災から20年の節目に、当時を振り返り、防災への意識を高め、本郷の山を今後どうしていくか考える機会とした。	本郷地区町会連合会共催事業 後援：松本広域消防局、松本地域振興局林務課、本郷財産区、テレビ松本、市民タイムス	・節目に大規模な講座として実施し、地区役員等へ十分な周知と学習が提供できた。 ・20年の振り返りを起点としたため、若者の参加を促せなかった。 ・今後関連講座として若年層への、防災・減災及び山の役割等の学習機会を設けたい。	
人権啓発視察 「杉原千畝記念館見学」	3月24日	1回	人権平和	成人	8人	・第2次世界大戦下のリトアニアで、人道上的観点から難民への日本通過のヴィザを発給した杉原千畝に学び、現在の社会情勢について考える機会とした。	本郷地区人権啓発推進協議会	・計画当初にはウクライナ侵攻を予想していなかったが、時世の流れに乗り、効果的な学習機会とできた。 ・新型コロナウイルス感染症の状況から参加者を人権啓発推進協議会の委員に限ったため、人数が少なくなりました。	

令和3年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
心理学講座	7月28日 9月16日 10月16日 中止	4回	福祉健康	成人	47人	・騙される心理や正常性バイアス等、心の動きを学ぶもの		第1回16名 第2回19名 第3回12名 第4回中止	
本郷公民館利用者説明会	2月7日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	5人	・本郷公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行った。 ・利用者との意見交換を行い、使用するうえでの基本事項の共有を図った。 ・午後・夜間2回、Zoomによるオンライン開催。		・利用者からの要望については、すぐに対応できないものもあるが、今後も定期的に開催していく必要を感じた。 ・オンライン開催とすることで普段参加できない代表者も参加でき好評であったので継続したい。 ・オンラインのみの開催として告知したが、会場に集まってしまった利用者もいたため、今後の課題としたい。	
コミュニティスクール事業	7月 8日 7月13日 7月14日 7月15日 8月26日 10月 8日 10月14日 11月11日 11月18日 12月 2日 12月15日 12月17日 1月11日	13回	子育て	青少年	27人	・地域全体で子どもを育てることを目的に、地元住民によるクラブ活動指導、読み聞かせボランティア、緑化事業ボランティア、学校登山のサポートなどの活動を行った。		・事業は今後も継続していくが、ボランティアやクラブ活動指導者が固定化しており、新しい人の加入が少ない。	○
町内公民館長会	4月15日 4月30日 6月10日 9月14日 9月16日 10月14日 2月 8日 3月 9日 4月 5日	9回	公民館委員会・各種会議等	その他	106人	・全員が文化祭実行委員となっているため、文化祭内容の企画をはじめ、文化祭の運営を行った。 ・また公民館長同志の交流を深め、地区内の親睦と結束の向上に努めた。		・昨年から役員交代により、半数近くが未経験者だが、自主的な活動を行えた。 ・活動予算が少なく、新しい事業を行うことは困難。	

令和3年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	4月13日 5月6日 5月19日 7月2日 7月20日 9月1日 9月22日 11月2日 11月5日 1月5日 1月19日 3月4日	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	86人	・公民館報の編集ならびに作成、編集に必要な取材等を行う。		・地区公民館主導での編集が多かったが、次第に自主的な活動が行えるようになってきた。	
体育委員会	5月17日 10月15日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	22人	・各種体育行事を企画・実施し、地区住民の健康増進と交流・親睦の向上を図る。		・年度当初、感染症への警戒から早々に年4回の行事のうち前半2回を中止し、直近状況からニュースポーツも中止とした。 ・一方で町会対抗に対する反対意見から、親睦を目的としたマレットゴルフ大会へ変更した。	
文化委員	5月10日 9月16日 10月14日 3月2日	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	36人	・文化施設視察、文化祭の企画・運営などを行い、地区の文化向上と地区住民の交流・親睦を図る。		・経験者も多く、自主的な活動が行えた。	
図書委員会	4月1日 7月14日 10月7日 10月12日 10月26日 11月14日	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	35人	・年4回の図書日より発行により、読書についての啓蒙を図り、また本郷図書館の活動に協力する。		・自主的な活動が最も盛んな委員会。 ・前年通りにいかない場合となっても、自分達で解決方法を考えて活動できる。 ・委員が固定されているので、新しい委員の加入が問題か。	
運営委員会	5月13日 3月7日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	20人	・本郷公民館の事業計画、予算案、徐行報告、決算報告などについて協議を行い、本郷公民館の活動方針について決定を行う。			

令和3年度 事業報告の概要

四賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>○コロナウイルスの蔓延により、自宅での閉じこもり生活が長く続き、運動不足による体力の低下やフレイル状況が心配されるため、ウォーキングを主体にスポーツ活動を推進した。</p> <p>○将来の地区活性化事業のため地区文化財や地域資源の見直しを図る。</p> <p>○CS事業については、例年四賀小学校の各学年ごとに行われる地区住民との連携行事を滞りなく行なうこと。</p>	<p>○コロナ対策としてウォーキングなどの屋外行事を中心に行ったが定員以上の申し込みが多くあり、概ね好評を得ることができた。参加者の固定化が見られるので次年度はより多くの人が参加できるように配慮したい。</p> <p>○長年続けてきた地区のメイン行事はほとんどが中止となったが、四賀一周駅伝は競技方法を見直すことで規模を縮小したが開催することができた。今後は多くの行事で（ウイズコロナを基本に）見直しを図っていく必要がある。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	6	1	2	0	7	6	0	2	4	3	2	11	1
延べ 参加人数	15	325	80	50	0	290	165	0	215	80	400	3150	145	200

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ベタンク講習会	4月2日	1回	スポーツ	成人	25人	【内容】 ・ベタンク競技の講習会を行う。 【ねらい】 ・ベタンク競技人口の増加を図る。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う。 【共催団体等】 ・板場町会ベタンククラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策をして実施した。 【今後の方針等】 ・競技者が増えれば大会を開催する予定	
福寿草倶楽部交流会	4月17日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・ベタンク、ポッチャ 【ねらい】 ・福寿草倶楽部会員の交流と会員の増進	【準備過程】 ・チラシを倶楽部員へ送付 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【今後の方針等】 ・参加者の減少により他の種目などの新しい交流会を検討している。	
第17回四賀地区球技大会	5月23日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・町会対抗でソフトバレーボール、ソフトボール、ゲートボール、ラージボール卓球、マレットゴルフの5競技を行う。 【ねらい】 ・地区住民がスポーツを通じて、親睦・体力向上・スポーツ人口の底辺拡大、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・競技団体に役員を依頼して、要項を検討し、地区体育部長に参加依頼する。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区の人口が減少する中、町会の協力を得て、大会を開催できている ・地区内の住民、勤務者が基本であるが、申し合わせて地区出身の人が参加できたため久しぶりに会う人もいて交流も多くある。 ・より多くの人に参加して勝負より楽しめる大会にしていきたい。	
図書室談議	6月4日	1回	地域文化	成人	30人	【内容】 ・会田氏の滅亡と小笠原鉄砲衆 【ねらい】 ・図書室の利用促進のため地域話題を題材に講演を行う。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う。 ・地区の歴史に詳しい市川恵一さんへ講師をいらした。	【評価と反省】 ・火縄銃の展示や会田の方が以前四賀地区を訪れたDVDを上映する等わかりやすく講評であった。 【今後の方針等】 ・四賀地区の歴史に興味のある方が多いので継続して開催していきたい。	
あおぞらヨガ体験in四賀球場	6月13日	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 ・四賀球場を使用してヨガを行う。 【ねらい】 ・今年度完成した四賀球場を利用し教室をを行う。 ・地区住民の健康増進を図る。	【準備過程】 ・スポーツ推進委員会を中心に計画を立てた。 ・四賀球場職員と打合せを行い、協力を依頼した。 【共催団体等】 ・スポーツ推進委員	【評価と反省】 ・雨天のため中止となった。 【今後の方針等】 ・来年度四賀地区以外からも参加者を募集し開催したい。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀地区人権啓発推進協議会視察研修	6月17日	1回	人権平和	成人	15人	【ねらい】 ・人権について研修し学習する。 【内容】 ・長野県人権啓発センターでの研修と松代象山地下壕の視察研修する。	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員と研修場所を検討し選定 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・子どもと高齢者の人権について視察研修することができた。 【今後の方針等】 ・人権啓発推進委員以外も視察研修に参加するよう募集し計画して実施していきたい。	
四賀夏まつり2021	7月24日	中止	地域事業(その他)	成人	0人	【内容】 ・ふるさと公園を主会場に小学生の金管バンド、地元で活躍するバンド演奏、踊りなどのステージイベントや夜店が並ぶ。最後は、花火の打ち上げも行われる。 【ねらい】 ・「ふるさと四賀」の伝統・文化を伝え地域住民相互の交流・都市と農村、海と山の交流を深めることにより、住民のパワーアップを図り、活力あるふるさとを創生する。	【準備過程】 ・共催団体による実行委員会を立ち上げ企画、運営をする。 【共催団体等】 四賀観光協会、町会連合会、商工会、四賀元気プロジェクト、J A、町内公民館長会等	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地元出身の花村佑子さんコンサートや小学校の金管バンドなど地域で活躍する人や夜店も中学生が出演するなど地域交流をメインに企画し、これからも地域のための地域住民主体で開催していきたい。	
第35回四賀コンサート	9月11日	中止	地域事業(文化)	成人	0人	【内容】 ・四賀小学校体育館を会場に開催 ・松本交響楽団、会田中学校生徒、四賀小学校4、5、6年生、四賀鼓龍会虚空蔵太鼓、四賀合唱団等が出演する。 【ねらい】 ・四賀の明日をひらく生涯学習推進の基盤として、地区住民総参加のもとに、心の豊かさ、潤い、やすらぎのある生活、情操豊かな文化を創造する。	【準備過程】 ・実行委員会を結成し、企画、運営を行う。 【共催団体等】 ・主催 松本市、松本市教育委員会 ・主管 四賀コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区内唯一の本格的な交響楽団によるコンサートであり小中学生も出演するため家族の来場が多い。 ・来年度は、県民コンサートとして開催wお予定している。	
虚空蔵山山道整備	9月23日	1回	その他	成人	15人	【内容】 ・虚空蔵山の山道の草刈りや支障木を撤去する。 【ねらい】 ・地区内外からの登山者が登り易くなるよう整備する。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う ・四賀文化財保護協会の会員等に声かけをする。 ・参加者は傷害保険に加入する。	【評価と反省】 ・参加者を4グループに分けて実施した。参道の距離が長く、参加人数が足りなかった。 【今後の方針等】 ・参加人数を増やし、毎年実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
会田富士虚空蔵山に登ろう	9月26日	1回	福祉健康	成人	10人	【内容】 ・四賀地区のシンボルである虚空蔵山に登る。 【ねらい】 ・虚空蔵山に理解を深め、体力増進を図る。	【準備過程】 ・四賀地区以外の方参加できるよう、庁用バスを用意したが、新型コロナウイルス感染拡大により、四賀地区内のみ募集した。	【評価と反省】 ・雨天のため中止とした。 【今後の方針等】 ・市民タイムスなどで四賀地区以外にも参加者を募集し開催したい。	
図書視聴覚委員会視察研修	9月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【ねらい】 ・他の図書施設を視察研修して、公民館図書室の充実を図る。 【内容】 ・市立大町図書館、池田町図書館	【準備過程】 ・図書視聴覚委員と研修場所を検討選定 【共催団体等】 ・公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・図書室について視察研修し、今後の図書室運営に役立てていきたい。	
コロナに打ち勝つ健康講座	10月11日	1回	福祉健康	成人	40人	【内容】 ・地元の中嶋歯科医から口呼吸が健康を損なうことについて講演を聞いた。 【ねらい】 ・マウステープによる口呼吸の改善方法を学ぶ。	【準備過程】 ・チラシを作成し全戸配布 【共催団体等】 ・地域づくり協議会健康福祉部会	【評価と反省】 ・口呼吸の改善することにより、良好な睡眠となり健康増進に役立つことを学ぶことができた。 【今後の方針等】 ・健康講座を今後とも開催していきたい。	
第12回四賀バレーボール大会	10月17日	中止	地域事業(体育)	女性	0人	【内容】 女性9人制バレーボール大会 【ねらい】 バレーボール人口の増大と女性同士の交流を図る。	【準備過程】 競技団体に役員を依頼する。 【共催団体等】 四賀体育協会 ママさんバレーボールクラブ 婦人バレーボール連盟	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 バレーボール人口が減少し、参加チーム数も減り、複数町会混合でチーム結成しているため町会間での調整が厳しくなっている。女性同士の交流の場として今後も継続していきたい。	
四賀マレットゴルフオープン大会	10月24日	1回	スポーツ	成人	100人	【内容】 ・マレットゴルフ大会 【ねらい】 ・連盟会員以外も参加でき、会員の新規加入促進する。	【準備過程】 ・会員以外も参加できるので参加募集等を行った。 【共催団体等】 ・マレットゴルフ連盟	【評価と反省】 ・マレットゴルフ連盟が運営し、四賀公民館は住民に周知することで協力している。 【今後の方針等】 ・マレットゴルフ競技人口を増やすため今後も協力して、開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀地区文化祭	10月30日～ 10月31日	1回	地域事業 (文化)	成人	400人	【内容】 ・保育園児、小中学生、各クラブ、団体、サークルの作品展示を行う。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」を開催する。 【ねらい】 ・地区で活動する団体が一堂に会し、文化活動の発展と交流を図る。 ・地区住民の文化活動を推進する。	【準備過程】 ・文化関係団体・個人に通知し、出展者を募る。 ・出展者により運営、準備、片付けを行う。 【共催団体等】 ・福祉ひろば・社会福祉協議会・福寿草倶楽部・四賀小学校・会田中学校・双葉保育園・錦部保育園	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症予防対策をして開催した。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」は新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となった。 【今後の方針等】 ・作品を展示し、来場者に見ていただく貴重な機会であるので来年度も感染症対策をして実施していきたい。	
第62回四賀一周駅伝競技特別大会	11月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	80人	【内容】 ・地区内を5区間で周る駅伝大会 【ねらい】 ・地区住民のスポーツ人口の拡大と明日への活力を養い、健康で充実した生活を送り、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・実行委員会をつくり、要項の検討、準備、大会運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・町内公民館町会	【評価と反省】 ・少人数でも参加しやすいように、区間を減らし、周回コースにして審判員の負担を減らし実施した。 ・コロナ禍の中で4チームが参加し、無事故もなく実施できた。 【今後の方針等】 ・チーム数が増えた場合、大会運営が難しくなる場合が予想され、駅伝コースについて安全面等を考慮し検討していく。	
天満敦子ヴァイオリンコンサート	11月7日	1回	趣味教養	成人	150人	【内容】 ・四賀音楽村村長天満敦子さんによるヴァイオリンコンサート 【ねらい】 ・特別な会場でしか聞くことができない音楽を身近で聞き楽しんでもらう	【準備過程】 ・実行委員会が中心になり運営 【共催団体等】 ・四賀音楽村	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策と入場者を定員の50%にして開催した。 【今後の方針等】 ・四賀地区で一流の音楽を聴くことができるため、継続して開催していきたい。	
ウォーキング講座	11月17日	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 ・効果的な歩き方やインターバル速足について学ぶ 【ねらい】 ・歩き方の基本を学び、速歩きとゆっくり歩きを体験する。	【準備過程】 ・地域福祉支援員が講師を依頼した。 ・チラシを作成し全戸配布 【共催団体等】 ・四賀地区地域づくり協議会健康福祉部会	【評価と反省】 ・効果的な歩き方について学ぶことができた。 【今後の方針等】 ・コロナ禍でウォーキングは手軽にできる運動なので、今後も講座を開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ロケットストーブを作ろう！	11月20日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・パール缶を利用し、ロケットストーブを作成する。 【ねらい】 ・防災にも活用できるロケットストーブの作り方を学ぶ。	【準備過程】 ・チラシを全戸配布し、四賀地区のみで参加者の募集を行った。 ・材料のパール缶は地域の方の協力で用意することができた。	【評価と反省】 ・コロナ禍の中、四賀地区内で10人の参加があり、講座を実施することができた。 【今後の方針等】 ・災害時にも活用できるストーブなので、今後も講座計画していきたい。	
第16回生涯学習フェスティバル	11月20日	中止	地域事業(文化)	その他	0人	【内容】 ・福寿草倶楽部を中心とした発表会 ・実践活動として中学生によるステージ発表 【ねらい】 ・同じ趣味を持つ仲間が集い、学習し、得たことに対し喜びをより確かな歩みを推進するために開催する。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部 ・会田中学校	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部のサークル発表の貴重な機会となっているが、住民の観客が少ないため、多くの人が集まるフェスティバルにしていきたい。	
四賀地区食生活改善推進協議会研修視察	11月26日	1回	公民館委員会・各種会議等	女性	15人	【内容】 ・食育について視察研修を行う。 【ねらい】 ・食についての理解を深め、今後の活動に生かしていく。	【準備過程】 ・四賀地区食生活改善推進協議会と研修場所や内容を検討する。 【共催団体等】 ・四賀地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・コロナ禍の中ではあったが研修先の配慮で屋外で研修を行うことができた。 【今後の方針等】 ・食の大切さについて、今後も学ぶ機会を作っていきたい。	
ポッチャ体験会	11月29日	1回	スポーツ	成人	10人	【内容】 ・パラリンピックの競技でもあるポッチャを体験する。 【ねらい】 ・障がい者と・健常者ができるポッチャのルールと競技方法を学ぶ。	【準備過程】 ・公式審判員の資格を持つ地元の小峰悦雄さんに講師を依頼した。 ・チラシを全戸配布	【評価と反省】 ・コロナ禍の中、四賀地区内で11人の参加があり、講座を実施することができた。 【今後の方針等】 ・子どもから高齢者までできるスポーツなので今後も体験会を開催していきたい。	
そば打ち教室	12月4日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・手打ち蕎麦づくり 【ねらい】 ・蕎麦のこね方、打ち方学ぶ。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を減らして開催した。 【今後の方針等】 ・人気のある教室のため来年度も開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ飾り体験学習会	12月11日	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 ・正月に飾るしめ飾りの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・伝統文化の理解を深める。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策をして講師の先生の指導で作ることができた。 【今後の方針等】 ・しめ飾りを作る人気のある教室のため来年度も継続して開催したい。	
書き初め教室	1月5日	1回	趣味教養	青少年	20人	【内容】 ・小中学生を対象に冬休みの宿題となっている書き初めに取り組んだ。 【ねらい】 ・講師の先生の指導により、自分の納得いく作品に仕上げる。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策をして講師の先生の指導で、楽しく作品を仕上げることができた。 【今後の方針等】 ・人気のある教室のため来年度も継続して開催したい。	
スキー教室	1月22日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・小学生以上を対象としたスキー教室 【ねらい】 ・楽しみながらスキーを通して冬場の体力づくり、技術の向上を図る。	【準備過程】 ・松本スキークラブに講師を依頼する。 【共催団体等】 ・なし	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・雪不足も考えられるため、開催日や会場の変更も検討していく。	
第20回大樂い	2月14日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・ステージ発表・活動報告 ・昼食会 【ねらい】 ・福寿草倶楽部員の活動成果を発表し、交流を深める。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が中心となり企画・運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部のサークルの交流と発表の場であるため、継続して開催したい。	
第17回ソフトバレーボール大会	3月6日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・町会を中心とした一般の部、40歳以上の部に分けたソフトバレーボール大会 【ねらい】 ・幅広い年齢層の住民が参加し、親睦と友情を深め、活気ある地域づくりと運動不足解消を図る。	【準備過程】 ソフトバレーボール競技の2団体に役員を依頼し、企画・運営を行った。 【共催団体等】 四賀体育協会 四賀ソフトバレーボールクラブ 刈谷原町ソフトバレーボールクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスによる肺炎拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区の人口が減少する中、町会の協力を得て、大会を開催することができるので継続をし開催したい。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀探訪ウォーキング	4月 8日 5月27日 6月14日 7月15日 8月26日 2月25日 3月30日	7回	福祉健康	成人	70人	【内容】 ・4月 七嵐地区ウォーキング ・5月 矢久地区ウォーキング ・6月 執田光地区ウォーキング ・7月 矢久地区ウォーキング ・8月 会田地区ウォーキング ・2月 赤怒田地区ウォーキング ・3月 刈谷原宿ウォーキング 【ねらい】 ・四賀地区をウォーキングしながら、地区の自然、歴史、文化を学習する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・四賀地区を歩くことにより新しい発見をすることができた。 【今後の方針等】 ・コロナ禍でもできるウォーキングを来年度も行っておきたい。	
四賀地区外ウォーキング	4月22日 5月14日 6月24日 7月 9日 7月26日 9月24日 10月18日 11月15日	8回	福祉健康	成人	160人	【内容】 ・4月 梓川遊歩道ウォーキング ・5月 保福寺峠一遍水ウォーキング ・6月 開田高原ウォーキング ・7月 駒ヶ根千畳敷ウォーキング 白馬五竜ウォーキング ・9月 松本水巡りウォーキング ・10月 白駒の池ウォーキング ・11月 長野市方面散策ウォーキング 【ねらい】 ・特色ある地域を訪ねウォーキングをして自然、歴史、文化を学習する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・四賀地区以外の地域を見て歩くことにより新しい発見や知識を学ぶことができた。 【今後の方針等】 ・特色ある地域を探し、今後も継続していきたい。	
コミュニティースクール事業	5月～12月	9回	その他	青少年	200人	【内容】 地域住民による付き添いや四賀小学校児童への指導 ・5月 全校遠足 ・7月～12月 華道クラブ ・11月 あおぞら・たいよう木工教室 ・12月 書初め、しめ縄づくり 【ねらい】 ・地域住民からクラブ活動や授業の支援や交流	【準備過程】 ・遠足に参加できる方や地元講師を探し、四賀小学校と調整する。	【評価と反省】 ・地元住民から、普段の授業では学習できないことを学び、交流を深めることができた。 【今後の方針等】 ・仕事や趣味で特技のある地元の方を募集し、学校と連携してコミュニティースクール事業を推進していきたい。	○

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
おさがり会	6月10日 12月15日 ～12月16日	2回	子育て	成人	80人	【内容】 ・子どもが成長し、必要なくなった服や用具を公民館へもってきていただき、必要とする人にもって行ってもらう。 【ねらい】 ・子供服を必要な人に渡す機会を作る。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示行い、住民に呼びかける。	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症予防対策をして初めて開催した。 【今後の方針等】 ・子供服や用具のリユースができるため、今後も実施していきたい。	
スマホ体験講座	10月 7日 10月25日	2回	趣味教養	成人	40人	【内容】 ・スマートフォンの基礎と操作方法を学ぶ。 【ねらい】 ・スマートホンの操作を学び、使いこなせるようにする。	【準備過程】 ・DX本部で講師やチラシを作成し四賀支所に掲示した。 ・チラシを作成し全戸配布	【評価と反省】 ・参加者が多く盛況だった。 【今後の方針等】 ・デジタル社会の中で、スマートフォンの操作は必要なため、今後も講座を実施していきたい。	
四賀近郊ウォーキング	10月15日 11月11日	2回	福祉健康	成人	20人	【内容】 ・10月 長峰山ウォーキング ・11月 平瀬城址ウォーキング 【ねらい】 ・四賀地区をウォーキングしながら、地区の自然、歴史、文化を学習する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・四賀地区近郊を歩くことにより新しい発見をすることができた。 【今後の方針等】 ・コロナ禍でもできるウォーキングを来年度も行っておきたい。	
クリスマスツリー飾り	12月3日 ～12月27日	1回	趣味教養	青少年	60人	【内容】 ・松本市役所玄関ロビーに地域の方から提供いただいた高さ5mのもみの木を設置し、クリスマスツリーの飾り付けを行った。 【ねらい】 ・クリスマスツリーの飾り付けに子どもたちが参加する。	【準備過程】 ・双葉保育園に依頼し、園児がクリスマスの飾り付けに参加した。 ・放課後児童クラブに依頼し都合の良いときに小学生が自由に飾り付けをした。	【評価と反省】 ・高さ5mの大きなもみの木の設置に苦労した。 【今後の方針等】 ・自然の木を利用しクリスマス飾りを作成できた。子ども達に好評であったため、来年度も開催したい。	
公民館図書室	年間	1回	地域事業 (その他)	成人	3,150人	【内容】 ・図書の貸出、整理 ・開館 平日10:00～18:00 土・日・祝日10:00～17:00 ・休館 毎週月曜日 (祝日の場合は次の日) 12月29日～1月3日 【ねらい】 ・地域の方が気軽に本を借り、知識を深める。	【準備過程】 ・会計年度職員5名で勤務表を作り、図書室の運営を行う。 ・新刊本にパソコンで管理するためのバーコードを貼り、カバーをする。 ・古くなった書籍等を除籍し、整理整頓を行う。	【評価と反省】 ・蔵書が1万8千冊あり、身近な図書室として多くの住民に利用されている。 ・絵本の等の子ども対象の本が充実している。 【今後の方針等】 ・蔵書の充実を図り利用を拡大していく。	

令和3年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館町会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	・四賀公民館事業について協力を依頼する。 ・公民館振興業務委託料、町内公民館町会費の依頼をする。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、四賀公民館の主な事業が中止となった。 ・今後も協力して公民館事業を開催していきたい。	
体育部長会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	・四賀公民館事業について協力を依頼する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、四賀公民館の主な事業が中止となった。 今後も協力して公民館事業を開催していきたい。	
運営委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	・四賀公民館の全体計画を検討する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・町会連合会長、町内公民館町会長、公民館委員会の委員長等によって構成され、全体的な調整の場となっている。	
館報編集委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	・「公民館報しが」の取材、編集する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止になった公民館事業が多く、館報作成に苦慮した。	
体育委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	22人	・四賀公民館体育事業の企画、運営する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・4地区町会体育部長代表、スポーツ推進委員、競技団体の代表等が委員となっている。四賀一周駅伝競技大会はスポーツ推進委員、他の球技大会については競技団体が主管し実施している。	
図書視聴覚委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	・四賀公民館図書室の運営を検討する。 ・図書だよりの発行	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・図書だよりの内容を充実させ、図書室の利用促進を図っていきたい。	
文化委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	・四賀公民館文化事業の企画、運営する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・四賀コンサート、文化祭の企画・運営を主に行っている。単独学級の企画についても委員会で検討したい。	
四賀地区スポーツ推進委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	・四賀地区のスポーツの推進を図る。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・四賀一周駅伝を主体に活動している。新しい事業も企画立案していきたい。	
四賀文化財保護協会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	・文化財について調査研究し、歴史と伝統の保存と保護を目的とする。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・5月24日設立総会を開催した。四賀地区の文化財を学習するとともに、文化財保護について検討・活動につなげていきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

安曇公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 学都松本をめざして、市民が生涯にわたって学び続けるまち、地域や行政が協働して共に学ぶまち、市民一人ひとりが学んだ知識、技術を社会に活かし、次代に引き継ぐまちをめざし、安曇地区の課題、特性を踏まえた公民館事業を展開する。</p> <p>2 広大な面積に小集落が点在しているため、地区全体が一体感を持った地域活動を進めることが困難</p> <p>3 少子高齢化が進み、児童・生徒の減少が顕著</p> <p>4 地区の大部分が急峻な地形で、災害発生時の被害を懸念</p> <p>5 特定健診受診率が低い（市内35地区中35位）※JAGESより</p> <p>6 虚弱者が多い（市内35地区中30位）※JAGESより</p> <p>7 閉じこもり者割合が多い（市内35地区中30位）※JAGESより</p> <p>【重点的に取り組んだ事項等】</p> <p>1 伝統行事の継承（ウェストン祭記念山行、安曇地区文化祭等）</p> <p>2 日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識を醸成</p> <p>3 安曇地区の課題解決を目指し、関係団体（町会等）とともに新たな通いの場をつくること</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響から、開催の可否を慎重に判断しながら、事業を行なった。</p> <p>2 村時代から続く行事である安曇地区文化祭について、住民を中心に組織された実行委員会で中止とする声はなく、協議を重ねた結果、人を集めない方法で実施することとなった。</p> <p>3 屋外で地域学習・体験できる機会を増やし、安曇地区の魅力を再発見できるよう事業を行なった。</p> <p>4 関係団体（町会等）とともに、新たな通いの場をつくることができた。</p> <p>5 事業の検討段階から、住民の声を中心に展開することを心掛けたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	1	0	0	0	1	3	1	1	3	2	4	4	0
延べ 参加人数	0	105	0	0	0	8	88	0	21	12	41	207	116	0

令和3年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
マレットゴルフ大会	・5月18日 ・7月6日 ・10月19日	3回	スポーツ	成人	46人	【内容】 ・安曇地区マレットゴルフ協会を中心にマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 ・スポーツを通して地域住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・協会員は減少傾向にあるが、大会への参加人数は一定数いるため継続して開催したい。 ・新規参加者の掘り起こしのため、共催団体等と連携し、開催方法や会場選定等について協議しながら、事業を続けたい。	
ウェストン祭記念山行及びウェストン祭参加児童引率	6月5日～6日	0回	地域事業 (文化)	青少年	0人	「内容」 ・安曇村時代から行われている伝統行事である徳本峠越えの登山を行う。また、一部児童及び教員は2日目のウェストン祭に参加し、献花と合唱を行うもの 「ねらい」 ・日本アルプスを世界に発信したウォルター・ウェストンの足跡を辿り、地域への理解を深める。	【準備過程】 ・山行ルートの下見 ・安曇地区子ども会育成連合会総会で、記念山行の実施可否を協議 【共催団体等】 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・登山道の崩落により中止した。 【今後の方針】 ・伝統行事として継続したい。	
ちょっとよっていきましょ	・6月16日 ・7月21日 ・8月18日 ・9月15日 ・10月20日	5回	地域事業 (その他)	成人	109人	【内容】 ・関係団体（町会等）とともに新たな通いの場をつくるもの 【ねらい】 ・健康とくらしの調査結果から見る安曇地区の課題解決を目指す。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・一部長会への全戸配布にて周知 【共催団体等】 ・大野川区町会 ・のりくら観光協会 ・乗鞍うまいもの工房、 ・安曇地区地域づくりセンター ・安曇地区福祉ひろば ・西部保健センター ・西部地域包括支援センター ・松本市社協安曇事業所	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和3年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
松崎町交流事業	8月18日 ～20日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町と中学生同士の交流を行う。(7月に松崎町への訪問、8月に松崎町からの受入) ・令和元年度から、松崎町への訪問を隔年実施、松崎町からの受入を毎年実施としているもの。 【ねらい】 ・双方の中学生が普段行くことのない山や海的环境下に触れ、知見と交流の輪を広げる。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 【共催団体等】 ・松崎町教育委員会 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇中学校 ・大野川中学校	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止した。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
上高地ファミリーキャンプ	8月21日 ～22日	0回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・上高地に関わる学習、星空見学及びトレッキング 【ねらい】 ・地域学習及び体験を通じた、安曇地区の魅力の再発見 ・上高地が特別名勝及び特別天然記念物であることを認識し、この財産を守り、後世に伝えていく意識を醸成する。 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの	【準備過程】 ・学校経由保護者向けに周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・主催者都合により中止した。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、開催方法等について、協議したい。	
乗鞍サマーセミナー	9月11日	0回	地域事業 (その他)	成人	0人	【内容】 ・東京大学OB・OG会協力のもと、乗鞍にまつわる講演会を開催 【ねらい】 ・乗鞍に有用なテーマについて、学び、新たな魅力等の発見を行う。	【共催団体等】 ・東京大学乗鞍寮VSAの会 ・大野川小中学校同窓会 ・ふれあいパーク乗鞍管理委員会 ・松本市教育委員会 ・大野川区町会 ・のりくら地区町会連絡会 ・のりくら観光協会	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止した。 【今後の方針】 ・地域と東京大学OB・OG会と連携を取り、今後も継続して地域学習を進めたい。 ・住民と協議をする中で、取り上げてほしいテーマを相手方に提案していく。	

令和3年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
のりくら陶芸教室	・9月14日 ・9月21日 ・9月28日 ・10月5日	4回	地域事業 (文化)	成人	41人	【内容】 ・ふれあいパーク乗鞍の窯を使用した陶芸教室 【ねらい】 ・地元サークルの活性化 ・新たな生きがいづくり	【準備過程】 ・区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・のりくら陶芸クラブ	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。 ・新規参加者の掘り起こしのため、共催団体等と連携し、陶芸初心者コースを設定する等について協議しながらを、事業を続けたい。	
松本市安曇ゴルフ大会	9月17日	1回	スポーツ	成人	14人	【内容】 ・安曇村時代の旧姉妹都市である静岡県賀茂郡松崎町との交流ゴルフ大会 【ねらい】 ・松崎町住民と地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・松本市安曇ゴルフクラブ	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により、松崎町との交流は中止し、安曇地区住民のみで開催した。 【今後の方針】 ・双方で行き来のできるプレイヤーがいる限りは継続していく。	
砂防防災講座	10月7日	1回	防災	成人	0人	【内容】 蛇堀川砂防堰堤等の学習及び見学 【ねらい】 梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防防災や災害に対する防災知識を高める。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・視察先との調整 【共催団体等】 ・奈川公民館 ・NPO法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・(一社)北陸地域づくり協会	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止した。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
梓川源流池を訪ねる山旅シリーズ 瓢箪池トレッキング	10月17日	0回	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・安曇地区内を流れる梓川の源流に係る学習及び体験 【ねらい】 ・地域学習及び体験を通じた、安曇地区の魅力の再発見 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・荒天により中止した。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和3年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
スマホ体験講座	・10月20日 ・11月11日	2回	その他	成人	21人	【内容】 ・スマートフォンの基本的な使い方から、日常よく使う機能を学ぶもの 【ねらい】 ・デジタル弱者への配慮 ・安曇公民館メール配信サービスの登録者数の増加	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・ソフトバンク株式会社 ・松本市（DX推進本部）	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等との連携は、今年度で終了した。 ・事業の継続に向け、開催方法等を検討したい。	
安曇地区文化祭	10月31日	1回	地域事業 (その他)	成人	98人	【内容】 ・安曇地区にまつわるクイズや脳トレ等を記載したチラシを配布 【ねらい】 ・「今年もステイホームで楽しもう。～そして来年こそは～！」と題し、幅広い年代が取り組める問題を出題し、自宅で、家族で協力し合っ て楽しんでもらう。 ・住民主体の実行委員が、安曇地区にまつわる問題を出題することで、地域学習につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配布にて周知 ・文化祭企画・検討委員会及び実行委員会で内容を検討 ・地区内企業等に協賛依頼 【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会 ・地区内企業等	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ・参加者が前年より減少した。（前年比▲111人） 【今後の方針】 ・内容は、これまで同様、住民等と協働で検討しながら、持続可能なものを作っていきたい。	
鎌倉街道シリーズ 「セバ谷～伝七郎の切山」トレッキング	11月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	12人	【内容】 ・鎌倉街道のトレッキング 【ねらい】 ・地域学習及び体験を通じた、安曇地区の魅力の再発見 ・生活道路として活用されていた鎌倉街道を辿り、地域の歴史を学習するもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和3年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
地区人権講座	・11月8日 ・11月26日	2回	福祉健康	成人	105人	【内容】 ・長野県出身のシンガーソングライターによる、歌と語り（LGBTQ関係）を交えた講演 ・松本市人権共生課及び松本市まちかど保健室の講師による、講演 【ねらい】 ・人権啓発推進事業の推進	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会 ・安曇地区福祉ひろば ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
山のめぐみ工芸教室	・1月20日 ・1月25日	2回	趣味教養	成人	8人	【内容】 ・山に囲まれた地区の特性を生かし、木の実等を素材として、今年の干支を作るもの。 【ねらい】 ・身近な山の樹木を学習するとともに、指先を使うことで脳が活性化し、認知症予防効果が期待できるもの。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・作品の選定や周知に注力しながら、事業のあり方や開催方法を検討したい。	
スノーシューで冬の乗鞍高原を歩こう！	・2月21日 ・2月28日	2回	スポーツ	成人	28人	【内容】 ・冬の乗鞍高原をスノーシューで歩く。 【ねらい】 ・スノーシューの基本技術の習得 ・日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力の再発見 ・持続可能な観光地づくりを考えるきっかけとするもの	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・目的地を変えるなどしながら、事業を継続したい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	72人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・館報の刊行を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・安曇地区の中学生の執筆が定着してきた。 【今後の方針】 ・地区の様々な出来事を的確に伝えるように心がけたい。	

令和3年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・図書に接する機会を増やし、地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・ふれあいパーク乗鞍	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・例年どおりふれあいパーク乗鞍の図書を年2回、入れ替えた。 【今後の方針】 ・大野川区の身近な図書館としてより多くの本に接する機会を提供したい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	18人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・文化祭開催を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・今後も安曇の各地区の特徴を活かした文化祭を目指し、地域の一体感を醸成していきたい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	6人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・スポーツ活動を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・主に高齢者を対象としたスポーツを通し、健康寿命の延伸をはかっていきたい。	

令和3年度 事業報告の概要

奈川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 コロナ禍においても安全対策に配慮しながら、できる事業を工夫して地域住民の学びと参加の機会の創出に心がけた。 ○参加者同士の交流を図る講座を企画・開催した。 ○参加者の運動不足の解消や、健康推進を図った。 ○各事業において、地区内外の関係機関、団体と連携を図り、事業を開催した。 関係機関：奈川支所、福祉ひろば、奈川小中学校、奈川地区子ども会育成会連合会、奈川地区人権啓発推進協議会、町内公民館、奈川振興公社等</p>										<p>○緊急事態宣言や県内での新型コロナウイルスの感染者が増えたため当初企画した事業のほとんどが実施できなかった。 特に、2年連続で地域住民が参加交流する運動会や文化祭が開催できず、住民間の交流、親睦の機会が少なくなったことは残念。 ○開催した事業については感染予防対策を十分にとりながら実施することができた。 ○新たな講座も開催できたので、参加者に好評だった講座は今後も継続していきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	5	1	5	0	4	1	0	2	0	0	2	1	3
延べ 参加人数	0	80	1707	187	0	67	50	0	1387	0	0	76	50	19

令和3年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
信州スカイパークウォーキング	5月10日(月)	中止	福祉健康	成人	0人	新型コロナウイルス対策のため中止	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば		
ふるさと学習 (中学生 奈川地区内巡り)	6月8日(火)	1回	地域文化	青少年	7人	【内容】 ・奈川地区内巡り 【ねらい】 ・奈川地区の史跡巡りを通して、奈川の歴史や自然について関心を持つ	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川中学校	【評価と反省】 ・奈川の歴史や自然について理解を深めることができた。 【今後の方針】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
ふるさと学習 (小学生 風向計づくり)	6月28日(月)	1回	地域文化	青少年	13人	【内容】 ・風向計づくり 【ねらい】 ・奈川の産業である木工を体験し地域の優れた地域に触れる	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小学校	【評価と反省】 ・奈川の木工について理解を深めることができた。 【今後の方針】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
すこやかウォーキング	6月29日(火)	1回	福祉健康	成人	16人	【内容】 ・奈川地区内の史跡を巡りながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
白馬五竜 高山植物園ウォーク	7月9日(金)	1回	福祉健康	成人	30人	【内容】 ・高山植物園で植物に囲まれながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
夏休み子どもひろば	7月26日(月) ～8月20日 (金)	18回	地域事業 (その他)	青少年	76人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	
ふれあいウォーキング	7月29日(木)	1回	福祉健康	成人	29人	【内容】 ・奈川地区内の史跡を巡りながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
そば打ち講習会	8月26日(木) 11月16日(火)	2回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・そば打ち講習会及び試食会 【ねらい】 ・奈川伝統の丸打ちをおぼえる。また、参加者間の交流を図る	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
多肉植物の寄せ植え	10月13日(水)	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 ・多肉植物の寄せ植えの実践 【ねらい】 ・地区住民からの要望もあり開催 ・趣味、教養への関心を高める	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
スマホ体験講座	10月15日(金) 11月5日(金)	2回	その他	高齢者	14人	【内容】 ・スマホの基本的な使い方を学ぶ 【ねらい】 ・デジタル弱者への配慮の取り組みとして講習会を開催	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・野麦峠まつり実行委員会 ・(株)ふるさと奈川	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・来年度の事業計画に加えたい。	
陶芸教室	10月26日(金) 11月5日(金)	2回	趣味教養	成人	12人	【内容】 ・中学生と一般参加者が陶芸に挑戦 【ねらい】 ・陶芸を通じ子ども達が地域との交流を深める	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	○
映画上映会 「シルク時空を超えて」	11月3日(水)	1回	地域文化	成人	120人	【内容】 ・コロナの影響で2年間野麦峠祭りが開催されず歴史にふれる機会が減ったため、絹の歴史をめぐる映画上映会を開催	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・野麦峠まつり実行委員会 ・(株)ふるさと奈川	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。	
カホン演奏教室	11月10日(水) 11月17日(水) 11月24日(水)	3回	趣味教養	成人	30人	【内容】 ・はじめて体験する楽器の演奏教室 【ねらい】 ・カホンのグループレッスンをを行い、打楽器の楽しさや参加者同士の交流を図る。	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	

令和3年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
男しよの体力講座	11月24日(水) 1月18日(火) 2月22日(火) 3月14日(月)	4回	スポーツ	高齢者	50人	【内容】 ・体力測定・ストレッチ・体力づくり 【ねらい】 ・自身の体力の点検・足りない部分を補うためのトレーニング方法の紹介	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
諏訪湖ウォーキング	11月12日(金)	1回	福祉健康	成人	21人	【内容】 ・諏訪湖のウォーキングコースを自分のペースで歩く。 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
奈川地区世代間交流事業	12月18日(土)	1回	地域文化	成人	55人	【内容】 ・子どもと一緒にしめ縄づくり、餅つき、キャンドル作り体験 【ねらい】 ・高齢者・小学生の世代間交流を図る	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区社会福祉協議会	【評価と反省】 ・参加者が多く好評だった。 ・高齢者と小学生の交流が図られた。 【今後の方針】 ・新企画の検討や他団体との共催で来場者を増やしていきたい。	
輪かんじき作成講座	2月26日(土)	1回	地域文化	成人	5人	【内容】 ・輪かんじきの作成講座 【ねらい】 ・輪かんじきの作り方を学び、身近な里山を歩き、健康づくりと景観の再発見を楽しむ。	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・来年度も継続して実施したい。	
春休み子どもひろば	3月18日(金) ～ 4月5日(火)	12回	地域事業(その他)	青少年		【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供。	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	
公民館委員会の開催	年間	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	50人	【内容】 ・地域の住民活動を展開するため、運営、館報編集、図書、体育、文化の各専門分野について委員会を組織して活動する。	【準備過程】 ・5部門専門委員会及び各委員会を開催し、連携を図りながら様々な活動を行った	【評価と反省】 ・コロナ禍のため必要最低限の人数と回数で開催した。 【今後の方針】 ・住民の要望に応える活動を展開していきたい。 ・リモートでの会議も活用したい。	
放課後こども教室の支援	年間	200回	子育て	青少年	1,707人	【内容】 ・小学生が、放課後安心安全に過ごせるように支援	【準備過程】 ・放課後子ども教室コーディネーターと緻密な打合せを行い実施	【評価と反省】 ・放課後子ども教室コーディネーターと連携を図りながら実施できた。 【今後の方針】 ・利用者の意見を取り入れながら実施していきたい。	

令和3年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
夢の森 図書室	年間	296回	その他	その他	1,373人	【内容】 ・ 図書館の管理運営	【準備過程】 ・ 図書室職員と連携を図りながら実施 ・ コロナ感染拡大防止の対策を取りながら運営	【評価と反省】 ・ コロナ感染拡大防止のため開館日数を減らしたため、利用者が減少	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 高度経済成長以降、生活の都市化が進み、梓川地区においても人間関係が希薄になり、地区で暮らすという実感が持てない住民が増え、地区の運動会などの行事の参加も煩わしく敬遠する住民が増えている。それらの地域課題を解決する一つとして、まずは自分たちの地区を知り、地区への愛着を深めることが大切である。 そこで、昨年度に引き続き、地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる写真を募集し、写真コンテストを実施した。写真コンテストの選考は、地区の将来を担う梓川中学校の全校生徒に協力してもらい行った。 この事業は、特定の地区住民だけの参加になってしまわないように、中学生に参加してもらうなど子どもからお年寄りまで多くの世代に関心をもってもらえるように心がけた。また、提供された写真は、公民館やホームページに掲載し、広く発信することができた。昨年度に比べ僅かではあるが応募件数も増え、今後さらに多くの住民が参加し、地区への愛着が深まることを期待する。</p>										<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が収束せず中止となる事業も多くあったが、今までの松本市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の対応方針等をもとに、梓川公民館独自に事業の開催判断を定め、迅速に対応を図ることができた。 また、事業の実施に際しても新型コロナウイルスにより消極的になるのではなく、できることを考え、工夫しながら事業を実施することができた。中でも毎年実施している梓川地区ウォークラリーでは、感染症対策を徹底し、自分たちの住む地区も知ってもらえるようなコースやクイズゾーンを設けるなど工夫し、多くの参加があった。 ウィズコロナ時代として、講座申込みや各種届出をオンラインでできるよう整備したり、オンラインを取り入れた新しい公民館のあり方を手探りで考えた一年間であった。来年度もさらに創意工夫をし、公民館としてできることを探究していく必要がある。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	4	5	1	0	5	5	0	1	2	2	0	7	1
延べ参加人数	600	283	3558	49	0	88	106	0	0	0	0	0	232	3500

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
歌ごえ公民館	5月6日～ 3月17日	11回	福祉健康	高齢者	253人	<p>【事業内容】 講師の伴奏に合わせて、童謡唱歌等の16曲を、1時間30分程度合唱する。</p> <p>【ねらい】 歌の経験や技量に関係なく、とにかく楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深める機会とする。</p>	<p>【準備過程】 講師と連絡をとりあい、歌詞カードの作成等を行った。</p>	<p>【評価と反省】 皆楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深めることができた。 また、新型コロナウイルス感染症対策として2組に分け、人数を分散して実施し、松本市の感染警戒レベルが4以上の場合は中止と定め、11回が中止となった。</p> <p>【今後の方針】 高齢者を中心に参加者が増加傾向にある。本講座を楽しみにしている方も多いため、次年度も継続的に開催したい。また、やりがいづくりとして文化祭等での発表の機会をつくれぬか検討する。</p>	
梓川地区リーダー研修会	6月13日 6月27日	中止	子育て	青少年		<p>【ねらい】 子ども会活動のリーダーとして、各町会の5・6年生が参加し、団体生活で活動を共にすることで、町会や学年をこえた交流を深め、仲間づくりを行いながら、自分たちの力で活動を進める研修会とする。</p>	<p>【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・地区まちづくり協議会</p>	<p>松本市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の方針及び小学校と協議し中止とした。</p>	
カルトナーージュ講座	6月23日 7月7日	2回	趣味教養	成人	12人	<p>【事業内容】 全2回シリーズでカルトナーージュを作る。</p> <p>【ねらい】 地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。</p>	<p>【準備過程】 講師と内容・日程を調整を行った</p>	<p>【評価と反省】 新規講座でありカルトナーージュになじみが薄いこと、材料費高かったこと等により申込者は少なかったが、参加者は楽しんでた。</p> <p>【今後の方針等】 材料費を含め、もっと気軽に参加できるように考える必要がある。</p>	
ママのリフレッシュ講座	6月17日 11月17日	2回	子育て	成人	46人	<p>【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、アロマの虫よけスプレー作りや、入園グッズを制作する。</p> <p>【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。</p>	<p>【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。</p> <p>【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会</p>	<p>【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。</p> <p>【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
梓川地区スポーツ祭2021	7月4日	中止	地域事業(体育)	成人		<p>【事業内容】 町内公民館対抗により、囲碁ボール、シャッフルボード、ミニバレーの3種目で競う。</p> <p>【ねらい】 年齢性別を問わず誰もが楽しく気軽に参加し、スポーツを通じて住民同士の親睦や団結を図るとともに、地域住民の健康増進を目指す。</p>	<p>【準備過程】 新型コロナウイルス感染症による開催の可否について、構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。</p> <p>【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当</p>	<p>【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染症対策として従来どおりの実施することは難しいと想定されるため、競技種目を含め実施について検討が進められている。</p>	
苔玉づくり講座	7月19日	2回	趣味教養	成人	20人	<p>【事業内容】 苔玉づくりをおこなう。</p> <p>【ねらい】 植物の潤いと季節感を感じる地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。</p>	<p>【準備過程】 講師と内容・日程を調整を行った。</p>	<p>【評価と反省】 定員を超える多くの申込みがあり、2部制に変更し実施した。また、できる限り材料費を抑え、参加者の負担が大きくなるよう講師と打ち合わせを重ね実施した。</p> <p>【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。</p>	
乗鞍岳登山	8月11日	中止	スポーツ	成人		<p>【事業内容】 乗鞍岳の剣ヶ峰をガイドの案内で登る。</p> <p>【ねらい】 「山の日」にちなみ、山に親しみ、山の恩恵に感謝する。また、住民同士の交流や健康寿命延伸を図る。</p>	<p>【準備過程】 ガイドと登山ルート等や日程について打ち合わせを行った。</p>	<p>【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症対策として中止と判断したが、申込者も多かったため、来年度実施したい。また、開催時期がお盆の混雑期であったため、開催時期についても検討する必要がある。</p>	
梓川地区・御浜町ふれあい交流会	8月5日～8月7日	中止	子育て	青少年		<p>【事業内容】 毎年交互にお互いの地を行き来し交流を図る。</p> <p>【ねらい】 友好親善提携都市の三重県御浜町との交流により、海と山、みかんとりんご等、互いの地域の自然、伝統及び文化の違いを学びあい、友情を育む。また、集団生活を通して相互理解を深め、子ども会リーダーとしての自覚と資質を養う。</p>	<p>【準備過程】 共催団体と協議し、児童の安全を第一に考え中止とした。</p> <p>【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・まちづくり協議会 ・御浜町教育委員会</p>	<p>【今後の方針】 次年度は感染症対策をとり安全に実施することは可能か検討し、共催団体と協議する。なお、本事業は梓川村当時に友好親善提供が結ばれ、毎年交流会を開催してきている経過からも、今後も継続していく必要がある。</p>	

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
霧ヶ峰散策	9月13日	1回	スポーツ	成人	中止	【事業内容】 霧ヶ峰をガイドの案内で散策し、植物等も観察する。 【ねらい】 霧ヶ峰の自然や歴史について学び、自然に親しむとともに、自然環境について関心を高める。	【準備過程】 ガイドと散策ルートや日程について打ち合わせを行った。	【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症対策として中止と判断したが、申込者も多かったため、来年度実施を検討する。	
つどい子育て講座 (誰でも作れるキャラ弁教室)	9月16日	1回	子育て	成人	12人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、キャラ弁作りを行う。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し合い、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。	
米粉で作るはじめてのパン教室	9月22日 10月6日	2回	趣味教養	成人	21人	【事業内容】 全2回シリーズで米粉を使ったパン作りを行う。 【ねらい】 新型コロナウイルスの影響で、多くの人が以前に比べ自宅にいる時間が増えているため、自宅でパン作りを一つの楽しみとなることを目指す。また、大勢で楽しく料理をすることで、食に対する関心が高める。	【準備過程】 講師と内容・日程を調整を行った。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策として会食を避け、持ち帰りのできるパン作りの講座を企画したが、定員を越える申し込みがありよかった。 【今後の方針等】 参加者からはまた開催して欲しいとの要望が多数あり、次年度も開催について検討する。	
梓川の木について学ぶ市民講演会	10月9日	1回	地域文化	成人	49人	【事業内容】 梓弓研究会副会長を講師に梓弓について学ぶ。 【ねらい】 住民が自分たちの地区の歴史を学習する機会とする。	【準備過程】 ・梓弓研究会と企画実施した。 【共催団体】 ・梓弓研究会	【評価と反省】 古代飛鳥から平安時代に信濃国府から朝廷に献上された「梓弓」について学ぶことができた。 【今後の方針等】 住民にとって地区の歴史を学ぶ良い機会となっているため、今後も共催して講演会を開催していきたい。	

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
梓川地区運動会2021	10月17日	中止	地域事業 (体育)	成人		<p>【事業内容】 町会対抗による競技種目や自由参加型の種目などを行う。</p> <p>【ねらい】 運動会を通じて、梓川地区住民の交流と親睦を図り、体力づくりに寄与する。また、参加している人も見ている人も楽しい運動会を目指す。</p>	<p>【準備過程】 新型コロナウイルス感染症による開催の可否について、構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。</p> <p>【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当</p>	<p>【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染症対策として従来どおりの実施は難しいと想定されるため、競技種目を含め検討が進められている。 また、今後運動会のあり方についても広く住民の意見を聞き取り考えていく必要がある。</p>	
梓川ウォークラリー2021	10月24日	1回	スポーツ	成人	69人	<p>【事業内容】 家族や友人などのグループごとに、コマ図を使い梓川地区内を歩き、途中で地区に関連する問題を解いたり、輪投げなどのゲームゾーンも設ける。</p> <p>【ねらい】 家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会とする。</p>	<p>【準備過程】 コースや時間設定などスポーツ推進委員と事前に調整した。</p> <p>【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当 ・まちづくり協議会 ・福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 梓公民館を拠点に、周辺約6kmを歩くコースを設定した。家族や友人などの参加者が、地域の魅力を発見したり、健康づくり・体力づくりを行う良い機会になった。 また、コロナ禍で他のスポーツイベントが中止となっていたこともあり多くの参加があった。</p> <p>【今後の方針等】 地域の魅力を発見したり、健康づくり・体力づくりを行う機会として、出発点やコースを変えながら、継続的に開催していく。</p>	
第36回梓川地区文化祭 (美術展)	11月11日 ～14日	中止	地域事業 (文化)	成人		<p>【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、梓川アカデミア館で作品を展示する。</p> <p>【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。</p>	<p>【準備過程】 例年文化祭に出展している芸術文化団体等に新型コロナウイルスの影響による日々の活動状況や、出展の意向について聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。</p> <p>【共催団体】 ・まちづくり協議会</p>	<p>【今後の方針】 来年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全に開催できるよう検討が進められている。</p>	

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第36回梓川地区文化祭 (芸能祭・音楽祭)	11月14日	中止	地域事業 (文化)	成人		【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、音楽祭、芸能祭の2部制で開催する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 例年文化祭に出展している芸術文化団体等に新型コロナウイルスの影響による日々の活動状況や、出演の意向について聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会	【今後の方針】 来年度も新型コロナウイルス感染症対策が必須になるが、例年会場は密集しているため、会場の変更を含め検討が進められている。	
ポッチャ体験会	11月27日 12月4日	2回	スポーツ	その他	37人	【事業内容】 ポッチャとはどのようなスポーツなのかを体験し知ってもらう。 【ねらい】 老若男女、障がいのあるなしに関わらず、全ての人と一緒に楽しめるポッチャを通じ、住民相互の親睦と健康増進を目指す。また、障害者スポーツの体験を通して、障害者に対する理解を深め、豊かな人権感覚を養うことを目的とする。	【準備過程】 講師と日程、内容等について打ち合わせを行った。	【評価と反省】 梓川児童センターの児童も参加し、子どもから高齢者まで広い世代で楽しむことができた。 また、児童センターではポッチャを行うようになり、ポッチャの楽しさなどを広めることができよかった。 【今後の方針】 子どもから高齢者まで一緒に楽しめるスポーツということで、今後梓川地区のスポーツ祭の一種目にならないか検討が進められている。	
家庭教育学級支援 「コロナ禍で疲弊した心と体を蘇らそう」	12月5日	1回	福祉健康	家庭教育	30人	【事業内容】 単独の町会単位で、住民を対象に町内公民館を会場として、講座を開催する。 【ねらい】 身近な場での町内公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 上立田町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。	
アートレクチャ講座	12月11日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 美術館の学芸員を講師に民藝運動の始まりと普及に尽力した三代澤本寿について学ぶ。 【ねらい】 趣味教養を高める。	【準備過程】 ・美術館と企画実施した。 【共催団体】 ・美術館	【評価と反省】 美術に関する講座は少なかったため、今回開催することができてよかった。 【今後の方針等】 本年度は美術館が休館中による学芸講座であったが、今後も出前講座等を活用し、美術に関する講座も企画していきたい。	

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
師走の寄せ植えづくり	12月22日	2回	趣味教養	成人	23人	<p>【事業内容】 新年に向け、縁起植物で寄せ植えを行う。</p> <p>【ねらい】 地域住民の交流を図り、趣味教養を高める</p>	<p>【準備過程】 講師と内容・日程を調整</p>	<p>【評価と反省】 定員の超える多くの申込みがあり、2部制に変更し実施した。 また、できる限り材料費を抑え参加者の負担が大きくならないよう講師と打ち合わせを重ね実施できた。</p> <p>【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。</p>	
人権ポスター展	1月11日～1月26日	1回	人権平和	成人	600人	<p>【事業内容】 長野県と長野美術専門学校が連携し作成した人権をテーマにしたポスターを中学校と梓川公民館に展示する。</p> <p>【ねらい】 人権感覚の醸成を図るとともに、人権意識の高揚を図る。</p>	<p>【準備過程】 長野県（長野県人権啓発センター）と日程等について打ち合わせを行った。</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルスが急拡大し、公民館の貸館等が制限された時期であったため、来館者は少なかったが、中学校の教諭からは来年も展示をお願いしたいという声が聞かれた。</p> <p>【今後の方針】 今後も住民の人権感覚の醸成と人権意識の高揚を図るため、多くの住民に来館してもらえるよう計画する。</p>	
ファミリースキー教室	1月16日	中止	スポーツ	青少年		<p>【事業内容】 野麦峠スキー場を会場にして、初心者、初級者の親子を対象としたスキー教室。</p> <p>【ねらい】 スキーに親しむ機会の提供をし、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を目的とする。</p>	<p>【準備過程】 開催内容や方法等についてスポーツ推進委員と事前に調整を図った。</p> <p>【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策として中止。</p> <p>【今後の方針】 今後も継続的に開催し、地域住民がスキーに親しむ機会を提供し、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を図っていく。</p>	
家庭教育学級支援 「歌の教室」	2月22日	中止	福祉健康	家庭教育		<p>【事業内容】 単独の町会単位で、住民を対象に町内公民館を会場として、講座を開催する。</p> <p>【ねらい】 身近な場での町内公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。</p>	<p>【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。</p> <p>【共催団体】 八景山町内公民館</p>	<p>【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。</p> <p>【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。</p>	

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
梓川地区魅力発見・発信事業 梓川地区「いいね！」写真コンテスト	4月1日～11月30日	1回	その他	その他		<p>【事業内容】 地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる風景等の写真を募集し、ホームページや公民館ロビーに写真を展示する。 また、提供のあった写真を梓川中学校に展示し、中学生に審査員となってもらい写真コンテストを開催する。</p> <p>【ねらい】 梓川地区の魅力ある写真を撮影することで地区の魅力を再発見し、公民館に展示することで広く住民にみてもらい、地域への誇りと愛着を深める。</p>	<p>【準備過程】 梓川地区まちづくり協議会や梓川中学校と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。</p>	<p>【評価と反省】 梓川地区の魅力のつまった写真の提供が多くあった。また、これからの次代を担う中学生にもコンテストの選考をしてもらうなど、事業に参加してもらえてよかった。 なお、昨年度に引き続き2回目の実施となったが、昨年より応募数は増えたものの、まだまだ多くの住民に関心をもってもらうよう工夫していく必要がある。</p> <p>【今後の方針】 オンラインからも応募できるようにし、幅広い多くの住民に参加してもらえよう環境を整え、今後も継続して実施していく。</p>	
地域ケア会議	2月18日	延期	福祉健康	成人		<p>【事業内容】 地区内の福祉関係団体が集まり公共交通による移動手段の充実について、課題や今後の進め方について学ぶ。</p> <p>【ねらい】 今後の地区の公共交通について理解を深める。</p>	<p>【準備過程】 梓川地区担当職員連絡会において、内容等を検討協議</p> <p>【共催団体】 ・地区社会福祉協議会 ・まちづくり協議会 ・健康づくり推進員会 ・福祉ひろば ・地区担当職員連絡会 ・地区民生児童委員会</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策として延期。</p>	
あずさっ子みまもり隊	通年		子育て	成人	3,500人	<p>【事業内容・ねらい】 子どもたちの登下校を中心に通学路や交差点などで見守り隊活動を実施し、「子どもは地域の宝」として、小中学生の安全な登下校に努める。</p>	<p>【準備過程】 隊員から登下校時の児童の様子や、道路の危険箇所など意見を聞き、小学校に報告するとともに、警察署等にも出された意見を伝え改善を図った。</p>	<p>【評価と反省】 「あずさっ子みまもり隊」は現在15人の隊員で見守り隊活動を行っているが、まだまだ地域全体には浸透していない部分もある。日々の見守り活動を通して子どもと隊員の良い関係ができつつあり、やりがいを感じている隊員も多い。</p> <p>【今後の方針等】 梓川小中学校は、他地区に比べて圧倒的に児童・生徒数が多いが、隊員数は15人と少ない。町会などを通じ人材確保を呼び掛け、地域全体に浸透させていく必要がある。</p>	○

令和3年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
町内公民館長会の運営	4月13日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【事業内容】 公民館事業の運営協力依頼や町内公民館事業の支援を行った。	【構成団体】 ・梓川地区の21町内公民館長	【今後の方針等】 今後も町内公民館長会と連携し、スポーツ祭や運動会等を始め、各町内公民館で実施されている事業を相互協力しながら、展開していきたい。	
運営委員会	3月9日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【事業内容】 公民館事業の企画・実施について検討し、助言を受けた。（書面開催）	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症予防対策として書面開催とした。	【評価と反省】 公民館事業の企画・実施について承認を得た。 【今後の方針等】 公民館運営の本質的な事柄に対して、議論を深めることができるよう内容や進め方等を工夫して開催していきたい。	
広報委員会	4月16日～3月3日	14回	公民館委員会・各種会議等	成人	63人	【事業内容】 梓川公民館報の企画・編集等を行った。 また、全市版の館報編集員を講師に館報の作り方等について学んだ。	【準備過程】 公民館報の発行に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 取材、原稿の作成、編集までの一連の作業を、委員と協働し上げることができたが、受け身的な委員も多く職員が手を加えることが多かった。 【今後の方針等】 館報を読んでいる住民が少ないため、多くの住民に読まれるような紙面づくりを考えていく必要がある。	
文化委員会	5月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【事業内容】 梓川文化祭（梓秋祭）の企画、運営等を行う。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 文化祭が中止となったため、会議は年度初めの1回のみ開催となった。 【今後の方針等】 実行委員会と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。	
体育委員会	4月15日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【事業内容】 スポーツ祭と運動会の企画、運営等を行った。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 地区スポーツ行事が中止となったため、会議は年度初めの1回のみ開催となった。 【今後の方針等】 実行委員会等と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
図書委員会	8月25日～ 2月9日	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	12人	【事業内容】 公民館談話室の本の入替え作業を年 2回行い、秋のお楽しみ会（人形劇 等）を企画する。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員会 を招集した。	【評価と反省】 例年実施している秋のお楽しみ会がコロ ナウイルスの影響で開催できなかった が、委員それぞれが自発的に活動する ことができた。 【今後の方針等】 次年度も本の入替え作業やコロナウイルス 感染予防対策を講じ秋のお楽しみ会がで きないかを検討する。	
地域関係団体の運営・支 援	通年	7回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	80人	【事業内容】 ・子ども会育成会：会議の開催（2 回）、子ども会安全共済会事務、各種 子ども会育成事業の取りまとめ等 ・スポーツ推進委員会の運営、支 援：会議の開催（3回）、地区内体育 事業の企画・運営 等 ・地区スポーツ協会の支援：常任理 事会への出席（1回）、市スポーツ 協会との連絡調整、相談等	【準備過程】 ・適切な時期に会議を開催し、協力 依頼や事業について協議した。	【評価と反省】 ・各団体と連携・協力を図りながら、事 業の実施や取りまとめを行うことがで きた。また、各団体と活発な意見交換を行 うことができた。 【今後の方針等】 公民館にも関わりの深い団体であるた め、継続的に育成、支援を行う必要があ る。	

令和3年度 事業報告の概要

波田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育事業や文化事業などの地区事業の企画・運営等にあたっては、公民館委員（運営・文化・館報編集・体育）と連携しながら、より多くの住民が公民館活動に関わり、関心を持って参加していただけるよう地区住民主体により、実施内容の見直しや運営方法の改善等を図る。 ・ 地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催する。 ・ 講座等の企画、実施にあたっては、前年度の反省や地域住民からの声等を踏まえ、講座の充実を図るとともに、公民館の利用者団体等との共催や利用者団体等を講師にした講座等を開催し、学習の成果等を還元できる場を設ける。 ・ 夏休み中の小中学生を対象に学習室開放に合わせて元教員による個別指導を計画する等、青少年教育の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館専門委員の皆さんには事業の企画・運営に関して、実施内容等検討していただいたが、今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの事業が中止となってしまった。実施した講座については、多くの住民に参加していただくことができた。今後も住民主体の積極的な事業が行えるよう、委員の皆さんと協議、検討していきたい。 ・ 新型コロナウイルス感染対策をしながら、地域の様々な団体等と共催、連携等しながら講座等の事業を開催できた。参加者の固定化や減少が進む中、今年度も夜間講座（健康講座）を開催したところ、若年層に多く参加いただくことができた。今後も夜間での講座開催も視野に団体等と共催、連携等もしながら気軽に集い、学ぶことのできる講座を企画していきたい。 ・ 高齢者や子ども向けの事業だけでなく、これからの地域を支える若者にもっと地域の事を知ってもらえるような事業を企画していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	5	10	2	8	0	10	2	1	1	1	2	0	7	1
延べ 参加人数	266	260	1657	81	0	289	0	24	169	0	0	0	622	250

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
波田水車道でオオルリを探そう	4月28日	1回	福祉健康	成人	15人	波田水車道まで、野鳥を探しながらウォーキングを行い、健康増進と地域住民同士の交流を図る。	波田福祉ひろば共催	コロナ禍で昨年は中止となったが、今年度は感染対策をおこないながら実施することができた。福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続していきたい。	
健康バスウォーキング講座 「春の乗鞍高原を楽しもう！」	5月7日 5月11日	1回	福祉健康	成人	30人	乗鞍高原のミズバショウの群生地を巡り、大自然を満喫しながら、ゆっくりと歩き、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		バス定員の半分の人数で募集をかけ、毎年キャンセル待ちができる程の人気企画である。ガイドの案内で、乗鞍高原の自然に触れながらウォーキングをすることができた。今後も健康増進のため、開催していきたい。	
教養講座 ラベンダークラフト講座	7月1日	1回	趣味教養	成人	14人	波田支所敷地内にあるラベンダーを使って、バンドルズ（スティック）等2作品を作る。摘み取り体験や栽培方法も教えていただきながら、心も身体もリフレッシュし、地域住民同士の交流を図る。		支所敷地内にあるラベンダーは質が良く、参加者それぞれが納得いく作品をつくることができた。ラベンダーの摘み取り方や、管理の仕方等の説明を受け、種類や特徴などの話を伺うことで教養を深めることができた。今後も教養を深めるため、開催していきたい。	
健康バスウォーキング講座 「花の八島ヶ原湿原から車山高原を歩く」	7月13日	1回	福祉健康	成人	15人	ニッコウキスゲを始め様々な花が咲く八島湿原から車山までを楽しみながら歩き、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		当初2回よいていしていたが、1回目の7月7日が雨天中止となってしまった。ガイドの案内で、八島ヶ原湿原、車山の自然に触れながらウォーキングできた。今後も健康増進のため、開催していきたい。	
歴史講座 「信州版アマビエとは！？疫病退散アマビエの仲間たちを探る」	7月15日	1回	地域文化	成人	16人	コロナ禍において、疫病退散のお守り的存在である妖怪「アマビエ」の存在や、ルーツを探る。またアマビエと同種の妖怪が信州にも存在したという資料について学び、コロナ完全終息に願いを込めつつ教養を深める。		参加者からは、「コロナ禍におけるタイムリーな話が聞けてよかった。」との声が聴かれ、地域から新型コロナウイルスが完全終息することを願いながら、教養を深めることができた。今後も歴史講座については内容を検討しながら開催していきたい。	
健康講座 「フォームローラーを体験しよう！セルフケア講習会」	7月28日 8月11日	2回	福祉健康	成人	24人	フォームローラーやウェブリングなどの用具を使った「筋膜リリース」を体験し、短時間でできるセルフケアを学び自宅で無理なく続けられる、短時間でも効果の出る方法を学び、体力の向上を図る。		コロナ禍での開催でもあり、参加者は少なかった。ただ用具を使用する関係上、これ以上の人数になると密集にもつながるため空間的にはちょうどよかった。講師の楽しい話を交えての講座が好評で、来年度開催の要望あり。今後も開催したい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「若澤寺の散逸した文化財探訪」	8月28日	1回	地域文化	成人	10人	信濃日光とも呼ばれ、大変にぎわった若澤寺。廃仏毀釈により廃寺となってしまった若澤寺から散逸した現在も残る建物や重宝を巡り、教養を深める。	文化委員会歴史担当が企画、運営	昨年好評いただいた企画のため、今年度も実施した。しかし感染警戒レベルも上がっていたため、一部行程を変更し、午前のみとした。波田の宝である若澤寺跡について理解を深める機会でもあるので、今後も文化委員会歴史担当を中心に開催を検討したい。	
健康講座 「呼吸からピラティス」	9月30日 10月7日 10月14日 10月21日 10月28日	5回	福祉健康	成人	92人	コロナ禍での体調不良や頭痛、肩こり、腰痛など改善を目指し、自宅で無理なく続けられる、短時間でも効果の出る方法を学び、体力の向上を図る。		今年度も夜間講座として開催。20代～70代までの幅広い年代の方に参加していただけた。毎年、好評の講座であり、来年度開催の要望も強いので、今後も開催したい。	
「波田&安曇歴史ウォーク」	9月30日	1回	福祉健康	成人	10人	竜島地区の竜島発電所、安曇地区の風穴の里及び安曇資料館を見学し、一部ウォーキングをしながら歴史等について学ぶ。 健康増進と地域住民同士の交流を図る。	波田福祉ひろば共催	波田地区の西端に位置する竜島発電所は、普段見ることができない内部の様子を見学することができ、また安曇地区の歴史を同時に学ぶ機会ができたことは、参加者にとっても新鮮であった。福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続していきたい。	
歴史講座 「波田地区初の古墳発見！真光寺遺跡の発掘調査見学会」	10月5日	1回	地域文化	成人	20人	中部縦貫自動車道の「松本波田道路」建設予定地で発見された真光寺遺跡の古墳をはじめとする発掘調査は、どのようにして行われているのか。また出土した遺物を見せていただきながら、波田地区の遥か昔に思いを馳せ、見学会を開催するもの		タイムリーな話題を講座として実施。過去の遺物は、過去の方が記録として残しておけばその歴史が見えてくるもの。研究と記録とではギャップの差はあるかもしれないという講師の言葉が印象に残り、改めて歴史を後世に繋ぐことの大切さを感じた。今回は、調査の見学であったため、今後は調査結果の報告会を開催したい。	
健康講座 「コロナに勝つ 終息に向けて コロナ治療最前線から」	10月8日	1回	福祉健康	成人	30人	猛威を振るう「新型コロナウイルス感染症」、その最前線で戦う、松本市立病院の医師をお招きし、治療にあたられてのご苦労や、この地域の現状と医療機関の取り組みなどを語っていただく。		医師の熱心な説明により、多少時間が押したものの、現場の生の声を聞くことができてとても意義のある時間となった。 公民館としてもウイルスに負けない身体づくり（健康づくり事業）を推進していきたい。今後も内容を検討しながら開催していきたい。	
歴史バス研修 「海野宿と上田城址の歴史巡り」	10月16日	1回	地域文化	成人	14人	江戸時代の旅籠屋造りや茅葺屋根の建物など、古い町並みが今も残る海野宿と、大河ドラマ「真田丸」でおなじみの上田城址を訪ねる。	文化委員会歴史担当が企画、運営	案内ガイドに詳しく説明していただき、海野宿及び上田城址の歴史等について知ることができた。他市町村の歴史文化を知る機会として、今後も文化委員歴史担当を中心に計画していきたい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本城歴史講座 「郭内二の丸・三の丸を歩き面影を探る」	11月11日	1回	地域文化	成人	10人	松本城二の丸は政庁の面影を残し、三の丸はかつて家臣が住む武家屋敷があり、お城や藩主を守っていた。街歩きをしながら当時の面影を発見し、また歴史について学ぶ。	文化委員会歴史担当が企画、運営 波田福祉ひろば共催	松本城天守を観覧する事はあっても、二の丸や三の丸について街歩きをしながら歴史を学ぶ機会がこれまでなかったため、講師の説明に耳を傾けながら、松本城内の魅力を感じることができ、好評であった。今後も文化委員と内容を検討しながら実施したい。	
環境・教養講座 「多肉植物の寄せ植え」講座	10月22日	1回	趣味教養	成人	15人	がちブームとなっている多肉植物の寄せ植え方法について学び、蒸れに弱いとされる多肉植物をどのような環境下で育てるべきかについて学ぶ。		人気があり、すぐに定員に達してしまった。初めて体験する方も多く、参加者がお互いの作品を見せ合う等、交流も図れていた。今後も、教養講座は参加者の意見も聞く中で内容等検討し開催したい。	
地産地消講座 「米粉のキャロットケーキ」講座	10月2日	1回	趣味教養	成人	10人	県内産の米粉や秋に美味しい地元の人参やりんごを使ってカップケーキを作り、地産地消について理解を深める。		地元の材料で、簡単に出来て体に優しいを焦点に計画。コロナ禍の為、人数を通常の半分で設定し、全て個人で制作するように配慮し、すべて持ち帰りとした。農業や食料自給率について話を聞くなど有意義な時間となった。内容を検討し、今後も食育に関する講座は開催したい。	
後悔しない最期を迎えるための学び ～リビングウィルのすすめ～	10月29日	1回	福祉健康	成人	14人	自分らしく最期を迎えるために考えておくべきことを学ぶ。	西部地域包括支援センター共催	もしもの時を考え、親しい人や大切な人と人生会議を開いて伝えておくことが必要と感じる講座となった。アンケートの中から相続に関する講座について希望あり。今後検討のうえ、実施していきたい。	
ふれあい演奏会 「楽団ケ・セラ コンサート」	11月25日	1回	人権平和	成人	67人	障害をかかえながらも自立を目指して頑張っている「楽団ケ・セラ」の皆さんによる演奏会	波田地区人権啓発推進協議会主催	特に普段家に閉じこもりがちな高齢者の方々や、障がい者の方々を中心に参加いただいた。市の庁用バスで送迎を実施したが、参加者からは「足がないので、とても助かる」との声が聞かれ、コンサートも盛況であった。今後も内容を検討し、開催したい。	
アートレクチャー学芸講座 「上條信山 人と作品」	12月9日	1回	趣味教養	成人	16人	美術館学芸員の解説を交えながら、松本市出身の書家・上條信山の生涯と作品について学ぶ	松本市出前講座として開催	美術館改修工事のため、休館となっている美術館の出前講座として開催。戦後の書道教育に尽力された、上條信山の功績を学べる機会となった。今後も美術館と内容を検討し、開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「アーティシャルフラワーで作るお正月飾り」	12月14日	1回	趣味教養	その他	15人	華やかな水引に、縁起の良いとされるお花や扇でお正月飾りを作り、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		昨年度に続き、2回目の開催。和洋風の正月飾りということで人気があった。次回開催の要望もあったため、今後も開催を検討していきたい。	
「クリスマスキャンドルを作ってみよう」～デコパージュキャンドル講座～	12月16日	1回	趣味教養	成人	6人	家で楽しむクリスマスに、華やかさと温かさを演出するキャンドルをデコパージュする作り方を学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		時期的にも季節的にも相応しい講座であり、参加者がお互いに作品を見せ合う等交流もできた。教養講座については、内容等検討し今後も開催していきたい。	
歴史講座 「波田の昭和史を写真から学ぶ」～歴史あれこれ波田むかし話～	12月20日	1回	地域文化	成人	11人	波田の貴重な過去の写真を見ながら、地域のむかし話を聞き、併せて今現在の写真と照らし見ながらこれからの地域づくりについて考える機会とする。		昔の写真と現在の写真を見比べながら講師の話聞くことができ、参加者からは貴重な機会であったとの声をいただいた。過去の歴史をこのように語り継ぐ機会が必要と感じたので、今後も計画、開催していきたい。	
教養講座 「幸せになるための老いじたく講座」～相続、介護、医療、認知症対策のお話～	3月9日	1回	福祉健康	成人	30人	自分はどんな最期を迎えたいのか、遺言書やエンディングノートの活用法を交えながら、「老いじたく」について考える。		2025年には、3人に1人の割合で認知症患者が増える予想がでており、自己判断ができないと診断される前に取り組むことが必要と感じた。高齢者にもわかりやすい講義で大変好評であった。今後も身近な課題について学ぶ講座を開催していきたい。	
町内公民館長会防災研修会	6月15日	1回	防災	成人	24人	防災講座を通じ、運営側にとっての配慮点等を学ぶ	町内公民館長会	町内公民館長を対象とした、災害時に対応した研修会は、今後も計画、実施していきたい。	
春休み特別企画 スプリングコンサート～ヴァイオリンとマリンバの音色に包まれて～	3月25日	1回	趣味教養	その他	35人	子ども達の春休みに合わせて企画。小さいお子さんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで世代を超えて、親しみやすい、おなじみの名曲を若き演奏家が奏でる素晴らしい演奏で楽しんでいただく。		コロナ蔓延防止措置解除後、初のコンサート開催となった。小さなお子さんから高齢の方まで幅広い世代の方に参加いただき、音楽に親しんでいただけた。世代を超えて楽しめるコンサート等については小中学校の長期休暇中の開催を視野に今後も開催していきたい。	
日本語教室交流会	12/25	1回	人権平和	その他	20人	地区内及び近隣町村に在住する外国の方々や地区住民とが各国の料理作りを通じて、国際交流と相互理解を深めることを目的として開催。作った料理は交流会でふるまわれ、各国の味を楽しむ。	日本語教室、波田地区人権啓発推進協議会共催 国際交流クラブ協力	ふれあいランチパーティが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見合わせたため、少人数での交流会を企画。中国及びベトナムの皆さんと交流を深めることができた。多文化共生の観点からも今後も継続していきたい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ふれあいランチパーティー		1回	人権平和	その他	0人	市内や近隣町村に在住する外国の方々や地区住民とが各国の料理作りを通じて、国際交流と相互理解を深めることを目的として開催。作った料理はパーティーでふるまわれ、各国の味を楽しむ。	日本語教室、波田地区人権啓発推進協議会共催 国際交流クラブ協力	毎年恒例の事業として実施しているが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせた。多文化共生の観点からも今後も継続していきたい事業であるが、スタッフの減少等課題がある。地域の人々が事業の趣旨を理解し、多くの人々が参加してもらえるよう、内容等も見直しながら検討し、周知していく必要がある。	
6団体マレットゴルフ大会		1回	スポーツ	その他	0人	波田地区の6団体（町内公民館長会・町会連合会・民生児童委員協議会・JA・商工会・まちづくり協議会）で親睦を図るため、マレットゴルフを行い、また懇親会を通して情報交換・意見交換も行う。		例年、幹事は持ち回りで行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により開催しなかった。6団体による波田地区の地域づくりが重要となっていくため、今後、開催の際は情報交換、交流を深める場として参加していく。	
コミュニティースクール事業		1回	子育て	青少年	250人	下記の事業を開催 ・小・中学生 登下校の見守り（通年） ・小学校1年生下校見守り（4月延べ78名参加） ・中学生学習指導（8月） ・小学校5年生 農業体験講師（5～2月） ・学校応援団会議（2回）	波田地区学校応援団	小学校1年生の下校時見守りには、多くの応援団員に協力いただいた。また、見守り活動に関する研修会も開催。新型コロナウイルスの感染拡大により、できない事業もあったため、新年度は多くの体験活動ができるような活動を実施していきたい。	○
人権啓発推進協議会総会		1回	人権平和	成人	9人	事務局として支援。地域に根ざした人権教育・啓発を積極的に推進し、差別のない地域社会の実現を図ることを目的に、事業内容等を協議検討する。	波田地区人権啓発推進協議会	事業内容については事務局で素案をつくり、会員からご意見をいただきながら実施している。協議会委員が会の目的をとらえられる機会となっていない。総会に併せて人権に関する学習会等の開催も検討したい。	
日本語教室		34回	人権平和	その他	170人	地区内や周辺地区在住の外国人が、日常生活に必要な日本語会話・読み方・書き方を勉強する。	日本語教室主催	今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で教室の生徒が少ない日が多かった。生徒の減少に加えて、指導者側も高齢化しておきており、教室の存続自体が難しい状況である。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
遊YOU大学		7回	趣味教養	高齢者	178人	家に閉じこもりがちな世代の交流の場として、様々な運動を通して参加者相互の交流と体力づくりを行う。 1回目 開講式と「かんたん調味料と健康体操」 2回目 ゆっくりと「呼吸から健やかヨガ」 3回目 知って安心「便利で安全なスマホの利用法」 4回目 バス研修「新しくなった長野県立美術館を楽しむ」 5回目 「レッツ！グラウンドゴルフ」 6回目 バスウォーキング「紅葉の横谷峡を歩く」 7回目 閉講式・「琴と尺八のしらべ」		毎年開催している65歳以上を対象とした講座。新型コロナウイルス感染症の影響により、バス研修は人数を制限するなど影響はあったが、中止することもなく実施できた。高齢者の体力増進、交流の場として継続的な内容だけでなく、新規内容も取り入れながら今後も継続していく。	
竹の子教室		41回	子育て	家庭教育	1,407人	2歳から3歳児とその保護者を対象に、運動や遊びを通して親と子のふれあいと体力づくりを行い、心身の健全教育と親子の絆を育む。波田地区で長く続く子供の育成教室として定着している。	指導員と日程、内容等を調整。	波田地区の伝統事業として、今年度は23組の親子に参加いただいた。新型コロナウイルス感染症の影響により、休講せざるを得ない時期もあったが、参加者からの要望により振替延長を実施するなどして開催できた。ふれあいと体力づくりをすると共に、季節毎に四季折々の行事を取り入れるなどして、様々な体験ができた。毎年早い段階から新年度の申し込みの問い合わせもあり、開催を心待ちにしている参加者も多い。地区内だけでなく、近隣地区からの参加も増えており、待機児童の問題もある中での貴重な事業となっている。	
夏休み学習室開放			その他	青少年	169人	夏休み中の小・中学生を対象に、公民館の会議室を自習（学習）室として開放し、学習習慣の維持・確立に寄与する。		小、中学生とも、昨年並みに利用していただいた。特に小学生の利用が多かった。毎日勉強に来ていた中学生から要望があったため、急遽、夏休み後の短縮授業期間中も開放することとした。今後も継続して学習室として開放していきたい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館対抗スポーツ事業		4回	地域事業 (体育)	その他	0人	波田地区町内公民館対抗行事として、健康維持増進と参加者相互の親睦を図る ・ソフトボール大会 ・男女混合、女子ソフトバレーボール大会 ・男女バレーボール大会 ・マレットゴルフ大会	体育委員主催 波田スポーツ協会共催	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年に引き続き今年度も開催しない旨各種会議等で決定となった。体育委員は各町会から選出されるが、2年任期の役員が多く、大会を経験しないまま新役員へ引き継ぎされることが課題となっており、今後検討が必要。大会自体は伝統ある行事なので、継続開催していきたい。	
波田文化祭		2回	地域事業 (文化)	その他	0人	生涯学習やクラブ活動の成果を発表し、地域住民が芸術文化を鑑賞する。波田公民館、文化センターアクトホールを会場に展示発表、舞台発表を行う。	文化祭実行委員会主催 町会連合会、町内公民館長会協力	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による実施の有無について、参加団体にアンケートを実施。町内公民館長会、運営委員会、文化委員会にてご意見等いただき、文化祭実行委員会において開催の有無を検討。昨年に引き続き、今年度も開催を見送ることとした。生涯学習やクラブ活動の成果を発表する場として、今後も実行委員会を中心に内容等を検討していきたい。	
ロビー展示			地域事業 (文化)	その他		生涯学習やクラブ活動の成果の発表の場として、希望団体の展示を行う。		文化祭が中止となったことに伴い、日々の活動の発表の場として希望する団体の作品を展示し、地域の方々に見ていただけるように実施。小中学校の作品展やサークルの作品等を随時展示した。希望する団体には、文化祭だけでなく通年にわたる発表の場として提供していくことを検討したい。	
地区担当職員連絡会議		12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	140人	社会福祉協議会、公民館、波田地域づくりセンター、健康づくり課、西部包括支援センター、福祉ひろば、市立病院、福祉計画課の職員が参加し、各部署からの事業や地域課題について話し合いを行う。		各部署での取り組みや事業内容、また、地区の課題などについて広い視野での話し合いができる場となっている。	
公民館運営委員会		2回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	17人	公民館の事業計画等についての検討や提言をおこなう。		積極的に公民館活動へ関わっていただき、事業計画について検討や提言を頂けるようにしていきたい。	
体育委員会		4回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	83人	町内公民館対抗スポーツ事業の企画、運営に携わる。	各地区から選出された委員と波田体協代表の27名で活動を行った。	町内公民館対抗スポーツ事業の見直しも含め、今後の体育事業について検討していきたい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化委員会		10回	公民館委員会・各種会議等	その他	109人	文化祭、イベント、歴史の担当に分かれ、それぞれの活動の企画、運営に携わる。	27地区から選出された委員を3つの担当に分けて活動を行った。	事業の企画・運営に関して積極的に取り組んでいただくことができた。来年度以降も、多くの意見を取り入れながら事業展開をしていきたい。	
館報編集委員会		7回	公民館委員会・各種会議等	その他	73人	松本市公民館報（波田地区版）への原稿執筆、編集等	27地区から選出された委員で館報の原稿執筆、編集等を行った。5月号を事務局と正副委員長で担当。7、9、11、1、3月の各号は残りの委員に割り振り、全委員に1回ずつ担当していただいた。	記事内容はテーマ等を設けず、号毎の担当会議で内容を決定。担当会議までに、記事内容等を考えてきていただくようにした。記事を書くことに難しさを感じている委員も多いが、積極的に取り組んでいただいた。今後もできるだけ多くの地区の人に携わっていただき、地区の様々な情報を記事にしていきたい。	
町内公民館長会		8回	公民館委員会・各種会議等	その他	180人	地区公民館からの連絡事項や地区事業のお知らせ、地域づくり等について研修する。		新型コロナウイルス感染拡大のため、大きな行事が中止となったことで交流や行事への協力をいただく機会がなく残念であった。今年度は研修会も開催し、町会として今何をやるべきか探っていたいただく機会を増やした。来年度以降も活動を充実させていきたい。	
文化祭実行委員会		1回	公民館委員会・各種会議等	その他	20人	文化祭実行委員会で波田文化祭全体の企画、運営等を行う。各会場会では会場ごとの展示、発表等について調整を行う。	文化委員11名、町会長会1名、公民館長会1名、各会場会の正副代表で実行委員会を組織。	文化祭の開催有無の判断、来年度へ向けた会議を実施した。2年連続での中止と決定した。今後も実行委員会を組織し、多くの意見を取り入れた文化祭の企画運営ができるよう工夫していきたい。	
食育講座 「超かんたん！天然酵母パン」	8月	1回	趣味教養	成人	0人	手づくり天然酵母を使った、簡単にできるパンの作り方を学習する。		新型コロナウイルス感染拡大により中止。多くの参加希望者がいたことから、今後についても時期をみながら開催していきたい。	
「高齢者を狙う詐欺・悪徳商法対策講座」 ～だまされたりしないために知っておくべきこと～	1月	1回	趣味教養	成人	0人	近年高齢者を狙う詐欺等が増加していることから、地元の行政書士を講師に迎え、騙されないための対策を学ぶ。		新型コロナウイルス感染拡大により中止。多くの参加希望者がいたことから、今後についても時期をみながら開催していきたい。	
「動いて笑って楽しむ講座」 ～脳トレエアロ～	1月 2月 3月	3回	福祉健康	成人	0人	表情筋を良くする体操を行い、長いマスク生活の疲労改善を図る。		新型コロナウイルス感染拡大により全3回すべて中止。多くの参加希望者がいたことから、今後についても時期をみながら開催していきたい。	

令和3年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史講座 「近代の波田を知って 次世代へ語り継ごう」	2月 3月	2回	地域文化	成人	0人	文書館の小松先生を講師に迎え、近代の波田にまつわる出来事を学習する。		講師体調不良のため、全2回すべて中止。 地域の歴史については住民の関心も高いため、今後も講座を検討し開催していきたい。	
信州の郷土食 「やしょうま作り」	2月	1回	地域文化	成人	0人	信州の郷土食である「やしょうま」について学び、各地に伝わる言い伝え、形の違いなどを伺いながら、粉を蒸す最初から行い基本の梅を作る。		新型コロナウイルス感染拡大により中止。 信州の郷土食でもあることから、今後についても時期をみながら開催していきたい。	
冬のスポーツ「スノーシュー」を楽しもう！	2月	1回	スポーツ	その他	0人	体を動かす機会が少なくなる冬場の健康維持増進と参加者相互の親睦を図る。	波田スポーツ協会共催	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった。冬場の健康維持増進のため、スポーツ協会の協力を得ながら今後各種教室を復活させ実施していきたい。	

令和3年度（2021年度） 松本市公民館長会 定例会等事業報告

No.	期日	会場	内 容	No.	期日	会場	内 容
①	4月21日・水	中央公民館	【公民館長会総会】 ・R2年度事業報告 ・R2年度会計報告 ・R3年度役員について ・R3年度事業計画（承認） ・R3年度予算（承認）ほか ※歓送迎会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	⑦	10月20日・水	中央公民館 ホール	【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 和田地区 【研 修】 ・防災講座 危機管理課 宮坂防災専門官
			理事会 4月6日(火)中公3-1				理事会 10月12日(火)中公3-2
②	5月26日・水	今井公民館	【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 今井地区 【研 修】 ・令和3年度公民館長会研修について ・グループ討議 ・被災者の心を支えるために まつもと震災支援ネット 伊藤 麻理さん	⑧	11月19日・金	中央公民館 3-1 3-2	【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 里山辺地区 【研 修】 ・コミュニティスクールについて②
			理事会 5月18日(火)中公3-2				理事会 11月9日(火)中公3-2
③	6月23日・水	中央公民館	【協議事項、報告事項】 ・5月定例会グループ別討議の集約について ・公民館事業の実施及び計画状況の集約について 【研 修】 ・教育長との懇談会	⑨	12月15日・水	中央公民館 ホール	【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 松南地区 【研 修】 ・松本市公民館活動の歴史と役割 講師 矢久保 学
			理事会 6月15日(火)中公3-1				理事会 12月7日(火)中公3-2
④	7月21日・水	芳川公民館	【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 芳川地区 【研 修】 ・長野SDGsプロジェクト（NSP） 出前講座 JICA東京 長野デスク SDGsとは NSPのプログラムについて	⑩	1月19日・水	各公民館	※コロナ感染警戒レベル5となったため、 オンラインで開催 【協議事項、報告事項】 【研 修】 ・ジェンダー・ハラスメント・ダイ バーシティとは 人権共生課
			理事会 7月13日(火)中公3-2				理事会 1月11日(火)中公3-2
⑤	8月18日・水	各地区公民館	※コロナ感染警戒レベル5となったため、 オンラインで開催 ※協議事項、連絡事項のみで研修は延期 【協議事項、連絡事項】 ・地域づくり実行計画骨子案について ・地域づくり推進に向けた公民館の位置づけについて 他	⑪	2月16日・水	各公民館	※コロナ感染警戒レベル6となったため、 オンラインで開催 【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 城北地区 【研 修】 ・デジタル市役所等 ・テレビ会議、リモート、オンライン 会議など
			理事会 8月10日(火)中公3-2				理事会 2月8日(火)中公3-2
⑥	9月15日・水	中央公民館	※オンライン開催（ブロックごと参集） 【協議事項、報告事項】 ・センター長研修報告 ・今後の研修計画について 他 【研 修】 ・コミュニティスクール事業における公民館長の役割	⑫	3月15日・火	中央公民館 ホール	【協議事項、報告事項】 ・地域情報発信 城東地区 【会議事項】 ・令和4年度役員選出 ・令和3年度の振り返り（まちづくりの 集い含む）
			理事会 9月7日(火)中公3-2				理事会 3月8日(火)中公3-2

※地区公民館で実施の場合、地区情報発信を開催公民館館長が行う。
 ※会場について駐車場等の関係で物理的に開催が困難な場合は、中央公民館を会場とする。
 ※3月は16日(水)が中学校卒業式のため、15日(火)に開催

令和3年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 21 回開催し、延べ 623 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研修内容
1	4/8(木) 13:30～17:00 中央公民館	42	<p>テーマ：令和3年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長あいさつ（赤羽教育長） 2 令和3年度行財政運営と令和3年度中央公民館重点目標について（高橋中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和2年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和3年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和3年度予算について <ol style="list-style-type: none"> ア 公民館管理運営費 イ 公民館講座事業費 ウ 公民館職員のための会計事務の手引き (3) コミュニティスクール事業 (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 公民館委員報償費について (6) 防火管理講習について (7) 全国市長会市民総合賠償補償保険について (8) 公民館総合補償制度対応手順について (9) 長野県公民館主事研修会・総会について
2	4/下旬 ブロック研修会	37	<p>テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案</p> <p>各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。</p>
3	5/13(木) 13:00～17:00 千曲市戸倉創造館	12	<p>県公運協主催の令和3年度長野県公民館主事研修会・総会への参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度県主事会事業報告 (2) 令和3年度県主事会役員の改選／主事会活動方針／主事会事業計画 2 研修会 <ol style="list-style-type: none"> (1) テーマ 300年後に集落を引き継ぐ～震災から始まった魅力ある集落づくり～ (2) 講師 小滝復興プロジェクトチーム代表 樋口 正幸 氏
4	5/27(木) 13:30～17:00 島立公民館	31	<p>テーマ：関係法令・貸館について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目的 社会教育法・公民館条例等の貸館の基礎となる関係法令を学び、公民館の歴史や役割、過去の判断資料等から適正な判断ができるようポイントなどを共有する。 2 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度の青山様・ぼんぼんについて（中央公民館 平林主任） (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて（中央公民館 平林主任） (3) 長野県生涯学習センターについて（長野県生涯学習センター 木下所長、中田支援専門員） 3 地域情報発信（島立地区） 4 研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関係法令・貸館について (2) グループワーク

回	日時・会場	出席者	研修内容
5	6/10(木) 13:30~17:00 波田公民館	32	<p>テーマ：公民館っぼい講座って？</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>昨年度からの新型コロナウイルスの影響により、公民館が最も大切にする「誰でも集まり、何でも学習できる」という点を、皆さん痛感したのではないのでしょうか。また、地区公民館活動や町会活動においても、行政側からの要求により自粛したものや、住民や各種団体等の話し合いにより中止した事業も数多くあったのではないのでしょうか。結果として、地区や町会における一つひとつの社会活動に対する「必然性」が、改めて問われることにもなりました。</p> <p>一方、サークル活動はどうだったのでしょうか。当初は、自粛要請等に対して中止していた活動も、時間が経つにつれて「活動したい」との声が多く寄せられ、皆さんも利用者との話し合いの中で「どのようにしたら活動が再開できるのか」を模索してきたのではないのでしょうか。</p> <p>では、地区公民館で実施される地域事業や講座は不要なのではないのでしょうか。それとも必要なのではないのでしょうか。もっと言えば、こんな機会であるからこそ、「どのような活動を進めていくことが公民館として大切なのか」を押さえた上で、実践していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>(2) 目的</p> <p>新任も2年目以上の職員も、これまで公民館の基本理念等について学習し、実践してきたと思います。しかし、連綿と受継がれてきた地域性(人・環境・考え方)と新住民、公民館の理念と前年踏襲で進められる地域事業・講座、公民館長と皆さんとの考え方など、様々なギャップを抱えているのではないのでしょうか。</p> <p>一方、公民館として活動を進める上で大切にしたいポイントは多数あり、共通することもあります。それぞれが実践のなかで理念等と結びつけて独自に身に付けてきたものもあるかと思います。それは、テクニク的な面も、同様だと思います。</p> <p>そこで、今回の研修では「講座」を切口に、企画段階・実施段階で大切にしたいポイントを皆さんの視点で探り、たくさんの「公民館っぼい」を共有し、今後の実践に活かしましょう。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 長野県公民館大会について(白板地区公民館 岩垂主任)</p> <p>(2) 第60回社会教育研究全国集会の参加について(中央公民館 平林)</p> <p>(3) フューチャーデザインについて(中央公民館 平林)</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 話題提供 「公民館っぼい講座って？」</p> <p>(2) グループ討議</p>
6	6/24(木) 13:30~17:00 白板地区公民館	28	<p>テーマ：防災 実践編</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>令和2年8月20日には、最新の防災情報を学ぶとともに、各地区での防災に関する取り組みをテーマに研修会を行い、各地区が取り組むべきことを検討する契機となった。</p> <p>公民館が避難所となる可能性は十分あり、主事は避難所運営に携わる職員として先頭に立つことが求められている。</p> <p>特に、防災備品については、何がどのくらいどこにあるのか、どう組み立て操作するのか、使用したことのない職員も多い。</p> <p>(2) 目的</p> <p>今回は、防災実践編と題し、防災備品の操作や組み立てを体験し、避難所の開設・運営時を想定した視点を養い、主事として避難所運営にどう携わるか考えることを目的に開催する。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 『被災者の心を支えるために』の配布(伊藤麻理氏)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(2) Pay Payと松本市の連携事業説明会（商工課、プリントショップ・ミネ） (3) 実施計画第52号デジタル公民館事業について（平林主任） 3 研修 (1) 実技演習（危機管理課） ア 局所的短所的避難所開設の手順、設営について イ ハザードマップの見方について ウ 防災備品組み立て・操作体験 （間仕切り用板ダンボール／段ボールベット／発電機の設置・使用方法・平時の点検） (2) 大手公民館要援護者優先避難所運営委員会について (3) グループワーク
7	7/上旬 ブロック研修会	36	テーマ：他自治体交流研修の視察地検討 等 主事会全体での県外視察研修に代わる他自治体との交流・研修の意義を可帰任し、視察交流先を検討し、幹事会での検討案とする。
8	7/15(木) 13:30～17:00 中央公民館	24	テーマ：知っていますか？性の多様性 1 趣旨 (1) 背景 性別にとらわれることなく、一人ひとりがかかけがえのない個人として尊重され、多様な性や生き方を認め合い、自分らしく暮らしながら、個性や能力を発揮できる社会の実現に向けて、性的マイノリティへの理解が必要ではないか。 (2) 目的 性の多様性を尊重する社会の実現に向けて、主事として性的マイノリティへの理解を深める。 また、人権啓発推進委託事業費の目的や他地区の情報を共有することで日頃の業務の参考とする。 2 事務連絡 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について（中央公民館 平林） 3 地区情報発信（安曇地区） 4 研修 (1) 話題提供「知っていますか？性の多様性」（人権共生課） (2) グループワーク
(9)	コロナ禍のため中止 8/12(木) 13:30～17:00 中央公民館 ※公民館だより等の実物を部屋に掲示してワークを行うため対面開催が必須であることから延期。のち中止	32	テーマ：公民館の広報活動について 1 趣旨 (1) 公民館報（地区版）と公民館だよりは、市内全館に共通する公民館広報の主たる情報媒体である。いずれも、地区の特色がその目的や機能として表れる傾向があり、各館において趣が異なる。 ところが、日頃の業務においては、発刊された他所の広報物を目にすることはあっても、制作に関する過程や具体的な手法について意見交換をしたり、学習したりする機会が乏しい。 (2) 目的 自治体広報についての先行研究を手がかりに、あらためて各館における広報活動の特徴を知ったうえで、自地区の課題や要請に顧みられた公民館広報のあり方について学ぶ機会としたい。 2 10分間地域情報発信（鎌田地区公民館 川西主事） 3 研修 (1) 自治体広報に関する研究の紹介 ア 自治体広報に求められること イ 評価・改善方法 (2) 公民館報&たよりコンテストについて ア 審査基準及び投票方法の説明

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(3) 公民館報について ア 公民館報とは イ 歴史と方向性 ウ 地区版の現状と課題（グループワーク） (4) 公民館だよりについて ア 基本編 ー媒体特性等（G.W.有） イ 実践編 ー講座記事の作成例 (5) 公民館報&たよりコンテスト結果発表 ア 上位入賞館の発表とレビュー及びインタビュー
9	8/26(木) 13:30～17:00 コロナ禍のためオンライン(ZOOM)開催に変更	32	テーマ：松本版コミュニティスクール 1 趣旨 (1) 背景 松本版CS事業は、学校と地域が連携・協働しながら、子どもたちを地域全体で見守り育てる地域づくりを目指して、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会とすることを目的としている。一部のボランティア参加に留まらず、地域全体で子どもを育てるために地域住民の主体的な参加を促すための仕組みづくりが必要ではないか。 (2) 目的 各地区で行われているCS事業の運営状況や事業内容は様々であり、良い取り組みについて、その情報を共有することで、今後の自館でのCS事業に活かすことを目的とする。 2 事務連絡 (1) 地域づくり推進に向けた公民館の位置付けについて(中央公民館 高橋館長) (2) 第3次地域づくり実行計画の策定について(地域づくり課 床尾係長) 3 地区情報発信(松原地区) 4 研修 (1) 話題提供 松本版CS概要と今後の展開について(中央公民館) (2) 事例発表① 明善中CSプロジェクトの取り組みについて(中山公民館) 事例発表② 寿小学校CS里山体験学習について(寿公民館) (3) 質疑応答 (4) 全体討議
10	9/9(木) 13:30～17:00 コロナ禍のため研修を中止、事務連絡及協議事項のみとしオンライン(ZOOM)開催 ※元の研修テーマは「公民館講座のつくり方実践編」。模造紙ワークのため、対面開催が必須のため中止	30	事務連絡及び協議事項のみ 1 事務連絡 (1) 地域づくりセンター長研修会「公民館機能について」報告について(中央公民館 高橋館長) (2) 携帯電話キャリアとのスマホ講座共催について(笹賀公民館 加藤主任) (3) 貸館判断について(入山辺公民館 吉田主事) (4) 各地区における三九郎の実施について(中央公民館 平林主任) (5) 日本公民館学会松本大会の開催について(中央公民館 平林主任) (6) 【新型コロナ対策】公民館利用者名簿作成・保管の注意点(再周知)(中央公民館 平林主任) (7) キャッシュレス決済の試行(9月補正予算)について(中央公民館 平林主任) 11月から中央公民館及び市民課でPayPay決済を試行 3 協議事項 (1) 【新型コロナ対策】公民館主事会・幹事会の開催手段について(浅井幹事長) (2) DX戦略作成について(中央公民館 平林主任) ※ブレイクアウトセッション 社会のDX「可能性を広げる新しい学びへの挑戦」についてアイデア出し
11	9/16(木) 13:30～15:00 オンライン(ZOOM)開催	37	第69回長野県公民館大会(オンライン開催) コロナ禍のため、当初大町市文化会館を会場に、全体会をみの短縮開催を予定していたが、コロナ禍の状況を鑑み、基調講演のみオンラインで開催 基調講演「長野県発 宇宙の旅 ～つながっている宇宙・社会・いのち～ 講師国立天文台 天文情報センター 縣 秀彦 氏

回	日時・会場	出席者	研修内容
12	10/28(木) 13:30~17:00 中央公民館	30	<p>テーマ：食品衛生と感染症対策</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 新型コロナウイルスの世界的な流行により公民館活動も制限を余儀なくされたが、ワクチン接種や各種対策により、対応を模索しながらも活動が戻りつつある。その一方で、従前からインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策や食中毒の予防等を行う必要もあり、コロナ収束後も対応が必須となる。</p> <p>また、1～2年目の主事はコロナによる事業中止の影響で、出店に係る食品衛生等の届出の基準や手続きを熟知していない職員が多いと思われる。他地区の講座の評価、検証を共有し、うまくいった講座はその要因や発 展を考えることで自地区での新しい講座のヒントとする。また、うまくいかなかった講座はその原因や改善策を考えることで、自地区で同じ轍を踏まないよう対策できる。</p> <p>(2) 目的 公民館の館管理や事業実施の上で必要となる食品衛生、感染症対策についての研修を行い、正確な知識を習得するとともに、届出等の事務についても整理し、今後の公民館活動に活かすことを目的に開催する。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 「書面主義・押印原則・対面主義」に基づく慣行（手続）の見直しに向けた今後の対応について</p> <p>(2) 社会教育主事講習の参加について</p> <p>(3) 全国公民館セミナーの参加について</p> <p>(4) 金沢大学学生による青山様・ぼんぼんの調査協力について</p> <p>(5) 令和4年度長野県公民館運営協議会事業日程について</p> <p>(6) 松本市芸術文化祭の周知について</p> <p>(7) 日本公民館学会松本研究大会（12月4・5日）について</p> <p>(8) 主事会プロジェクトの設置について</p> <p>ア 貸館・公民館デジタル化チーム イ 町内公民館振興・支援チーム</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い世話人決め</p> <p>(2) 貸館判断について</p> <p>4 10分間情報発信（岡田地区）</p> <p>5 研修</p> <p>(1) 食品衛生について（食品・生活衛生課）</p> <p>(2) 感染症とその対策について（保健予防課）</p> <p>6 グループ討議</p>
13	11/11(木) 13:30~17:00 中央公民館	27	<p>テーマ：松本市公民館が大切にしてきたこと～公民館の歩みと生涯学習計画から考える～</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 現在、松本市の地域づくりシステムは、公民館（S22）・福祉ひろば（H7）・地域づくりセンター（H26）という流れのなかで、各地区の地勢や変遷を踏まえながら35地区独自の地域づくりが展開されています。</p> <p>一方、今年度から4地区をモデル地区に設定した取組みを展開していますが、果たして公民館が持つ機能は生かされているのでしょうか。例えば、「何でも学習できる」「誰とでもつながれる」という視点から、様々な住民が公民館とつながる。また、「この指とまれ方式」といったスタンスの自由な学びや交流から、小グループのコミュニティーや活動が展開される。「自分」を持った住民が形成され、「地域（公民館）」という舞台で悩みや問題、思いや考えが共有されていくなかで地域が創られていく等、改めて各地区の地域づくりのなかで、問う必要性があるのではないのでしょうか。</p> <p>(2) 目的</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>平成6年に策定された松本市生涯学習計画は、当時行政側で策定することが多いなか、市民と職員が真剣に討議を積み重ねて辿り着いたものです。</p> <p>その過程で、本市公民館や様々な市民活動が掘り起こされ、公運審なども巻き込みながら、改めて「松本市の公民館」というものが確認された機会でもありました。</p> <p>今回、策定に関わり現在も実践者として活動を続ける手塚英男さんから、これまでの公民館の歩みや生涯学習計画策定の過程等についてお話いただくなかで、「公民館が大切にしてきたこと※1」について共有します。</p> <p>その後のグループワークでは、共有したことを「現在の地域づくりにおける公民館」という視点から捉えなおし、今後へ活かすべきポイント(=公民館の機能)を確認します。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い 分科会運営委員会について</p> <p>(2) 日本公民館学会松本研究大会への参加について</p> <p>3 10分間情報発信(新村地区)</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 話題提供「松本市公民館の歩みと松本市生涯学習計画策定に携わって」 手塚 英男 氏</p> <p>(2) 要点整理</p> <p>(3) グループ討議「各地区の地域づくりで公民館のポイント(機能)は生かせている!？」</p>
14	11/25(木) 13:30~17:00 城北公民館	21	<p>テーマ：次世代の担い手について</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>町会役員や公民館委員等に若い世代に関わってもらうことは、持続的な地域づくりのために不可欠である。</p> <p>ところが、少子高齢化が急速に進展する中、定年延長や共働き世帯の増加、習い事や余暇の過ごし方の変化等、仕事や生活全般が多様化している。また、特に若者の中には、町会行事や人との繋がりに煩わしさを感じる人が見られる等、地域との関係の希薄化が進んでいる。こうした中で、若い世代に、地域づくりに関わってもらうことが難しくなっている。</p> <p>(2) 目的</p> <p>館報全市版編集委員や地域づくり活動に関わっている大学生、若者との地域づくりに取り組んでいる行政の立場から、参加の背景や参加した感想等のお話を聞き、若い世代に地域づくりに興味を持ってもらい、参加してもらうにはどうしたら良いのかを考える機会とする。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い(公民館研究集会)について</p> <p>(2) 日本公民館学会松本研究大会について</p> <p>3 10分間情報発信(中央地区)</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 事例発表(各5~10分程度)</p> <p>ア 芳川地区地域づくりセンター 坂上課長補佐 イ 地域づくり課 ユースサポート担当 小山事務員 ウ 公民館報全市版編集委員 工藤太陽 氏</p> <p>(2) パネルディスカッション</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>(4) 休憩・移動(グループワーク会場を館内で分散)</p> <p>(5) グループワーク発表者 3名も参加</p>
15	12/5(日) 長野県生涯学習推進センター 14:30~16:00	25	<p>日本公民館学会松本研究大会 開催地企画</p> <p>令和2年度に開催予定であった松本研究大会が、コロナ禍のため1年間延期となり、令和3年12月4日・5日に開催した。4日はオンライン開催。5日はハイブリット開催で、長野県内の参加者はセンターまたはオンライン参加、県外参加者はオンライン参加した。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>開催地企画テーマ 長野県の公民館の特性や到達点を踏まえた、これからの公民館と公民館職員の在り方</p> <p>コーディネーター 松本大学教授 白戸 洋 氏</p> <p>パネリスト 松本市島内地区地域づくりセンター長 勝家 隆 氏 塩尻市中央公民館主事 安藤 寿秀 氏 栄村公民館主事 島崎 佳美 氏</p> <p>コメンテーター 松本大学教授 松田 武雄 氏 京都府立大学教授 築山 崇 氏 長野県生涯学習推進センター所長 木下 巨一 氏</p>
16	12/23(木) 13:30~17:00 中央公民館	32	<p>テーマ：「公民館デジタル化計画」</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 「書面主義・押印原則・対面主義」に基づく慣行（手続）の見直しに向けた調査で、「オンライン手続と書面手続の併用」とした講座申込やアンケート提出などの手続きについては、電子申請を活用することが求められている。 また、手続きのオンライン化を進めるにあたっては、スマホ講座の実施などでデジタルデバインド解消のための取組みと併せて進めていく必要がある。</p> <p>(2) 目的 各館で講座申込やアンケート提出などオンライン化を進めていくため、電子申請の使い方・活用方法を学ぶ。併せて各館のデジタルデバインド解消のための取組みを共有することで、公民館デジタル化を進めていく。</p> <p>2 10分間情報発信（今井地区）</p> <p>3 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 日本公民館学会松本研究大会の所感について (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (3) 公民館主事会プロジェクトの進捗について (4) 令和4年度利用者団体登録の手続きオンライン化について (5) 町内公民館長会作成の研修動画の地区町内公民館長会での上映依頼について</p> <p>4 研修</p> <p>(1) DX・電子申請・デジタルデバインドについて（DX推進本部） (2) 実践事例①「スマホ体験講座」（安曇公民館田） ②「教えて！スマホの使い方」（松原地区公民館） (3) グループワーク</p>
17	1/13(木) 13:30~17:00 コロナ禍のため、オンライン(ZOOM)開催	34	<p>テーマ：社会教育施設に関わる紛争</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 社会教育施設の運営にかかる根拠法令としては、差し当たり社会教育法が主であるが、現実の運用においては、同法解釈の齟齬による不合理が生じている。 中でも施設使用に関する処分決定（貸館）は、しばしば争点となり、実際の争訟に発展するケースもある。 施設の運営に従事する公民館主事がこれらの係争についてその事実関係や判例を学習する要請は大きいと考えられる。</p> <p>(2) 目的 上記問題意識に基づき、施設使用許可（社教法23条、憲法21条等）及び営造物責任（国賠法2条等）を中心とする判例を専門家に解説してもらい、司法判断を参考に実務的見地から公民館の適正運営について主事間で検討する。</p> <p>2 中央公民館長、幹事長あいさつ</p> <p>3 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (2) 公民館報のデジタル配信について</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(3) 庁用バスの一斉予約（2月1日～）について (4) 「公民館のこれから講座」の周知及び参加について 4 10分間情報発信（鎌田地区 川西主事） 5 研修 (1) 社会教育施設における争訟と判例(村田法律事務所 村田 英幸 弁護士) ア 施設使用許可に関するもの イ 営造物責任に関するもの ウ 公民館業務における法律相談（事前質問） (2) 質疑応答 (3) グループワーク
18	1/27(木) 13:30～17:00 コロナ禍のためオンライン(ZOOM)開催	32	テーマ：「第3次松本市教育振興基本計画」および「第3次松本市地域づくり実行計画」への理解を深める（共に令和4年4月～施行） 1 趣旨 (1) 背景 共に令和4年4月から施行される第3次松本市地域づくり実行計画と第3次松本市教育振興基本計画について、前計画からの変更点をはじめ理解を深める場としたい。特に新しい教育振興基本計画では、公民館を中心とした学びによる地域づくりが位置付けられ、地域づくり実行計画でも住民自治力と人材育成の両面で公民館が求められる役割は大きい。新年度に向け両計画への理解を深める必要がある。 (2) 目的 先の主事会にて生涯学習課高橋課長、地域づくり課床尾係長よりそれぞれご説明いただいた内容に加え、教育振興基本計画を所管する教育政策課の職員より新計画の説明を受け、令和4年度の新計画において公民館主事がどういった役割を求められ、また地区住民と協働しどういった地域づくりを進めていくべきか再認識する契機としたい。 2 事務連絡・協議事項 (1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (2) 公民館報のデジタル化の検討結果について (3) 新型コロナウイルス感染症対策の対応について (4) 庁用バスの予約・使用のあり方について (5) 前回主事研修会を受けた貸館判断について（自由協議） 3 10分間情報発信（寿台地区） 4 研修 (1) 話題提供 第3次松本市地域づくり実行計画(地域づくり課) 第3次松本市教育振興基本計画(教育政策課) (2) 質疑
19	2/10(木) 13:30～17:00 コロナ禍のためオンライン(ZOOM)開催	31	テーマ：中央1ブロック歴史ウォークラリー 1 趣旨 (1) 背景 近年の主事研修はどちらかと言えば座学が中心で、実際に外に出て活動する体験型の研修が少ない。公民館の事業参加を増やす手法として、様々な経験が必要である。 (2) 目的 公民館の事業参加を増やす一つの手法として実際にウォークラリーを経験し、地区内再発見に役立てる一助とする。また、道中でもぎっくばらんに主事同士で会話をすることで、主事間の親睦や各地区の情報共有を図る。 2 事務連絡・協議事項 (1) 『世界の料理 いろいろ(仮)』について (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (3) 町内公民館振興業務委託について ア 報告書について イ 主事会プロジェクトについて

回	日時・会場	出席者	研修内容
			3 10分間情報発信（城東地区） 4 研修 (1) 事例発表 中央1ブロック歴史ウォークラリー 企画のプロセスについて (2) グループワーク（60分） ア 本日のウォークラリーに対する所感 イ 各地区で行っている公民館講座情報の共有 ウ 現状における悩み共有（コロナ、庁用バスなど）
20	3/10(木) 13:30～17:00 四賀公民館	26	テーマ：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の総括 1 趣旨 (1) 背景 新型コロナウイルスの影響により令和2年度のまちづくりの集いは一部開催となり、令和3年度は開催方法を変更して開催された（分散開催、テーマ設定方法の変更）。初めて集いを経験した主事も多いため、集いの意義の再確認と次年度に向けた検証が必要と思われる。 (2) 目的 社会教育・公民館に求められる役割と実践事例など、研修報告をふまえて、「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会地域づくり市民活動研究集会～」を総括し、これからの地域づくりや公民館の役割を展望する。 2 事務連絡・協議事項 (1) 長野県生涯学習推進センターからのお知らせについて ア 塩尻市公民館活動報告会 イ アフタフバーン信州 (2) 令和4年度当初開始予定の利用団体登録のオンライン申請対応について (3) デジタル活用支援事業相談員育成研修について 3 10分間情報発信（本郷地区） 4 研修 (1) 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 (2) 「まちづくりの集い」の検証と次年度へ向けての討議 ア 報告・解説【30分】（幹事長、集会事務局） イ グループ討議（分科会ごとに）
21	3/24(木) 13:30～17:00 第三地区公民館	29	テーマ：中央1ブロック歴史ウォークラリー(実践)／令和4年度主事研修会について 1 趣旨 (1) 背景 近年の主事研修はどちらかと言えば座学が中心で、実際に外に出て活動する体験型の研修が少ない。公民館の事業参加を増やす手法として、様々な経験が必要である。 年度末に差し掛かり、1年間主事研修会に各主事が携わってきた中で、あらためて学びたいことや学んでおいた方が良かったことが見えてくる時期である。 (2) 目的 公民館の事業参加を増やす一つの手法として実際にウォークラリーを経験し、地区内再発見に役立てる一助とする。また、道中でもぎっくばらんに主事同士で会話をすることで、主事間の親睦や各地区の情報共有を図る。 あらためて「主事研修会」について各主事が考える機会とし、来年度の主事研修会がより充実した物になるように道筋を作る。 2 事務連絡・協議事項 (1) 団体登録のオンライン手続き開始に伴う全登録団体へのID発行(検討中)について

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(2) 新ホームページの編集作業について 3 研修 (1) 中央1ブロック歴史ウォークラリー(フィールドワーク) (2) 令和4年度主事研修会について

※ コロナ禍のレベルが高い時期にも、オンラインを活用するなどし、工夫して開催した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

コロナ禍対策と移動負担の軽減のため、6月以降はオンライン(ZOOM)で実施した。

<主な協議事項>

4/2	令和2年度の主事会・幹事会の運営等	10/4	主事研修会企画
5/6	主事研修会(前期)企画	11/1	主事研修会企画
6/7	主事研修会企画	12/6	主事研修会企画
7/5	主事研修会企画	1/4	主事研修会企画
8/2	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/7	主事研修会企画
9/6	主事研修会企画	3/7	主事研修会企画、令和4年度の主事会計画案

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/12 令和3年度長野県公民館主事研修会・総会(千曲市戸倉創造館/第3回主事研修会)
- (2) 9/16 第69回長野県公民館大会(オンライン開催/第11回主事研修会)
- (3) 12/5 日本公民館学会松本研究大会(第15回主事研修会)
- (4) 2/20 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い~第37回公民館研究集会 令和3年度地域づくり市民活動研究集会~ 会場分散化及びYouTube・ZOOMを活用しハイブリット開催

4 その他(親睦事業など)

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施せず

令和3年度公民館連絡先一覧表

R2.4.15

No.	館名	館長	公民館主事等	センター長	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所在地	担当地区
1	中央	高橋 伸光 (社会教育推進担当)	中村 安広 土屋 浩昭 小岩井 一樹 平林 祐介 森田 耀子 宮下 明日香 大和 健司		32-1132	56200 56201 56201 56202 56202 56203 56203 56203	37-1153	390-0811 //	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
		(施設整備担当)	輪湖 稔 斉藤 浩伸 伊藤 雄太			56212 56212 56211				
2	第一地区	水野 範明	遠藤 彰	吉澤 拓	32-1550		32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第二地区	早坂 義導	窪田 陸	二木 昭彦	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第三地区	赤沼 礼一	樋口 美智子	降旗 英明	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東部	宮下 隆夫	三枝 成葉	武井 義正	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城北	田中 正	西澤 瑞恵	佐藤 憲明	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大手	高野 隆治	中條 克明	上條 昭規	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安原地区	藤野 一男	板花 良太	田村 明彦	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城東	佐藤 昭明	朝倉 光貴	三澤 孝吉	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白板地区	内藤 哲夫	岩垂 宏直	永瀬 幸道	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田川	森下 隆弘	大月 悠太	小野 真一	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄内地区	筒井 文男	奥原 直弥	齋 国人	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌田地区	田中 健太郎	川西 久美	田中 治	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松南地区	白澤 幸男	伊藤 貴浩	金井 稔	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島内	上條 光司	上嶋 秀俊	勝家 隆	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中山	鈴木 幹夫	丸山 雅之	塩野崎 隆夫	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島立	伊藤 悦夫	浅井 勇太	米田 秀俊	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新村	新村 芳男	太田 正太郎	高山 芳伯	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和田	萩原 正人	中田 真実	村山 佳子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神林	丸山 勝久	三村 和紀	伊藤 裕明	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹賀	山田 賢司	加藤 正洋	百瀬 功三	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳川	柏澤 由紀一	北原 将年	塩原 正秀	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	永春 美香子	百瀬 靖恵	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿台	坂井 久吉	大津 茜	高山 明洋	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松原地区	下村 純	合津 朋美	牛丸 尚久	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入山辺	小笠原 鉄夫	吉田 将大	村田 誠司	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里山辺	小幡 泰俊	吉田 望花	加藤 政彦	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2930-1	里山辺
29	今井	櫻井 貞文	宮澤 理沙	村山 育朗	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内田	丸山 明良	石原 萌	伊藤 和宏	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本郷	橋本 眞一	分部 哲志	清澤 秀幸	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四賀	藤松 正之	小宮山 秀樹	神谷 孝	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安曇	百瀬 一美	羽田 大樹	大野 晃永	94-2301	35233	94-2918	390-1592	安曇 1061-1	安曇
34	奈川	忠地 愛男	真関 健	高山 昇	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓川	川村 吉郎	黒田 晋	田多井 清純	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波田	輪湖 明	奥原 和宏	百瀬 朋章	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田

あがたの森	中嶋 岳大	深澤 勝彦			32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	
池上百竹亭	指定管理者				32-0141		32-0141	390-0873	丸の内 10-31	
ふれあいパーク 乗鞍	指定管理者				93-1122		93-1122	390-1507	安曇 4855-100	

令和4年度公民館連絡先一覧表

R4.4.1現在

No.	館名	館長	公民館主事等	センター長	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所在地	担当地区
1	中央	石川 善啓 (社会教育推進担当) (施設整備担当)	土屋 浩昭 中村 安広 小岩井 一樹 平林 祐介 森田 耀子 宮下 明日香 大和 健司 輪湖 稔 酒井 謙一 伊藤 雄太		32-1132	56200 56201 56201 56202 56202 56204 56203 56203 56212 56212 56211	37-1153	390-0811 //	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
2	第一地区	水野 範明	朝倉 光貴	中村 史子	32-1550		32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第二地区	早坂 義導	栗田 幸信	二木 昭彦	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第三地区	武井 保典	矢嶋 美智子	窪田 直美	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東部	宮下 隆夫	古謝 彰貞	滝澤 修	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城北	小岩井 成人	西澤 瑞恵	増田 香	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大手	遠藤 彰	中條 克明	藤森 千穂	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安原地区	藤野 一男	板花 良太	波多腰 秀美	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城東	佐藤 昭明	三澤 孝吉	降旗 みゆき	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白板地区	内藤 哲夫	片桐 史門	永瀬 幸道	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田川	森下 隆弘	大月 悠太	小野 真一	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄内地区	筒井 文男	小林 大	齋 国人	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌田地区	田中 健太郎	川西 久美	田中 治	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松南地区	白澤 幸男	伊藤 貴浩	金井 稔	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島内	上條 光司	上嶋 秀俊	勝家 隆	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中山	鈴木 幹夫	宇治 樹	金山 博文	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島立	伊藤 悦夫	浅井 勇太	伊藤 和宏	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新村	新村 芳男	太田 正太郎	高山 芳伯	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和田	萩原 良治	中田 真実	村山 佳子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神林	丸山 勝久	丸山 貴大	伊藤 裕明	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹賀	山田 賢司	矢口 竜也	中原 和彦	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳川	柏澤 由紀一	北原 将年	坂上 浩美	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	竹村 夕馬	羽田野 千帆	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿台	坂井 久吉	大津 茜	高山 明洋	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松原地区	下村 純	合津 朋美	牛丸 尚久	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入山辺	小笠原 鉄夫	吉田 将大	村田 誠司	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里山辺	小幡 泰俊	吉田 望花	神田 浩	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2943-1	里山辺
29	今井	櫻井 貞文	宮澤 理沙	塚田 喜代志	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内田	丸山 明良	石原 萌	武井 義正	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本郷	橋本 真一	分部 哲志	清澤 秀幸	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四賀	藤松 正之	小宮山 秀樹	神谷 孝	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安曇	大野 修	羽田 大樹	大野 晃永	94-2301	35121	94-2918	390-1520	安曇 1061-1	安曇
34	奈川	忠地 愛男	奥原 美鈴	高山 昇	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓川	川村 吉郎	黒田 晋	田多井 清純	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波田	輪湖 明	奥原 和宏	百瀬 朋章	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
	あがたの森	中嶋 岳大	小林 泰		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	
	青少年ホーム	永井 康太郎	小船井 彩乃		26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	
	池上百竹亭	指定管理者			32-0141		32-0141	390-0873	丸の内 10-31	
	ふれあいパーク 乗鞍	指定管理者			93-1122		93-1122	390-1507	安曇 4855-100	

松本市公民館長理事役員名簿 (26年度以降)

(敬称略)

年度 役名		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	R3年度	R4年度
		会 長	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)
副 会 長	深澤 (城北)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)	小笠原 (入山辺)	
(中央公民館長)	永田	高橋	高橋	高橋	栗田	栗田	栗田	高橋	石川	
理 員	中央1	原田 (城東)	関口 (第二地区)	北沢 (東部)	阿部 (第一地区)	宮下 (東部)	早坂 (第二地区)	佐藤 (城東)	赤沼 (第三地区)	水野 (第一地区)
	中央2	深澤 (城北)	滝澤 (安原地区)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	内藤 (白板地区)	藤野 (安原地区)
	中央3	池上 (田川)	上條 (松南地区)	草間 (庄内地区)	田中 (鎌田地区)	池上 (田川)	浦澤 (松南地区)	筒井 (庄内地区)	筒井 (庄内地区)	白澤 (松南地区)
	河 西	村山 (島立)	胡桃 (島内)	関 (新村)	渡辺 (和田)	青木 (梓川)	輪湖 (波田)	上條 (島内)	伊藤 (島立)	新村 (新村)
	西 南	赤羽 (神林)	藤澤 (今井)	上條 (安曇)	勝山 (奈川)	藤波 (笹賀)	塩原 (神林)	櫻井 (今井)	百瀬 (安曇)	忠地 (奈川)
	東 南	青木 (寿)	中嶋 (内田)	藤森 (中山)	柏澤 (芳川)	下村 (松原)	百瀬 (寿)	坂井 (寿台)	丸山 (内田)	鈴木 (中山)
	東 山	宇佐美 (岡田)	花岡 (里山辺)	遠山 (入山辺)	百瀬 (四賀)	橋本 (本郷)	富岡 (岡田)	小幡 (里山辺)	小笠原 (入山辺)	藤松 (四賀)
監 事	百瀬 (波田)	宇佐美 (岡田)	中嶋 (内田)	内藤 (白板)	阿部 (第一地区)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	丸山 (内田)	
事務局 (中央公民館)	栗田	金井	金井	金井	横山	田口	横山	土屋	土屋	
中信公運協	深澤 (城北)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)	小笠原 (入山辺)	
県公運協	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)	櫻井 (今井)	

令和4年度 松本市公民館長会理事等 役職分担表

年度 役職名	30年度		R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		
	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	
県公運協 (R元、R3は会長職)	(安原)	滝澤	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	
長野県将来世代応援県民会議 (県公運協副会長が就任)											
中信公運協 (参与職)			(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	
中信公運協 (評議員職)	(四賀)	百瀬	(芳川)	柏澤	(城北)	田中	(城北)	田中	(入山辺)	小笠原	
松本市差別撤廃人権擁護 審議会 (会長職) 同和	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	
部落解放・人権政策確立要求 松本市実行委員会委員長 (公民館長会 会長)	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	
“社会を明るくする運動”松本推進委 員会 (会員)			(松南)	浦澤	(城東)	佐藤	(第三)	赤沼	(第一)	水野	
平和祈念式典実行委員会	(東部)	宮下	(波田)	輪湖	(島内)	上條	(白板)	内藤	(新村)	新村	
明るい選挙推進協議会 代議員2名 (うち役員候補者1名)	会長職	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤
		(神林)	宮下	(波田)	輪湖	(今井)	櫻井	(白板)	内藤	(奈川)	忠地
		(城北)	田中								
豊かな環境づくり 松本地域会議 (松本地方事務所環境課)	(笹賀)	藤波	(松南)	浦澤	(城東)	佐藤	(第三)	赤沼	(第一)	水野	
教育文化センター 運営委員会	(田川)	池上	(神林)	塩原	(里山辺)	小幡	(里山辺)	小幡	(里山辺)	小幡	
松本市青少年健全育成 市民大会実行委員会	(梓川)	青木	(寿)	百瀬	(里山辺)	小幡	(庄内)	筒井	(新村)	新村	
松本市生活簡素化 実行委員会	(田川)	池上	(寿)	百瀬	(島内)	上條	(白板)	内藤	(奈川)	忠地	
学都松本子ども読書活動推進委員会 R元～			(寿)	百瀬	(島内)	上條	(庄内)	筒井	(城北)	小岩井	
まつもと文化遺産保存活用協議会 R4～									(新村)	新村	
館長会 研修担当	①通常研修担当	(松原)	下村	(白板)	内藤	(大手)	高野	(入山辺)	小笠原	(松南)	白澤
		(笹賀)	藤波	(岡田)	富岡	(庄内)	筒井	(島立)	伊藤	(安原)	藤野
	②県外研修担当	(城北)	田中	(神林)	塩原	(今井)	櫻井	(内田)	丸山	(四賀)	藤松
		(梓川)	青木	(第二)	早坂	(寿台)	坂井	(安曇)	百瀬	(中山)	鈴木
学都松本推進協議会 事務局会議委員	(松原)	下村	(松南)	浦澤	(城東)	佐藤	(第三)	赤沼	(第一)	水野	
館長会・主事会 連絡調整委員	(安原)	滝澤	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	
	(四賀)	百瀬	(芳川)	柏澤	(城北)	田中	(城北)	田中	(入山辺)	小笠原	
監事			(城北)	田中	(白板)	内藤	(大手)	高野	(内田)	丸山	

令和3年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行	評 議 員	中 信 公 運 協 員	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局
中 公	中 央	中 村 安 広	13								
		土 屋 浩 昭	7								
		小 岩 井 一 樹	0								
		平 林 祐 介	5								○
		森 田 耀 子	4								
		宮 下 明 日 香	0								
		大 和 健 司	0								○
		輪 湖 稔	2								
		齊 藤 浩 伸	1								
伊 藤 雄 太	0										
中 央 1	第 一 地 区	遠 藤 彰	4								
	第 二 地 区	窪 田 陸	1								
	第 三 地 区	樋 口 美 智 子	1					○			
	東 部	三 枝 成 葉	0								
	城 東	朝 倉 光 貴	1							○	
中 央 2	白 板 地 区	岩 垂 宏 直	3			○					
	城 北	西 澤 瑞 恵	1							○	
	安 原 地 区	板 花 良 太	1								
	大 手	中 條 克 明	3		○						
中 央 3	鎌 田 地 区	川 西 久 美	1								
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	1				○				
	庄 内 地 区	奥 原 直 弥	5								
	田 川	大 月 悠 太	1							○	
河 西 部	島 内	上 嶋 秀 俊	13								
	島 立	浅 井 勇 太	4	○							
	新 村	太 田 正 太 郎	2							○	
	和 田	中 田 真 実	2								
	梓 川	黒 田 晋	2								
	波 田	奥 原 和 宏	6								
西 南 部	笹 賀	加 藤 正 洋	4		○						
	神 林	三 村 和 紀	3							○	
	今 井	宮 澤 理 沙	0								
	安 曇	羽 田 大 樹	3								
	奈 川	真 関 健	3								
東 南 部	芳 川	北 原 将 年	2								
	寿	永 春 美 香 子	2								
	寿 台	大 津 茜	0								
	内 田	石 原 萌	0								
	中 山	丸 山 雅 之	2							○	
松 原 地 区	合 津 朋 実	5		○							
東 山 部	岡 田	田 中 貢 治	0.5							○	
	里 山 辺	吉 田 望 花	0								
	入 山 辺	吉 田 将 大	0								
	本 郷	分 部 哲 志	0.5								
四 賀	小 宮 山 秀 樹	11									

令和4年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行	評 議 員	中 信 公 運 協	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局
中 公	中 央	土 屋 浩 昭	8								
		中 村 安 広	14								
		小 岩 井 一 樹	1								
		平 林 祐 介	6								○
		森 田 耀 子	5								
		宮 下 明 日 香	1								
		大 和 健 司	1								
		輪 湖 稔	3								
		酒 井 謙 一	0								
伊 藤 雄 太	1										
中 央 1	第 一 地 区	朝 倉 光 貴	2				○				
	第 二 地 区	栗 田 幸 信	8.5								
	第 三 地 区	矢 嶋 美 智 子	2					○	○		
	東 部	古 謝 彰 貞	0								
	城 東	三 澤 孝 吉	14.5								
中 央 2	白 板 地 区	片 桐 史 門	0								
	城 北	西 澤 瑞 恵	2								
	安 原 地 区	板 花 良 太	2							○	
	大 手	中 條 克 明	4		○						
中 央 3	鎌 田 地 区	川 西 久 美	2								
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	2							○	
	庄 内 地 区	小 林 大	0								
	田 川	大 月 悠 太	2								
河 西 部	島 内	上 嶋 秀 俊	14								
	島 立	浅 井 勇 太	5			○					
	新 村	太 田 正 太 郎	3								
	和 田	中 田 真 実	3								
	梓 川	黒 田 晋	3							○	
波 田	奥 原 和 宏	7									
西 南 部	笹 賀	矢 口 竜 也	0								
	神 林	丸 山 貴 大	0								
	今 井	宮 澤 理 沙	1							○	
	安 曇	羽 田 大 樹	4		○						
	奈 川	奥 原 美 鈴	0								
東 南 部	芳 川	北 原 将 年	3		○						
	寿	竹 村 夕 馬	0								
	寿 台	大 津 茜	1								
	内 田	石 原 萌	1							○	
	中 山	宇 治 樹	0								
	松 原 地 区	合 津 朋 実	6	○							
東 山 部	岡 田	田 中 貢 治	1.5								
	里 山 辺	吉 田 望 花	1								
	入 山 辺	吉 田 将 大	1								
	本 郷	分 部 哲 志	1.5							○	
四 賀	小 宮 山 秀 樹	12									

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活動内容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

区分	氏名	所属団体等
学校教育	戸辺 修	松本市立島立小学校長
	中川 由香里	松本市立開成中学校長
社会教育	御子柴 宏	元 寿公民館長、寿地区学校応援団 顧問
	立石 恵子	NPOフリマネット信州代表
	高橋 昌子	更生保護女性会会長
	降旗 都子	第三地区まちづくり協議会副会長
	染井 伴子	松本市女性団体連絡協議会
	中田 安子	前 第三地区公民館長
	百瀬 壽	松本市町内公民館長会会長
	中島 麻衣	松本BBS会
家庭教育	山口 茂	松本市公民館報全市版編集委員長
	熊谷 留理子	松本市PTA連合会副会長
有識者	久保田 由美	松本みんなのほご教室
	向井 健	松本大学 総合経営学部 准教授
公募者	前田 豊	信州大学 人文学部 助教
	北原 千佐子	公募
	輿 熹	公募

(任期2年:令和5年7月31日まで)

松本市の公民館（令和4年度）

令和4年11月発行

発行・編集 松本市生涯学習課・中央公民館

松本市中央1-18-1

TEL 0263-32-1132

e-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp
